創造から進化・革新へ

IG KOGYO

専門業者様向け

アイジーヴァンド
（金属サンドイッチパネル）
設計・施工説明書

◆断熱ヴァンドＧＸ35

◆断熱ヴァンドＧＸ35Ｎ

◆断熱ヴァンドＧＸ35Ｅ

◆断熱ヴァンドＧＸ35ＥＮ

2015年5月版

GX

事故防止のために

この商品は壁材です。壁以外の部位には使用しないでください。

⚠警告　死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1. 強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。
   風にあおられる・雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2. 高所作業は関係法規に従ってください。落下事故の可能性があります。

⚠注意　取り扱いをあやまると傷害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

1. 取り扱いの際はゴム付き手袋や保護眼鏡などの適切な保護具を着用してください。ケガをする可能性があります。
2. 現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは取り除いてください。ケガをする可能性があります。
3. 施工の際は防水のため、働き幅による割り付けを守ってください。
4. 防火のため、加熱・排気などの箇所の取り合いには、めがね石など有効な耐火部材を使用してください。
5. 包装材・残材などは産業廃棄物として処分してください。
6. タッチアップペイントなどは製品安全データシート（ＳＤＳ）に従って、正しく使用してください。
7. 電動工具など、工具を使用の際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。

目　　次

事故防止のために

1 断熱ヴァンドGXの概要

1－1　商品タイプ…… 2
1－2　特長…… 2
1－3　用途…… 3
1－4　製造工程…… 3
1－5　本体規格…… 4
1－6　認定…… 6
1－7　材料特性…… 7

2 商品仕様 断熱ヴァンドGX

2－1　本体形状…… 9
2－2　防耐火構造仕様図…… 14
2－3　付属品…… 40
2－4　性能…… 44

3 設計のポイント

3－1　設計の要点…… 48
3－2　設計の留意点…… 51

4 納まり参考図

4－1　断熱ヴァンドGX35／GX35E(よこ張り)… 52
4－2　断熱ヴァンドGX35／GX35E(たて張り)… 72
4－3　断熱ヴァンドGX35N／GX35EN(よこ張り)… 82
4－4　断熱ヴァンドGX35N／GX35EN(たて張り)… 94

5 発注と荷受け

5－1　パネル工事までの流れ…… 98
5－2　施工図の作成…… 98
5－3　発注…… 99
5－4　納期…… 99
5－5　パネル本体工事前の確認事項…… 99
5－6　搬入…… 100
5－7　準標準色・特注色・防汚仕様について… 102

6 パネル本体施工の要領（よこ張りの場合）

6－1　施工の準備 …… 103
6－2　墨出し …… 107
6－3　水切取り付け …… 108
6－4　捨板取り付け …… 109
6－5　スターター取り付け …… 114
6－6　パネル本体取り付け …… 116
6－7　たて目地材取り付け …… 120
6－8　出隅、入隅カバー取り付け …… 122
6－9　防火構造認定のたて目地について… 123
6－10　開口まわり …… 125

7 パネル本体施工の要領（たて張りの場合）

7－1　施工の準備 …… 129
7－2　墨出し …… 133
7－3　水切取り付け …… 134
7－4　捨板取り付け …… 135
7－5　スターター取り付け …… 136
7－6　パネル本体取り付け …… 137
7－7　出隅、入隅カバー取り付け …… 140

8 パネル本体現場加工

8－1　切断・切り欠き …… 141
8－2　穴あけ加工 …… 142
8－3　その他 …… 144

9 シーリング

9－1　推奨シーリング …… 145

10 補修・メンテナンスについて

10－1　傷の補修 …… 146
10－2　汚れの除去 …… 146
10－3　外壁を美しく保つために …… 147
10－4　その他 …… 147

1 断熱ヴァンドGXの概要

1−1　商品タイプ

断熱ヴァンドGX35／GX35N

45分準耐火構造、防火構造、不燃材料の認定を取得しています。
表面はフラット仕上げ、裏面はカワシボ柄。
パネル本体の働き幅は600㎜と900㎜※1、厚さは35㎜です。

断熱ヴァンドGX35E／GX35EN

防火構造、不燃材料の認定を取得しています。
表面はオーバルⅡ柄、裏面はカワシボ柄。
パネル本体の働き幅は600㎜、厚さは35㎜です。

1−2　特　　長

表面材は、耐候性に優れた遮熱性フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板を標準設定。
色調変化が起こりにくく、長期にわたって建物の外観を美しく保ちます。
また、高い日射反射率を誇り、表面温度の上昇による熱の侵入を抑えます。

意　匠　性

端部箱折加工※2を採用しました。たて目地をシーリング処理で納めることが可能です。

両面ガルバリウム鋼板

表面材・裏面材共に耐久性に優れたガルバリウム鋼板を採用しています。
表面材は遮熱性フッ素樹脂塗装です。

長尺＋軽量＝短工期

最大11,500㎜※3の長尺品に対応し、8.0kg/m^2※4と軽量なので、迅速施工で短工期を可能にします。

防 汚 仕 様

断熱ヴァンドGX35/GX35Nは、オプションで標準色の表面材に親水性を持たせた防汚仕様も選択できます。
親水化した塗膜上では汚れを流す効果（セルフクリーニング効果）により雨筋汚れが付きにくくなります。

※1　働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35にのみ設定しており、GX35N、断熱ヴァンドGX35E/GX35ENへの設定はありません。
※2　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENに端部箱折加工はありません。
※3　標準は9,000㎜まで。オプションで最長11,500㎜まで対応できます。
※4　断熱ヴァンドGX35E／GX35ENのm^{2}当たりの重量です。

耐　震　性

サンドイッチ構造ゆえの軽量とジョイント方式で、層間変形角1／60でも追従できます。
（試験結果は、パネル本体脱落なし、本体表面箱折部付近の変形、シーリングの切れあり）

断熱性能

しん材に断熱性能の高いポリイソシアヌレートフォームを採用し、熱貫流率はＡＬＣ100㎜を凌ぐ性能を発揮します。

水　密　性

独自のかん合形状に加え、太径防水パッキンの採用により、高く安定した防水性を発揮します。
また、捨板類の付属品にも防水パッキンを採用し、防水性能を高めました。

プレカット

ご指定寸法※5で建築現場に納入するプレカット方式を採用。工期の短縮、環境負荷の低減に大きく貢献します。

特注寸法

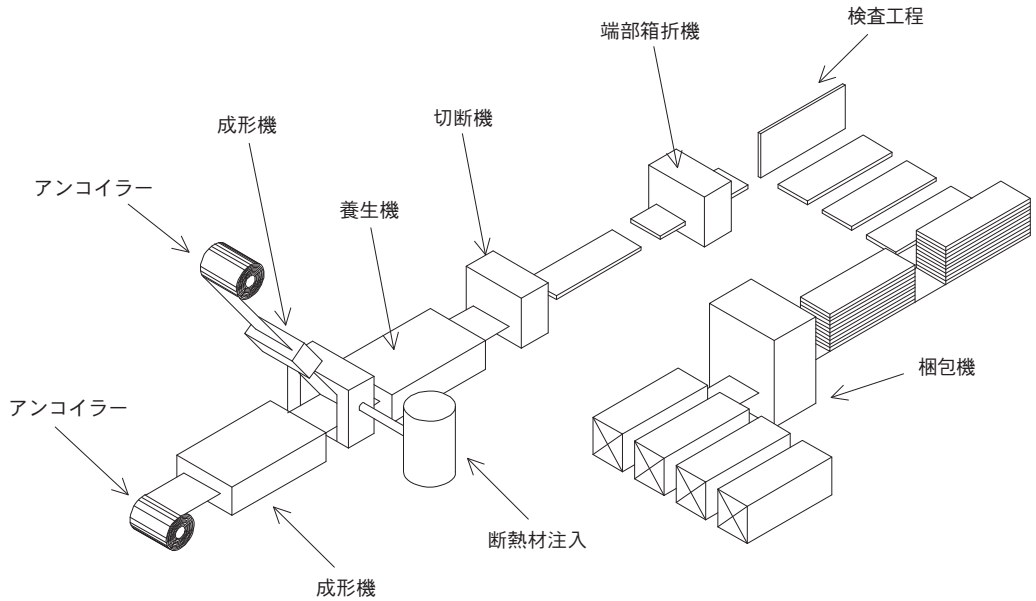
オプションで最短300㎜～最長11,500㎜まで対応しますので※6※7、効率的なパネル割が可能です。現場での省力化や廃材の削減に貢献します。

※５　1,800㎜～ 9,000㎜の範囲で1㎜単位でご指定いただけます。
※６　断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35Eは300㎜～1,799㎜、9,001～11,500㎜。
　　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENは9,001㎜～ 11,500㎜。
※７　断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35Eの300㎜～899㎜、900㎜～1,799㎜はそれぞれ別途加工賃を申し受けます。
詳しくは弊社またはアイジーヴァンド取り扱い店へお問い合わせください。

1－3　用　　途

・工場　・大型店舗　・大型物流施設　・共同住宅　・低層オフィス　・公共施設　など

1－4　製造工程



1−5　本体規格

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">断熱ヴァンド
GX35</th><th>断熱ヴァンド
GX35N</th><th>断熱ヴァンド
GX35E</th><th>断熱ヴァンド
GX35EN</th></tr>
<tr><td rowspan="5">規　格</td><td>働き幅(㎜)</td><td>600</td><td>900</td><td>600</td><td colspan="2">600</td></tr>
<tr><td>総幅(㎜)</td><td>644</td><td>944</td><td>644</td><td colspan="2">644</td></tr>
<tr><td>長さ(㎜)</td><td colspan="5">1,800～9,000※1※2</td></tr>
<tr><td>厚さ(㎜)</td><td colspan="5">35</td></tr>
<tr><td>重量(kg／m²)</td><td colspan="3">9.5</td><td colspan="2">8.0</td></tr>
<tr><td>施工方法</td><td>張り方向</td><td colspan="5">たて・よこ兼用</td></tr>
<tr><td rowspan="5">表面材</td><td>材質</td><td colspan="5">ガルバリウム鋼板</td></tr>
<tr><td>板厚(㎜)</td><td colspan="3">0.5</td><td colspan="2">0.35</td></tr>
<tr><td>塗装種別</td><td colspan="5">遮熱性フッ素樹脂塗装</td></tr>
<tr><td>表面意匠</td><td colspan="3">フラット</td><td colspan="2">エンボス（オーバルⅡ柄）</td></tr>
<tr><td>箱折</td><td colspan="2">あり</td><td>なし</td><td>あり</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>しん材</td><td>材質</td><td colspan="5">ポリイソシアヌレートフォーム</td></tr>
<tr><td rowspan="5">裏面材</td><td>材質</td><td colspan="5">ガルバリウム鋼板</td></tr>
<tr><td>板厚(㎜)</td><td colspan="5">0.27</td></tr>
<tr><td>塗装種別</td><td colspan="5">ポリエステル樹脂塗装</td></tr>
<tr><td>表面意匠</td><td colspan="5">エンボス(カワシボ柄)</td></tr>
<tr><td>塗色</td><td colspan="5">ライトグレー</td></tr>
</table>

※1　断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35Eは300～1,799㎜、9,001～11,500㎜まで製造可能（オプション）。
　　300～899㎜、900～1,799㎜はそれぞれ別途加工賃を申し受けます。
※2　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENは9,001～11,500㎜まで製造可能（オプション）。
詳しくは弊社またはアイジーヴァンド取り扱い店へお問い合わせください。

快速999　このアイコンの標準色（防汚仕様は除く）品は、100m²からの受注が可能で、かつ1,000m²未満の場合は「短納期対応品」となります。
詳しくは弊社担当営業にお問い合わせください。

1−5−1　カラーラインナップ

■断熱ヴァンドGX35/GX35N（表面フラット仕様）

	塗装種別	色　名 (防汚仕様)※1	日塗工番号（近似）※2	マンセル値（測定値）
標準色	遮熱性フッ素樹脂塗装	シルバーS (Cシルバー S)	※3	4.6G　7.0／0.1※4
		ホワイト （Cホワイト）	GN-90	9.3YR　8.5／0.1
		アイボリー （Cアイボリー）	G22-85C	2.6Y　8.1／1.4
		シャンパンゴールド （Cシャンパンゴールド）	※3	7.5Y　6.4／0.5※4
		ガングレーM （Cガングレー M）	※3	9.3B　4.2／0.8※4
準標準色	遮熱性フッ素樹脂塗装	グレー	GN-75	6.3BG　7.2／0.2
		アクアブルー	G55-90B	2.7BG　8.7／0.7
		ペールピンク	G09-90D	5.0R　8.3／2.0
		グランブルー	G75-40L	9.9B　3.6／5.9
裏面材	ポリエステル樹脂塗装	ライトグレー	GN-82	4.1Y　8.0／0.2

■断熱ヴァンドGX35E/GX35EN（表面エンボス仕様）

	塗装種別	色　名	日塗工番号(近似)※2	マンセル値(測定値)
標準色	遮熱性フッ素樹脂塗装	シルバーS	※3	4.6G　7.0／0.1※4
		ホワイト	GN-90	9.3YR　8.5／0.1
		アイボリー	G22-85C	2.6Y　8.1／1.4
		シャンパンゴールド	※3	7.5Y　6.4／0.5※4
準標準色	遮熱性フッ素樹脂塗装	グレー	GN-75	6.3BG　7.2／0.2
		ガングレーM	※3	9.3B　4.2／0.8※4
裏面色	ポリエステル樹脂塗装	ライトグレー	GN-82	4.1Y　8.0／0.2

※1　防汚仕様は標準色にのみ設定したオプションです。
※2　2013年G版の日塗工番号です。
※3　メタリック色は、日塗工番号の設定がありません。
※4　メタリック色は、光の強さや見る角度によって色が変わって見えるため、マンセル値での表現が困難です。上記値は、一定角度での測定値を代表値としております。実際の色の見え方とは異なり、輝度感も反映されておりません。上記値で塗料などの調色（色合わせ）を行っても色が合いませんので、調色を行う際は、実物と色合わせをお願いします。

1−6　認定

■断熱ヴァンドGX35/GX35N（表面フラット仕様）

認定区分	認定番号	張り方向	構造仕様		構造仕様図
45分準耐火構造	QF045NE−0025	よこ	せっこうボード下張り＋内装重ね張り	下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上　下張り）（せっこうボード12.5㎜以上+12.5㎜以上内装重ね張り）	P16、17
	QF045NE−0039	たて		下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上　下張り）（せっこうボード12.5㎜以上+12.5㎜以上内装重ね張り）	P20、21
	QF045NE−0040	たて		下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上　下張り）（せっこうボード12.5㎜以上+12.5㎜以上内装重ね張り）断熱材充てん	−
	QF045NE−0024	よこ	せっこうボード内装重ね張り	下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上+12.5㎜以上内装重ね張り）	P14、15
	QF045NE−0037	たて		下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上+12.5㎜以上内装重ね張り）	P18、19
	QF045NE−0038	たて		下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上+12.5㎜以上内装重ね張り）断熱材充てん	−
防火構造	PC030NE−0122※2	たて／よこ	せっこうボード下張り	下地条件@1,210㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上　下張り）※1	P22、23
	PC030NE−0201※2	たて／よこ	せっこうボード下張り（よこ張り　たて目地部フラットジョイナー＋セラミックファイバー充てん仕様）	下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上　下張り）	P24〜25
	PC030NE−0136	よこ	せっこうボード内装張り	下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード15㎜以上もしくは12.5㎜以上＋9.5㎜以上内装重ね張り）	P28、29
	PC030NE−0177	たて		下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード15㎜以上もしくは12.5㎜以上＋9.5㎜以上内装重ね張り）	P30、31
	PC030NE−0191※2	たて／よこ	せっこうボード内装張り（よこ張り　たて目地部フラットジョイナー＋セラミックファイバー充てん仕様）	下地条件@1,250㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上内装張り）	P32〜35
	PC030NE−0192※2	たて／よこ		下地条件@1,250㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上内装張り）断熱材充てん	−

材料認定	不燃材料　NM-3831

■断熱ヴァンドGX35E/GX35EN（表面エンボス仕様）

認定区分	認定番号	張り方向	構造仕様		構造仕様図
防火構造	PC030NE−0193※2	たて／よこ	せっこうボード内装張り（よこ張り　たて目地部フラットジョイナー＋セラミックファイバー充てん仕様）	下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上内装張り）	P36〜39
	PC030NE−0194※2	たて／よこ		下地条件@1,000㎜以下C100×50×20×2.3以上（せっこうボード12.5㎜以上内装張り）断熱材充てん	−

材料認定	不燃材料　NM-3831

※1　不燃材料認定品のせっこうボードが必要です。
※2　たて張り時のたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。注意してください。

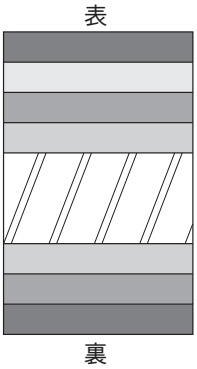
1－7　材料特性

1－7－1　面材特性

■仕様

	商品タイプ	板厚	塗装	めっき目付量
表面材	断熱ヴァンドGX35/GX35N	0.5㎜	遮熱性フッ素樹脂塗装	AZ150
	断熱ヴァンドGX35E/GX35EN	0.35㎜		
裏面材	断熱ヴァンドGX35/GX35N	0.27㎜	ポリエステル樹脂塗装	AZ120
	断熱ヴァンドGX35E/GX35EN			

■表面材塗膜構成



上塗：遮熱性フッ素樹脂塗装
下塗：エポキシ樹脂塗装
化成処理被膜
55％Al-Zn合金めっき
鋼板
55％Al-Zn合金めっき
化成処理被膜
ポリエステルまたは、エポキシ樹脂塗装

■表面材特性表

項　目		データ 遮熱性フッ素樹脂塗装	試験方法
硬　　度		F	鉛筆硬度（JIS-G-3322）
加　工　性		2T：塗膜の剥離なし	万力折曲（JIS-G-3322）
耐衝撃性		塗膜の剥離なし	デュポン式（JIS-G-3322）
促進耐候性 光沢保持率		1000時間 80％以上	サンシャイン試験 （JIS-B-7751）
耐　湿　性		1000時間 平面部のブリスター8F以内	湿潤試験 （JIS-G-3322）
耐沸騰水性		5時間異常なし	JIS-G-3322
耐　食　性		2000時間 平面部のブリスター8F以内	塩水噴霧試験 （JIS-G-3322）
耐　酸　性		24時間 著しいフクレ、変色なし	5％HCl
耐アルカリ性		24時間 著しいフクレ、変色なし	5％NaOH
耐汚染性	黒マジック	少し残る	20℃24時間 エタノール拭き
	青マジック	僅かに残る	

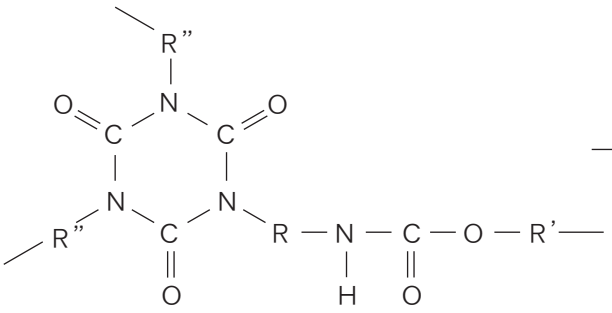
○上表内の値は表面材（外皮）の性能を示します。裏面材の仕様は異なります。
○上表内の値は各試験結果の代表値であり、保証値ではありません。

1−7−2　しん材

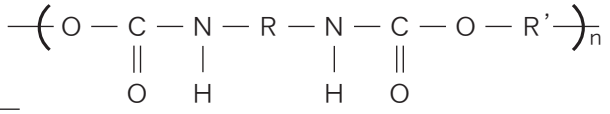
■ポリイソシアヌレートフォーム

断熱ヴァンドGXのしん材に採用しているポリイソシアヌレートフォームは、軽量で高い断熱性能を誇るしん材です。例えば、他の建材と比較すると、断熱ヴァンドGX35／GX35Nの働き幅600㎜（熱貫流率0.73W／m^2K）と同等の断熱性能を得るにはALCパネル（熱伝導率0.17W／mK）の場合、約210㎜の厚さが必要になります。
ポリイソシアヌレートフォームは、ウレタンフォームに比べ、下の構造式が示すようにヌレート結合を有し高温下での寸法安定性がきわめて高いため、耐熱性と耐燃焼性に優れています。
また、自己消火性を有しています。

〔ヌレートフォームの構造式〕



〔ウレタンフォームの構造式〕



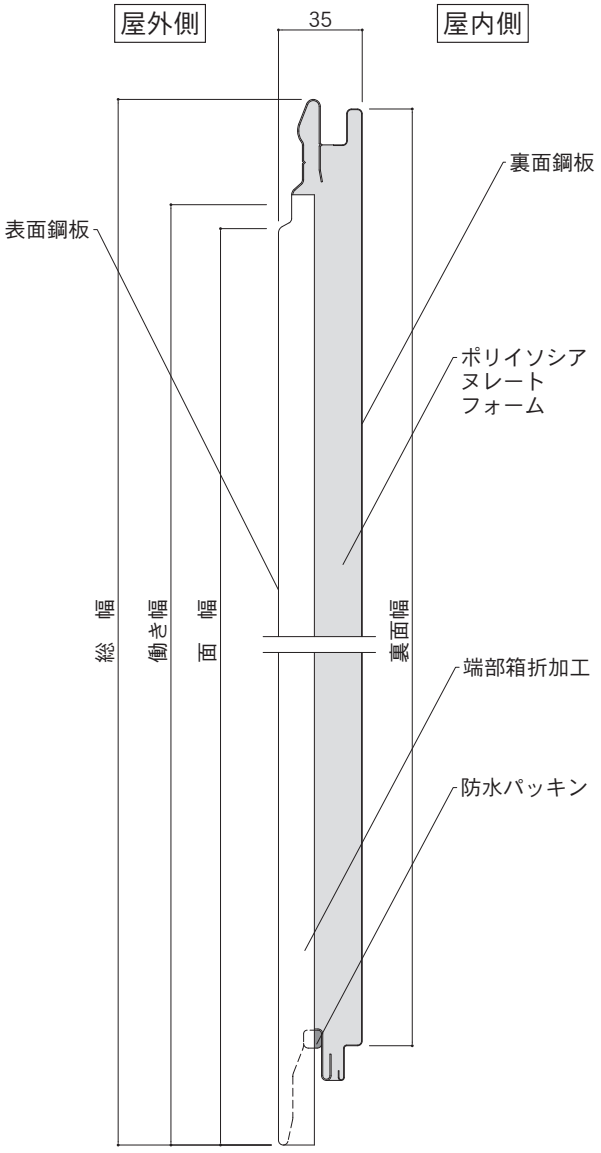
商品仕様
設計のポイント
納まり参考図

2 商品仕様 断熱ヴァンドGX

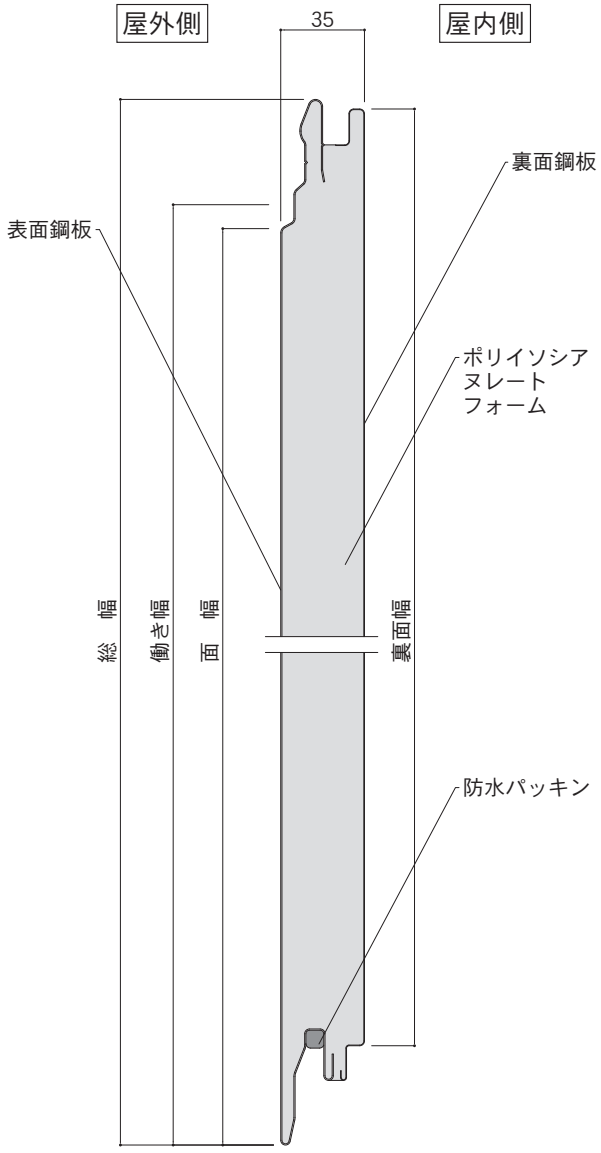
単位：㎜

2－1　本体形状

断熱ヴァンドGX35
断熱ヴァンドGX35E
端部箱折あり



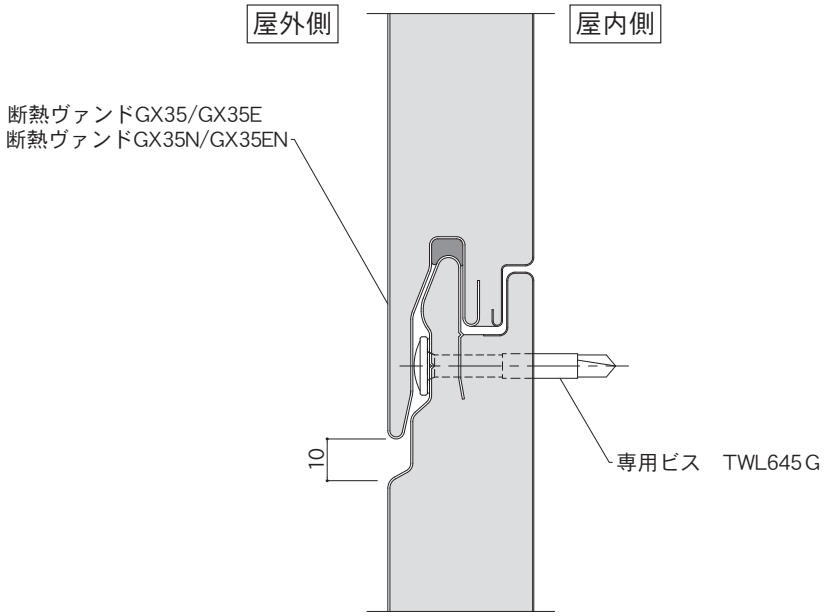
断熱ヴァンドGX35N
断熱ヴァンドGX35EN
端部箱折なし



		断熱ヴァンドGX35	断熱ヴァンドGX35E	断熱ヴァンドGX35N	断熱ヴァンドGX35EN
働き幅(㎜)		600／900	600		
総幅(㎜)		644／944	644		
面幅(㎜)		590／890	590		
裏面幅(㎜)		598／898	598		
端部箱折加工		あり	あり	なし	なし
表面鋼板	板厚(㎜)	0.5	0.35	0.5	0.35
	表面意匠	フラット	エンボス(オーバルⅡ柄)	フラット	エンボス(オーバルⅡ柄)
裏面鋼板	板厚(㎜)	0.27			
	表面意匠	エンボス(カワシボ柄)			

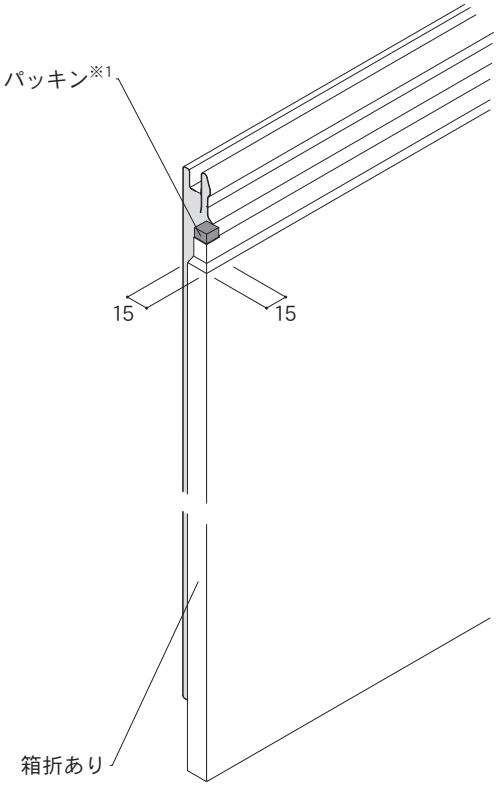
単位：㎜

2－1－1　ジョイント部断面図

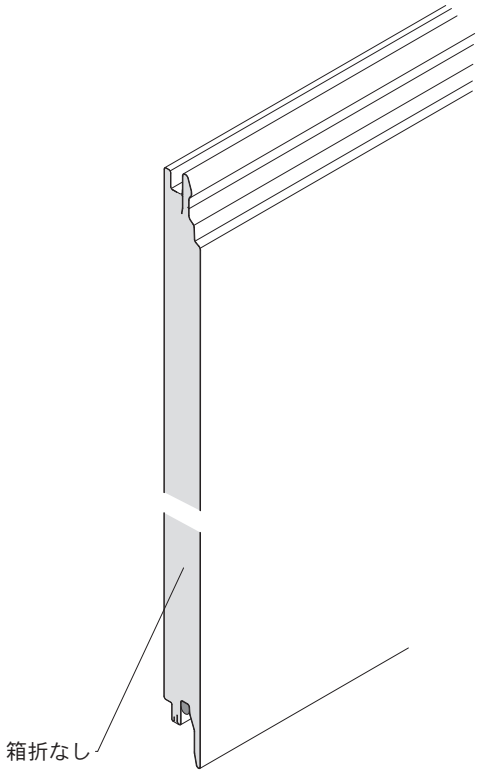


2－1－2　端部箱折加工

断熱ヴァンドGX35
断熱ヴァンドGX35E



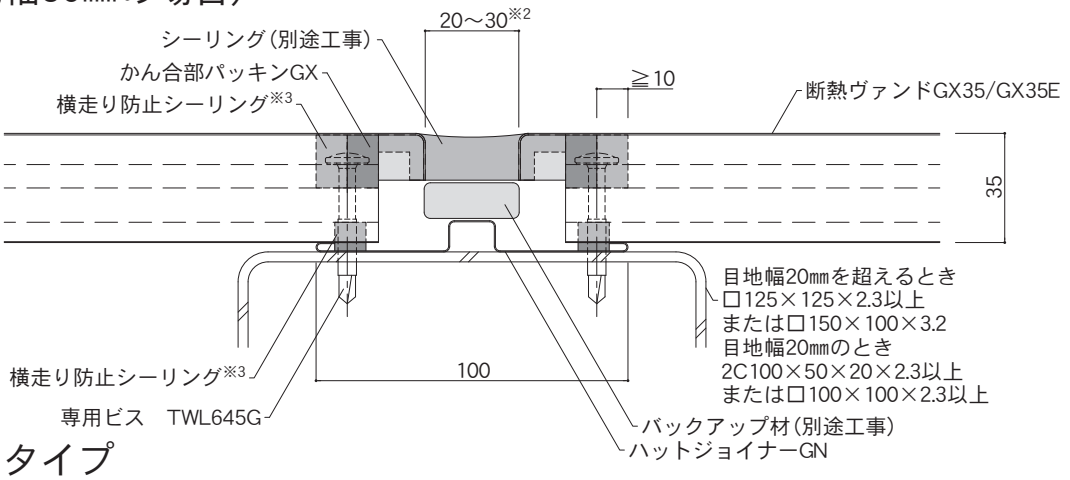
断熱ヴァンドGX35N
断熱ヴァンドGX35EN



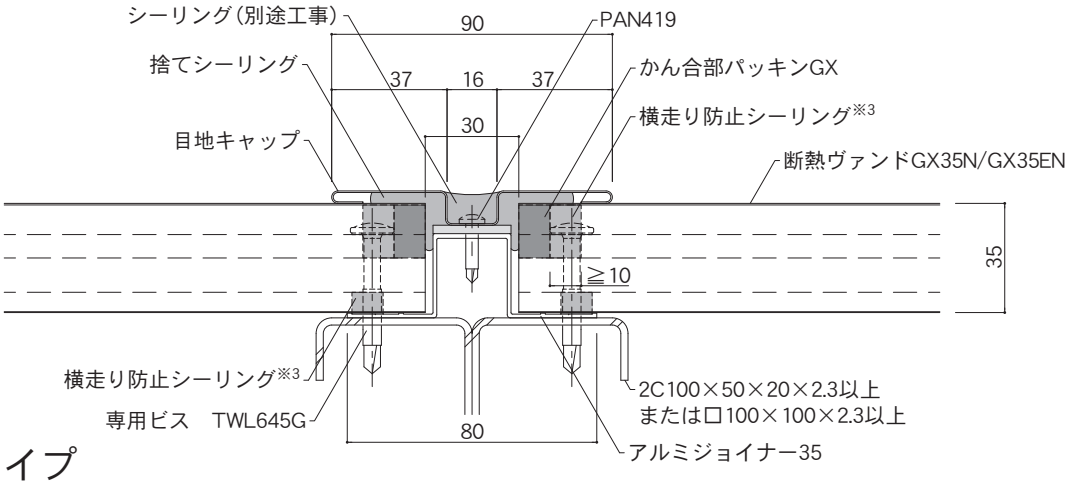
※1　材質：発泡ポリエチレン（熱伝導率＝0.032W/mK[0.028kcal/mh℃]）

2−1−3　よこ張り　たて目地部断面図

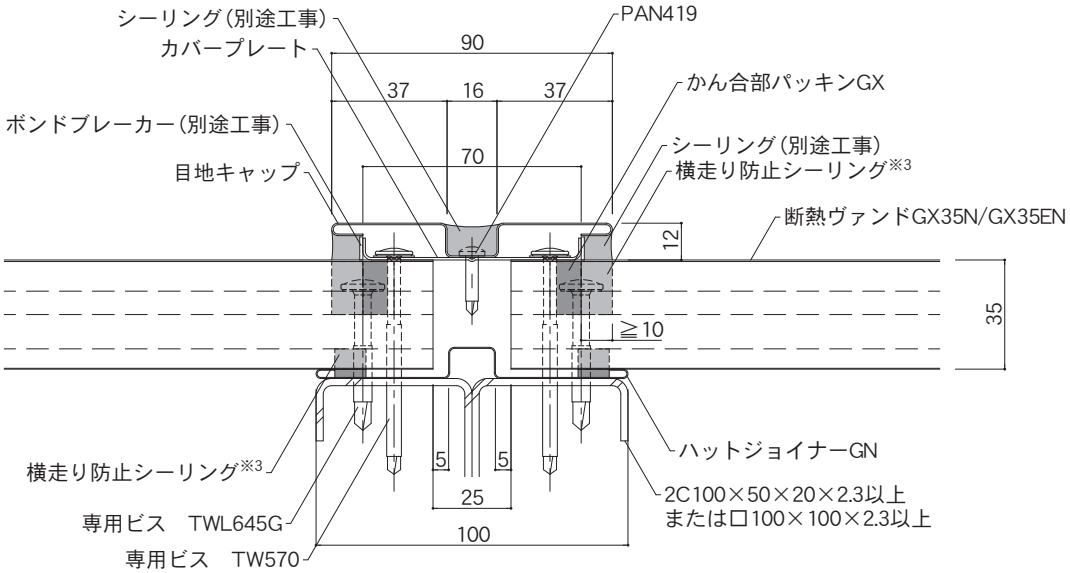
■シーリングタイプ（断熱ヴァンドGX35／GX35Eのみ）
（図は目地幅30㎜の場合）



■フラットタイプ
（図は断熱ヴァンドGX35N／GX35ENの場合）



■ふかしタイプ
（図は断熱ヴァンドGX35N／GX35ENの場合）



※2　シーリングタイプたて目地幅はP54を参照してください。
※3　横走り防止シーリングについてはP118〜P119を参照してください。

○断熱ヴァンドGX35/GX35Eもたて目地をフラットタイプ、ふかしタイプで納めることが可能です（P55〜P56参照）。

単位：㎜

2－1－4　フラットジョイナー＋セラミックファイバー充てん防火構造認定について

■せっこうボード内装張り防火構造について

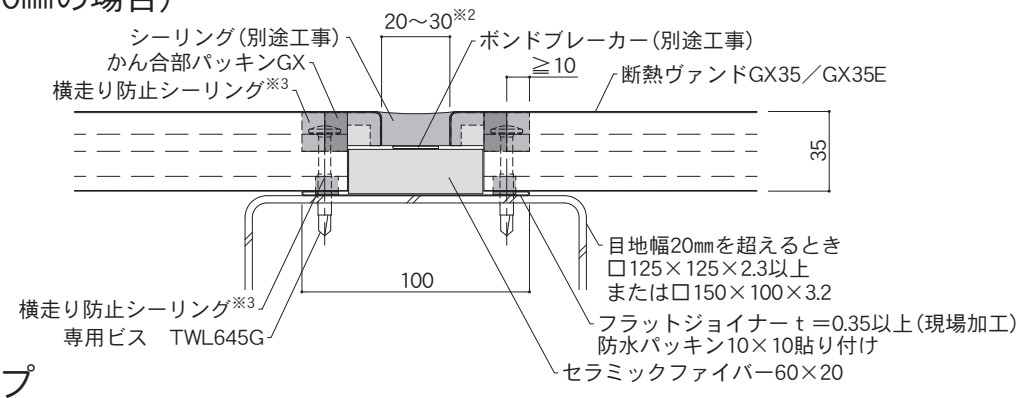
【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194に適合させるには、フラットジョイナー（板厚0.35㎜以上、幅90㎜以上。現場加工）を下地材としセラミックファイバー60×20をたて目地内にすき間なく充てんしてください。パネル本体を施工する際はセラミックファイバー60×20を挟み込まないようにしてください。段差の原因になる場合があります。

●納まり対応表

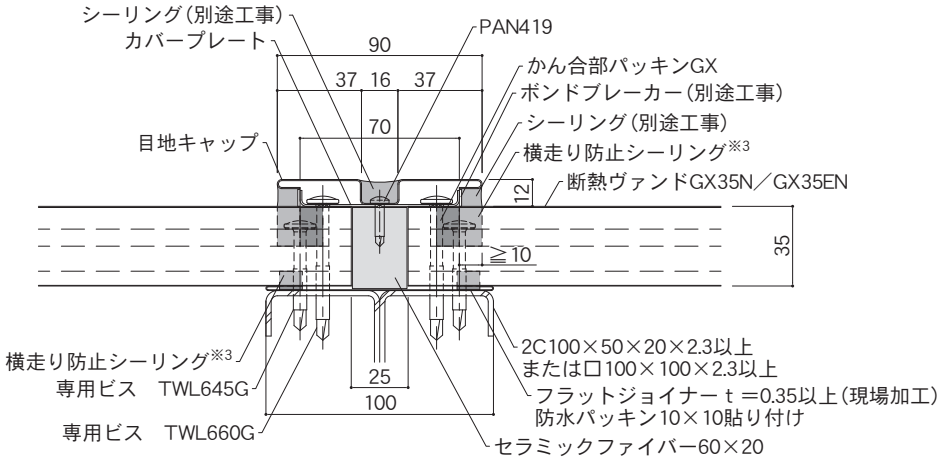
防火構造認定			PC030NE-0191 PC030NE-0192※1		PC030NE-0193 PC030NE-0194※1	
対象商品			断熱ヴァンド GX35 （表面フラット仕様）	断熱ヴァンド GX35N （表面フラット仕様）	断熱ヴァンド GX35E （表面エンボス仕様）	断熱ヴァンド GX35EN （表面エンボス仕様）
張り方向	よこ張り （たて目地部）	シーリングタイプ	○	対応不可	○	対応不可
		フラットタイプ	対応不可	対応不可	対応不可	対応不可
		ふかしタイプ	○	○	○	○
	たて張り		○		○	

注）たて張りのたてつなぎ（中間水切り）部は構造認定の対象外です。
※1　壁内部断熱材充てん仕様。

■シーリングタイプ（断熱ヴァンドGX35／GX35Eのみ）
（図は目地幅30㎜の場合）



■ふかしタイプ
（図は断熱ヴァンドGX35N／GX35ENの場合）



※2　シーリングタイプたて目地幅はP54を参照してください。
※3　横走り防止シーリングについてはP118～P119を参照してください。

○断熱ヴァンドGX35／GX35Eもたて目地をふかしタイプで納めることが可能です（P58参照）。

■せっこうボード下張り防火構造について

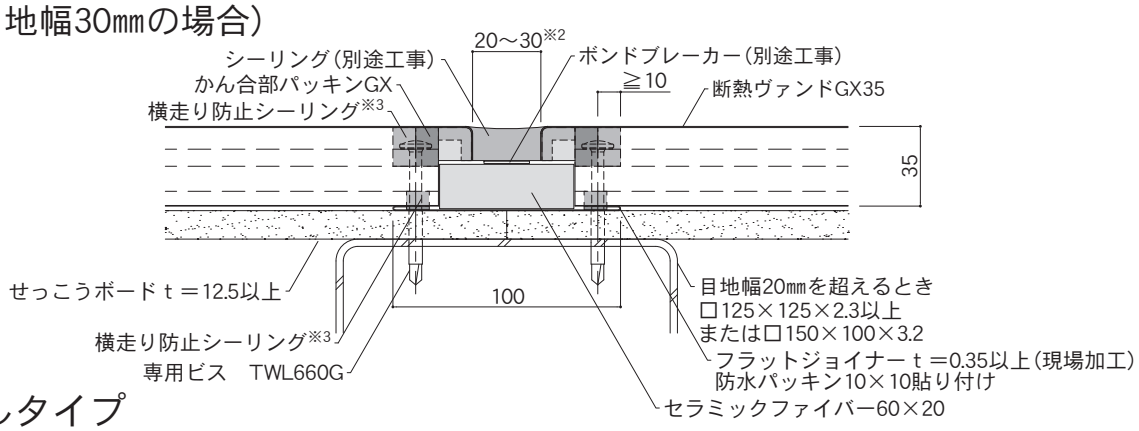
【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0201に適合させるには、外装下地材としてせっこうボード(厚さ12.5㎜以上)を下張りし、フラットジョイナー(板厚0.35㎜以上、幅90㎜以上。現場加工）を下地材としセラミックファイバー60×20をたて目地内にすき間なく充てんしてください。パネル本体を施工する際はセラミックファイバー60×20を挟み込まないようにしてください。段差の原因になる場合があります。

●納まり対応表

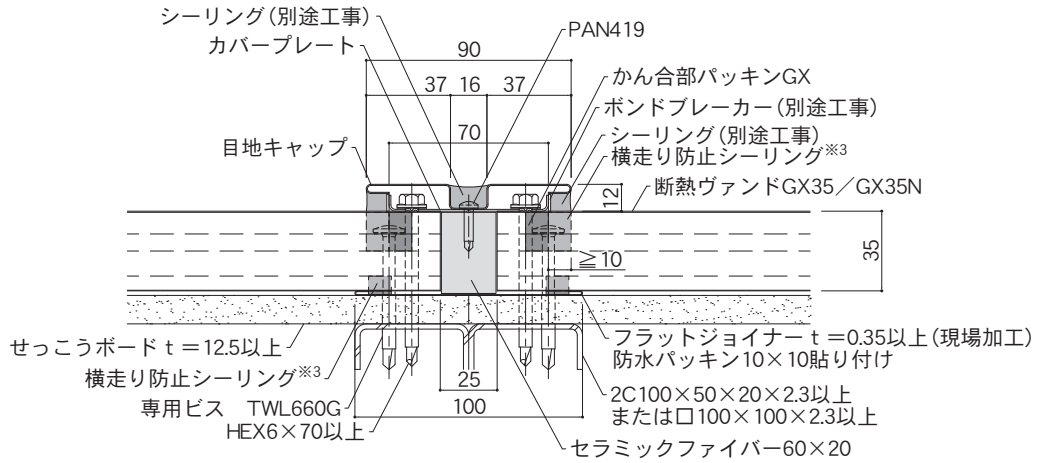
防火構造認定			PC030NE-0201	
対象商品			断熱ヴァンド GX35 (表面フラット仕様)	断熱ヴァンド GX35N (表面フラット仕様)
張り方向	よこ張り (たて目地部)	シーリングタイプ	○	対応不可
		フラットタイプ	対応不可	対応不可
		ふかしタイプ※4	○	○
	たて張り		○	

注）たて張り時のたてつなぎ（中間水切り）部は構造認定の対象外です。
※４　ふかしタイプのカバープレート留め付けビスは、市販品HEX6×70以上を使用してください。

■シーリングタイプ（断熱ヴァンドGX35のみ）
（図は目地幅30㎜の場合）



■ふかしタイプ
（図は断熱ヴァンドGX35Nの場合）



※２　シーリングタイプたて目地幅はP54を参照してください。
※３　横走り防止シーリングについてはP118～P119を参照してください。

○断熱ヴァンドGX35もたて目地をふかしタイプで納めることが可能です(P60参照)。

単位：㎜

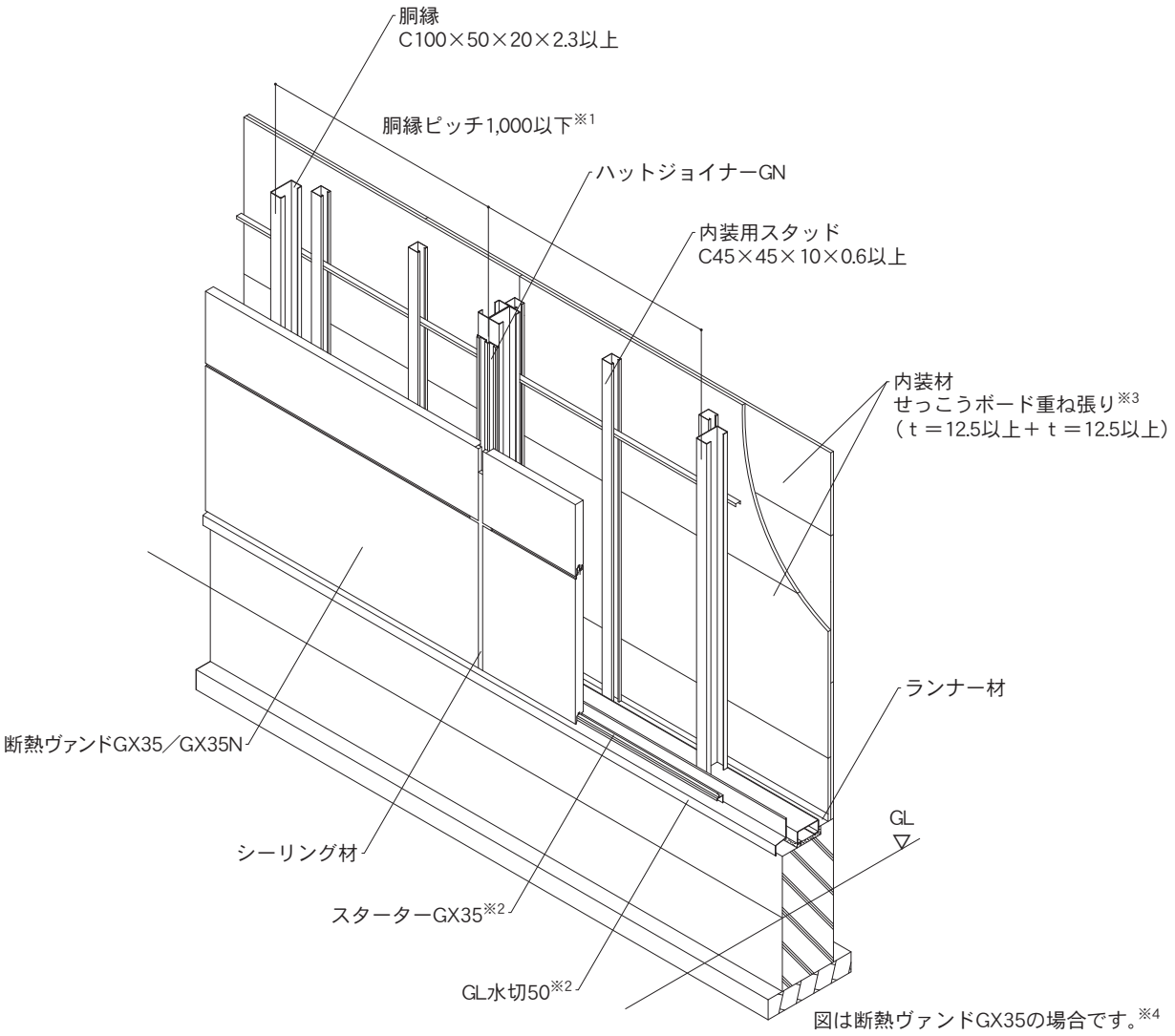
2－2　防耐火構造仕様図

45分準耐火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

QF045NE−0024	せっこうボード内装重ね張り

よこ張りのみ対応



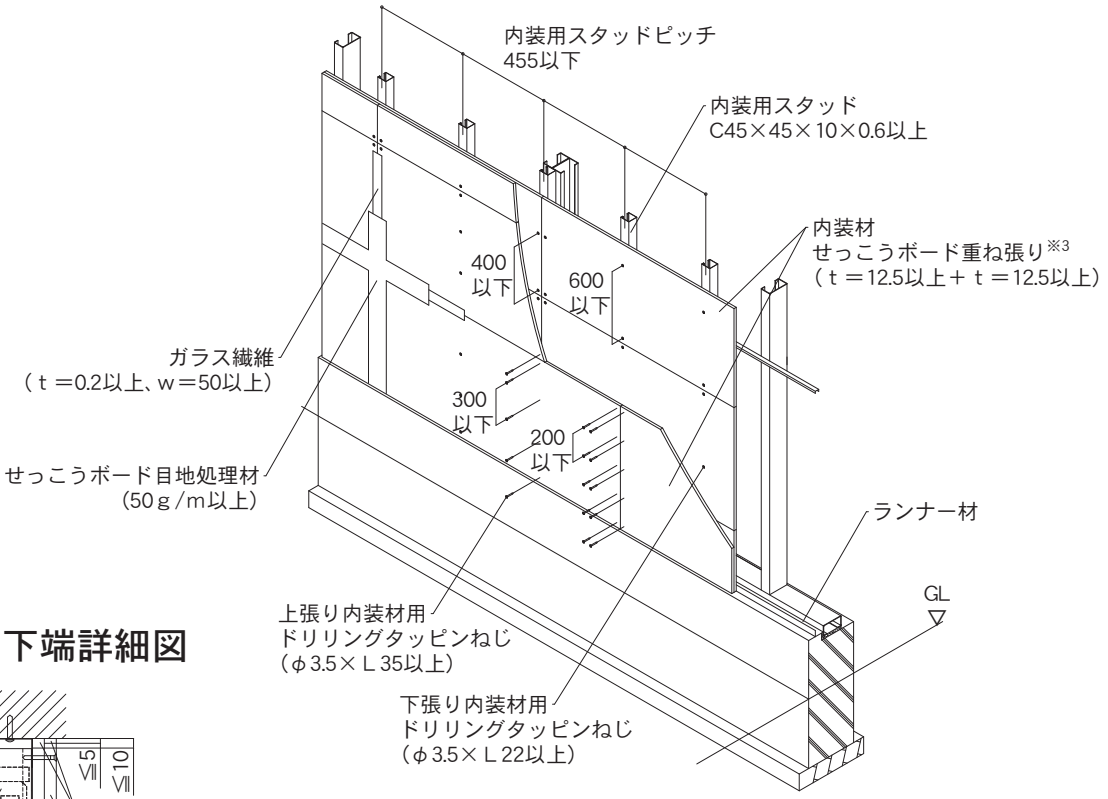
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
※4　断熱ヴァンドGX35Nは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
　本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

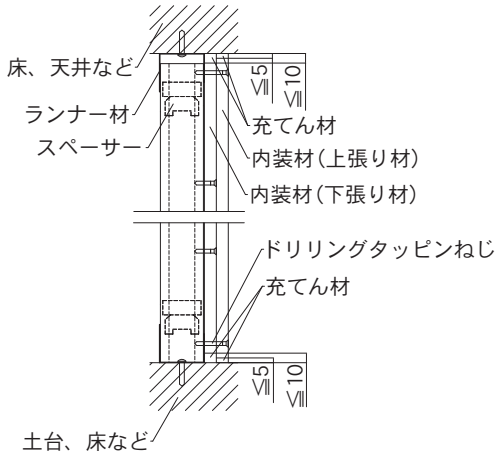
単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装重ね張り〕

（内装側から見たせっこうボード施工方法）



スタッド上下端詳細図



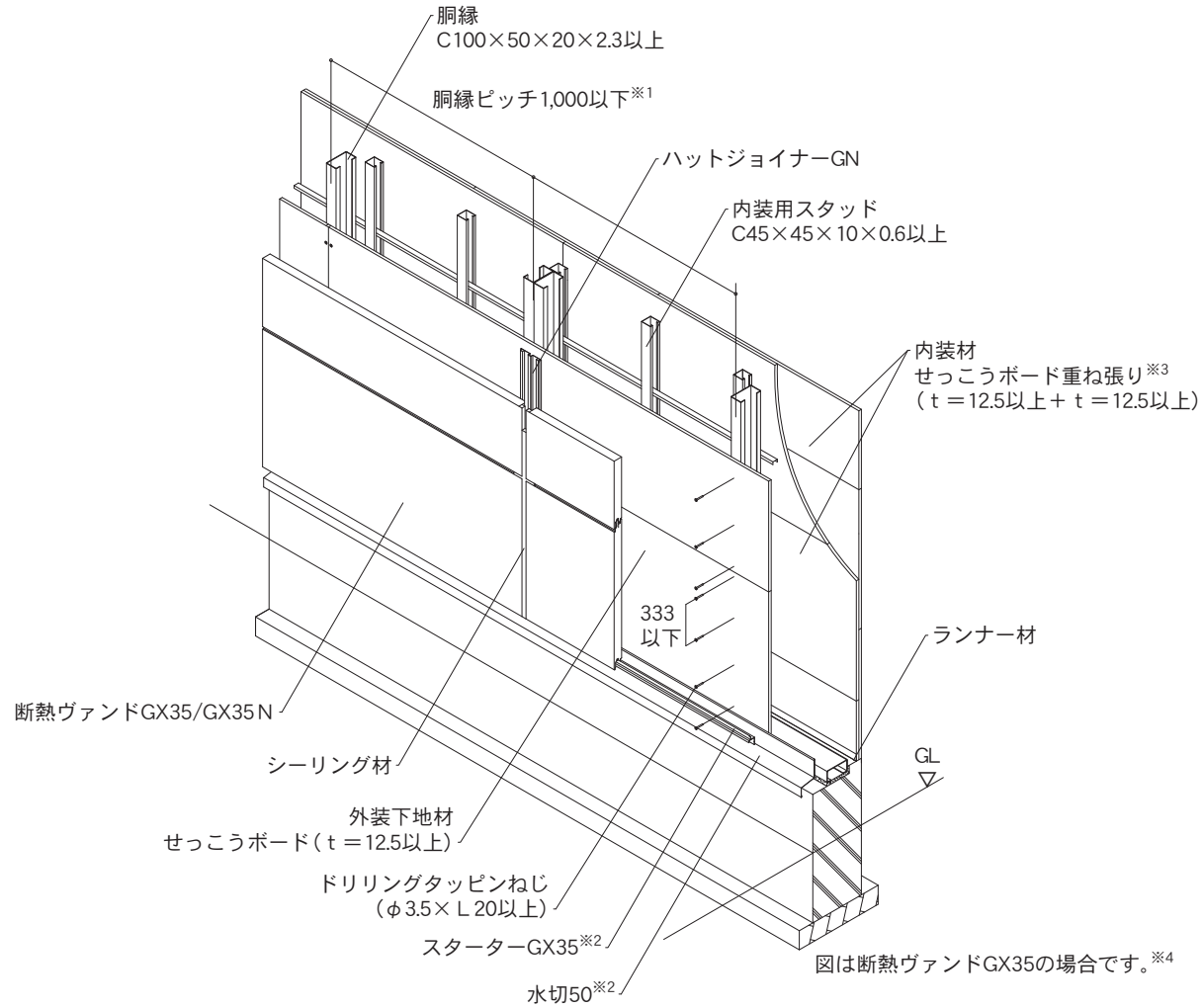
・下張り用内装材上部の目透し部には、充てん材（ロックウールフェルトなどで厚さ10㎜×幅10㎜密度0.22g／cm³以上）を先に貼り付けてください。その他の目透し部には、必要に応じて充てん材を充てんしてください。
・下張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L22以上）を用いて、外周部400㎜以下、中間部600㎜以下の間隔で留め付けてください。床、天井などの取り合い部の目透し幅は10㎜以下とし、充てん材との間にすき間が生じないようにしてください。
・上張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L35以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で留め付けてください。床、天井などの取り合い部の目透し幅は5㎜以下としてください。
・上張り用内装材の目地部には、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード用目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので50g／m以上）を施してください。

45分準耐火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

QF045NE−0025	せっこうボード下張り+内装重ね張り

よこ張りのみ対応



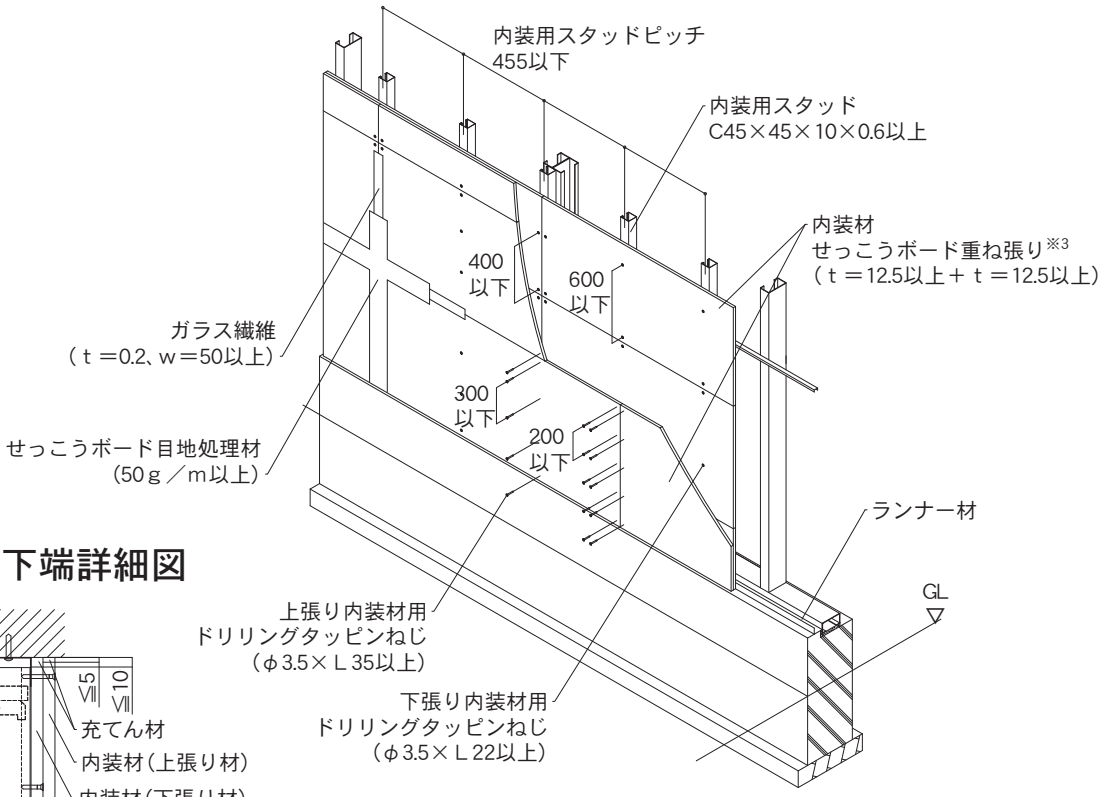
・外装下地材は、せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L20以上）を用いて、333㎜以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
※4　断熱ヴァンドGX35Nは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

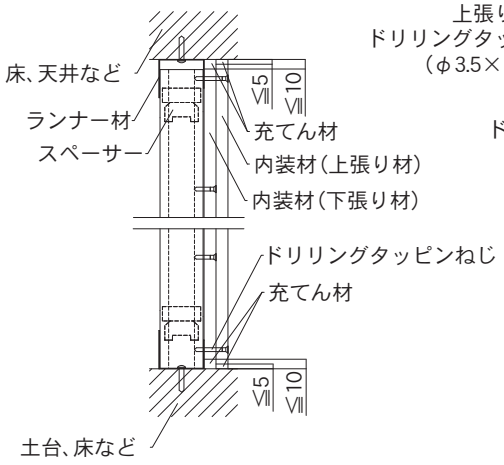
〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装重ね張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）



スタッド上下端詳細図



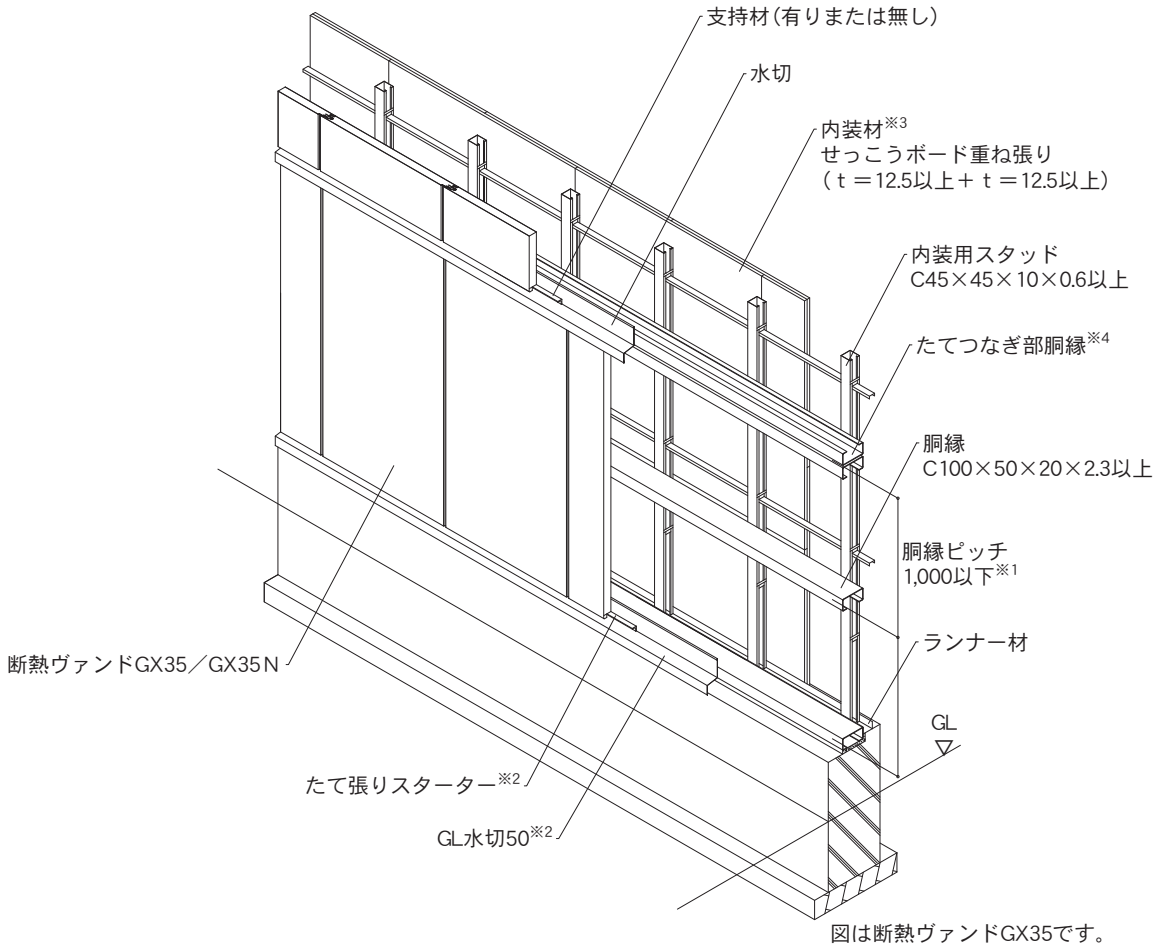
・下張り用内装材上部の目透し部には、充てん材（ロックウールフェルトなどで厚さ10㎜×幅10㎜密度0.22g／cm³以上）を先に貼り付けてください。その他の目透し部には、必要に応じて充てん材を充てんしてください。
・下張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L22以上）を用いて、外周部400㎜以下、中間部600㎜以下の間隔で留め付けてください。床、天井などの取り合い部の目透し幅は10㎜以下とし、充てん材との間にすき間が生じないようにしてください。
・上張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L35以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で留め付けてください。床、天井などの取り合い部の目透し幅は5㎜以下としてください。
・上張り用内装材の目地部には、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード用目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので50g／m以上）を施してください。

45分準耐火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

QF045NE−0037	せっこうボード内装重ね張り

たて張りのみ対応

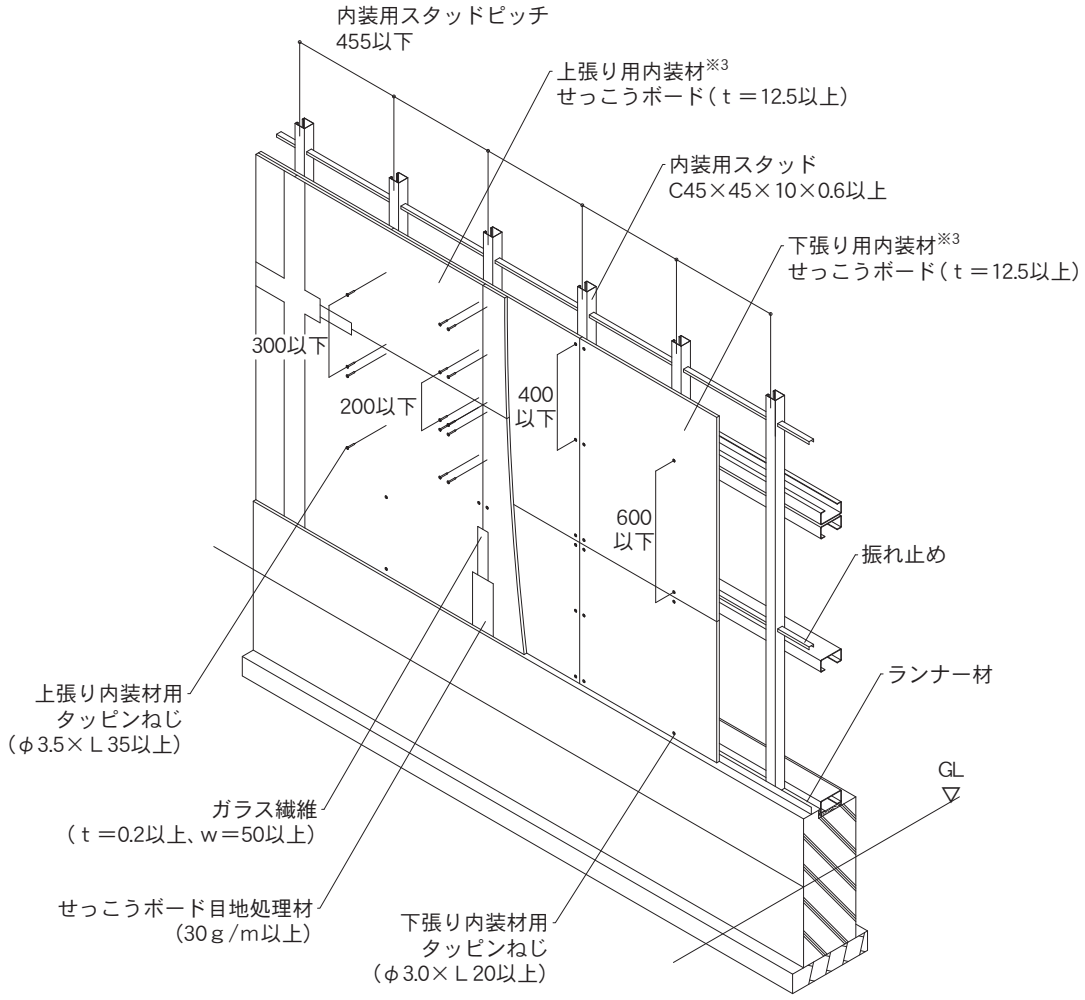


(注)　この認定は、たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　認定の対象外です。
※3　下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
※4　たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は30㎜以下としてください。

○パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装重ね張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）



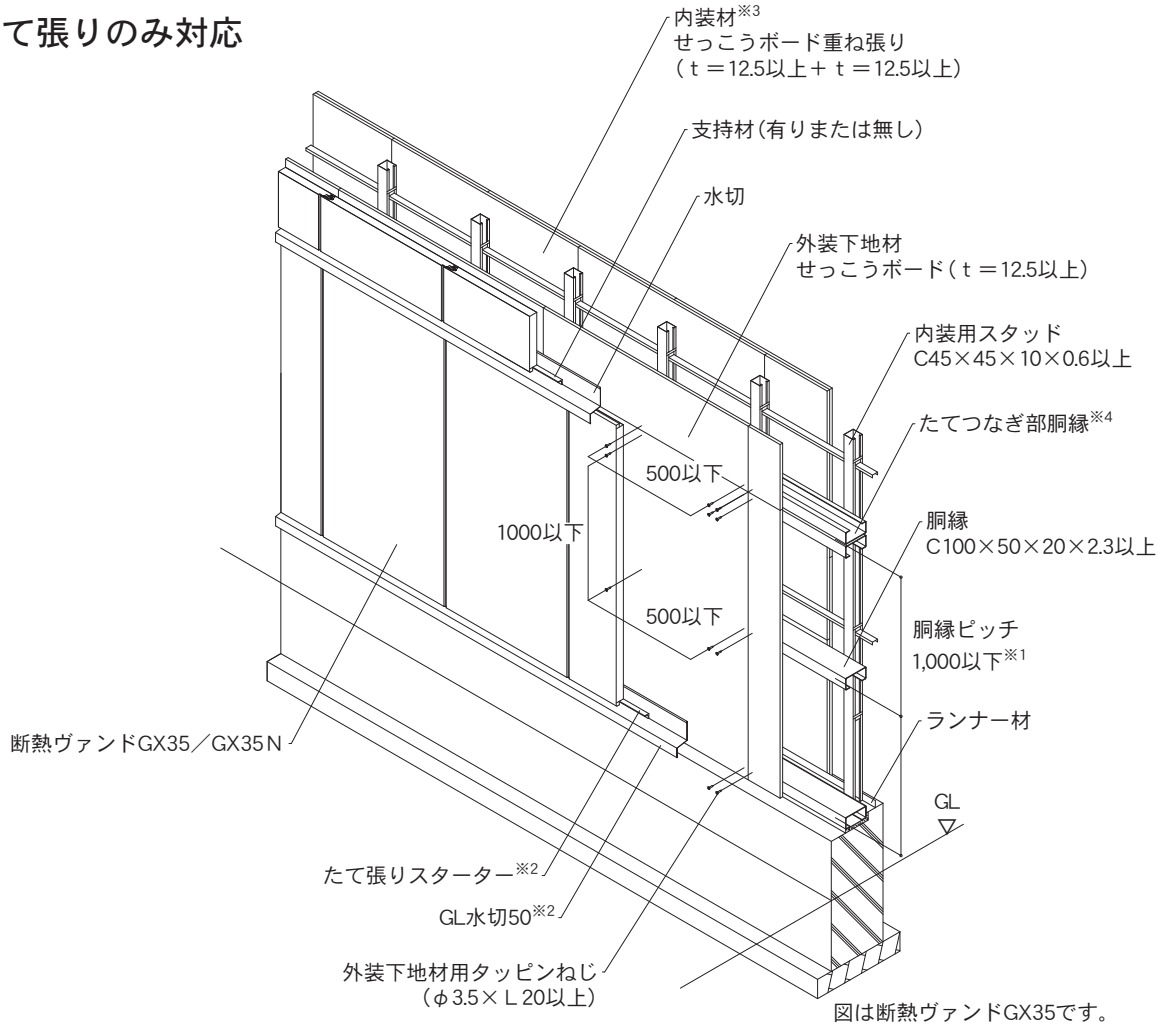
・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
・下張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ3.0×L20以上）を用いて、外周部400㎜以下、中間部600㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・上張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ3.5×L35以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・上張り用内装材の目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

45分準耐火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

QF045NE−0039	せっこうボード下張り＋内装重ね張り

たて張りのみ対応



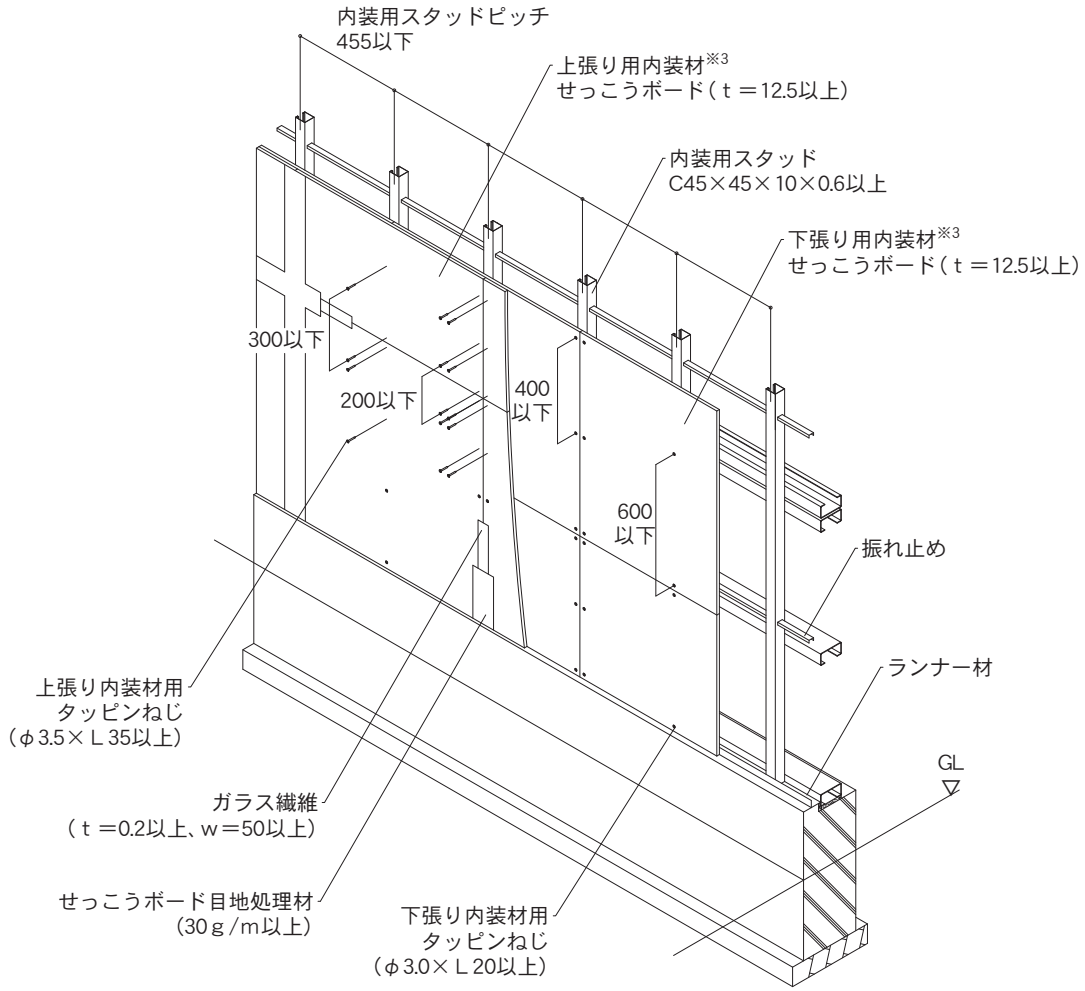
・外装下地材は、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ3.5×L20以上）を用いて、500㎜以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

(注) この認定は、たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　認定の対象外です。
※3　下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
※4　たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は30㎜以下としてください。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装重ね張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）



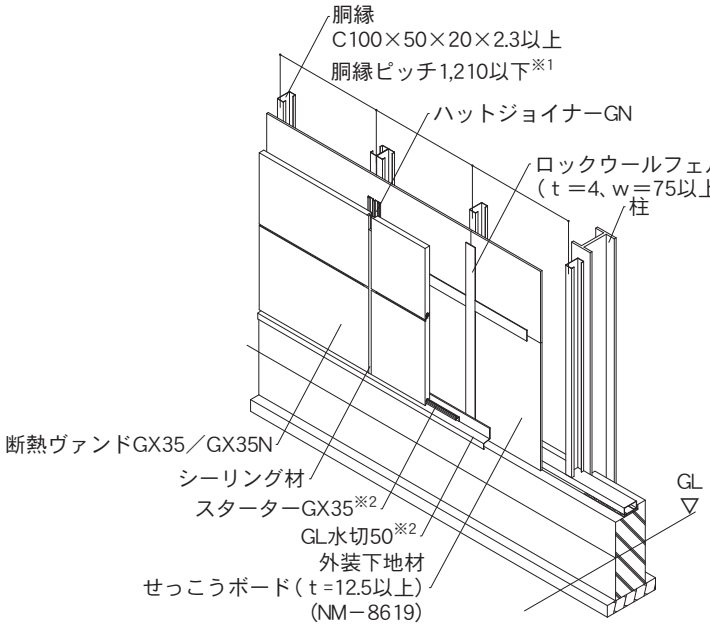
・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
・下張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ3.0×L20以上）を用いて、外周部400㎜以下、中間部600㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・上張り用内装材は、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ3.5×L35以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・上張り用内装材の目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

防火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

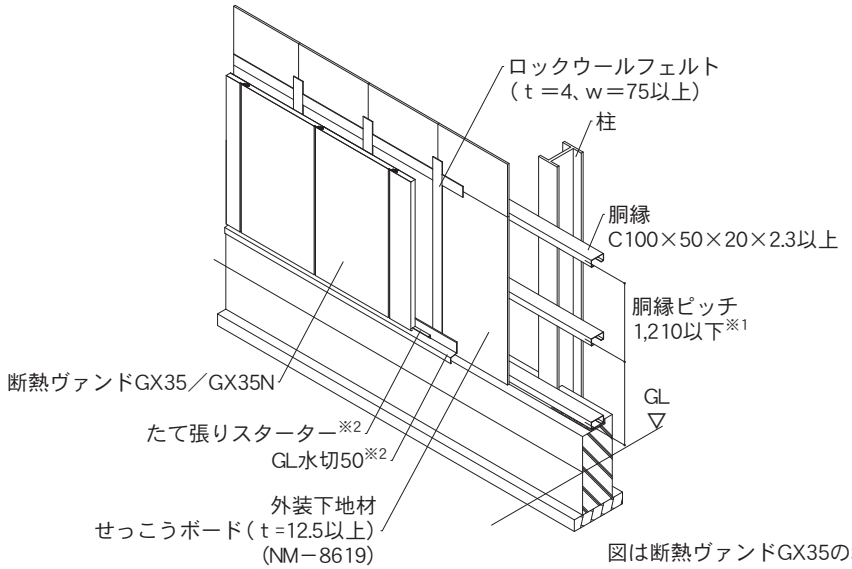
PC030NE−0122	せっこうボード下張り

よこ張り



図は断熱ヴァンドGX35の場合です。※3

たて張り



図は断熱ヴァンドGX35の場合です。

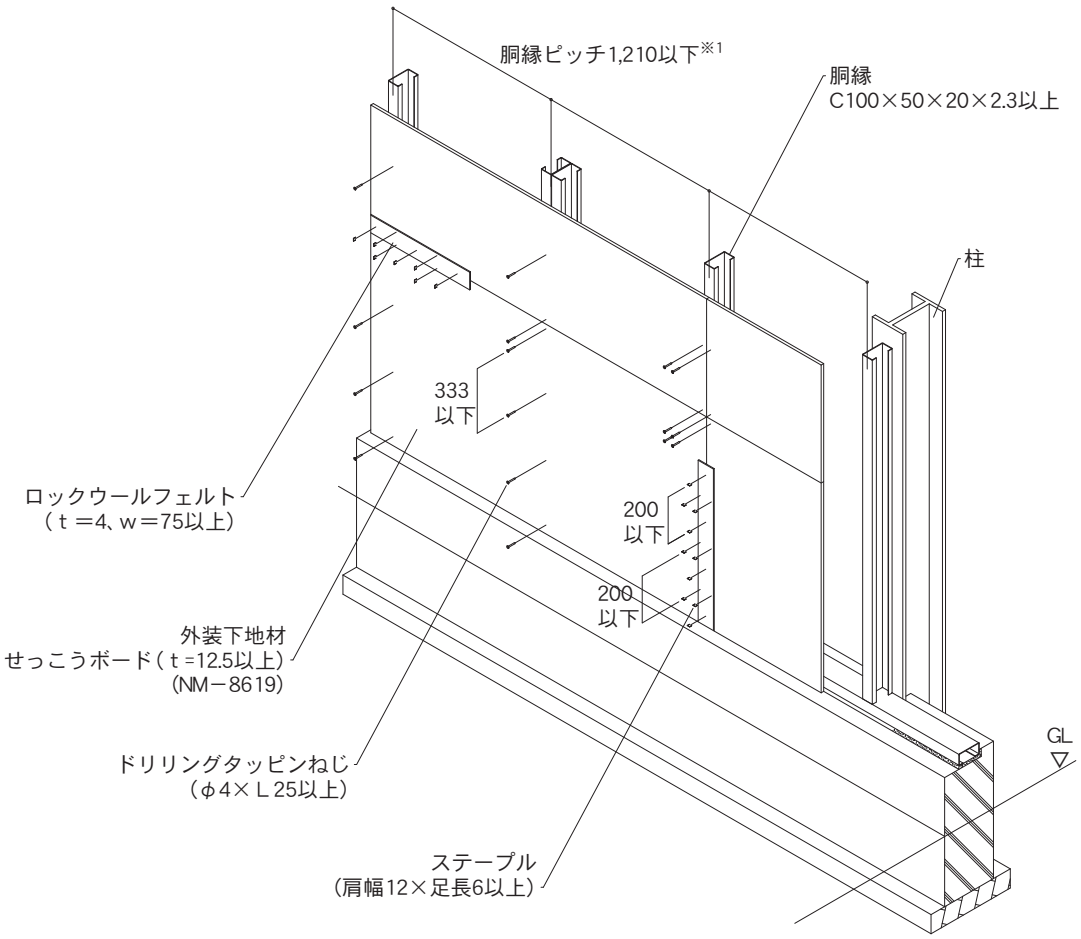
(注)たて張り時のたてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　断熱ヴァンドGX35Nは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

○パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード下張り〕

（外装側から見たせっこうボード施工方法）



○図はせっこうボードをよこ張りした場合です。

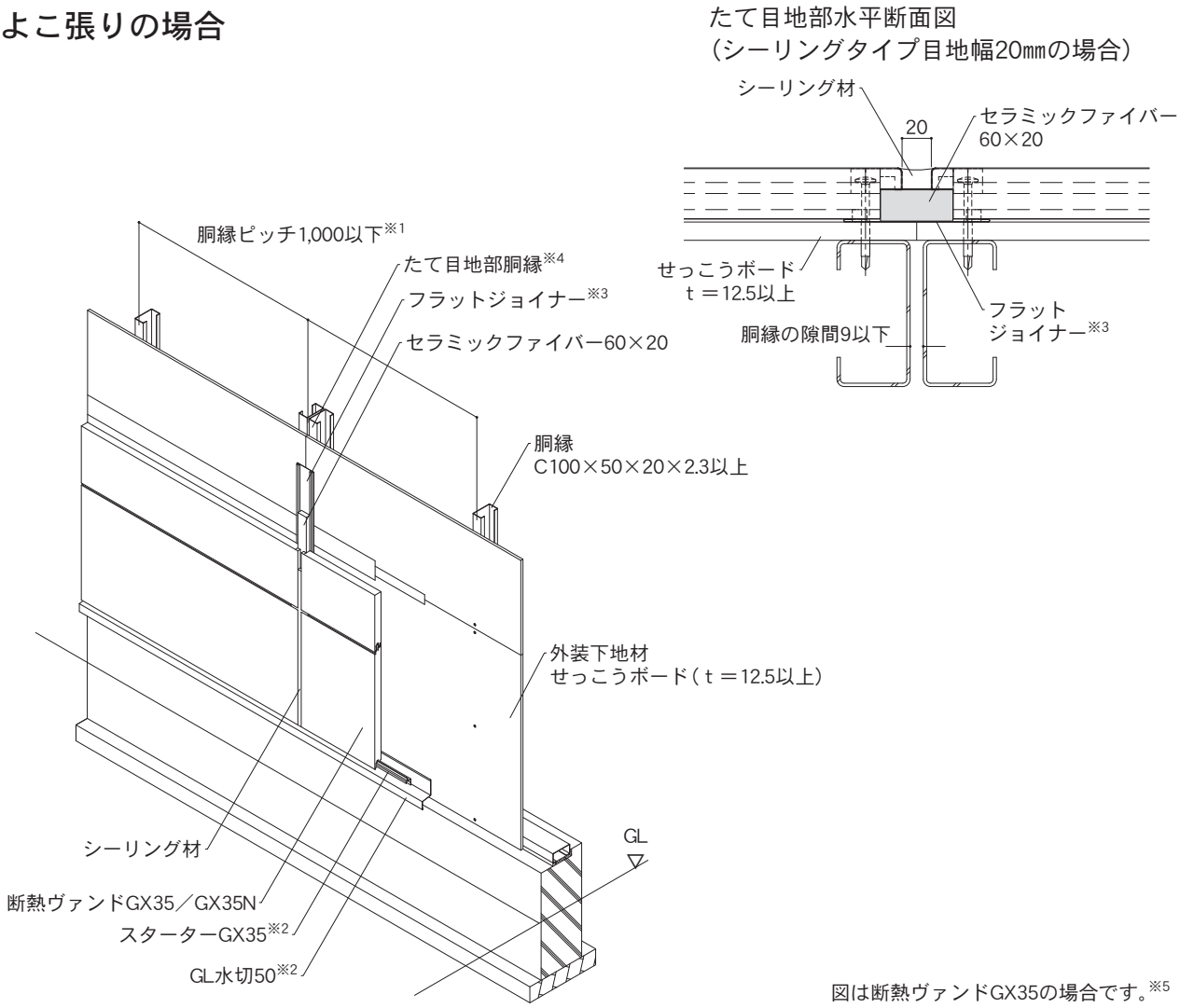
・せっこうボード（NM−8619）12.5㎜以上を、ドリリングタッピンねじ（φ4×L25以上）を用いて333㎜以下の間隔で胴縁に取り付けてください。
・せっこうボードの目地部にはロックウールフェルト系テープ（厚さ4㎜×幅75㎜以上、密度190kg／m^3以上）を貼り付け、ステープル（肩幅12㎜×足長6㎜以上）で取り付けてください（中央200㎜以下の間隔、その間でフェルトの両端に各1本）。
・ロックウールフェルトが交差する所は、不陸の原因になりますので、重ね張りしないでください。

防火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0201	せっこうボード下張り

よこ張りの場合



図は断熱ヴァンドGX35の場合です。※5

【注意 !! 】 この認定には、フラットジョイナー（現場加工）が必要です。ハットジョイナーGN、アルミジョイナー35は使用できません。また、たて目地内部にはセラミックファイバー60×20が必要です。

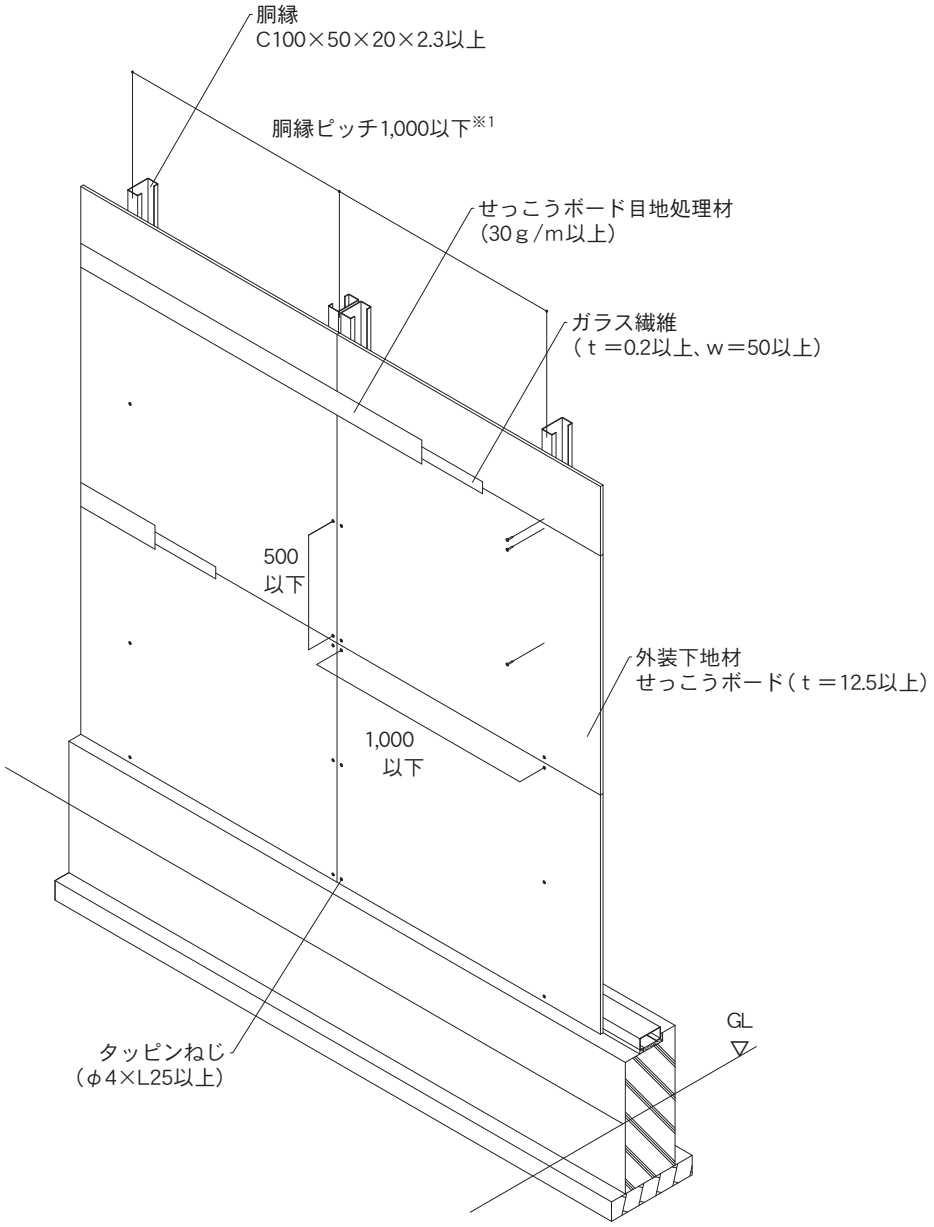
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　たて目地部下地材はフラットジョイナー限定です。フラットジョイナーは現場加工になります。
※4　たて目地部胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は30㎜以下としてください。
※5　断熱ヴァンドGX35Nは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード下張り〕

（外装側から見たせっこうボード施工方法）



図は外装下地材をよこ張りした場合です。

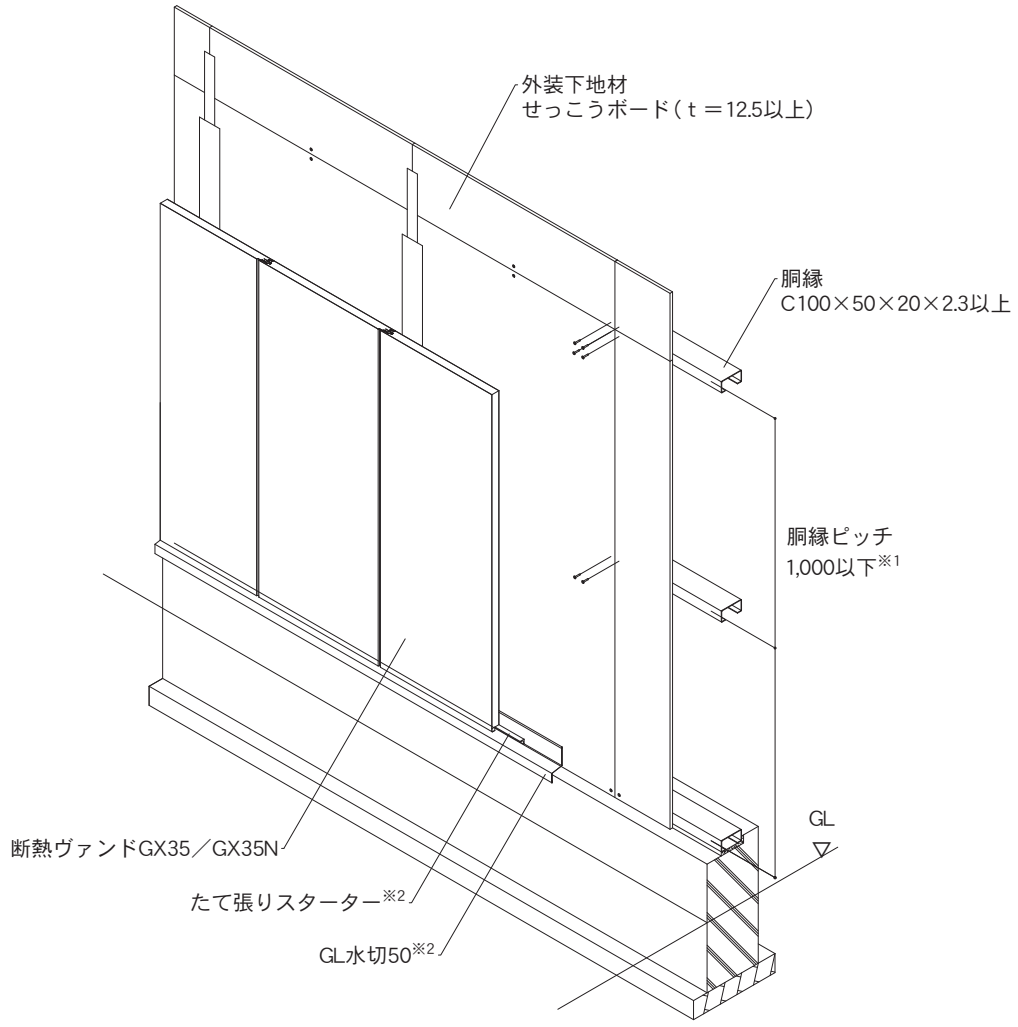
・外装下地材に、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ4×L25以上）を用いて、よこ方向1,000㎜以下 たて方向500㎜以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
・せっこうボードのよこ目地部に、ガラス繊維（ｔ＝0.2㎜以上、ｗ＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30ｇ/m以上）を施してください。

防火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0201	せっこうボード下張り

たて張りの場合



図は断熱ヴァンドGX35の場合です。

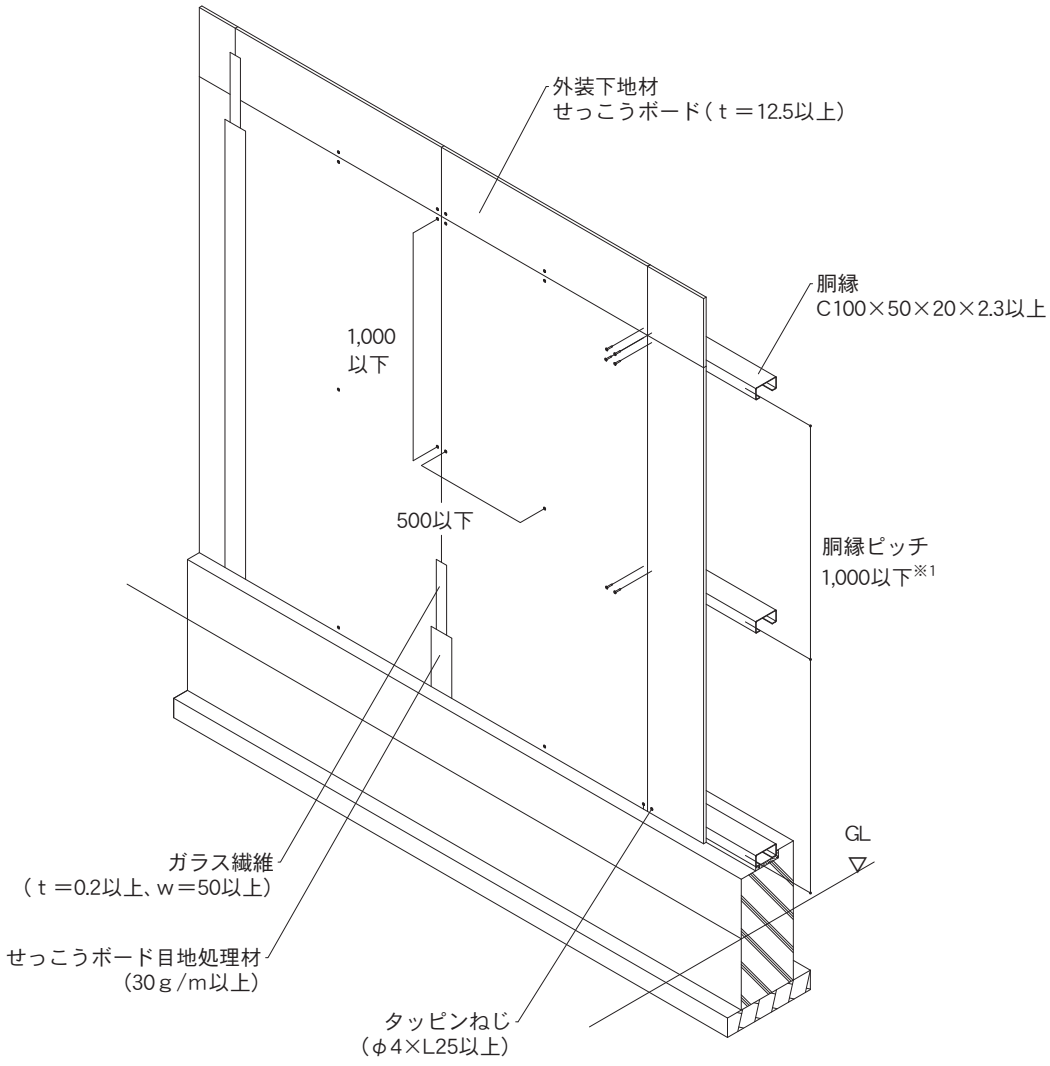
(注) たて張り時のたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。
※１　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※２　土台部は認定の対象外です。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード下張り〕

（外装側から見たせっこうボード施工方法）



図は外装下地材をたて張りした場合です。

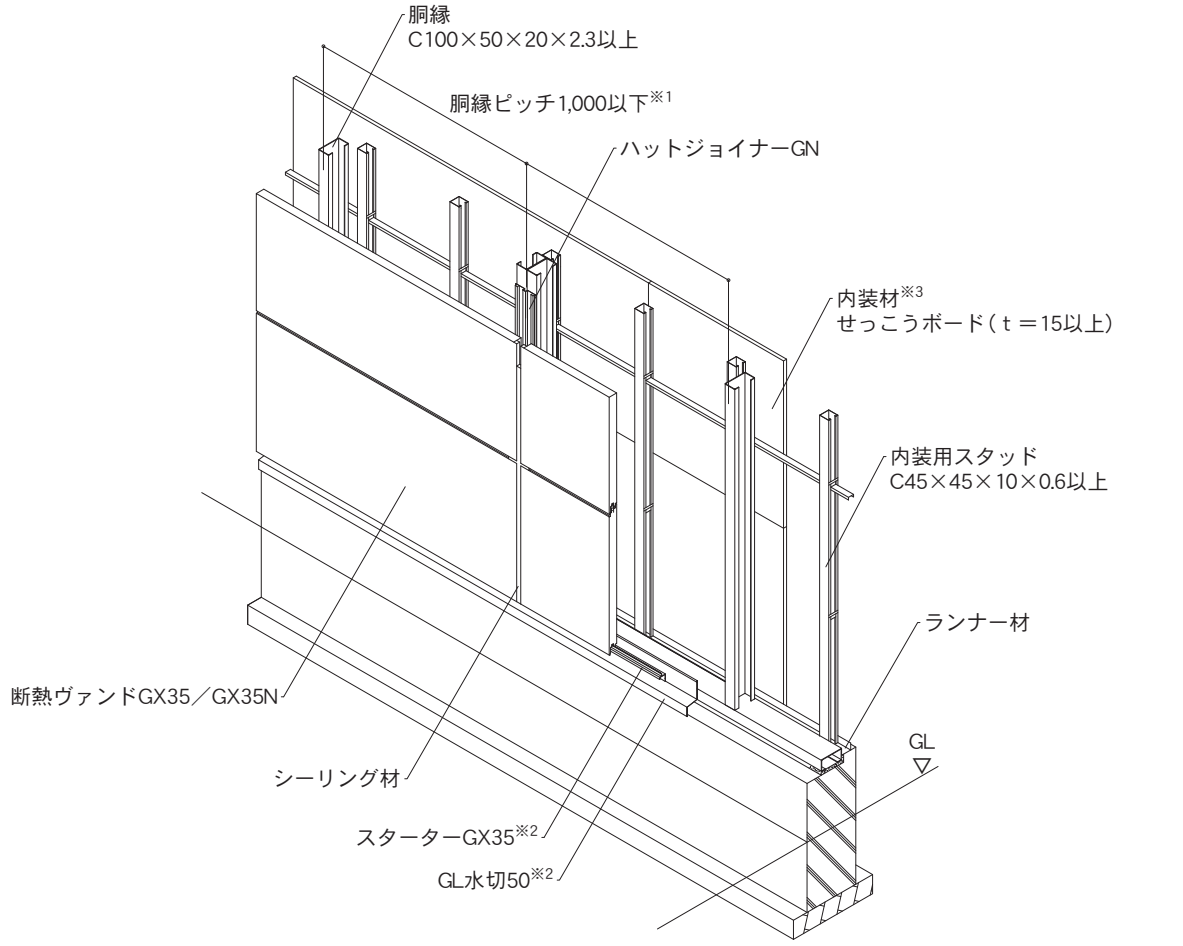
・外装下地材に、せっこうボード12.5㎜以上をタッピンねじ（φ4×L25以上）を用いて、たて方向1,000㎜以下 よこ方向500㎜以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
・せっこうボードのたて目地部に、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

防火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0136	せっこうボード内装張り

よこ張りのみ対応



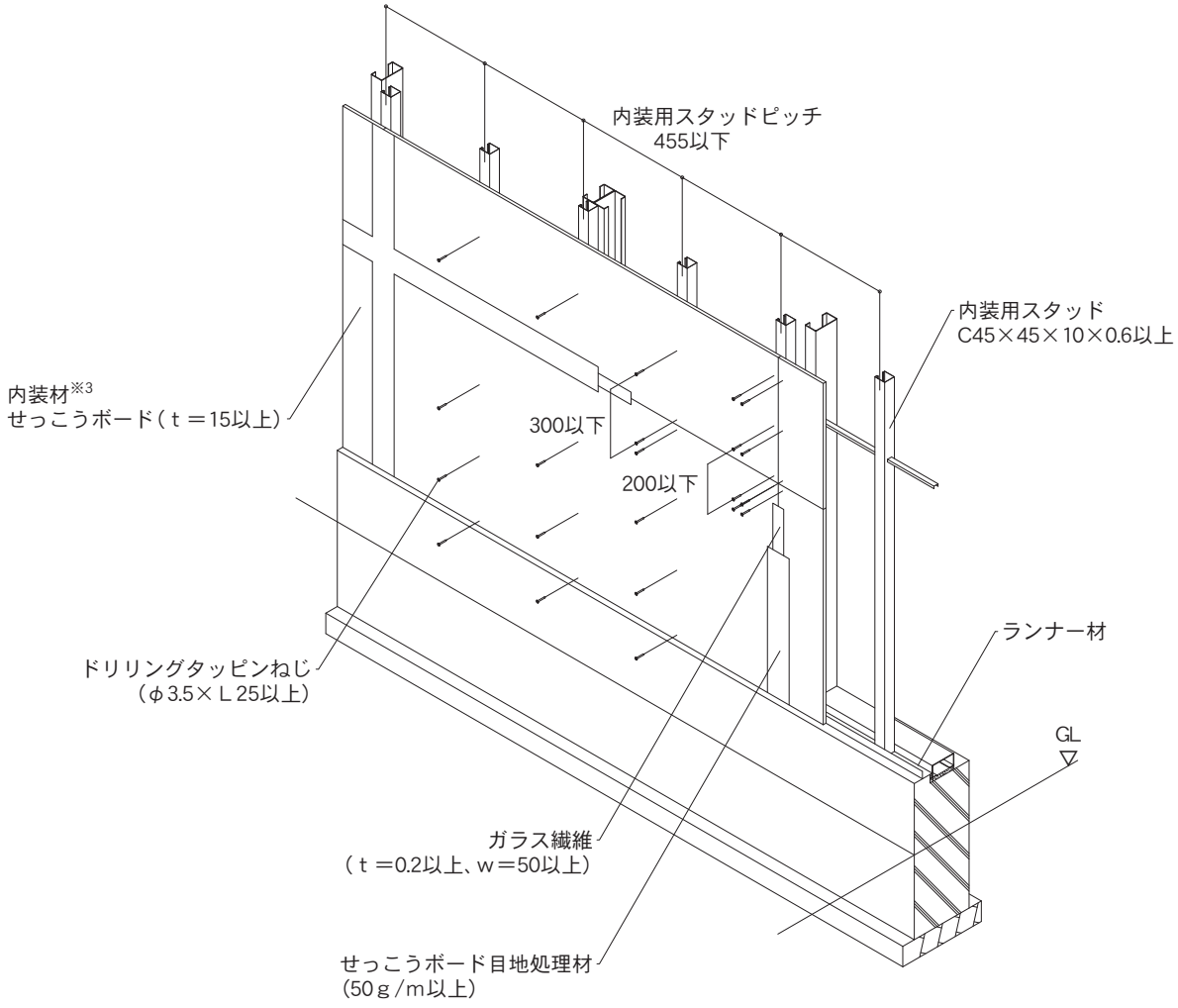
図は断熱ヴァンドGX35の場合です。※4

※１　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※２　土台部は認定の対象外です。
※３　内装材は、せっこうボード（9.5㎜以上+12.5㎜以上）の重ね張りも可能です。
※４　断熱ヴァンドGX35Nは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）



・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・せっこうボード15㎜以上（9.5㎜以上＋12.5㎜以上の重ね張りも可能）をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L25以上）を用いて内装用スタッドに留め付けてください。留め付け間隔は、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下としてください。
・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード用目地処理材（50g／m以上）を施してください。
・せっこうボードを重ね張りする場合は別途、認定書をご確認ください。

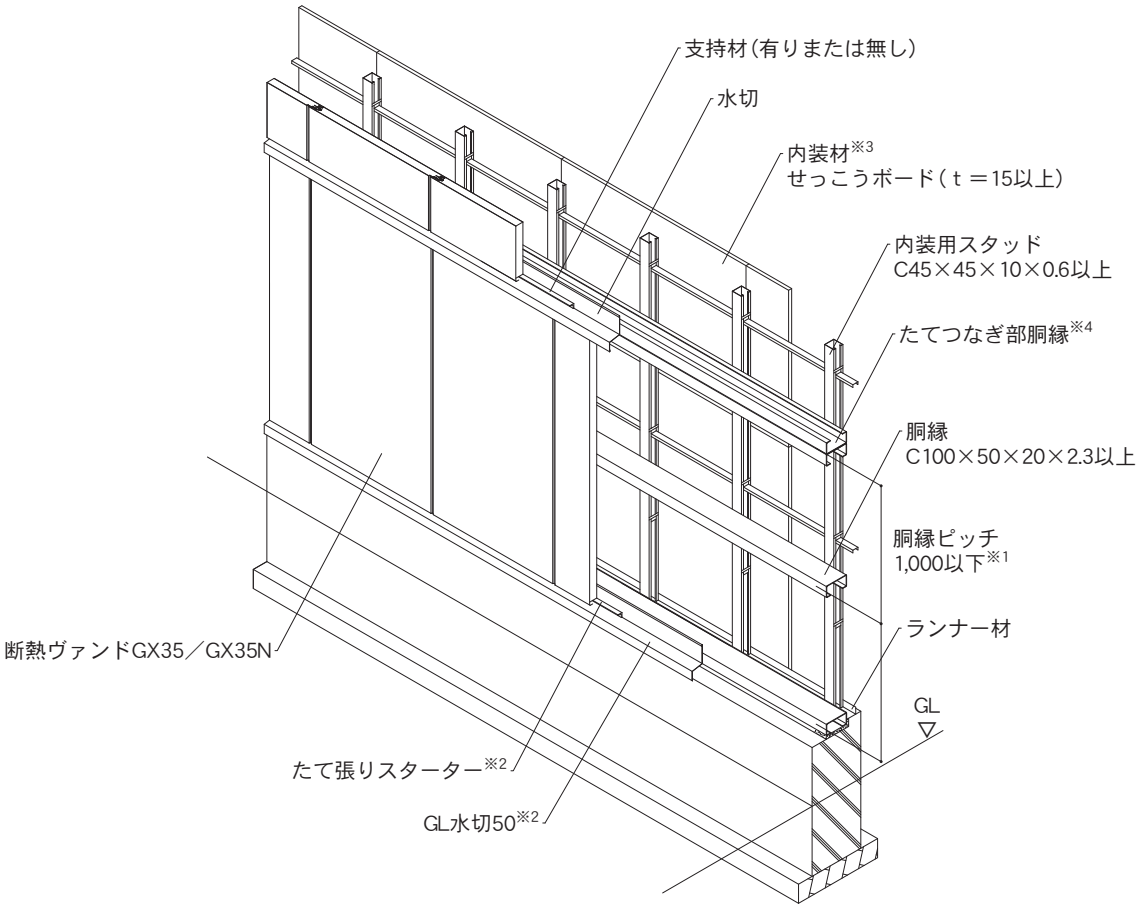
単位：㎜

防火構造(外壁非耐力壁)：断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0177	せっこうボード内装張り

たて張りのみ対応



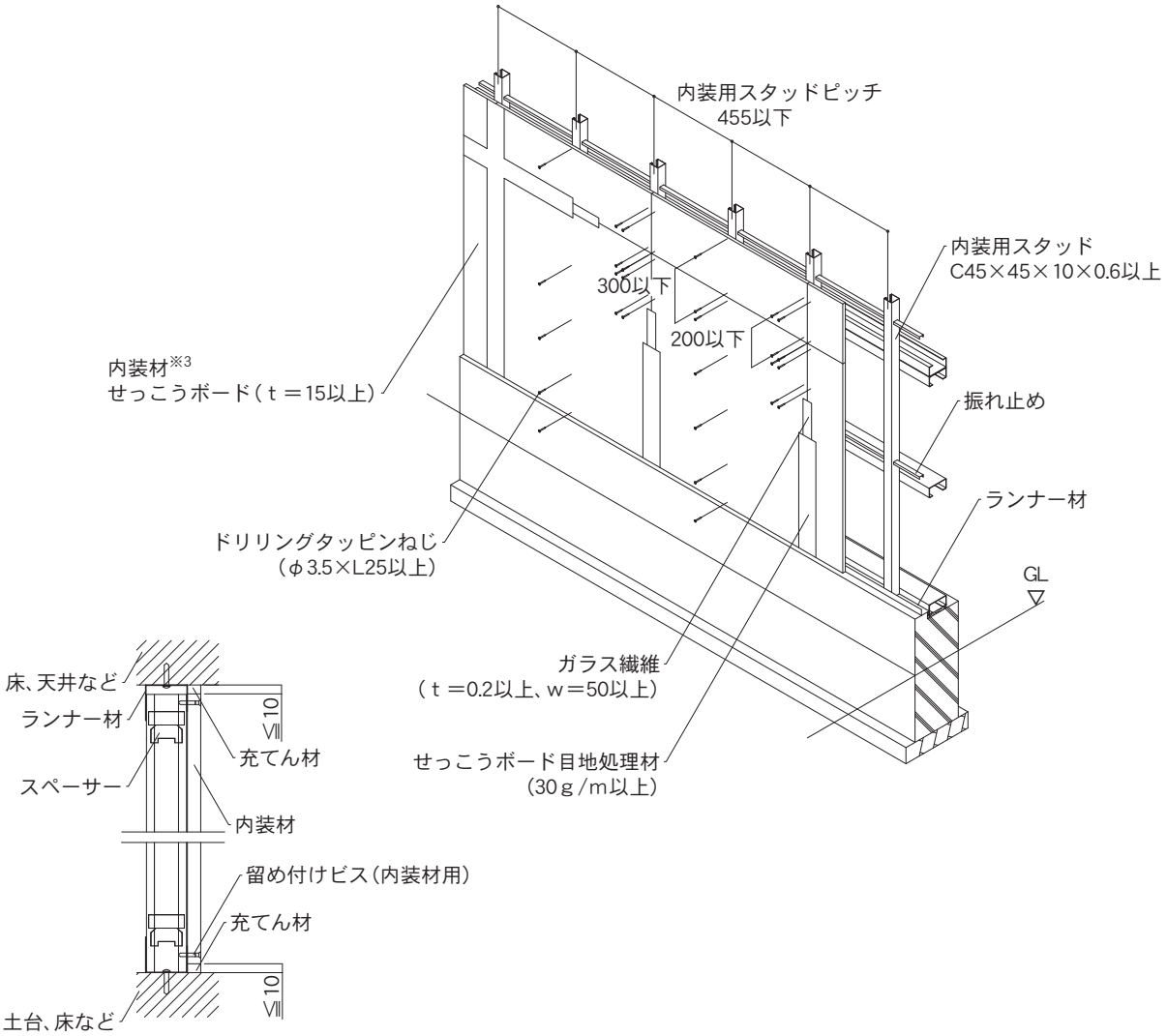
図は断熱ヴァンドGX35の場合です。

(注)この認定は、たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　内装材は、せっこうボード（9.5㎜以上+12.5㎜以上）の重ね張りも可能です。
※4　たてつなぎ（中間水切）部の胴縁は2C100×50×20×2.3以上または、□100×100×2.3以上としてください。また、パネル上下間の取り付け間隔は30㎜以下としてください。

○パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）



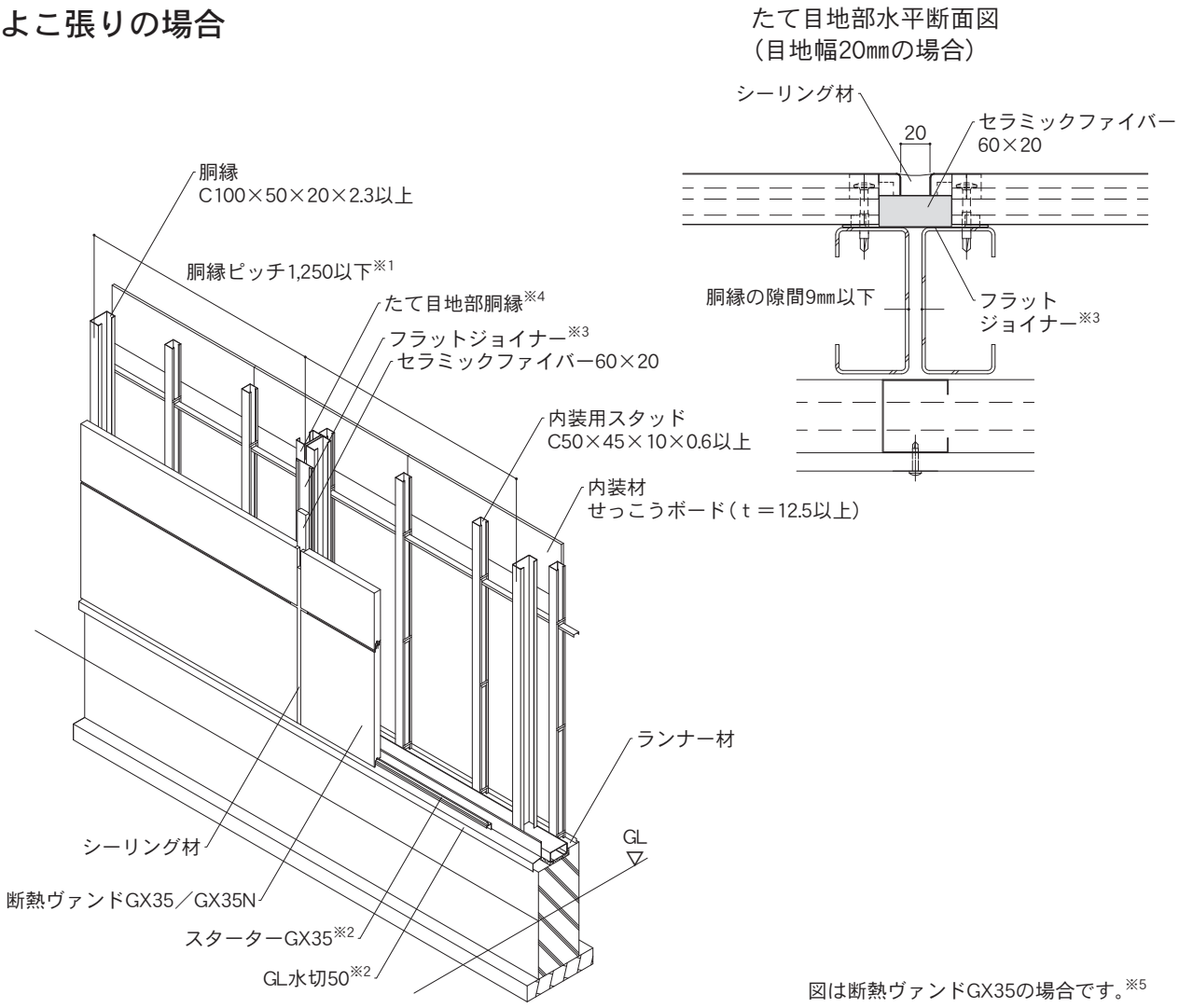
・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・せっこうボード15㎜以上（9.5㎜以上＋12.5㎜以上の重ね張りも可能）をドリリングタッピンねじ（φ3.5×L25以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。床、天井などの取り合い部の目透し幅は10㎜以下としてください。
・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。
・せっこうボードを重ね張りする場合は別途、認定書をご確認ください。

防火構造(外壁非耐力壁)：断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0191	せっこうボード内装張り

よこ張りの場合



図は断熱ヴァンドGX35の場合です。※5

【注意 !! 】 この認定には、フラットジョイナー（現場加工）が必要です。ハットジョイナーGN、アルミジョイナー35は使用できません。また、たて目地部内にはセラミックファイバー60×20が必要です。

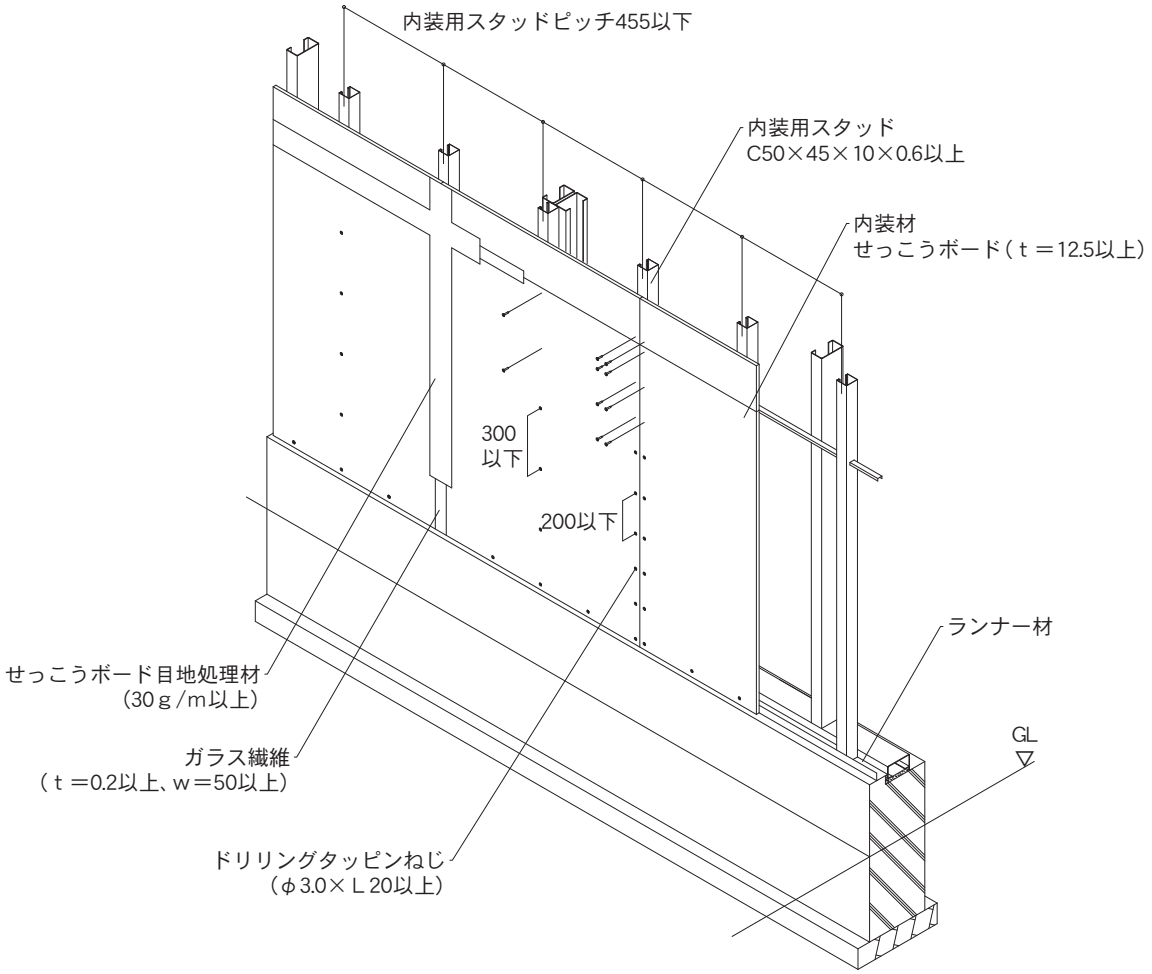
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　たて目地部下地材はフラットジョイナー限定です。フラットジョイナーは現場加工になります。
※4　たて目地部胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は30㎜以下としてください。
※5　断熱ヴァンドGX35Nは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

○パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）

■よこ張りの場合



・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.0×L20以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の 間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

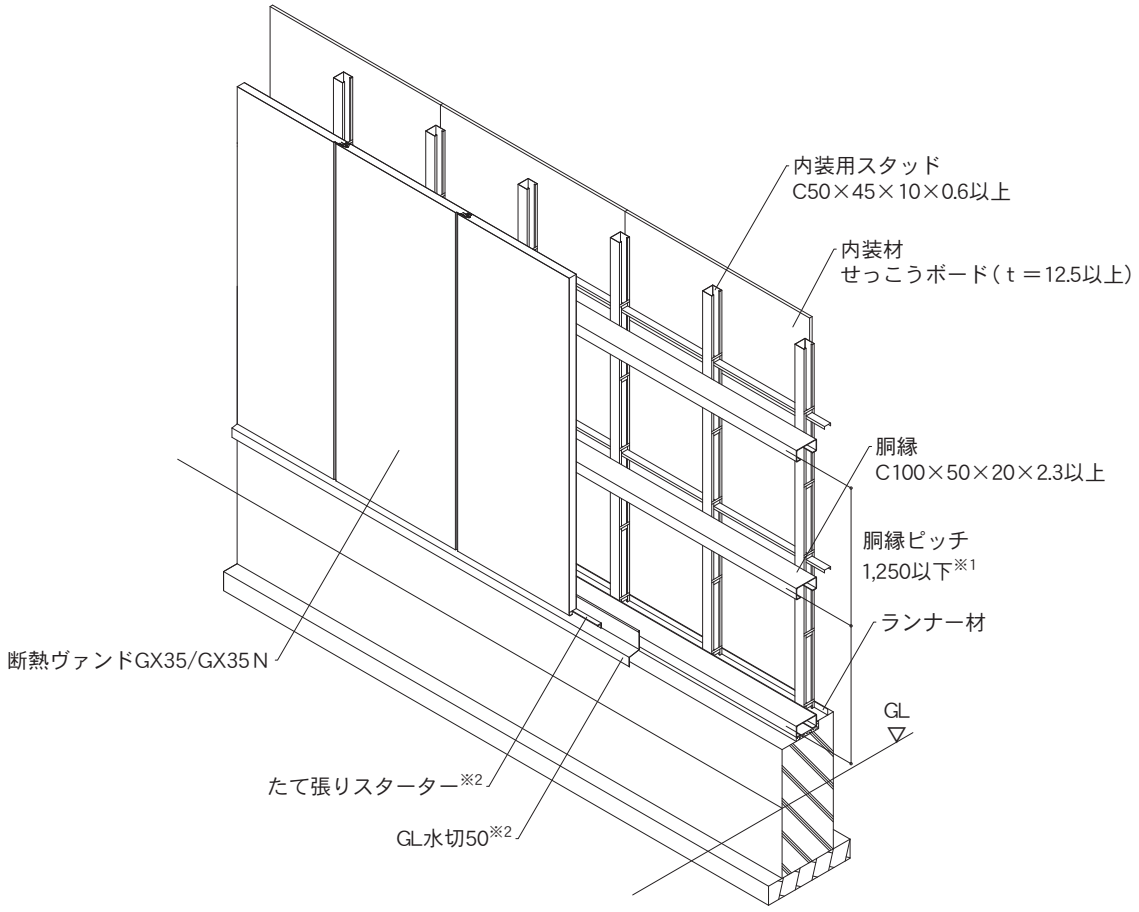
単位：㎜

防火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35／GX35N(表面フラット仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0191	せっこうボード内装張り

たて張りの場合



図は断熱ヴァンドGX35の場合です。

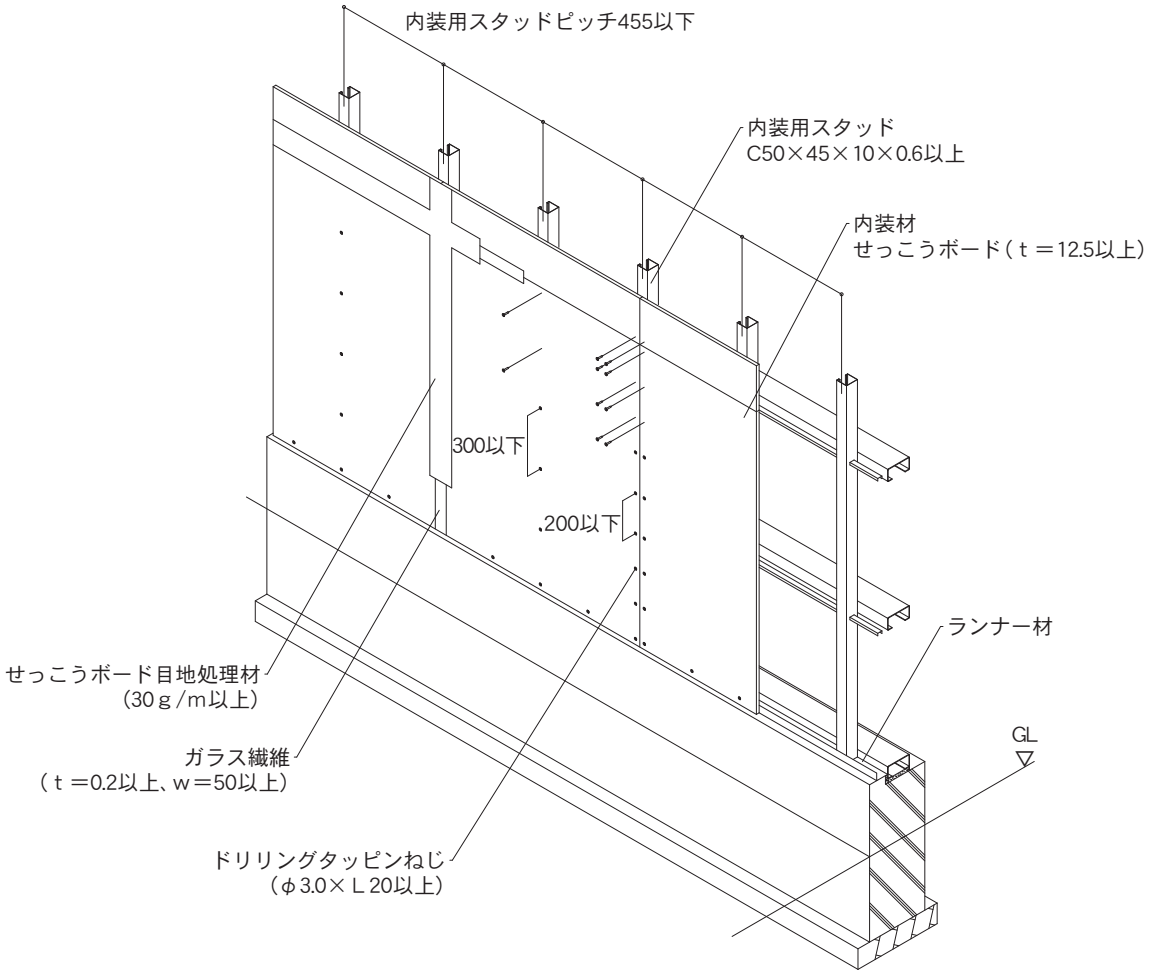
(注) たて張り時のたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。
※１　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※２　土台部は認定の対象外です。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N　せっこうボード内装張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）

■たて張りの場合



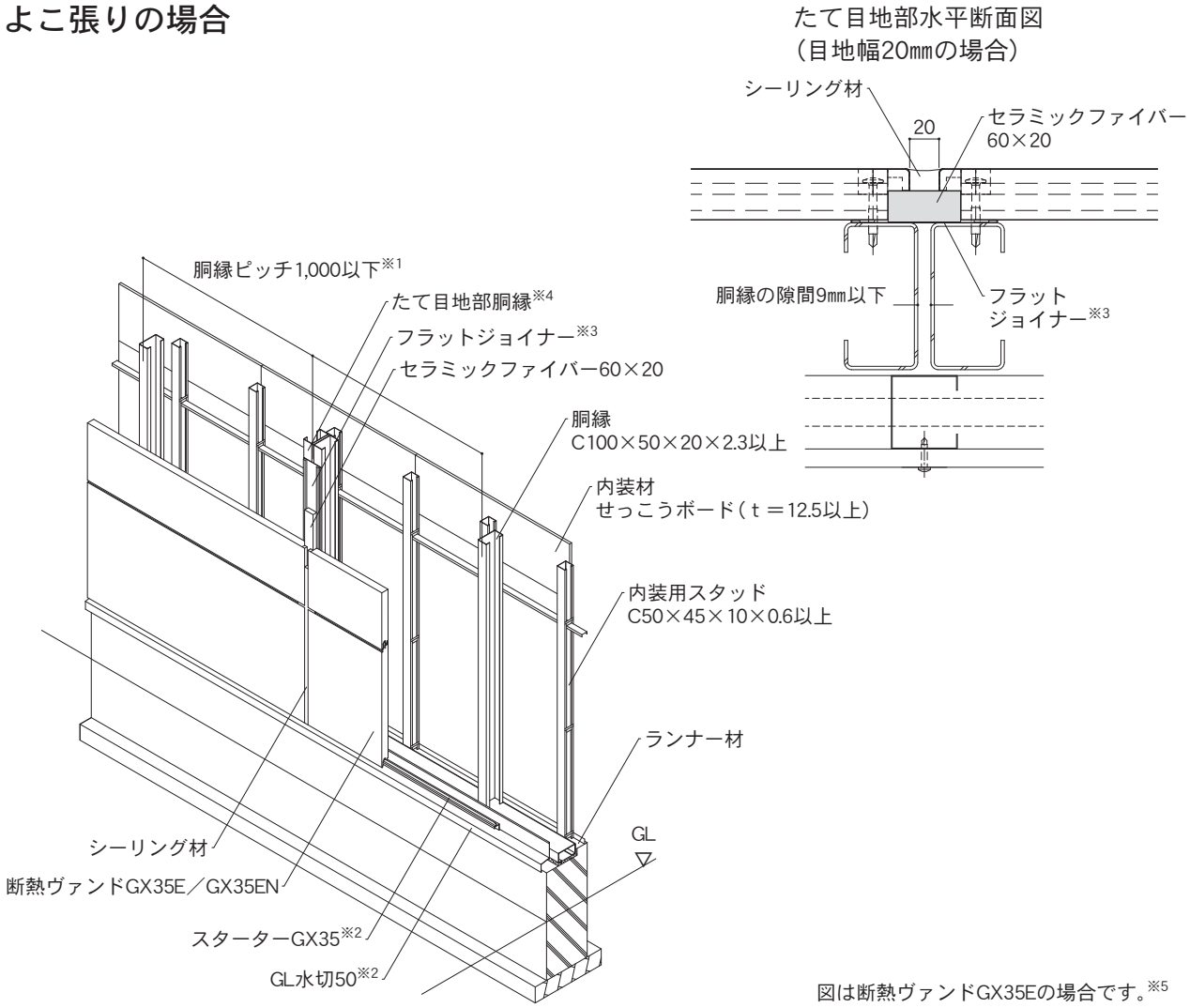
・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.0×L20以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

防火構造(外壁非耐力壁)：断熱ヴァンドGX35E／GX35EN(表面エンボス仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0193	せっこうボード内装張り

よこ張りの場合



図は断熱ヴァンドGX35Eの場合です。※5

【注意 !! 】 この認定には、フラットジョイナー（現場加工）が必要です。ハットジョイナーGN、アルミジョイナー35は使用できません。また、たて目地部内にはセラミックファイバー60×20が必要です。

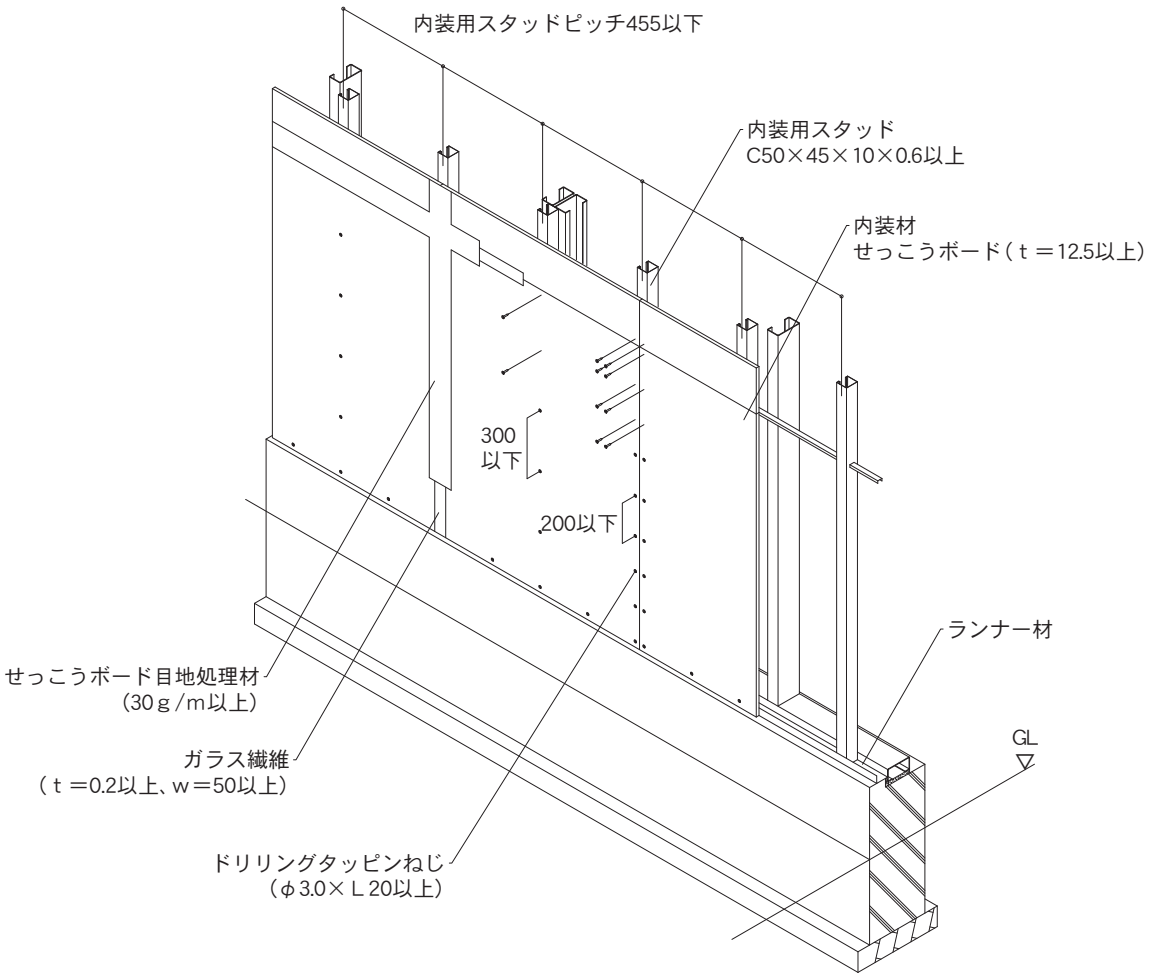
※1　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※2　土台部は認定の対象外です。
※3　たて目地部下地材はフラットジョイナー限定です。フラットジョイナーは現場加工になります。
※4　たて目地部胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は30㎜以下としてください。
※5　断熱ヴァンドGX35ENは、たて目地をシーリングで納める事ができません。

○パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35E／GX35EN　せっこうボード内装張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）

■よこ張りの場合



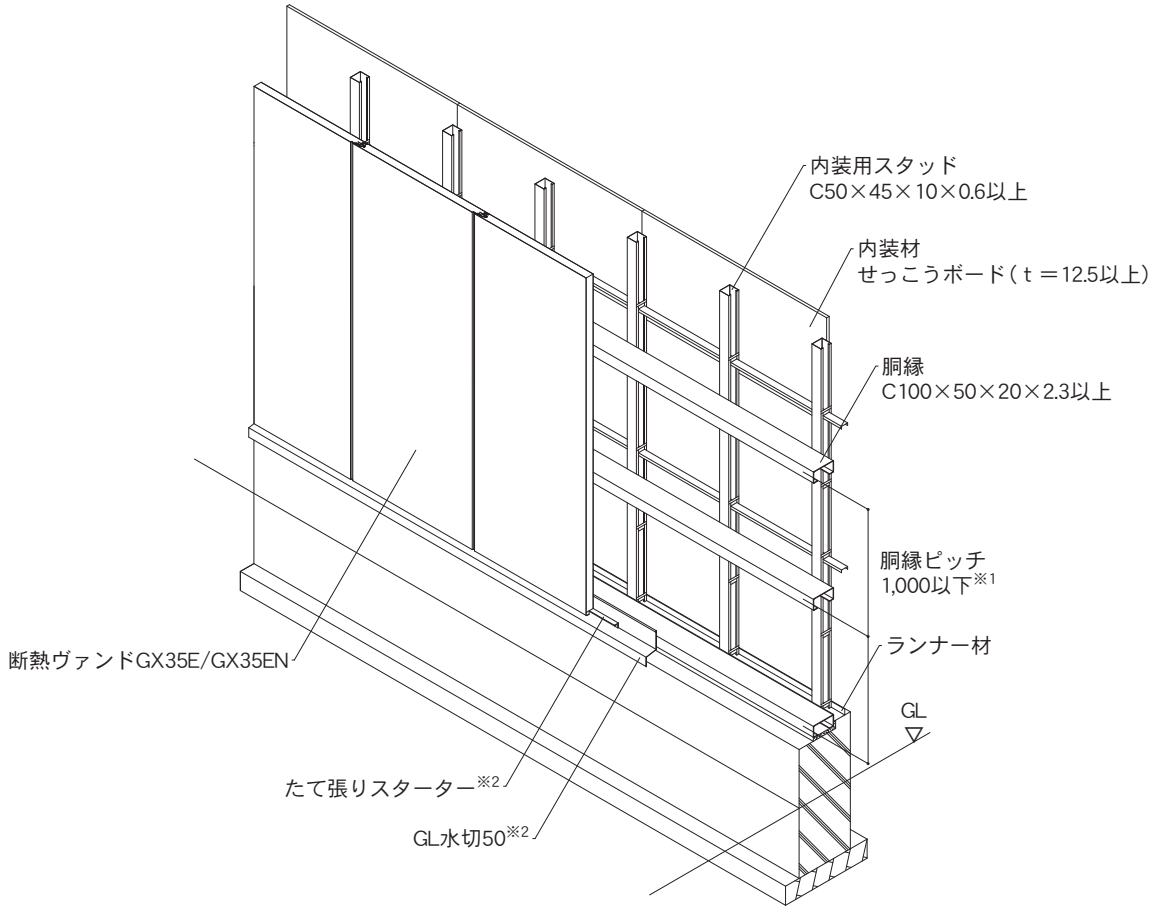
・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.0×L20以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

防火構造(外壁非耐力壁):断熱ヴァンドGX35E／GX35EN(表面エンボス仕様)

国土交通省大臣認定

PC030NE−0193	せっこうボード内装張り

たて張りの場合



図は断熱ヴァンドGX35Eの場合です。

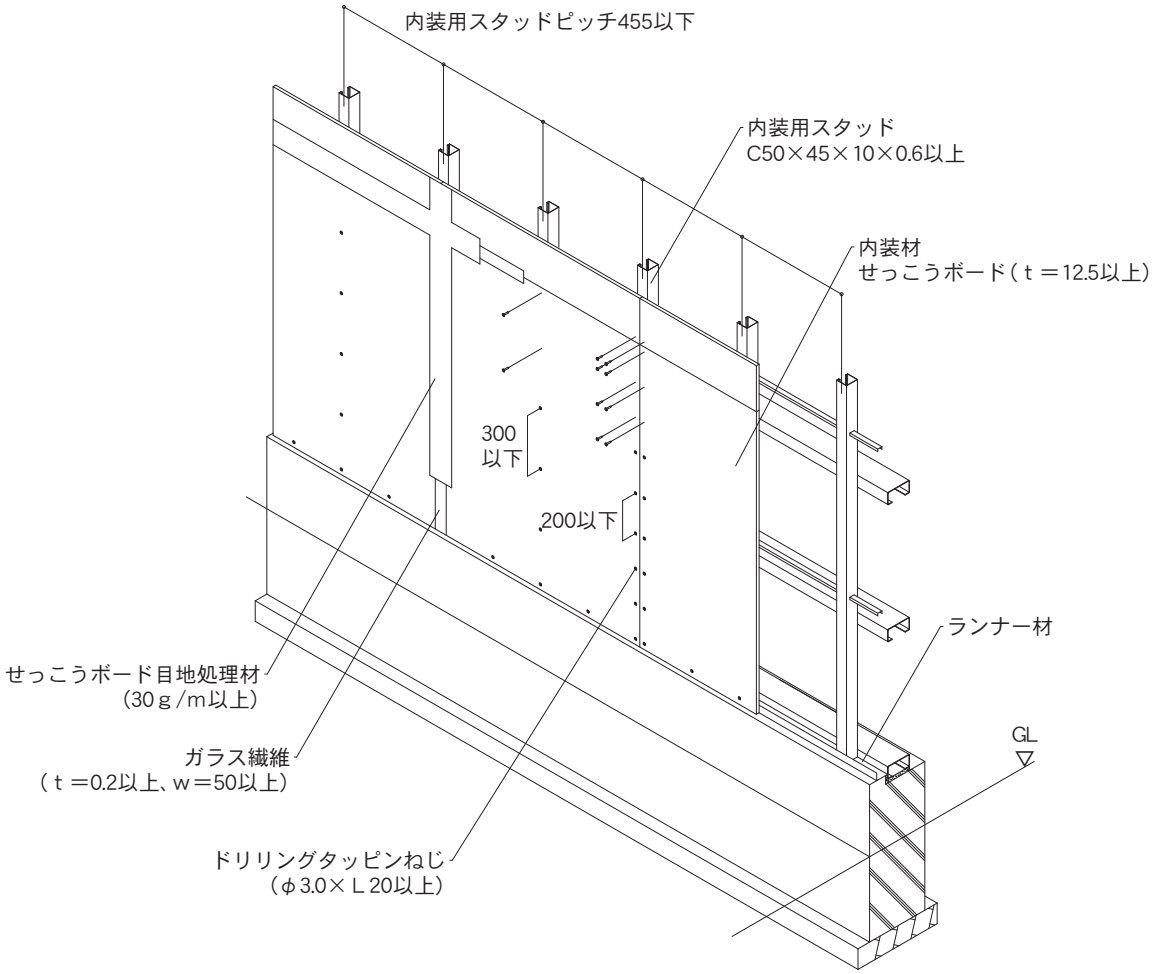
(注) たて張り時のたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。
※１　パネル、下地材自体の風圧許容荷重によって胴縁ピッチが制限される場合があります。
※２　土台部は認定の対象外です。

〇パネル本体取り付けに使用するビスは、P43のビス対応表を参照してください。
〇構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(http://www.igkogyo.co.jp/)

単位：㎜

〔断熱ヴァンドGX35E／GX35EN　せっこうボード内装張り〕
（内装側から見たせっこうボード施工方法）

■たて張りの場合

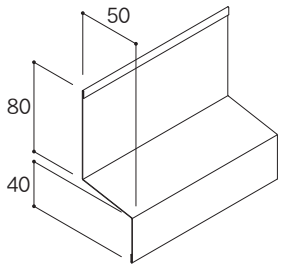


・ランナー材は打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900㎜以下の間隔で留め付けてください。
・せっこうボード12.5㎜以上をドリリングタッピンねじ（φ3.0×L20以上）を用いて、外周部200㎜以下、中間部300㎜以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維（t＝0.2㎜以上、w＝50㎜以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

単位：㎜

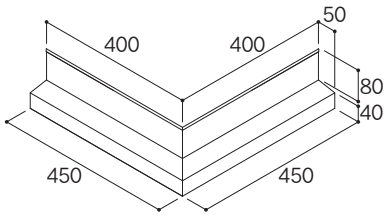
2－3　付属品

GL水切50



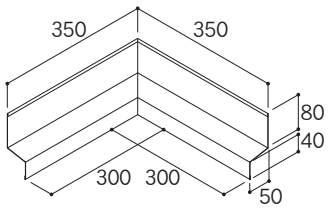
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝4,000

GL50水切出隅



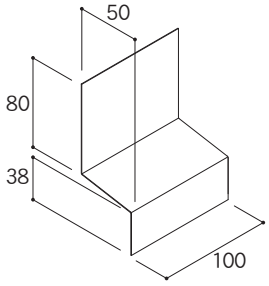
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5

GL50水切入隅



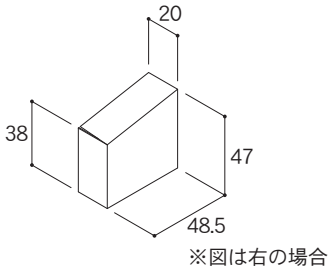
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5

GL50水切ジョイント



ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.5　L＝100

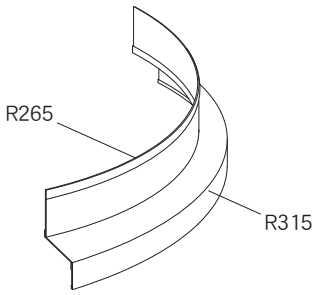
GL50水切小口蓋(右・左)



※図は右の場合

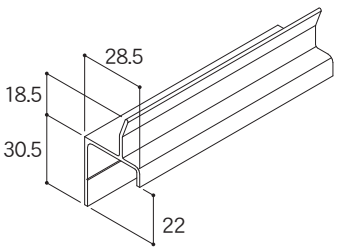
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5

GL50水切R出隅300



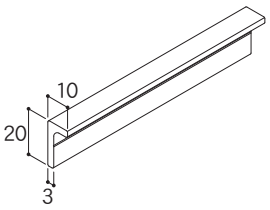
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5

スターターGX35



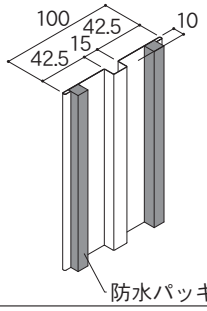
アルミ押出型材　アルマイトクリアー
t＝1.5　L＝4,000

たて張りスターター



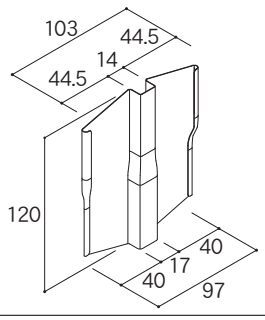
アルミ押出型材　アルマイトクリアー
t＝3　L＝4,000

ハットジョイナーGN



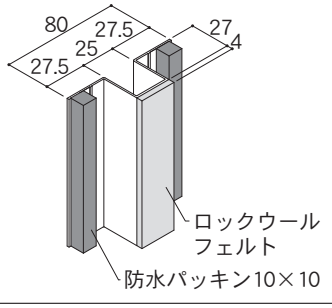
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.35　L＝4,000

ハットジョイナーGNジョイント



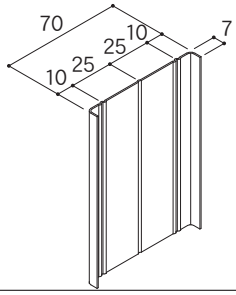
ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板
ライトグレー色 t＝0.35　L＝120

アルミジョイナー35



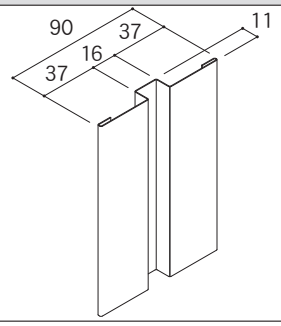
アルミ押出型材　アルマイトクリアー
t＝1.2　L＝4,000

カバープレート※



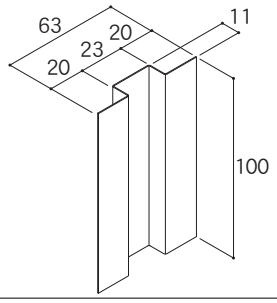
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
t＝0.8　L＝4,000

目地キャップ



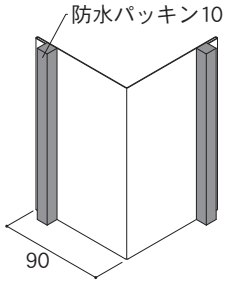
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝3,600

目地キャップジョイント



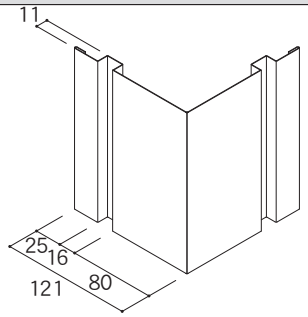
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.5　L＝100

出隅捨板※



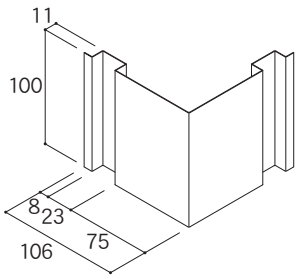
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
t＝0.5　L＝4,000

出隅カバー35-50



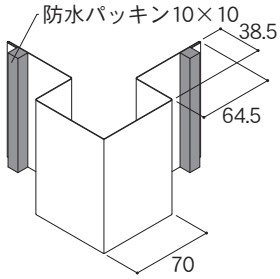
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝3,600

出隅カバー35-50ジョイント



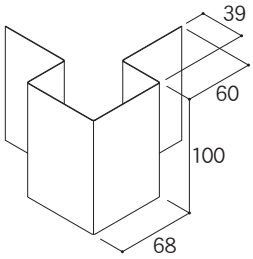
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.5　L＝100

出隅角35



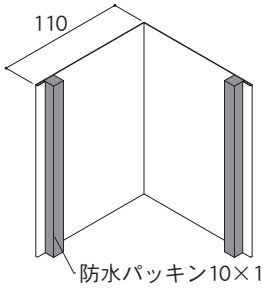
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝3,600

出隅角35ジョイントⅡ



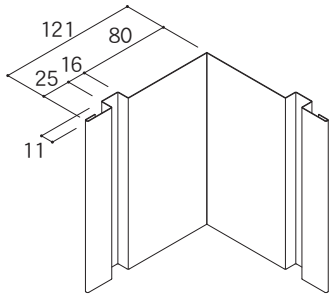
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.5　L＝100

入隅捨板35-50



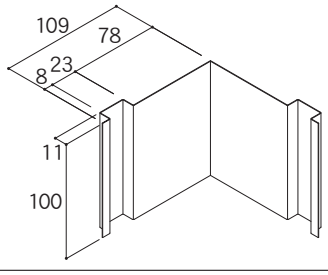
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.5　L＝4,000

入隅カバー



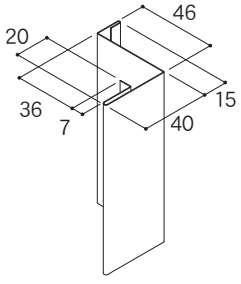
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝3,600

入隅カバージョイント



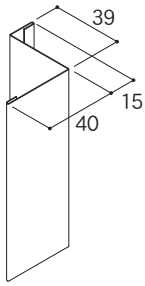
ポリエステル樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
ライトグレー色　t＝0.5　L＝100

見切35



遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝3,600

フラット見切35

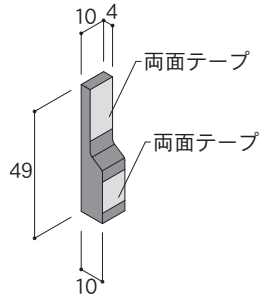


遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
本体同色　t＝0.5　L＝3,600

※　色については弊社にお任せください。

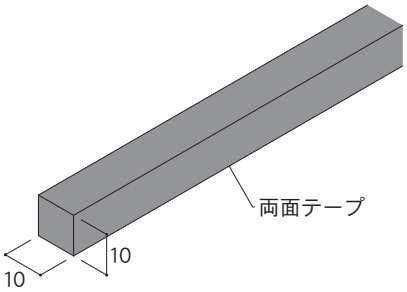
単位：㎜

かん合部パッキンGX



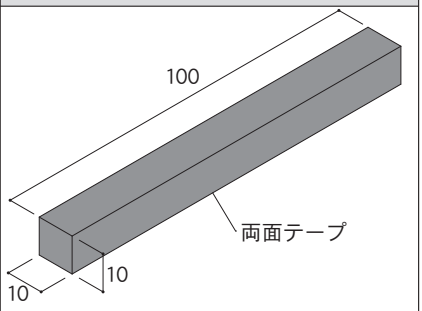
発泡EPDM

防水パッキン10×10



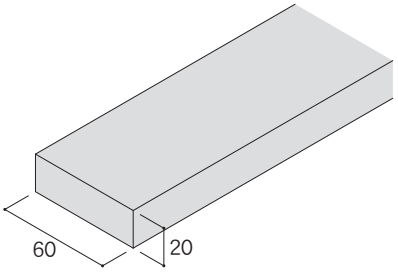
発泡EPDM
L＝3,600

防水パッキン10×10×100



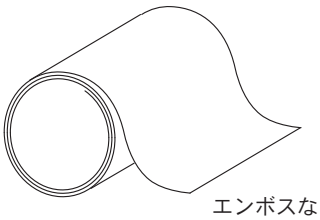
発泡EPDM
L＝100

セラミックファイバー60×20



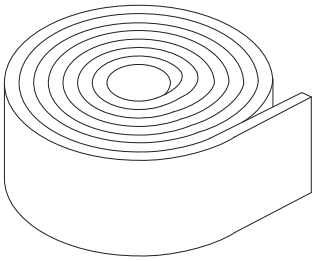
L＝1200

同質コイル



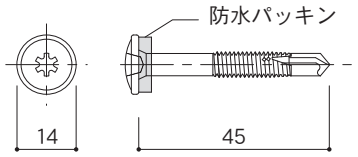
遮熱性フッ素樹脂塗装　ガルバリウム鋼板
t ＝0.5　板幅 914　6m／本

ロックウールフェルトW100



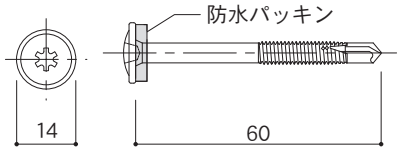
ロックウール（両面テープ付）
厚4×幅100　25m/巻

TWL645G



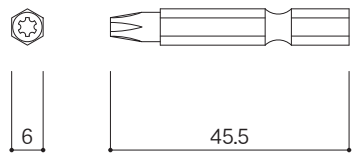
軸径６㎜　シンワッシャータイプ
・ジオメット処理により、優れた耐食性。
・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。
・ビットTWL以外では施工ができません。
・ビットTWLが1箱（300本）に1個付属します。

TWL660G



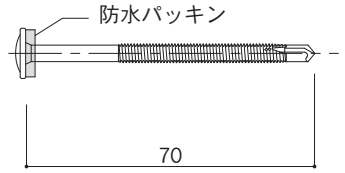
軸径6㎜　シンワッシャータイプ
・ジオメット処理により、優れた耐食性。
・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。
・ビットTWL以外では施工ができません。
・ビットTWLが1箱（200本）に1個付属します。

ビットTWL



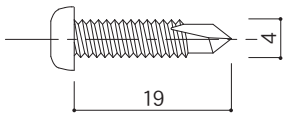
TWL645G、TWL660G専用ビットです。

TW570



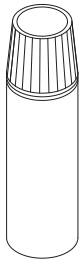
軸径5㎜　シンワッシャータイプ
・ジオメット処理により、優れた耐食性。
・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。
・十字ビット2番で施工できます。

PAN419



・ジオメット処理により、優れた耐食性。

タッチアップペイント※1



15ml

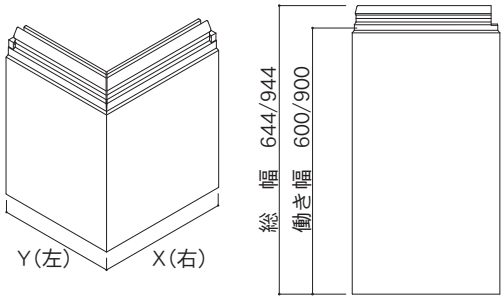
【表面材用：フッ素】
標準色
シルバーS
ホワイト
アイボリー
シャンパンゴールド
ガングレーM

（注）各種ビスの用途については P43 の●ビス対応表を参照してください。

GX35L型出隅※2

GX35L型出隅の発注寸法は、商品を正面から見て右側がX寸法、左側がY寸法です。

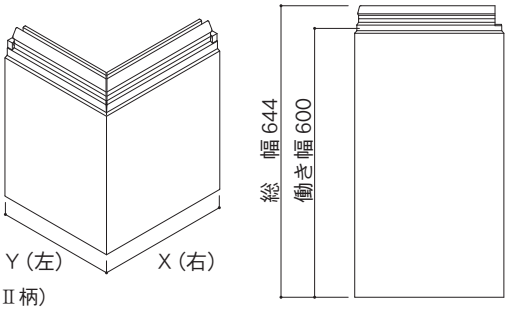
・よこ張り専用
・X＋Y＝900～1,800㎜の間で１㎜単位でオーダー可
但し、X≧200㎜かつY≧200㎜
・両端箱折
・表面フラット



GX35EL型出隅※2

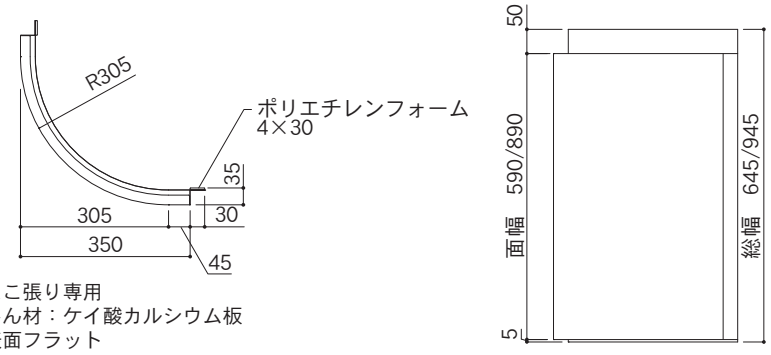
GX35EL型出隅の発注寸法は、商品を正面から見て右側がX寸法、左側がY寸法です。

・よこ張り専用
・X＋Y＝900～1,800㎜の間で1㎜単位でオーダー可能
但し、X≧200㎜かつY≧200㎜
・両端箱折
・表面エンボス（オーバルⅡ柄）



R型出隅35※3

・よこ張り専用
・しん材：ケイ酸カルシウム板
・表面フラット



※１　タッチアップペイントは、パネル本体・付属品と塗料タイプが異なるため、色が一致しない場合があります。
※２　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENには設定しておりません。
※３　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35E/GX35ENには設定しておりません。

●ビス対応表

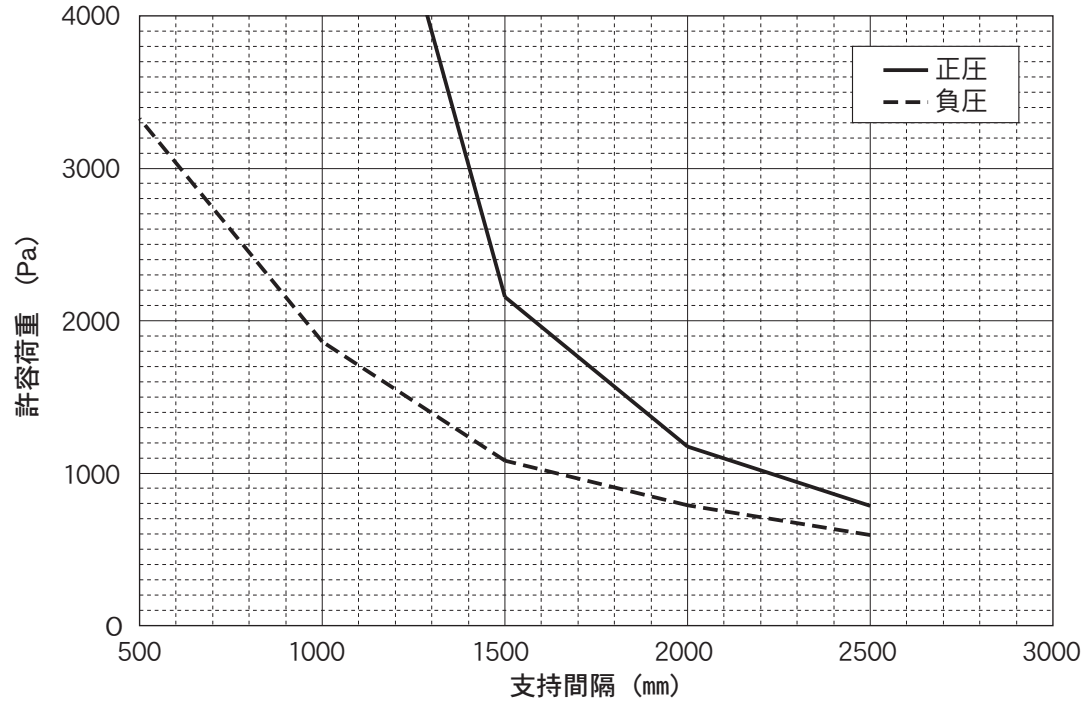
用途／パネル本体名称	パネル本体取り付け	パネル本体脳天打ち／表面役物取り付け	せっこうボード下張り時パネル本体取り付け	せっこうボード下張り時＋表面役物取り付け(パネル本体脳天打ち)
断熱ヴァンドGX35／GX35N 断熱ヴァンドGX35E／GX35EN	TWL645G	TWL660G TW570	TWL660G※4	TW570※5

〇専用ビス（TWL660G／TWL645G）はビットTWLを使用してください。
〇ビットTWLは専用ビス1箱に1個付属します。
〇TW570は十字ビット2番を使用してください。
※４　せっこうボードt＝12.5㎜を下張りした場合。
※５　防火構造認定によっては、たて目地部にTW570が使用できない場合があります。詳しくはP13を参照してください。

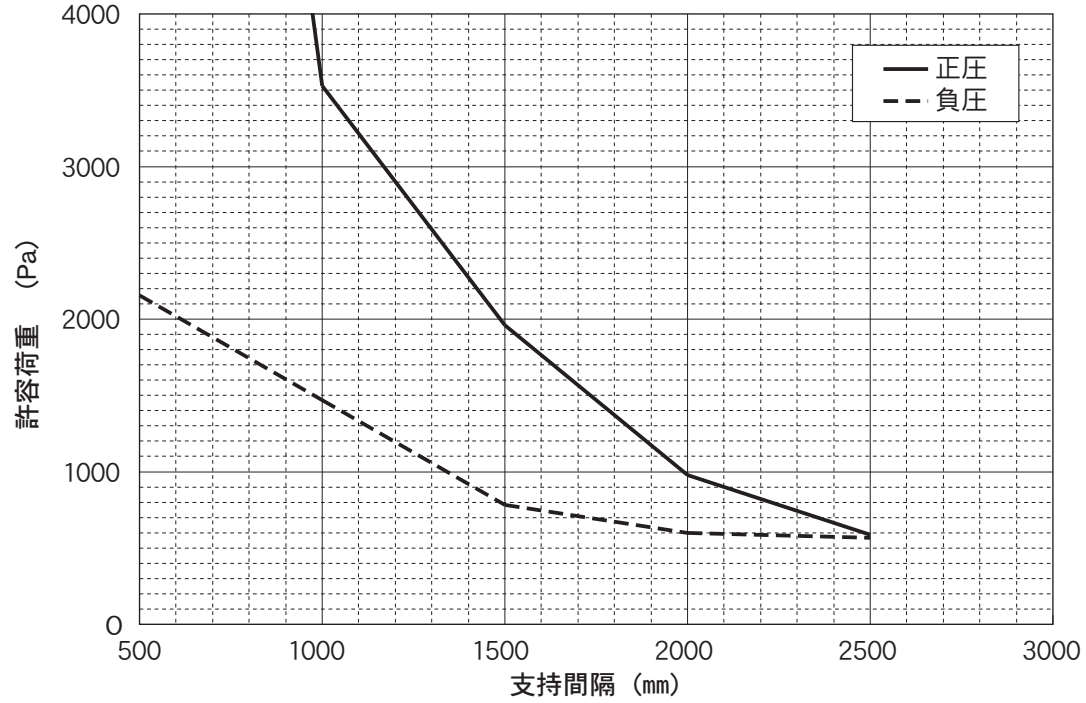
2－4　性能

2－4－1　耐風圧性能

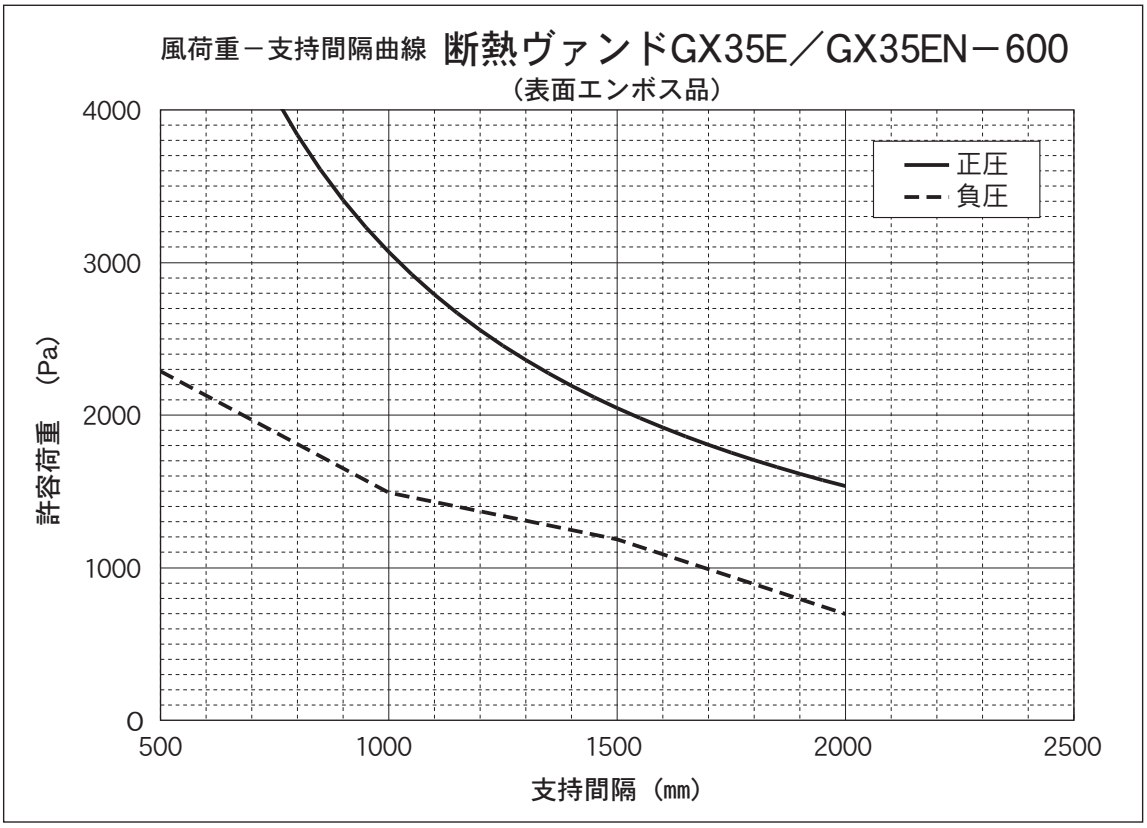
風荷重－支持間隔曲線 断熱ヴァンドGX35／GX35N－600
（表面フラット品）



風荷重－支持間隔曲線 断熱ヴァンドGX35－900
（表面フラット品）

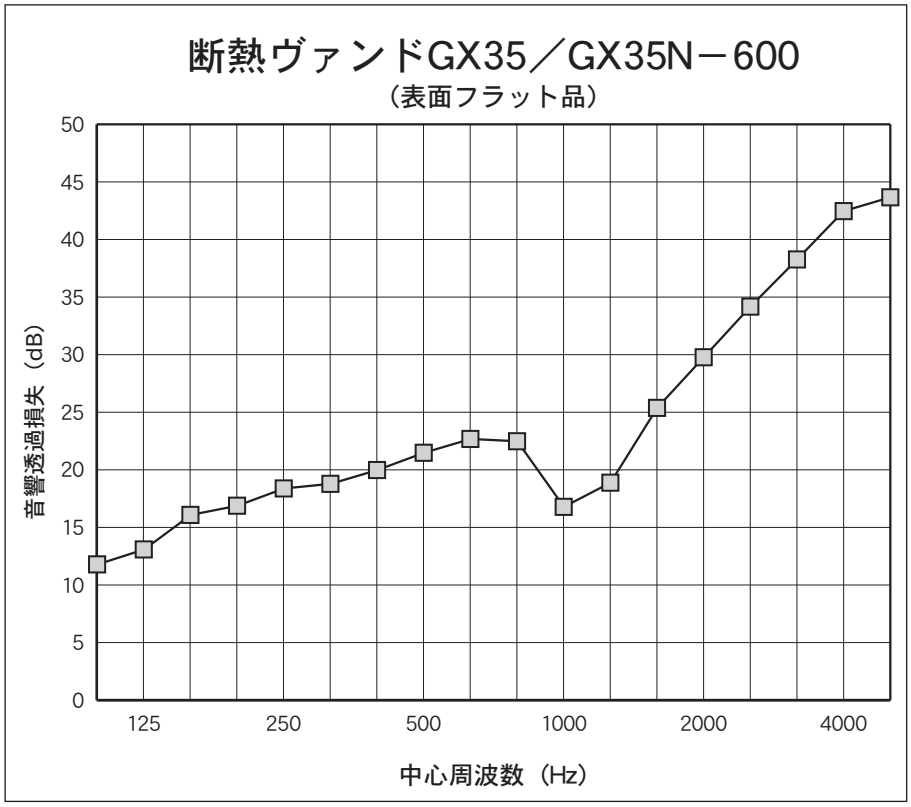


1Pa＝1N／m^2


風荷重－支持間隔曲線 断熱ヴァンドGX35E／GX35EN－600
（表面エンボス品）
許容荷重 （Pa）
4000
3000
2000
1000
0
500
1000
1500
2000
2500
支持間隔 （㎜）
正圧
負圧

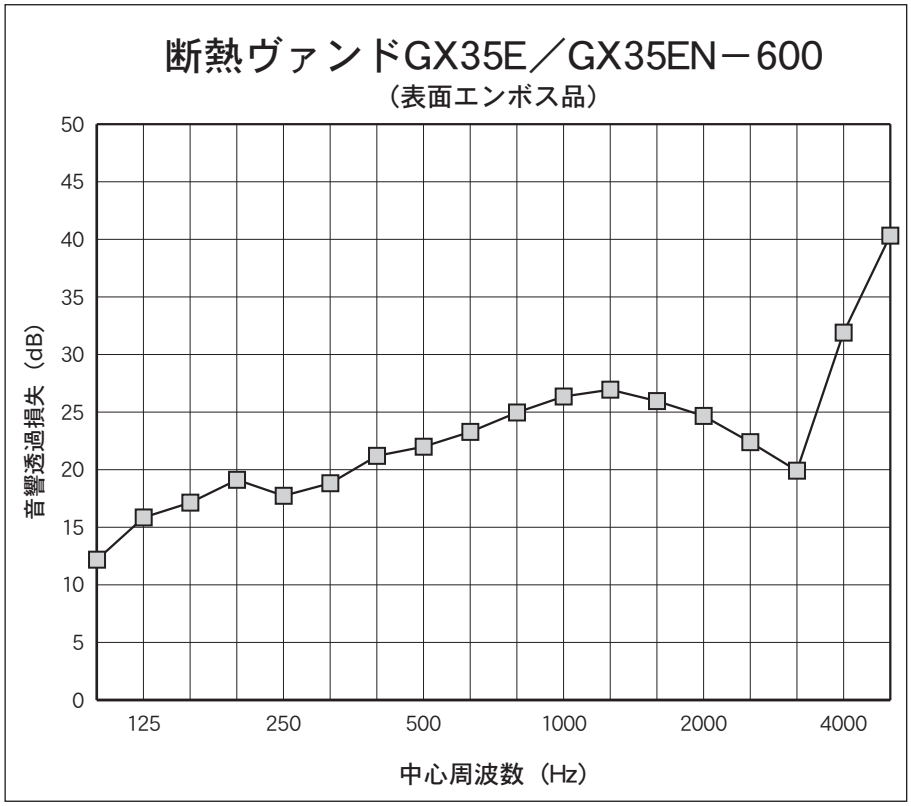
1Pa＝ 1N／m^2

2－4－2　遮音性能



中心周波数(Hz)	透過損失(dB)
100	11.8
125	13.1
160	16.1
200	16.9
250	18.4
315	18.8
400	20.0
500	21.5
630	22.7
800	22.5
1000	16.8
1250	18.9
1600	25.4
2000	29.8
2500	34.2
3150	38.3
4000	42.5
5000	43.7

○試験方法：JIS A 1416　　○試験機関：(財)建材試験センター



中心周波数(Hz)	透過損失(dB)
100	12.3
125	16.0
160	17.3
200	19.3
250	17.9
315	19.0
400	21.4
500	22.2
630	23.5
800	25.2
1000	26.6
1250	27.2
1600	26.2
2000	24.9
2500	22.6
3150	20.1
4000	32.3
5000	40.7

○試験方法：JIS A 1416　　○試験機関：(一財)小林理学研究所

2－4－3　層間変形追従性能

厚さ(㎜)	働き幅(㎜)	変形角(rad)	試　験　結　果
35	600	1/60	パネルの脱落なし
	900	1/60	パネルの脱落なし

（注）断熱ヴァンド GX35（働き幅 900 ㎜）での測定値です。性能保証値ではありません。
〇試験方法：静的変形性能試験(よこ張り)　〇試験機関：(株)アイジー技術研究所

2－4－4　水密性能

厚さ(㎜)	働き幅(㎜)	試　験　結　果
35	600	平均圧力差2,200Paで漏水なし
	900	平均圧力差2,200Paで漏水なし

（注）断熱ヴァンド GX35E（働き幅 600 ㎜）での測定値です。性能保証値ではありません。
〇試験方法：JIS-A-1414　〇試験機関：(一財)建材試験センター

2－4－5　断熱性能

厚さ(㎜)	働き幅(㎜)	部　位	熱貫流率		しん材熱伝導率※2	
			(W／m^2K)	(kcal／m^2h℃)	(W／mK)	(kcal／mh℃)
35	600	壁全体※1	0.73	0.63	0.023	0.020
		一般部※2	0.52	0.44		
		かん合部※2	1.50	1.29		
	900	壁全体※1	0.73	0.63	0.023	0.020
		一般部※2	0.52	0.44		
		かん合部※2	1.50	1.29		

（注）断熱ヴァンド GX35E（働き幅 600 ㎜）での測定値です。性能保証値ではありません。
※1　かん合部を含む壁全体の値です。測定値であり、性能保証値ではありません。
※2　実測値から算出した値であり、性能保証値ではありません。
〇試験方法：JIS-A-1420　〇試験機関：(一財)建材試験センター

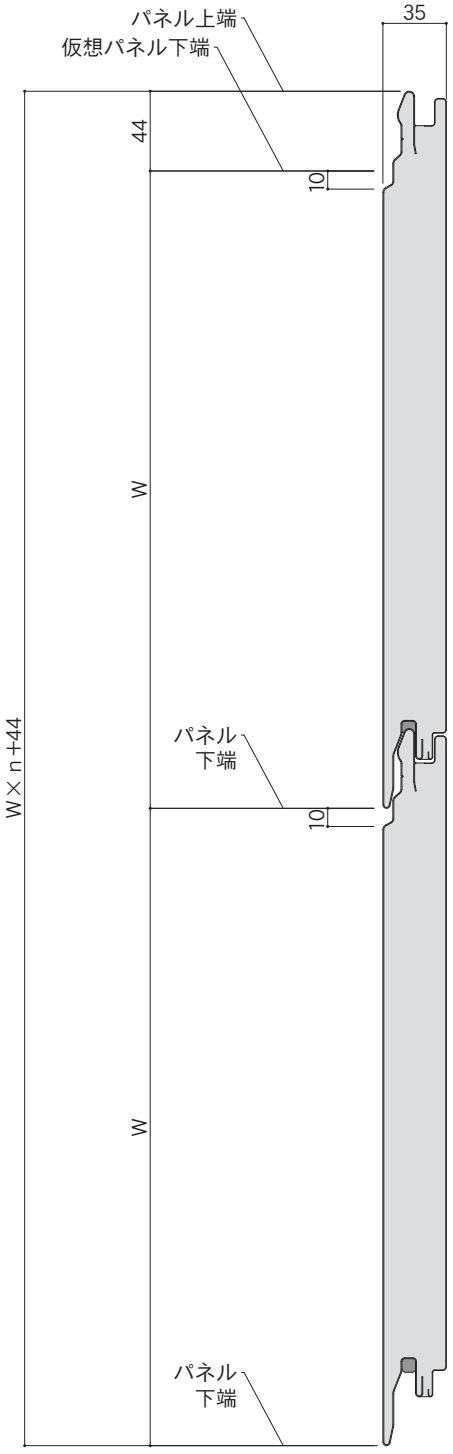
3 設計のポイント

単位：㎜

3－1　設計の要点

3－1－1　パネル本体の割り付け

〔断熱ヴァンドGX35／GX35N〕
〔断熱ヴァンドGX35E／GX35EN〕



n：パネル枚数
W：働き幅　600または900※

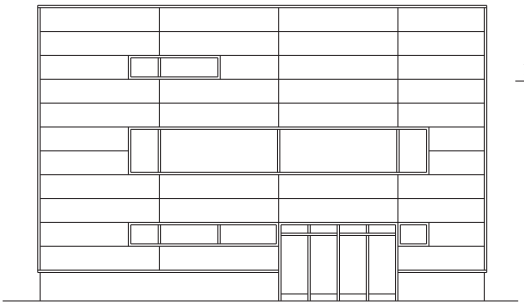
※　働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

3－1－2　割り付けの注意点

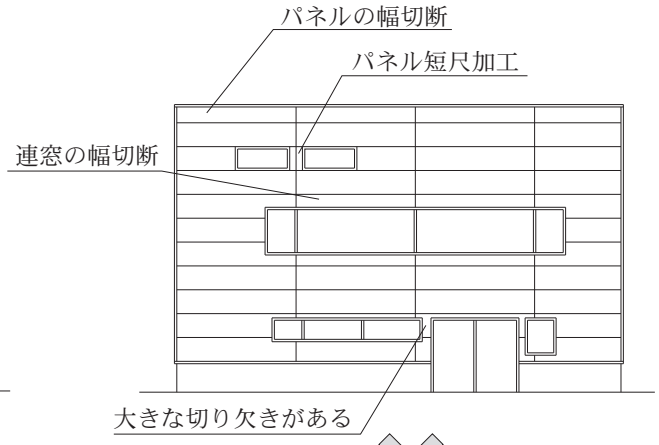
・パネル本体長さの種類ができるだけ少なくなるように割り付けてください。
・極端な短尺パネル割り付けは避けてください。
・たて目地のクリアランスは、各納まり参考図で確認してください。
・建具重量をパネル本体に負担させないでください。
・面材剥離防止のため、幅切断、切り欠きを伴う割り付けはできるだけ避けてください。
・幅切断、切り欠きは現場加工となります。
・たて目地の下地材は角パイプまたは、2Cが必要です。
・たて張り時、開口脇にたて目地が通らないよう割り付けてください。（たて目地が通っていると、漏水の危険性が高くなります。）
・切り欠いた残りがパネル本体幅の2／3以上となるようにしてください。
・開口部で切り欠きが避けられない場合は、開口下側のパネル本体を切り欠くようにしてください。（開口上側を切り欠くと、納まりと雨仕舞いに支障が生じる場合があります。）
・たて目地部をシーリングタイプで納める場合は、色により対応できる長さが異なります。詳しくはP54シーリングタイプたて目地幅表を参照してください。

■割り付け例

〔よこ張り〕

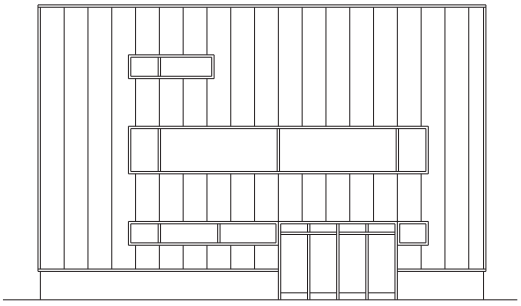


○ 好ましい例

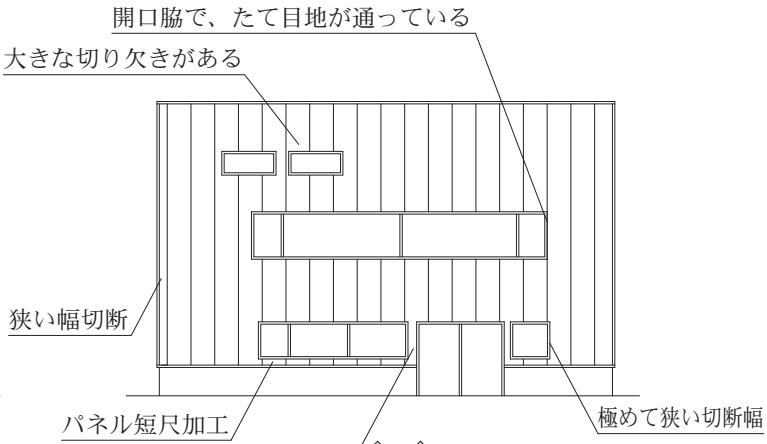


× 悪い例

〔たて張り〕



○ 好ましい例



× 悪い例

3－1－3　下地材の割り付け

■下地材間隔の設定

下地材の間隔は、次の3条件を基にして、最も間隔の狭いものに設定してください。

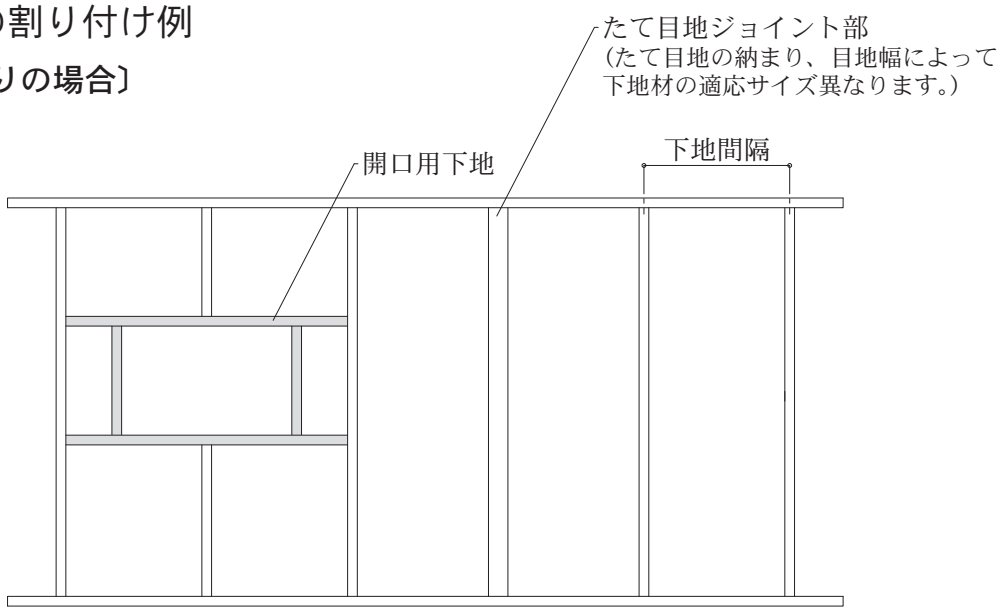
・防耐火認定指定の下地材間隔
・パネル本体の耐風圧強度（風荷重と支持間隔のグラフ）
・下地材自体の耐風圧強度（構造計算により算出してください）

■下地材の種類

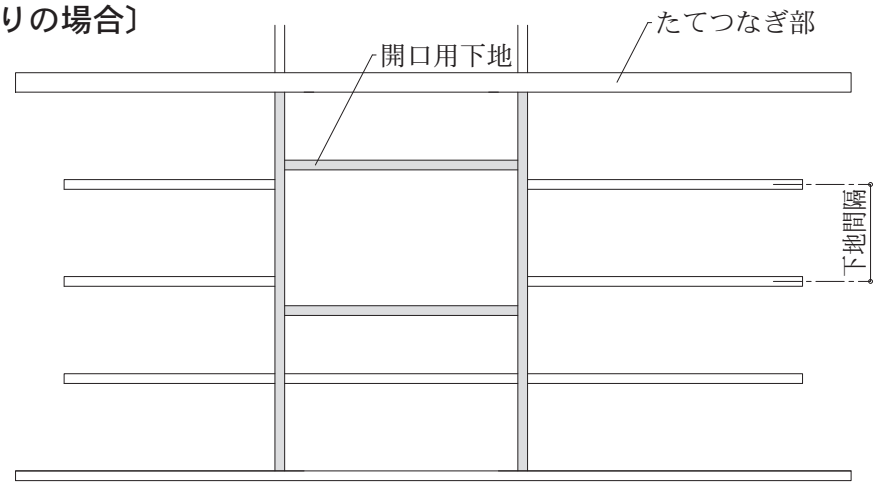
・下地材は、C100×50×20×2.3、□100×100×2.3以上としてください。
・鋼材の厚みはｔ＝3.2㎜までとしてください。これを超えるとテクスビスが使えなくなります。
・よこ張り時のパネル本体のジョイント（たて目地）部や、たて張り時のたてつなぎとなる箇所は□125×125×2.3または□150×100×3.2が必要になる場合があります。納まり参考図を参照してください。

■下地材の割り付け例

〔よこ張りの場合〕



〔たて張りの場合〕



3−2　設計の留意点

■認定関係

・断熱ヴァンドGX35／GX35Nは「45分準耐火構造」、「防火構造」、「不燃材料」の認定を取得。断熱ヴァンドGX35E／GX35ENは「防火構造」、「不燃材料」の認定を取得しております。必要な認定を確認してください（P6参照）。

・「防火構造」によっては、よこ張りのたて目地にフラットジョイナー（現場加工）とセラミックファイバーの充てんが必須の認定があります。また、たて目地をフラットタイプで納められない場合もありますので十分に注意してください。詳しくは P12〜P13 を参照してください。

■結露対策

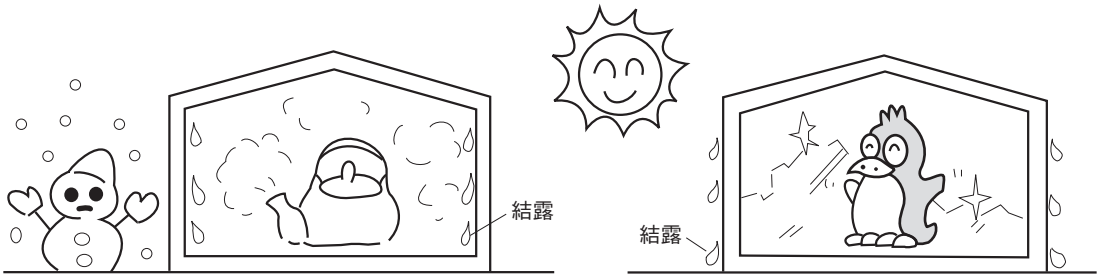
・下記のような条件の場合は、パネル本体のみでは断熱力が不足して、結露が発生する可能性があります。
設計に際しては、あらかじめご相談ください。

〔室内の湿度が高いとき〕

EX：公衆浴場
繊維工場
食品工場
印刷工場など

〔室内外の温度差が極端に大きいとき〕

EX：冷凍・冷蔵倉庫など



■重量物の取り付け

・空調機の室外機や、大型の看板などの重量物は、パネル本体に負担をさせず、躯体鉄骨に負担させるようにしてください。

4 納まり参考図

4－1　断熱ヴァンドGX35／GX35E（よこ張り）

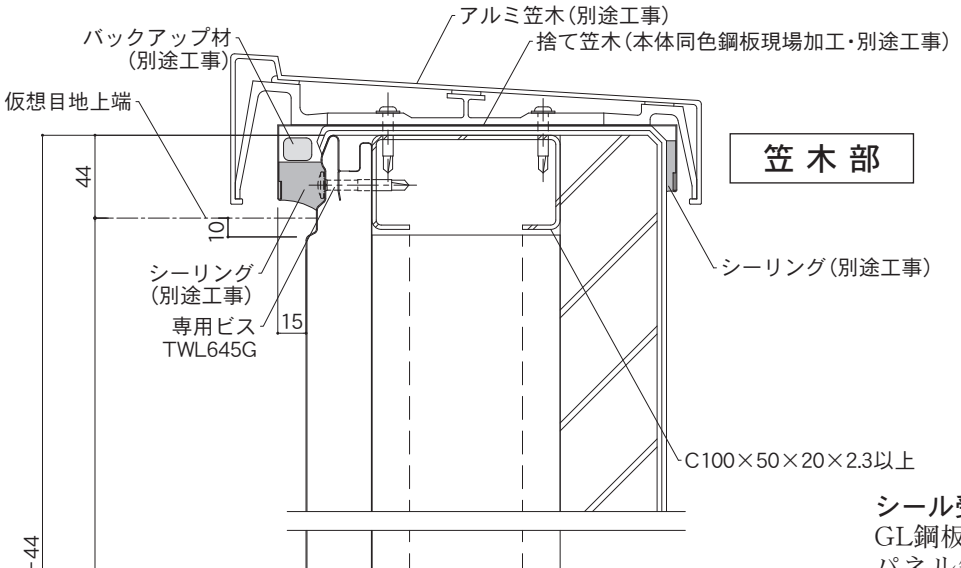
張り方向	納まり部位	頁
よこ張り	笠木、水切部納まり	53
	たて目地部納まり（シーリングタイプ）	54
	たて目地部納まり（フラットタイプ）	55
	たて目地部納まり（ふかしタイプ）	56
	たて目地部納まり（シーリングタイプ）※1	57
	たて目地部納まり（ふかしタイプ）※1	58
	たて目地部納まり（シーリングタイプ）※2	59
	たて目地部納まり（ふかしタイプ）※2	60
	出隅部納まり（出隅角）	61
	出隅部納まり（出隅カバー）	62
	L型出隅部納まり	63
	R型出隅部納まり（平面）	64
	R型出隅部納まり（断面）	65
	入隅部納まり（シーリングタイプ）	66
	入隅部納まり（入隅カバー）	67
	RCサッシ部納まり	68
	RCサッシ部納まり（シーリング詳細）	69
	ALCサッシ部納まり	70
	ALCサッシ部納まり（シーリング詳細）	71

※1　防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194に適合した納まり図です。
※2　防火構造認定PC030NE-0201に適合した納まり図です。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･笠木､水切部納まり

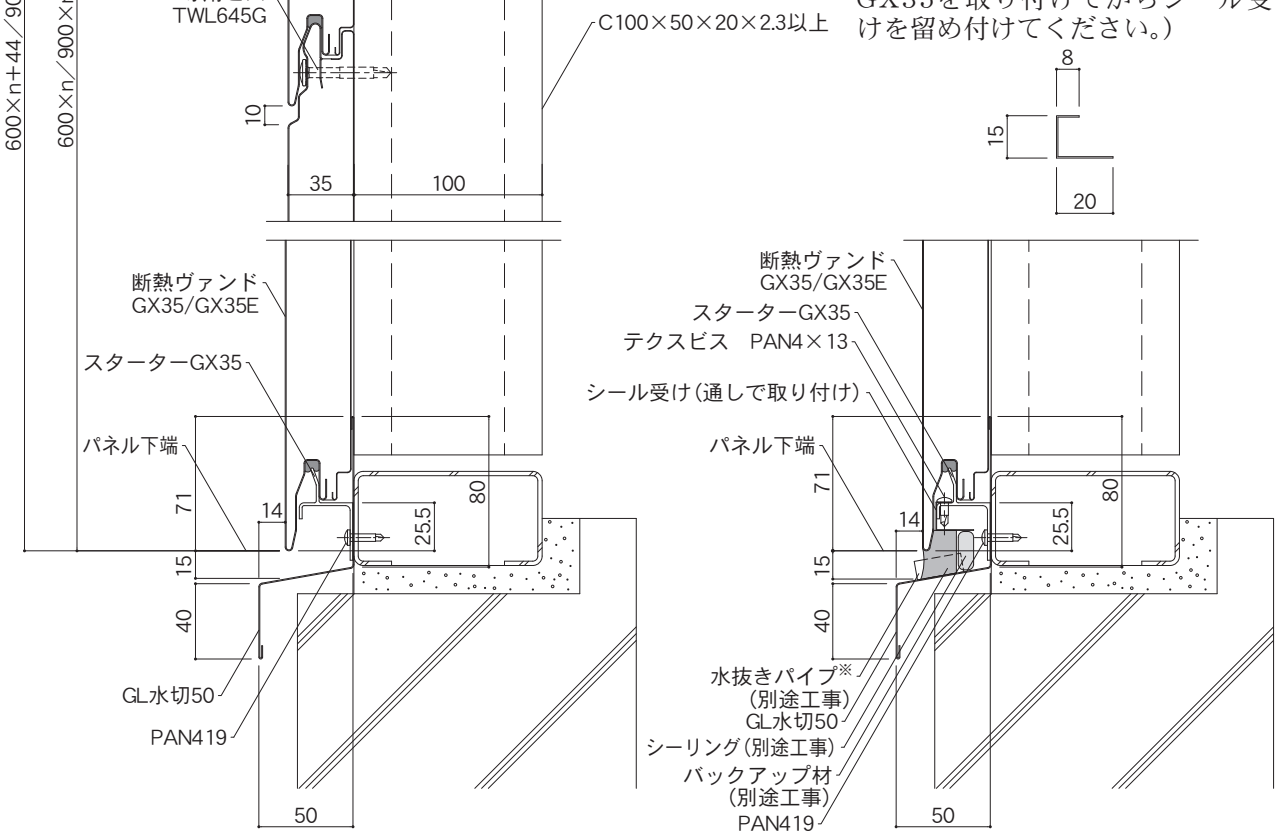
単位：㎜

捨板と交差する部分ではスターターを切断してください。
P114～P115を参照してください。



笠 木 部

シール受け
GL鋼板現場加工 t＝0.35以上
パネル箱折りに干渉しない長さで納めてください。(スターターGX35を取り付けてからシール受けを留め付けてください。)



〔標準納まり〕　**腰水切部**　〔表面止水納まり〕

n：パネル枚数
※水抜きパイプは、たて目地位置に取り付けてください。
○土台水切部の納まりは建物の用途、立地条件、気象条件などを考慮して選定してください。
○働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･たて目地部納まり(シーリングタイプ)

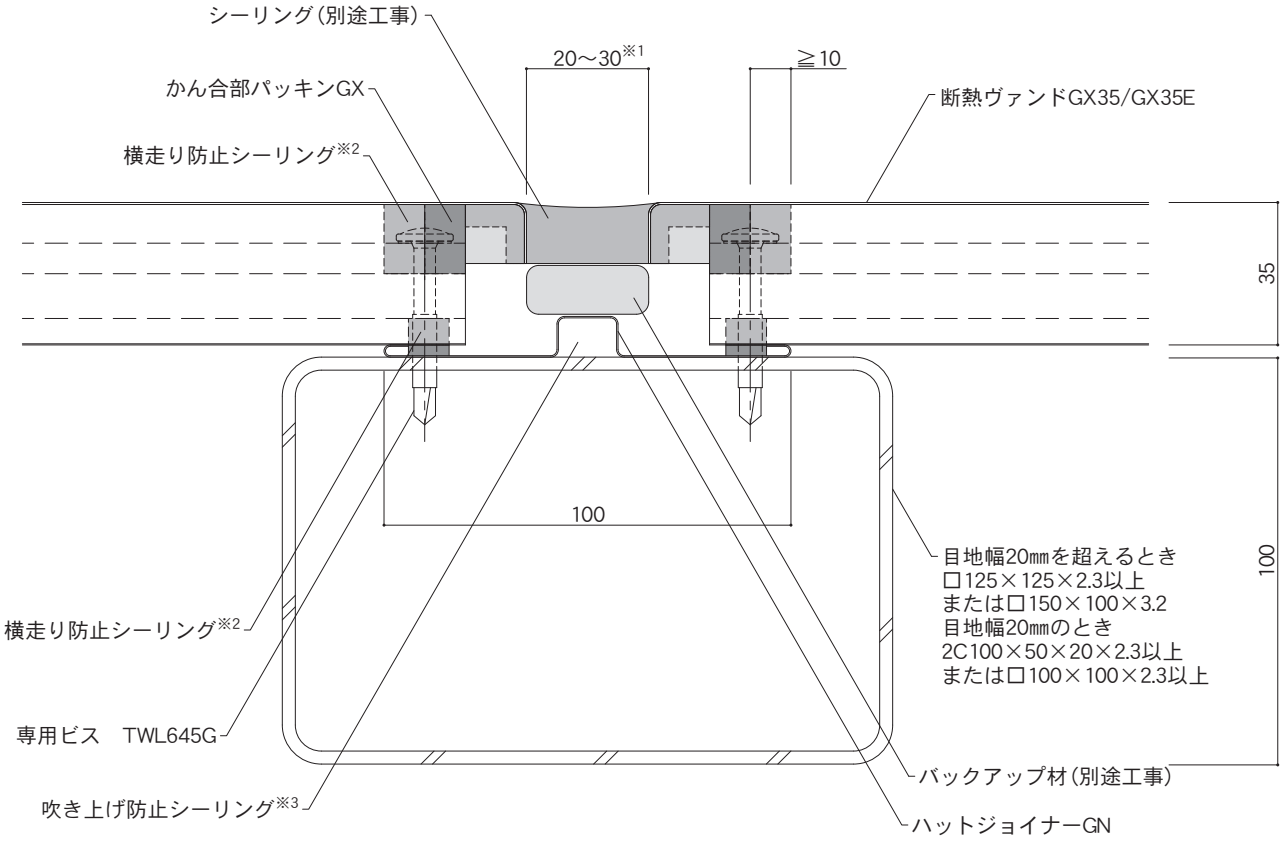
単位：㎜

●シーリングタイプたて目地幅

本体長さが下記表の長さを超える場合は、シーリングタイプの納まりは採用できません。

表面色	日塗工番号 明度区分	パネル本体長さ	目地幅
明色（シルバーS、ホワイト、アイボリー、シャンパンゴールド、グレー、アクアブルー、ペールピンク）	60以上90未満	6.6m以下	20㎜
		6.6mを超え8.3m以下	25㎜
		8.3mを超え10m以下	30㎜
暗色（ガングレーM、グランブルー）	40以上60未満	5.7m以下	20㎜
		5.7mを超え7.1m以下	25㎜
		7.1mを超え8.5m以下	30㎜

（注）特注色の場合は、日塗工番号明度区分に従い目地幅を設定してください。

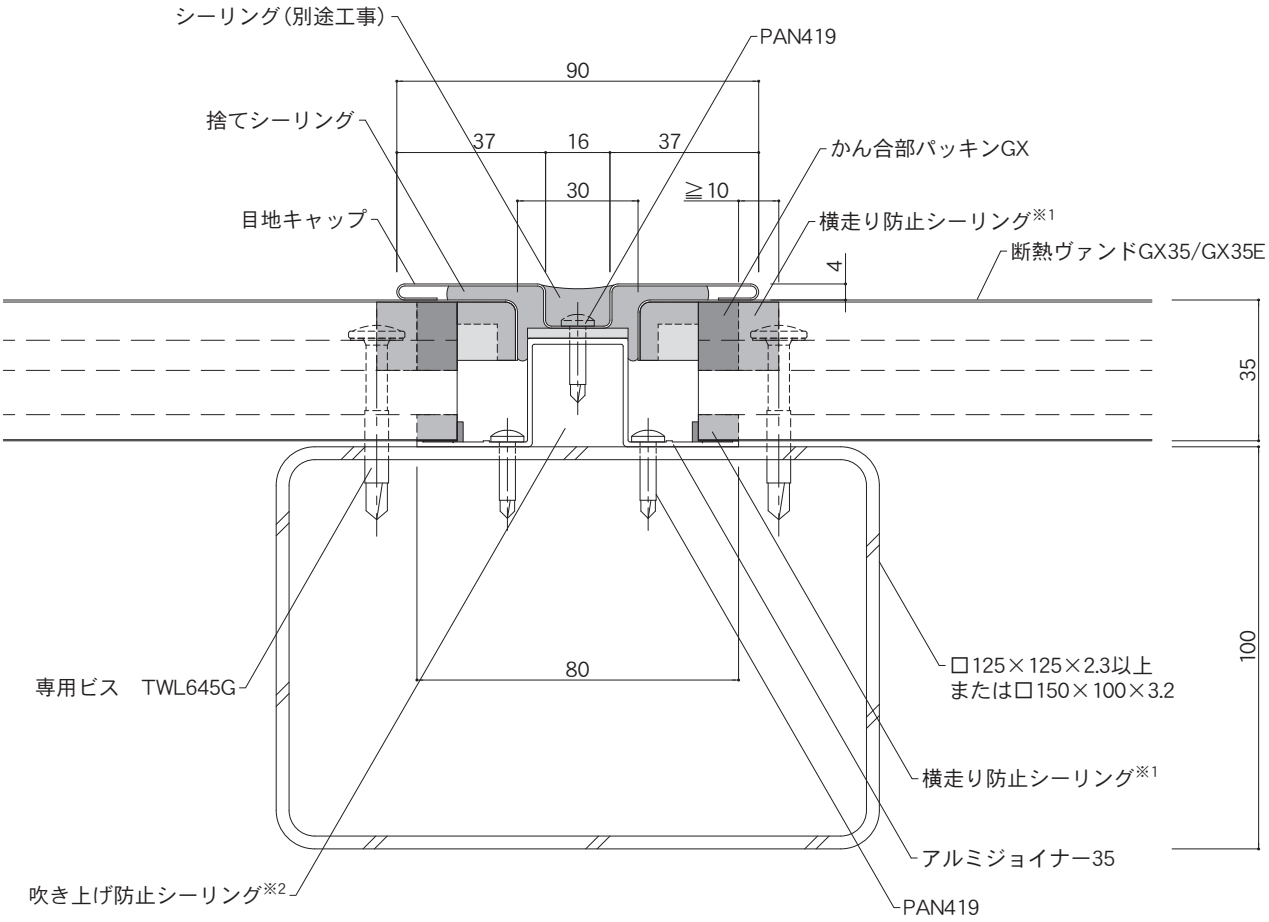


【注意 !! 】 上図のたて目地部の納まりでは、防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194及びPC030NE-0201に対応できません。適合させるにはP57、P59のよこ張り・たて目地部納まり（シーリングタイプ）を参照してください。

※1　シーリングタイプたて目地幅を参照してください。
※2　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※3　水切（土台部）とハットジョイナーGNの取り合いに吹き上げ防止シーリングを施工してください。詳しくはP109を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･たて目地部納まり(フラットタイプ)

単位：㎜

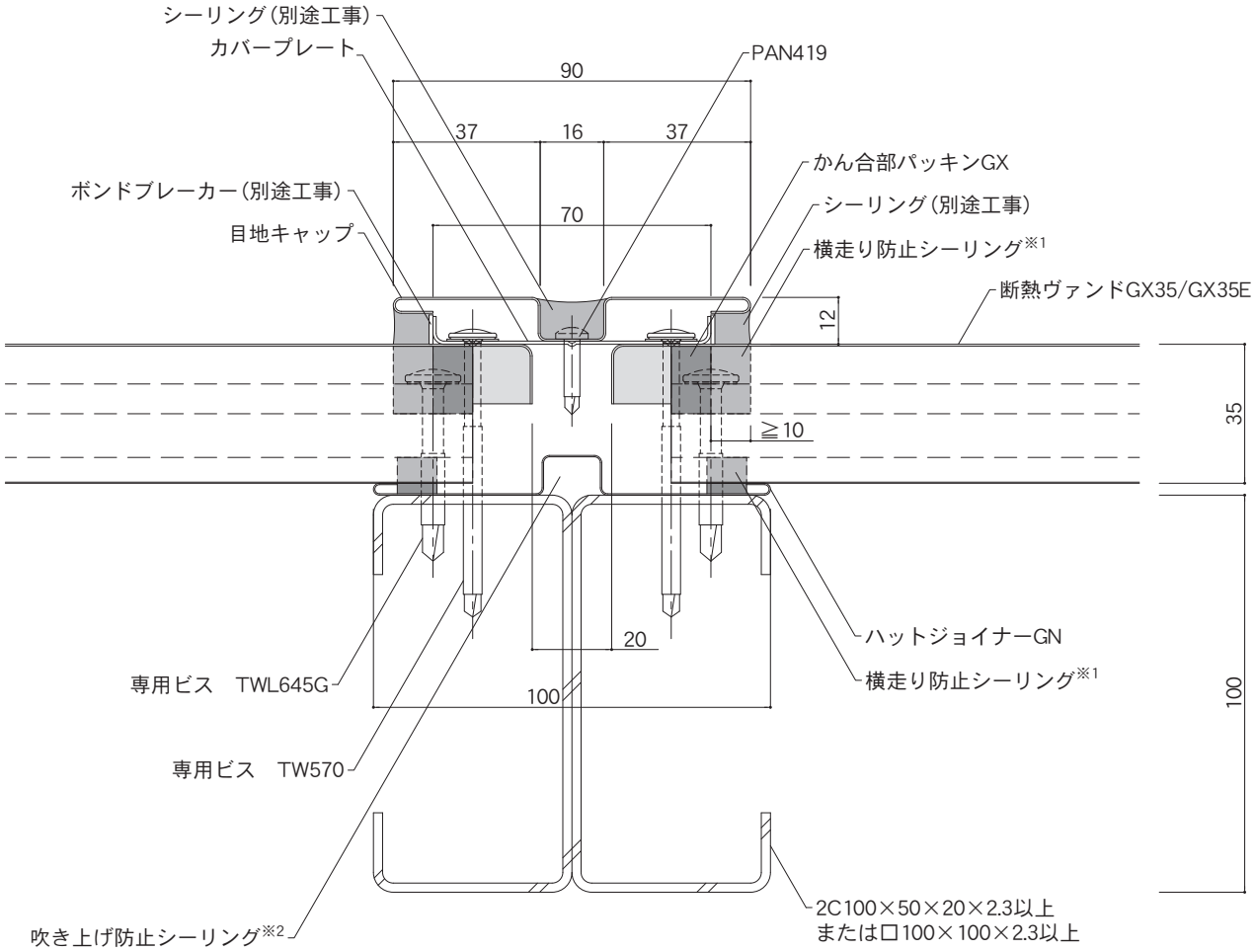


【注意 !! 】 よこ張り・たて目地部の納まり（フラットタイプ）は、防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194及びPC030NE-0201に対応できません。

※1　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※2　水切（土台部）とアルミジョイナー35の取り合いに吹き上げ防止シーリングを施工してください。
　　詳しくはP111を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･たて目地部納まり(ふかしタイプ)

単位：㎜



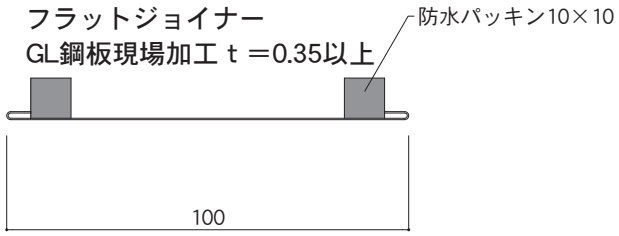
【注意 !! 】 上図のたて目地部の納まりでは、防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194及びPC030NE-0201に対応できません。適合させるにはP58、P60のよこ張り・たて目地部納まり（ふかしタイプ）を参照してください。

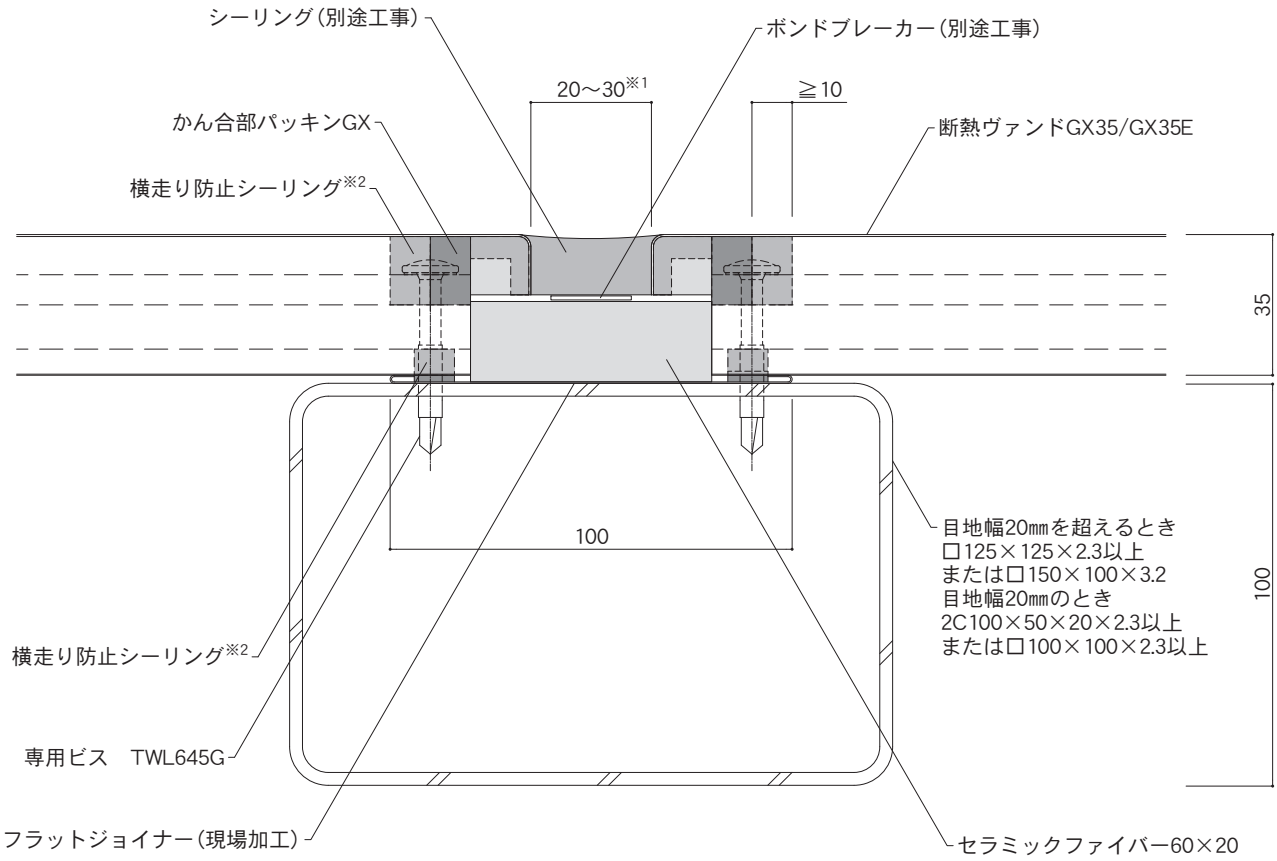
※1　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※2　水切（土台部）とハットジョイナーGNの取り合いに吹き上げ防止シーリングを施工してください。詳しくはP109を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E よこ張り･たて目地部納まり(シーリングタイプ)

単位：㎜

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194に適合させるには下図の納まりとしてください。



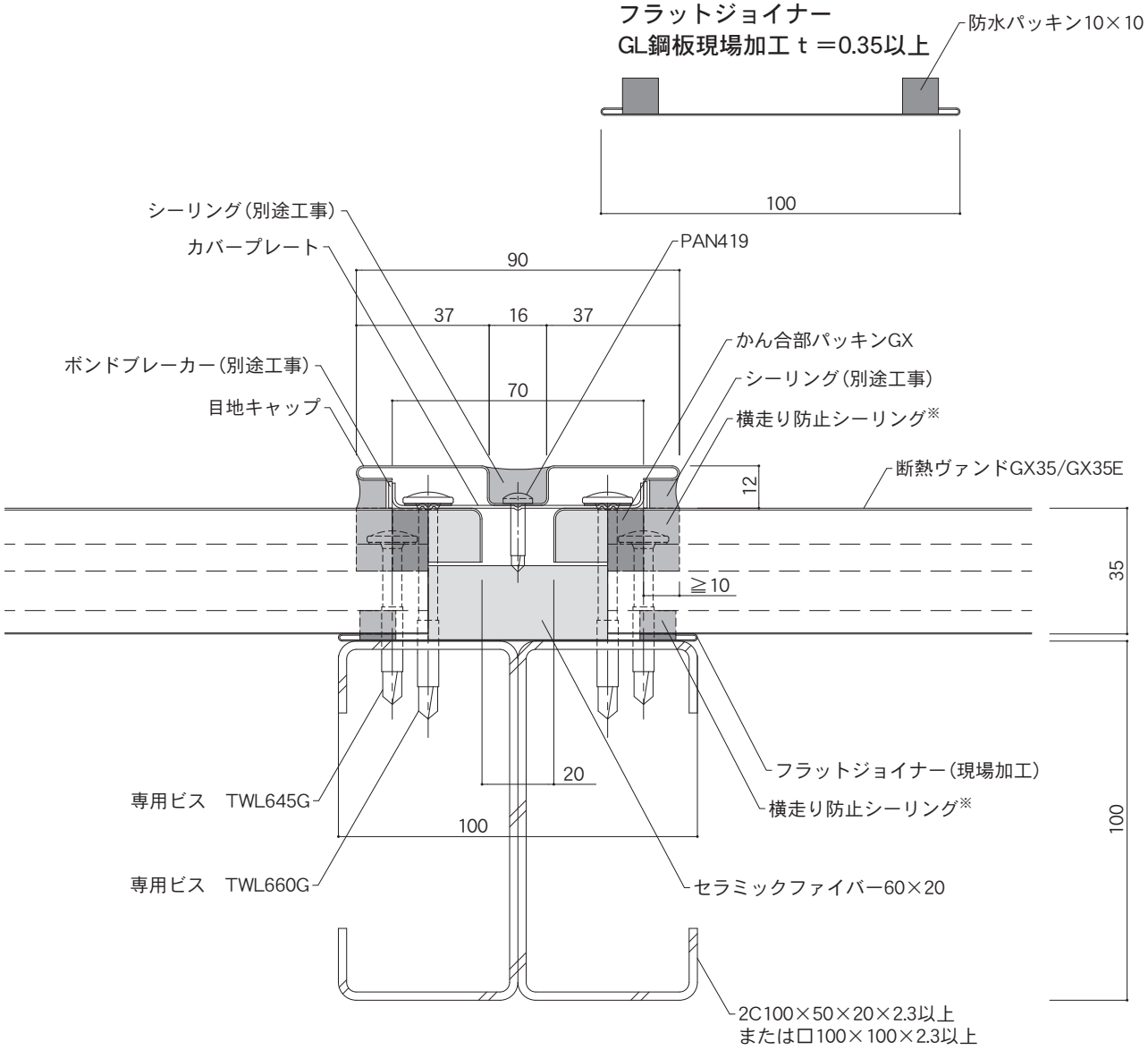


※1　P54シーリングタイプたて目地幅表を参照してください。
※2　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E よこ張り･たて目地部納まり(ふかしタイプ)

単位：㎜

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194に適合させるには下図の納まりとしてください。



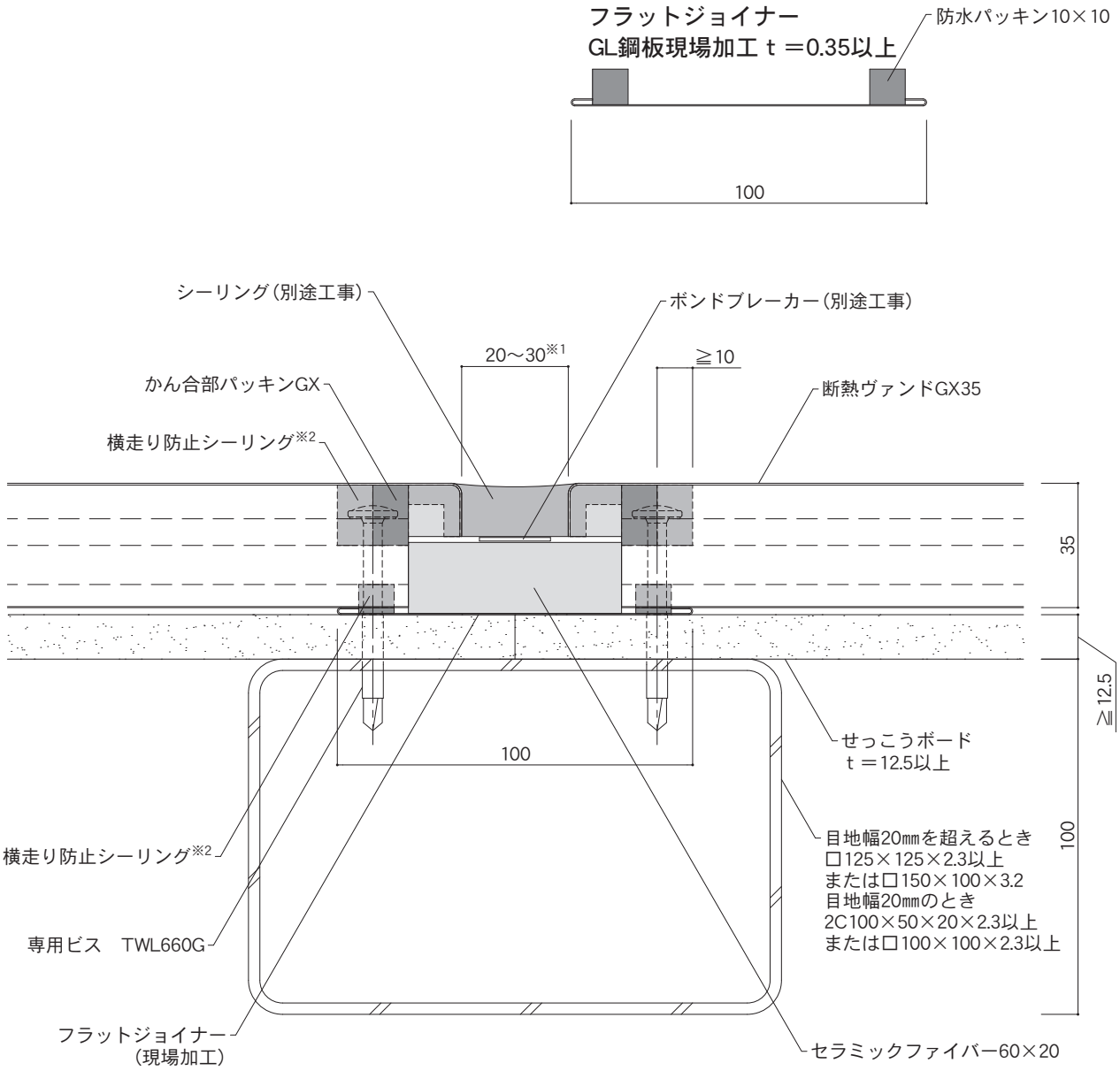
※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35　よこ張り･たて目地部納まり(シーリングタイプ)

単位：㎜

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0201は断熱ヴァンドGX35／GX35N限定です。
この認定に適合させるには下図の納まりとしてください。

■せっこうボード下張り



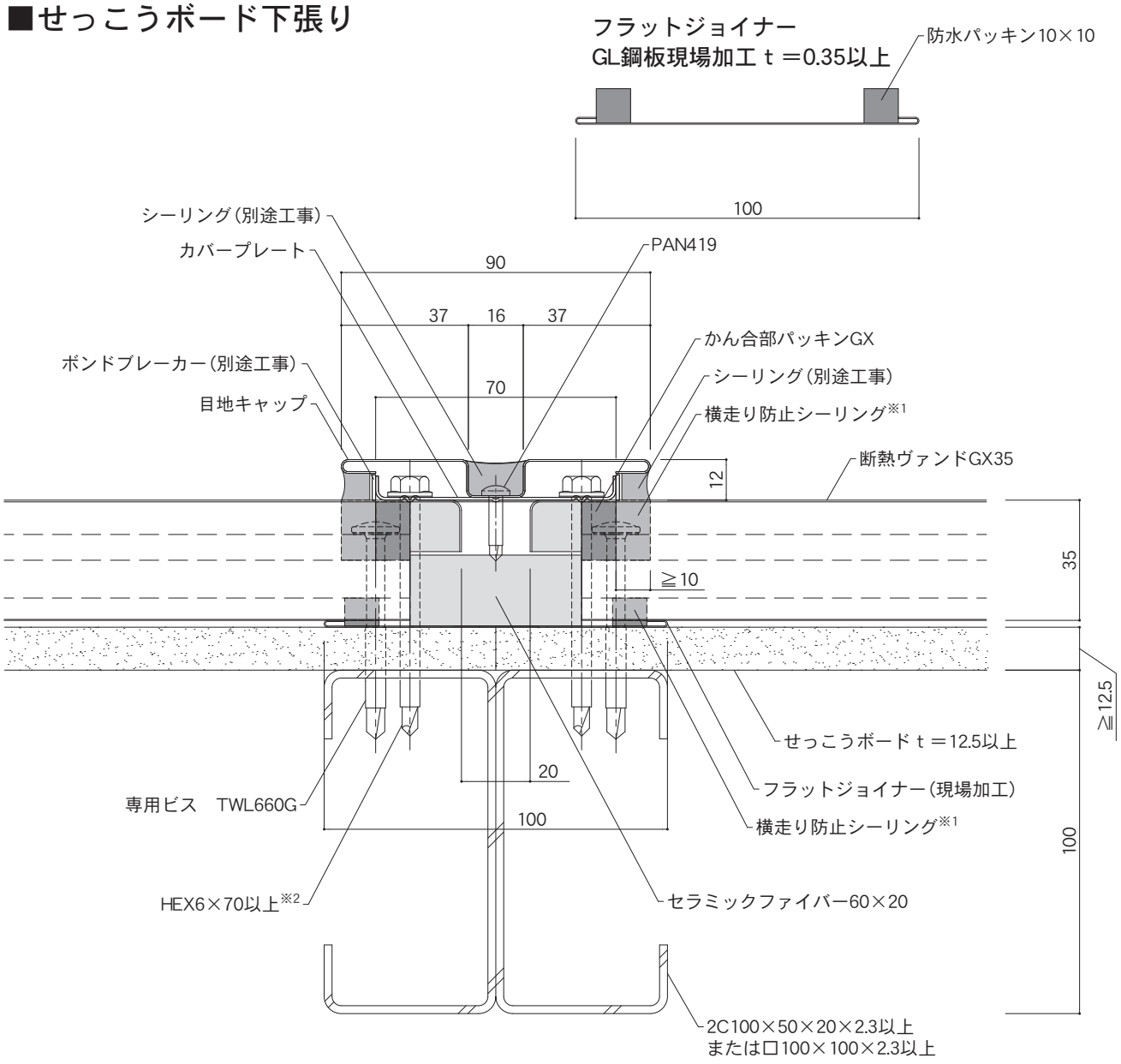
※1　P54シーリングタイプたて目地幅表を参照してください。
※2　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35　よこ張り･たて目地部納まり（ふかしタイプ）

単位：㎜

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0201は断熱ヴァンドGX35／GX35N限定です。
この認定に適合させるには下図の納まりとしてください。

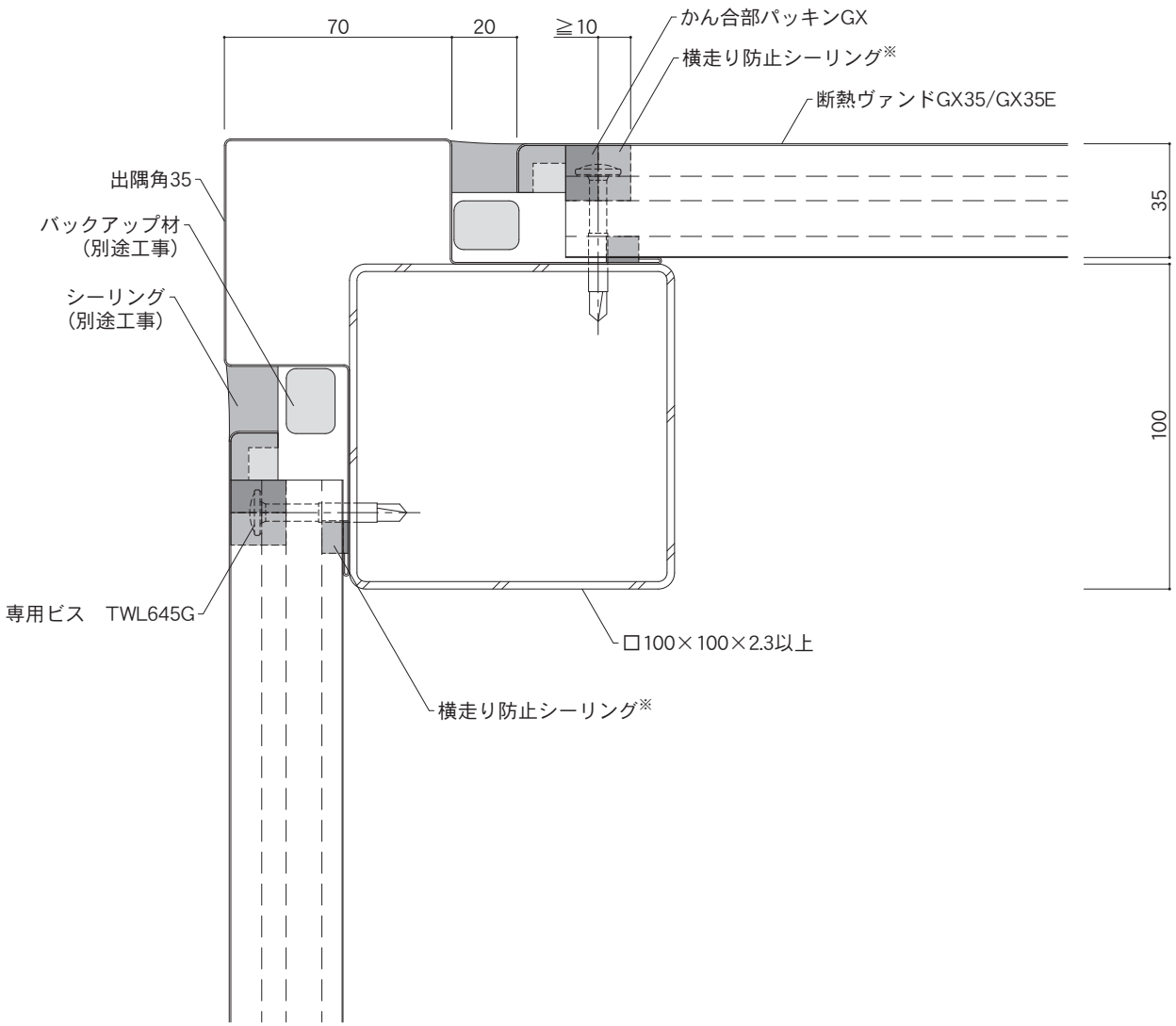
■せっこうボード下張り



※1　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※2　カバープレートの留め付けビスはHEX6×70以上（市販品）を使用してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り・出隅部納まり（出隅角）

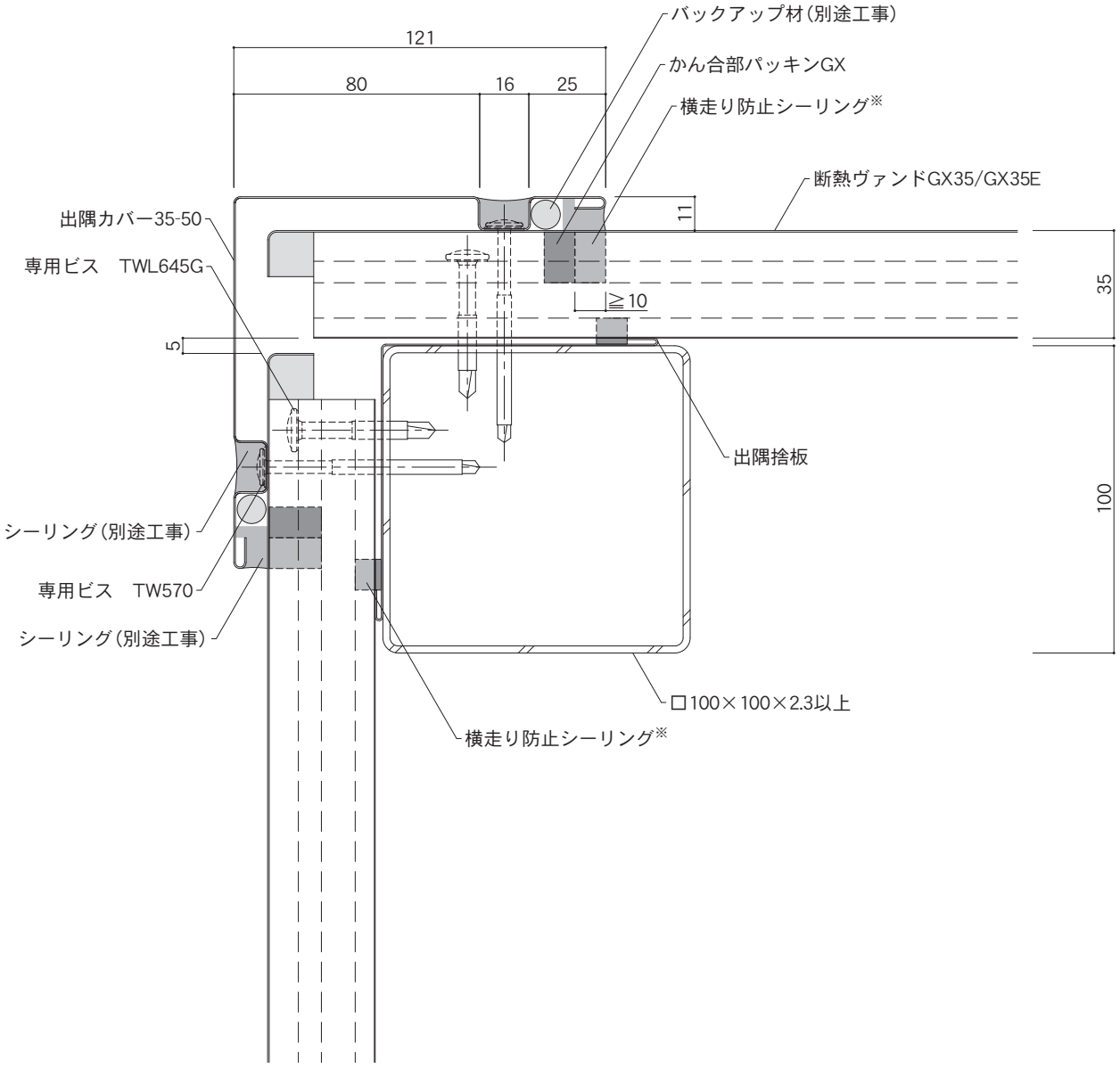
単位：㎜



※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･出隅部納まり(出隅カバー)

単位：㎜



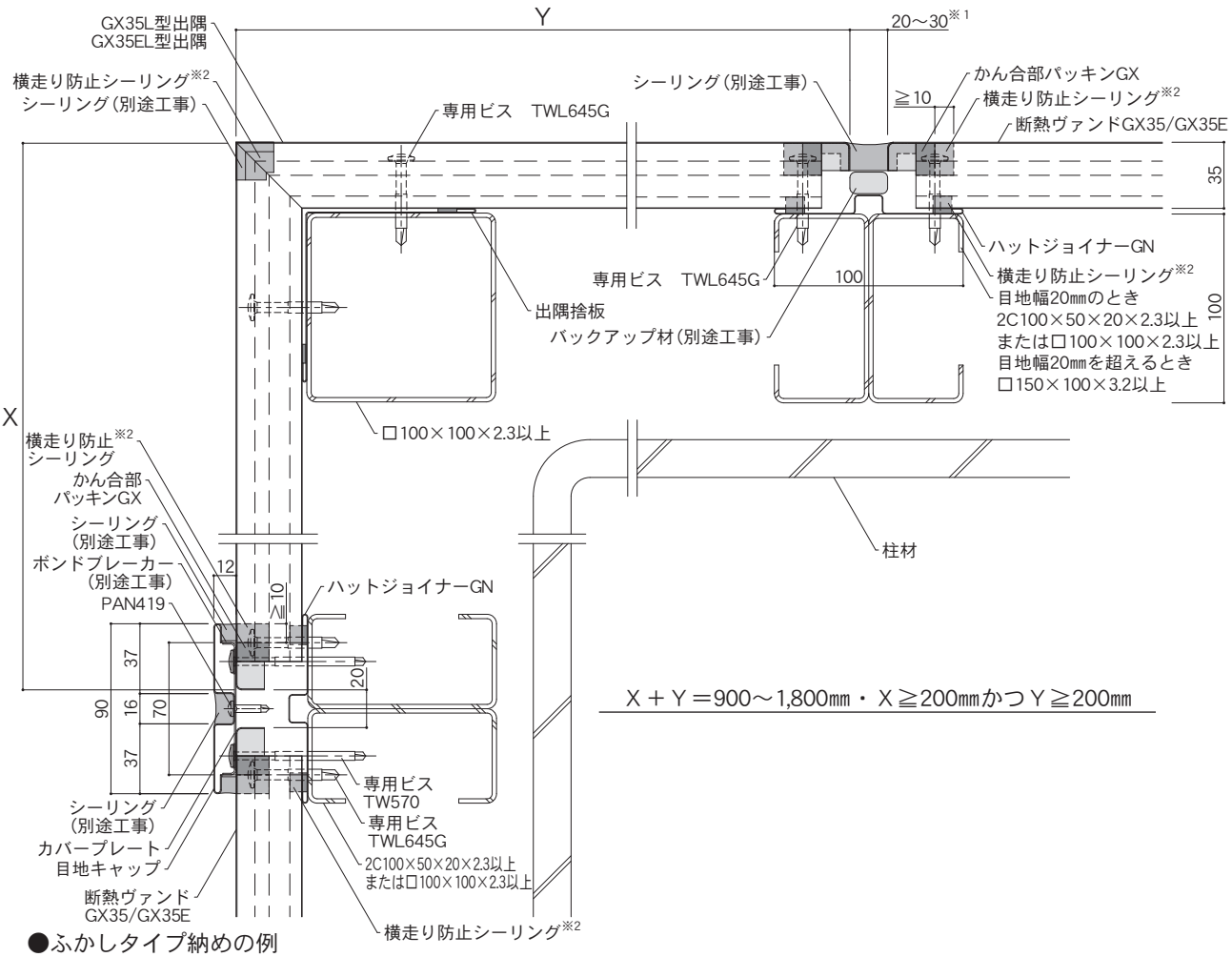
※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･L型出隅部納まり

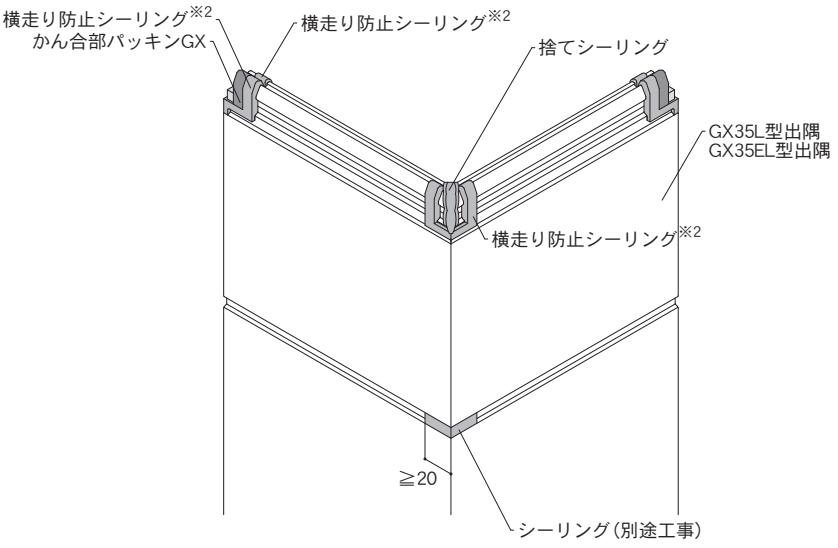
単位：㎜

平 面 図

●シーリングタイプ納めの例



●ふかしタイプ納めの例

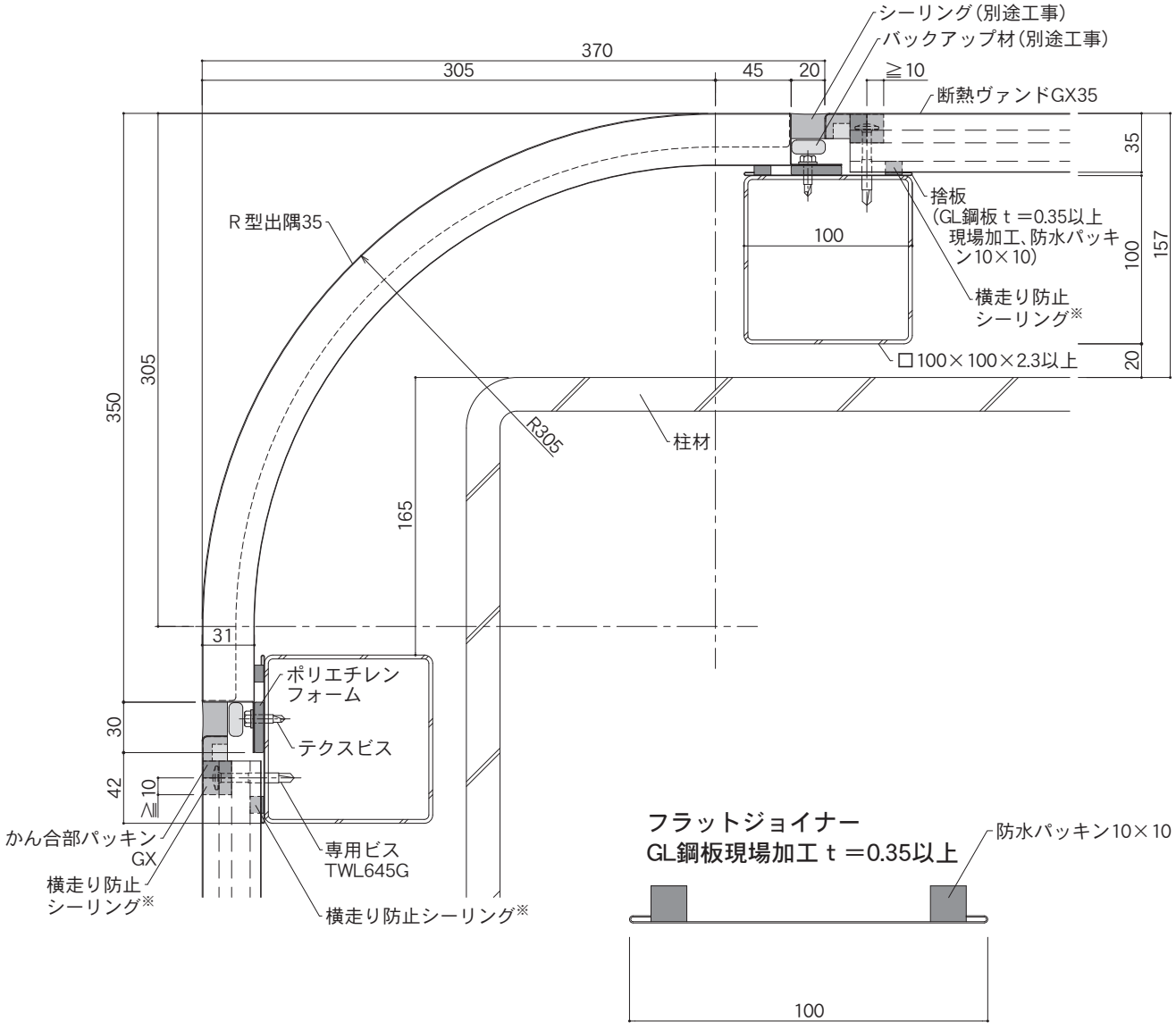


※1　P54シーリングタイプたて目地幅表を参照してください。
※2　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35　よこ張り･R型出隅部納まり

単位：㎜

平 面 図



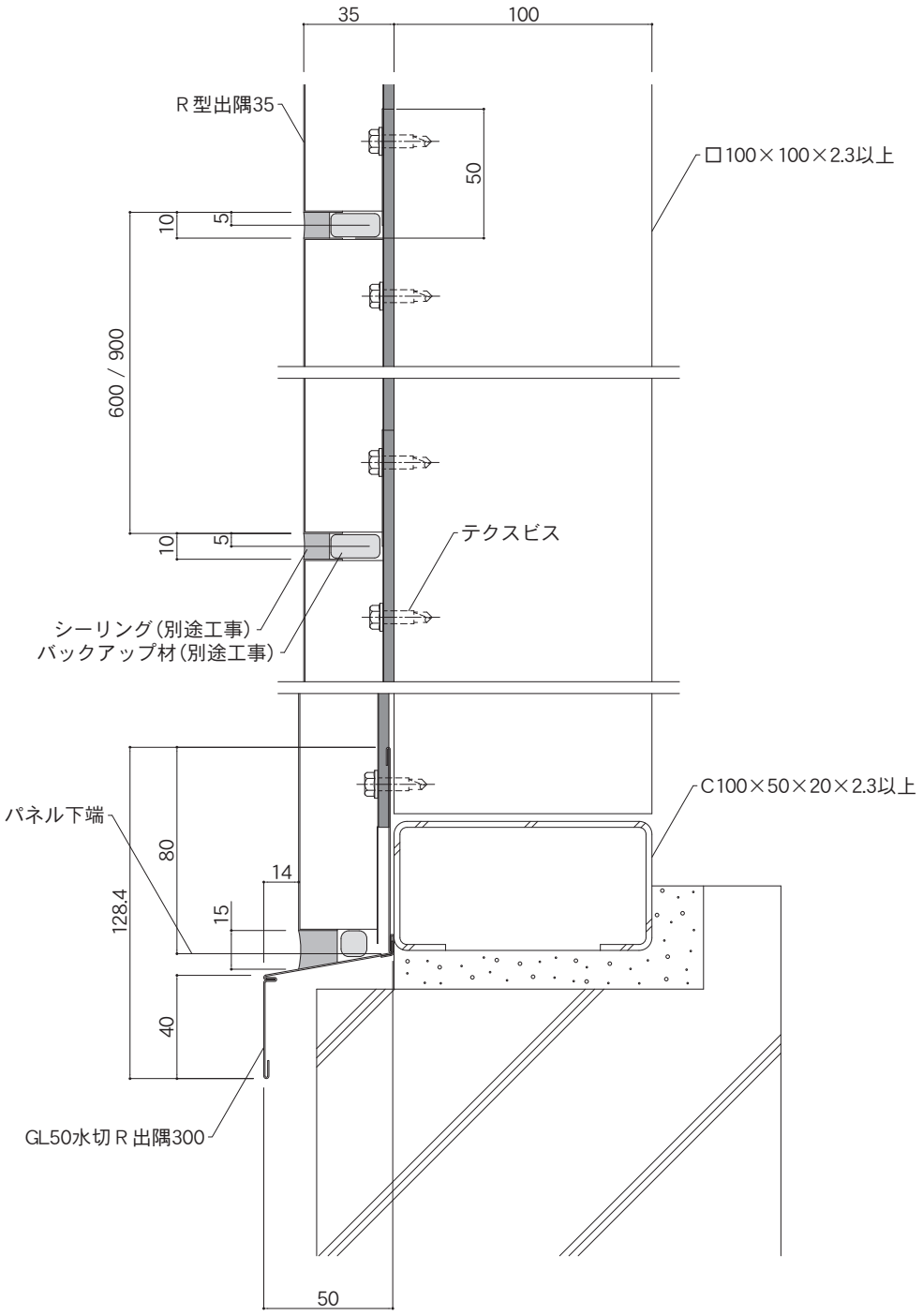
(注) 断熱ヴァンドGX35EにはR型出隅35の設定がありません。

※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35　よこ張り･R型出隅部納まり

単位：㎜

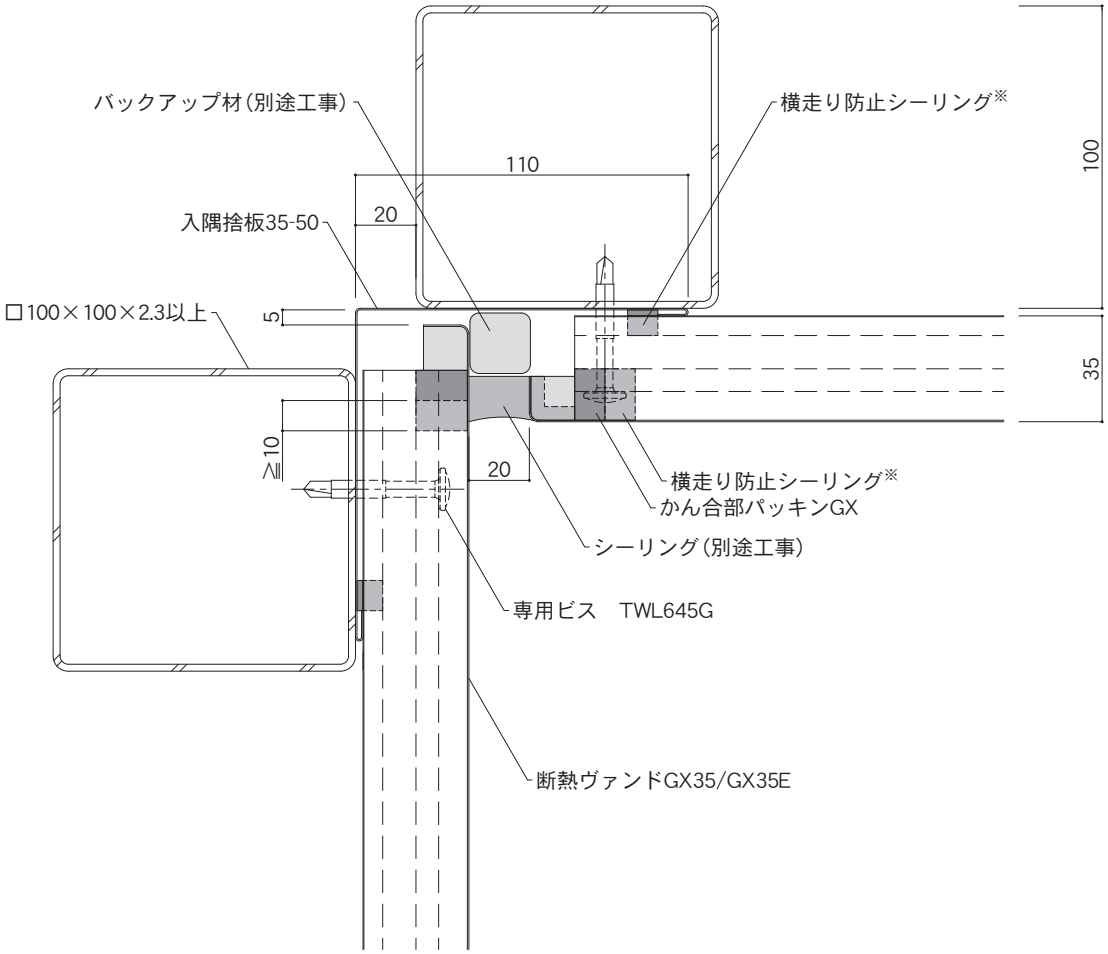
断 面 図



（注）断熱ヴァンドGX35EにはＲ型出隅35の設定がありません。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･入隅部納まり(シーリングタイプ)

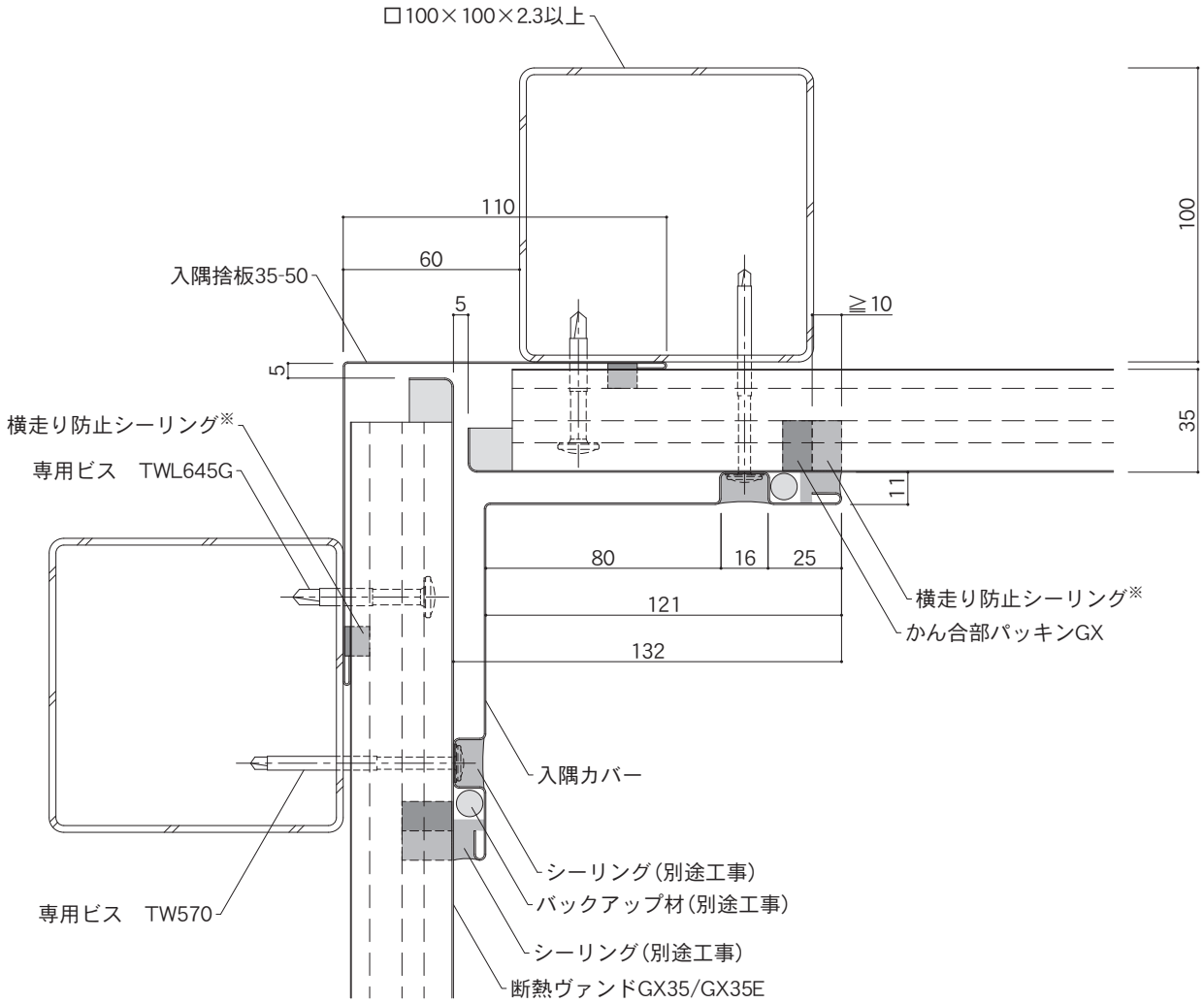
単位：㎜



※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り・入隅部納まり（入隅カバー）

単位：㎜

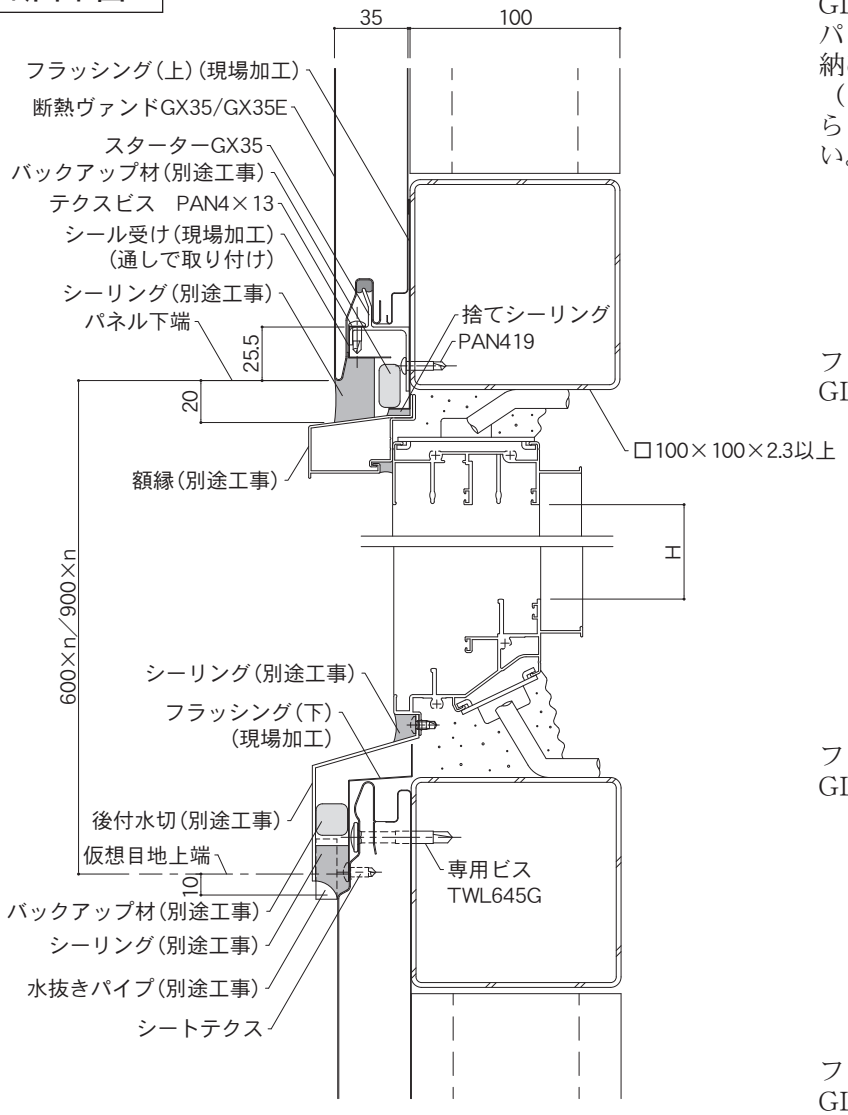


※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

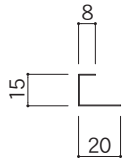
●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･RCサッシ部納まり

単位：㎜

断 面 図

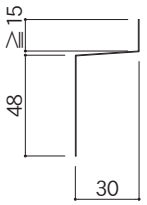


シール受け
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上
パネル箱折りに干渉しない長さで納めてください。
（スタータGX35を取り付けてからシール受けを留め付けてください。）

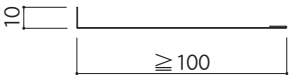


フラッシング（上）
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上

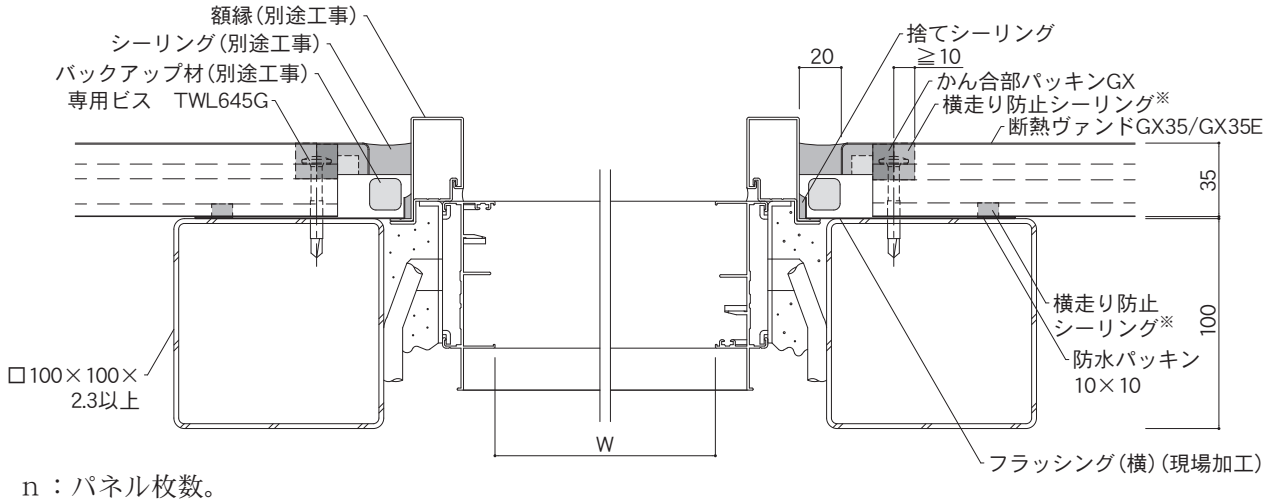
フラッシング（下）
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上



フラッシング（横）
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上



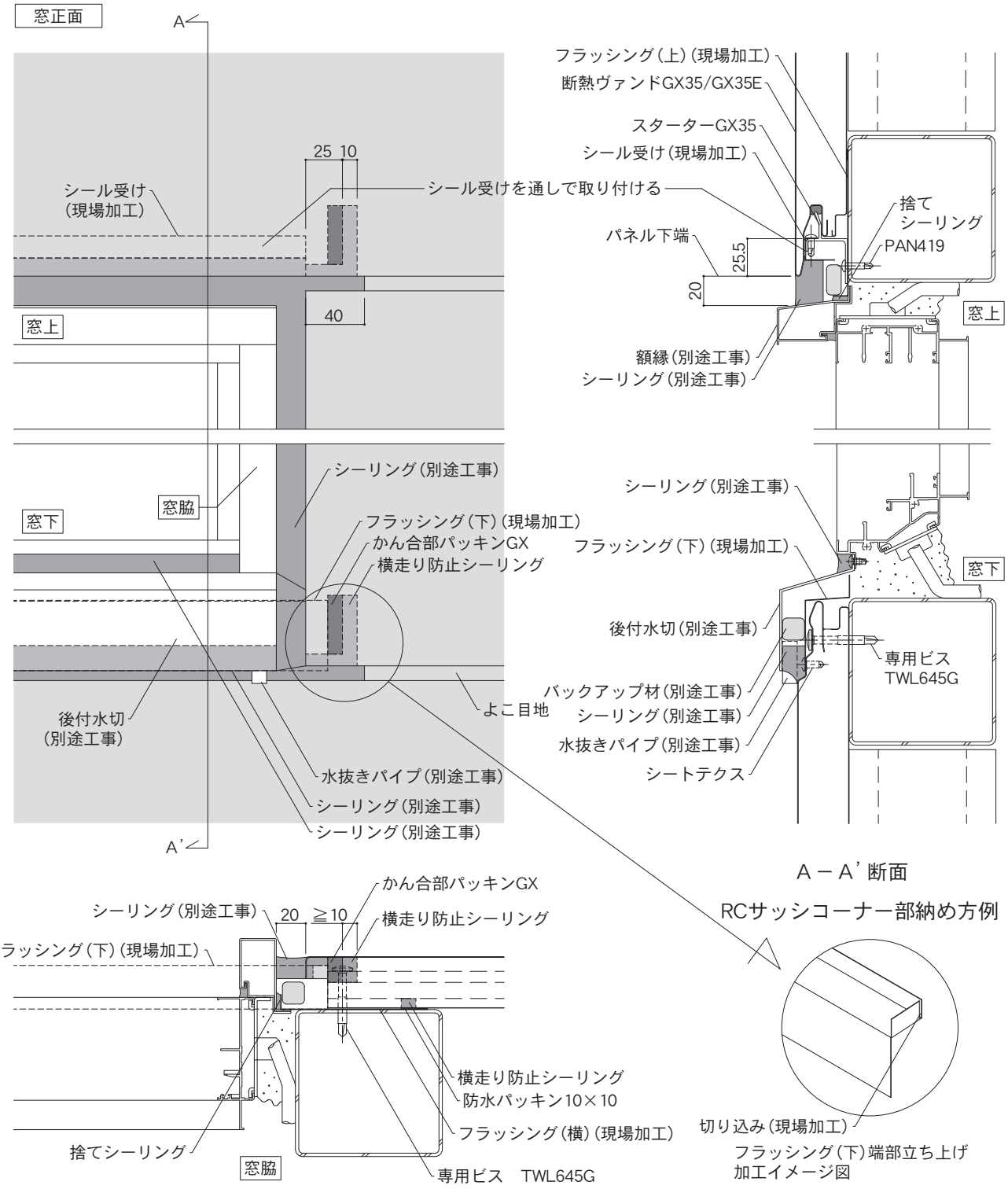
平 面 図



n：パネル枚数。
※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
○働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･RCサッシ部納まり(シーリング詳細)

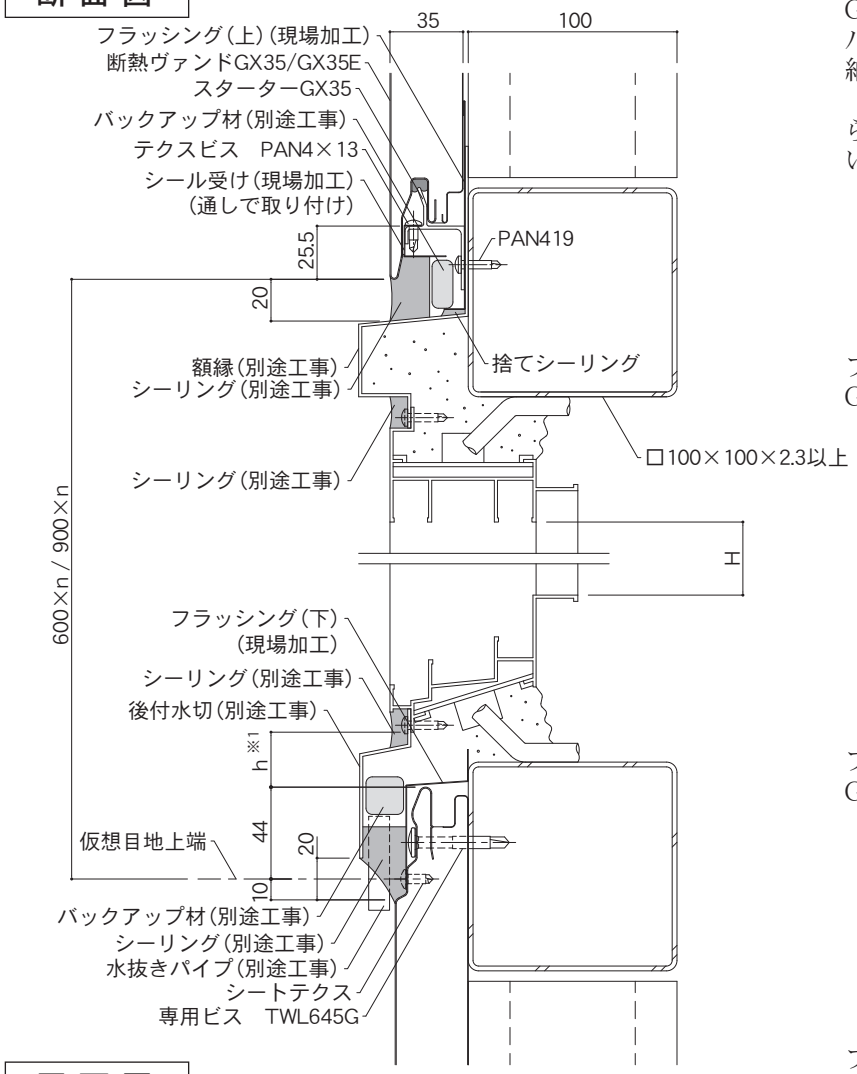
単位：mm



●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･ALCサッシ部納まり

単位：㎜

断 面 図

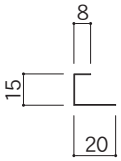


シール受け

GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上

パネル箱折りに干渉しない長さで納めてください。

（スタータGX35を取り付けてからシール受けを留め付けてください。）

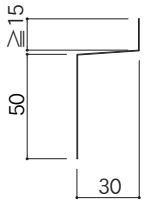


フラッシング（上）

GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上

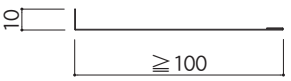
フラッシング（下）

GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上

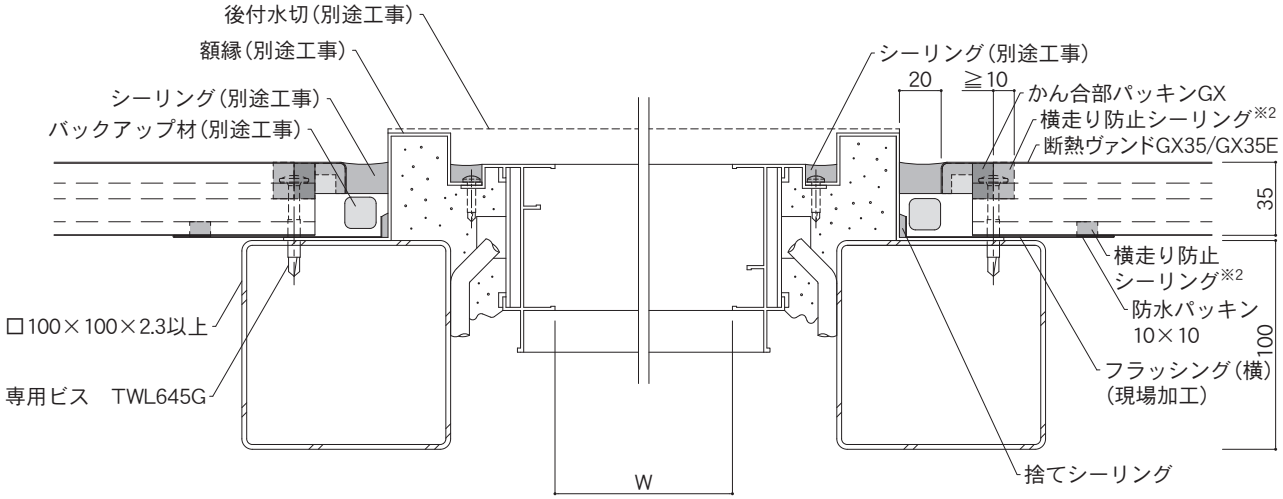


フラッシング（横）

GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上



平 面 図



n：パネル枚数

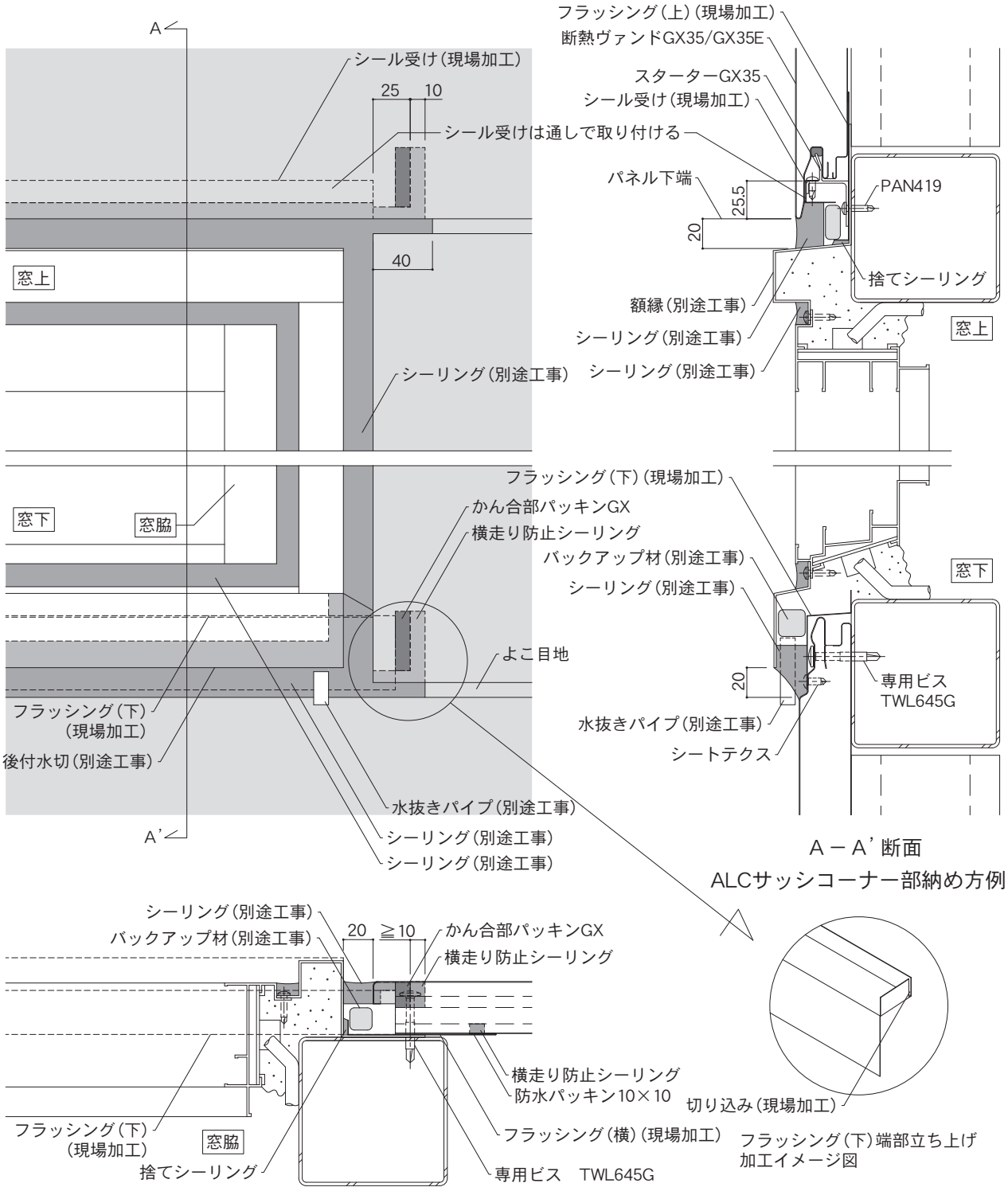
※1　hはサッシ下端～パネル上端クリアランス（h≧20）

※2　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

○働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　よこ張り･ALCサッシ部納まり(シーリング詳細)

単位：mm

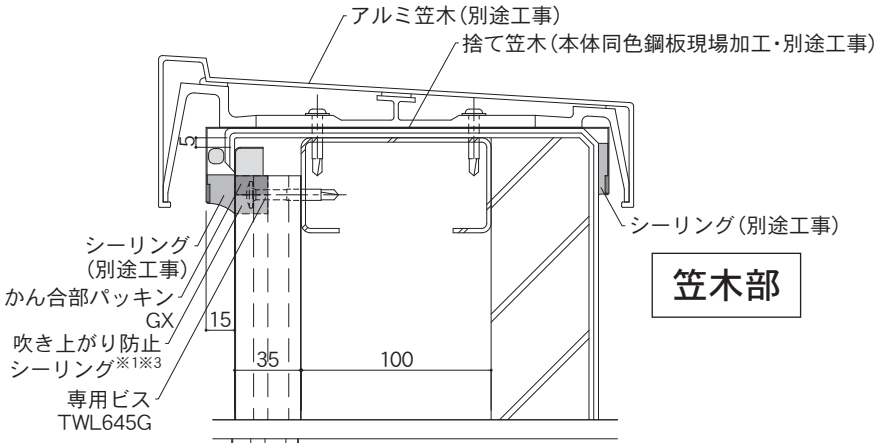


4−2　断熱ヴァンドGX35／GX35E（たて張り）

張り方向	納まり部位	頁
たて張り	笠木、水切部納まり	73
	軒下部納まり	74
	ケラバ部納まり	75
	出隅部納まり（出隅カバー）	76
	入隅部納まり（入隅カバー）	77
	スチールドア部納まり	78
	スチールドア部納まり（シーリング詳細）	79
	ACLサッシ部納まり	80
	ACLサッシ部納まり（シーリング詳細）	81

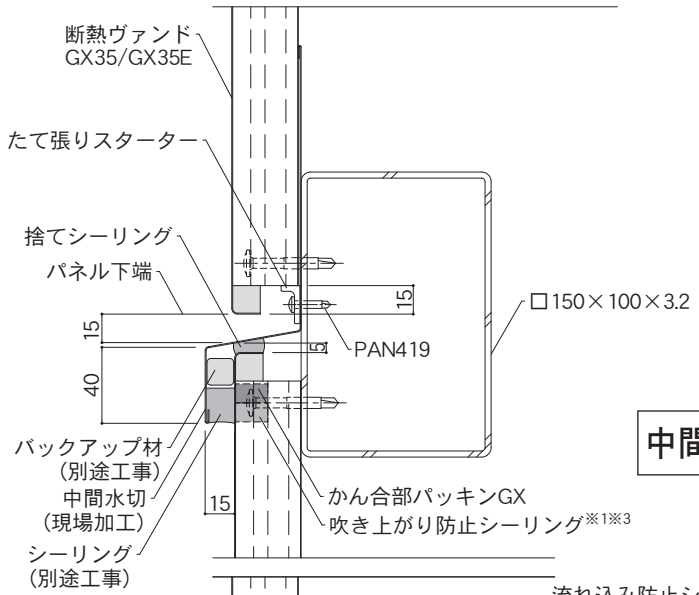
●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り･笠木､水切部納まり

単位：㎜



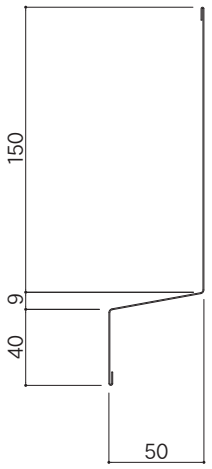
笠木部

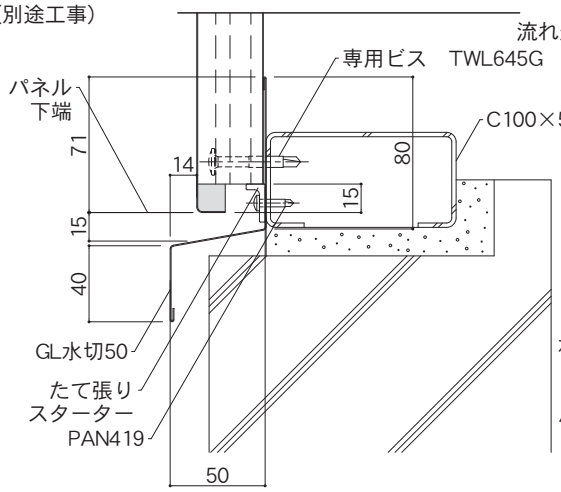
捨板と交差する部分ではスターターを切断してください。
P137を参照してください。



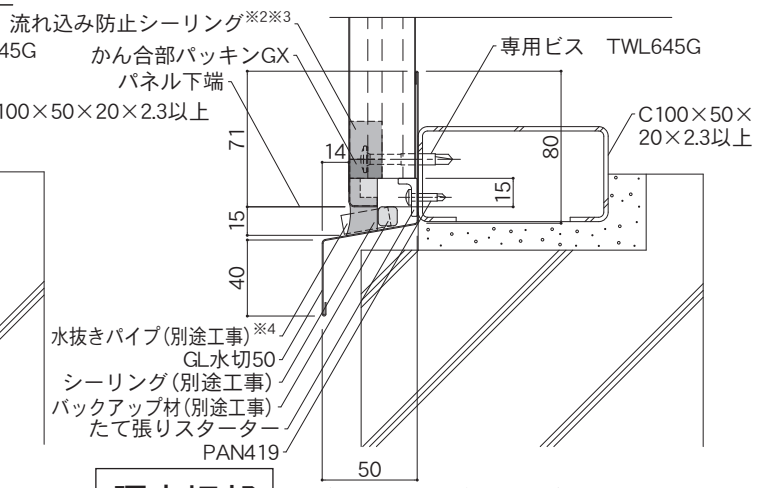
中間水切部

中間水切
ＧＬ鋼板現場加工ｔ＝0.5以上





〔標準納まり〕



腰水切部

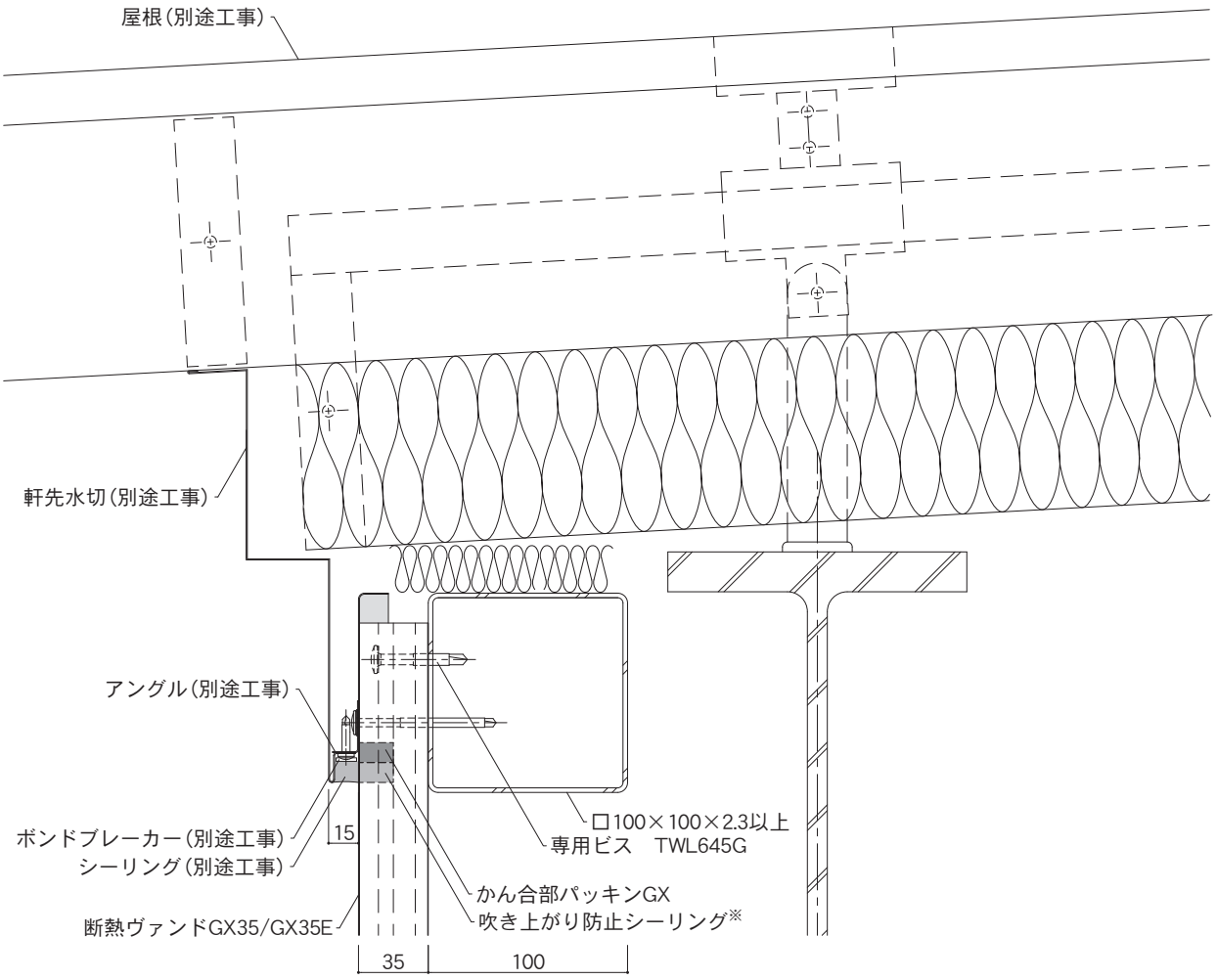
〔表面止水納まり〕

※１　パネル上部には必ず吹き上がり防止シーリングを施してください。
　　吹き上がり防止シーリングは、シーリング（別途工事）とつながる位置に打ってください。
※２　表面止水納まりを選定した場合は、必ず流れ込み防止シーリングを施してください。
※３　吹き上がり防止シーリング、流れ込み防止シーリングの打ち方についてはP139を参照してください。
※４　水抜きパイプは、働き幅600㎜の場合たて目地2,400㎜以下に1箇所。働き幅900㎜の場合たて目地3,600㎜以下に1箇所の間隔でたて目地下部に取り付けてください。

○土台部の納まりは建物の用途、立地条件、気象条件などを考慮して選定してください。
○働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り･軒下部納まり

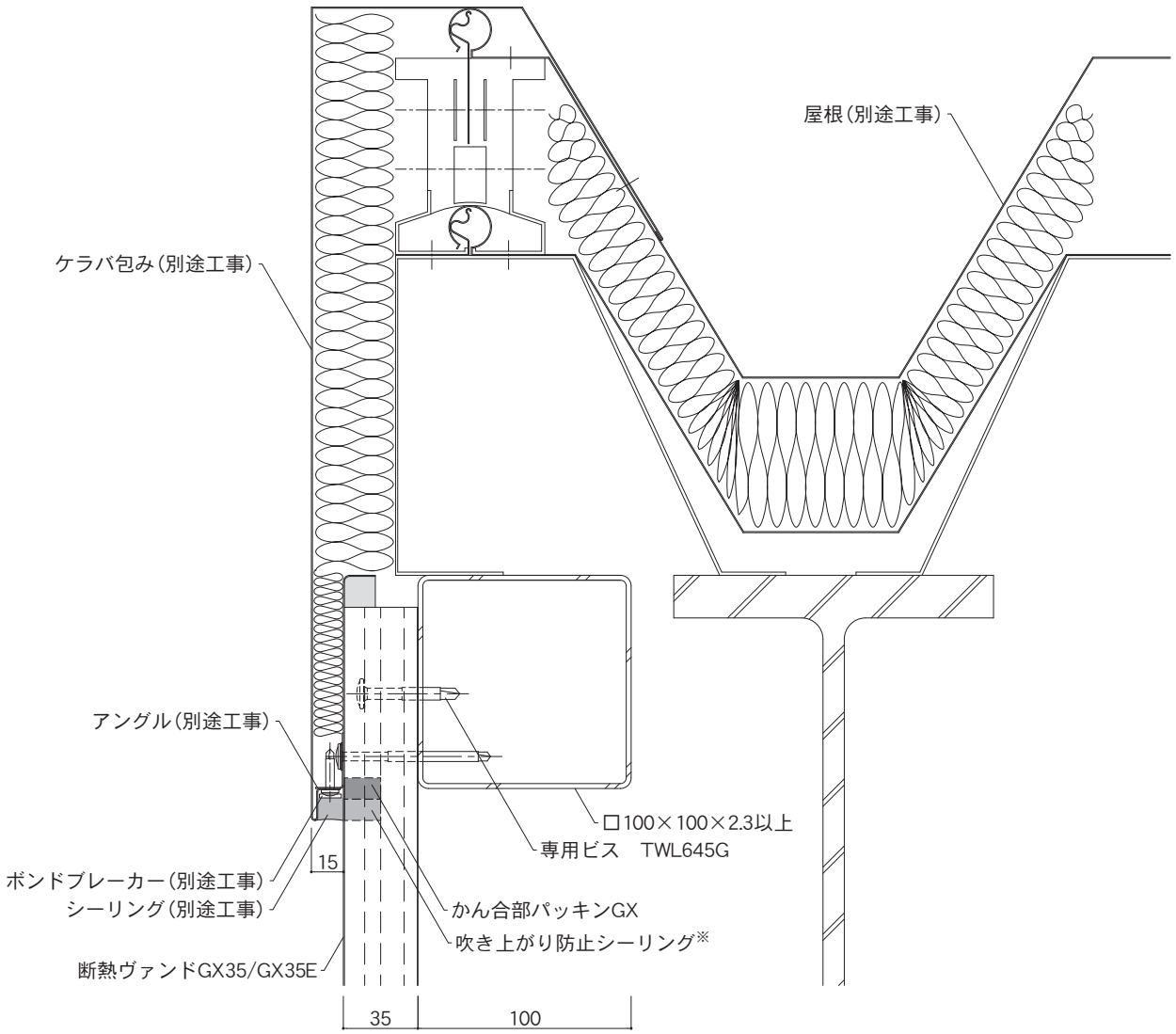
単位：㎜



※　吹き上がり防止シーリングは、シーリング（別途工事）とつながる位置に打ってください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り・ケラバ部納まり

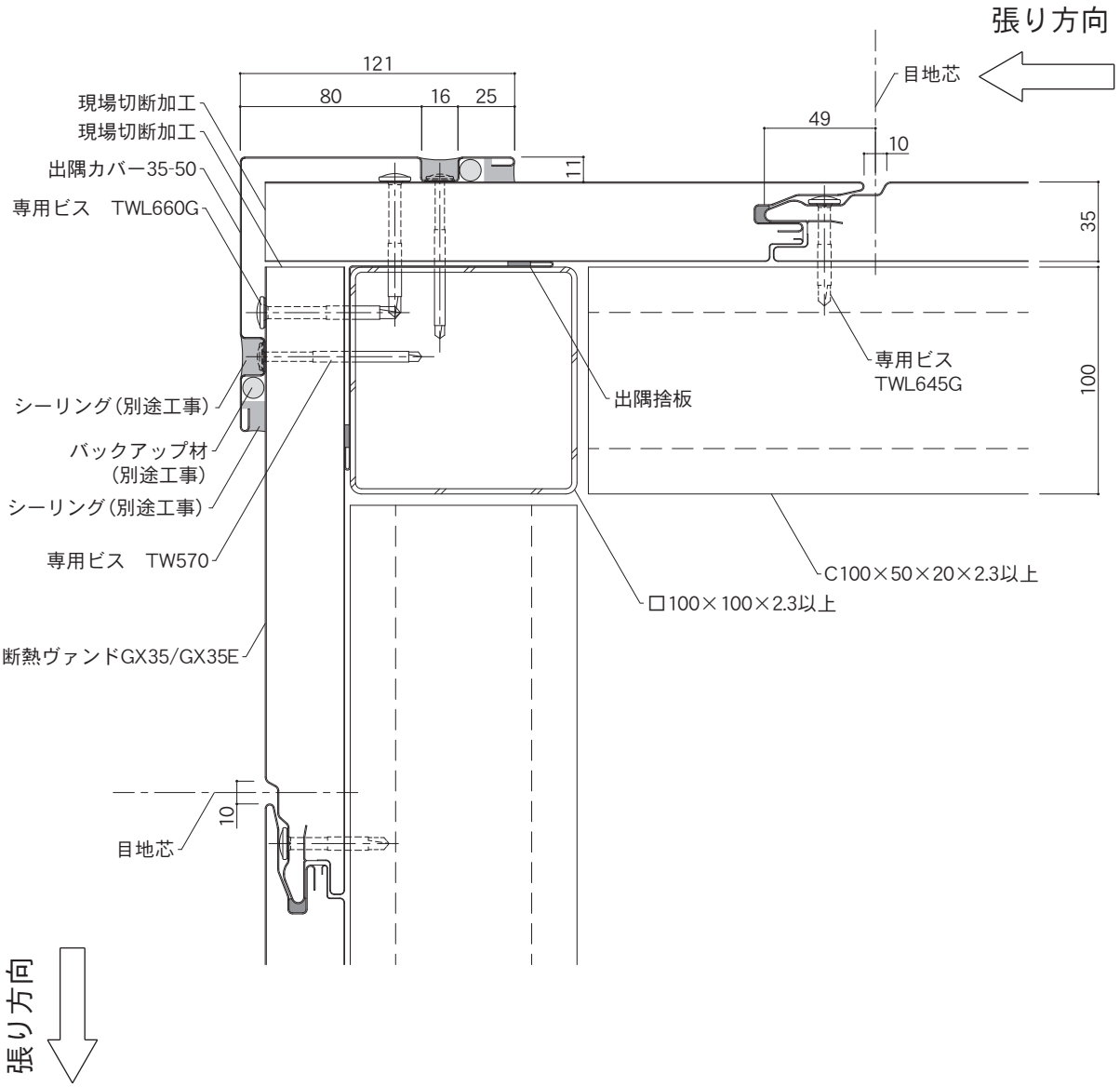
単位：㎜



※　吹き上がり防止シーリングは、シーリング（別途工事）とつながる位置に打ってください。

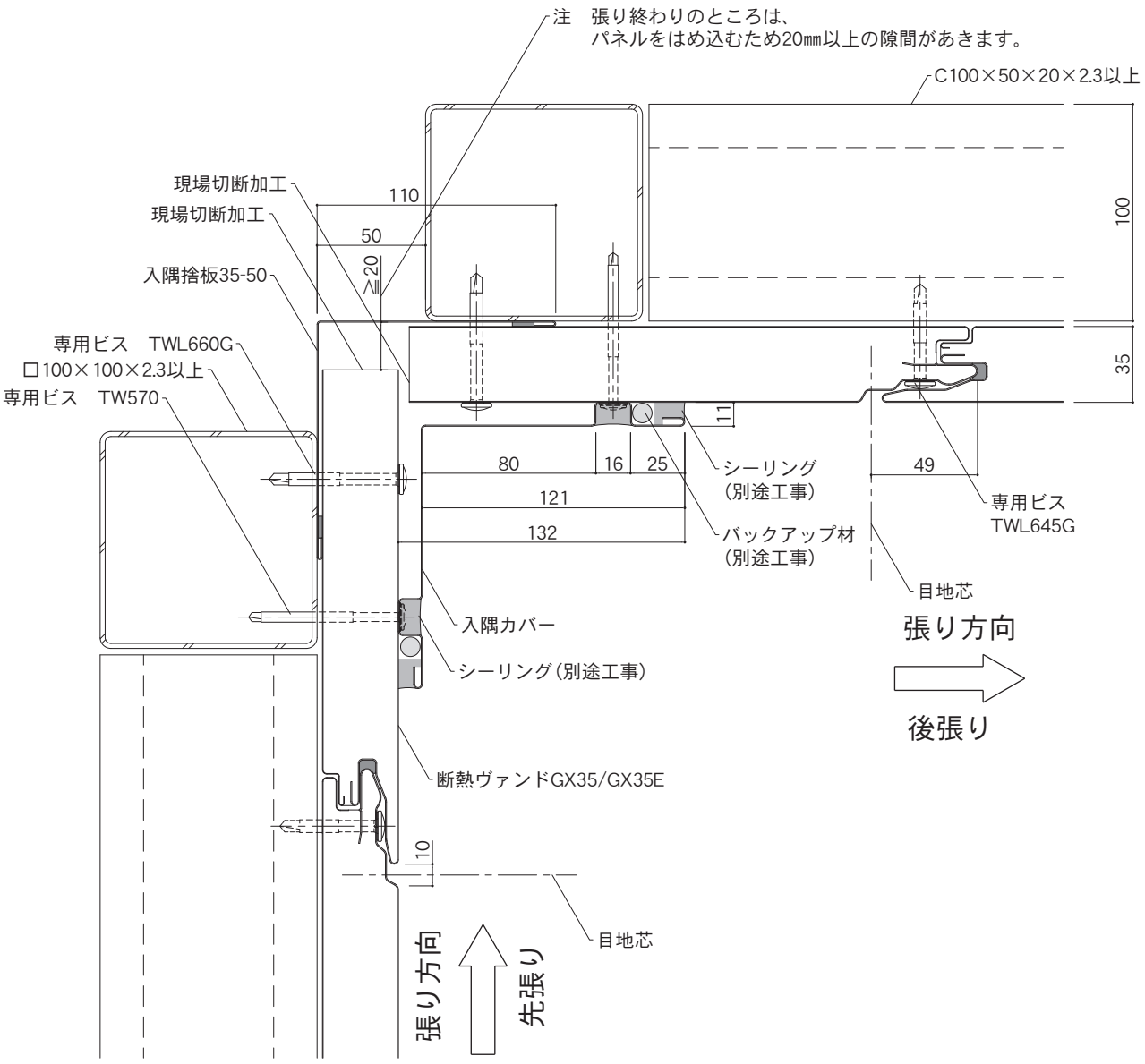
●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り・出隅部納まり

単位：㎜



●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り・入隅部納まり

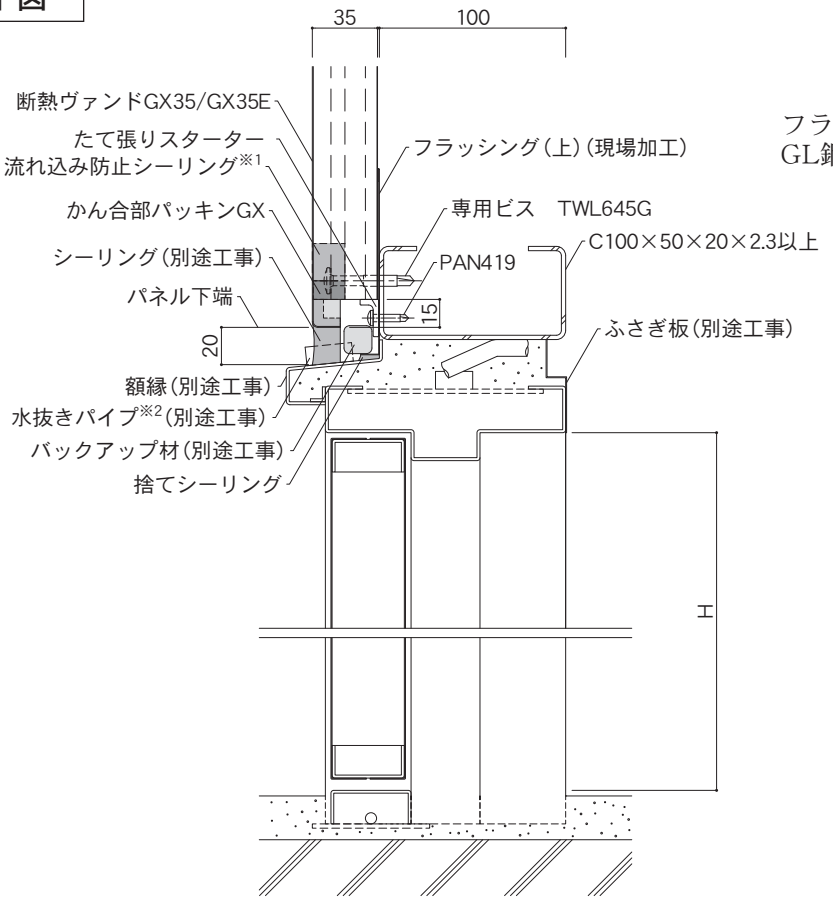
単位：㎜



●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り･スチールドア部納まり

単位：㎜

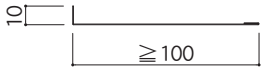
断面図

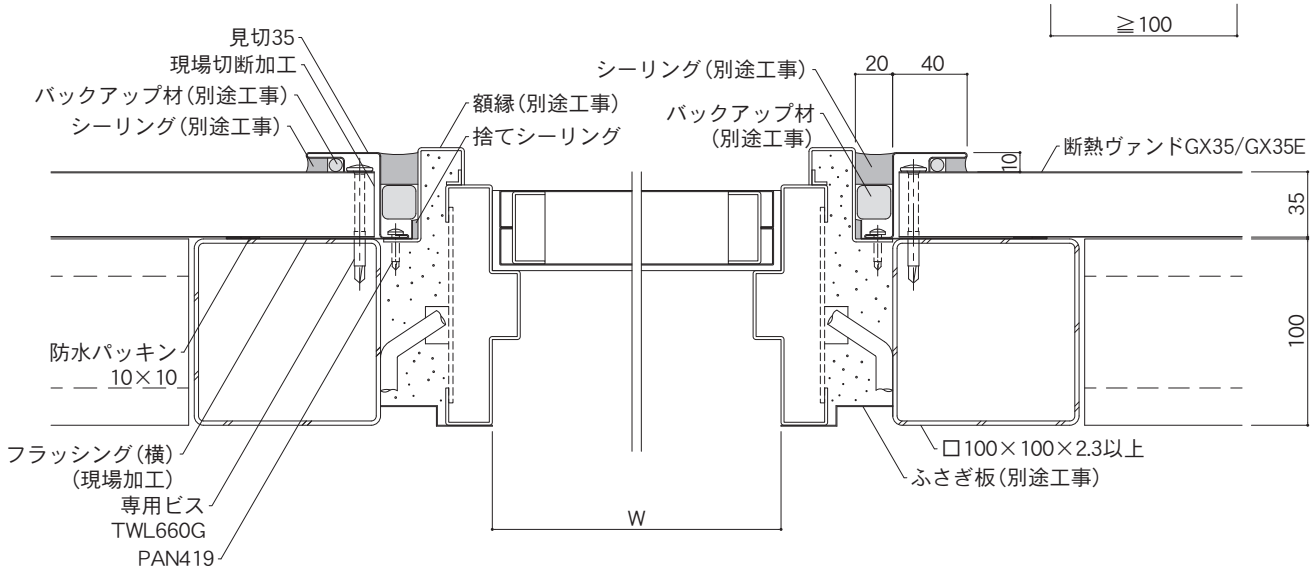


フラッシング（上）
GL鋼板現場加工 t＝0.35以上

平面図

フラッシング（横）
GL鋼板現場加工 t＝0.35以上



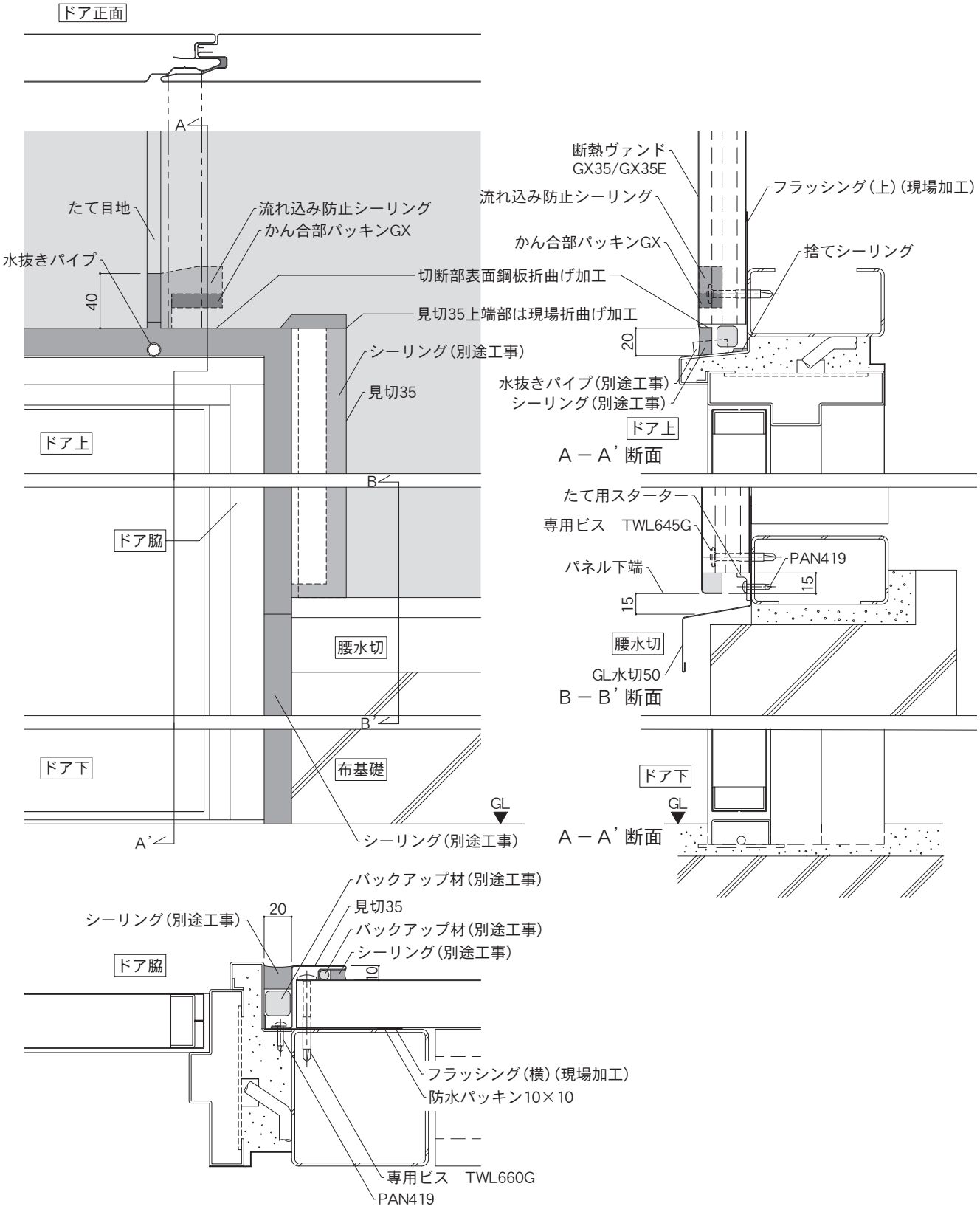


※１　パネル下部と水切やサッシ上部との取り合いをシール納めとする場合は、必ず流れ込防止シーリングを施してください。

※２　水抜きパイプは、働き幅600㎜の場合たて目地2,400㎜以下に1箇所。働き幅900㎜の場合たて目地3,600㎜以下に1箇所の間隔でたて目地下部に取り付けてください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り･スチールドア部納まり(シーリング詳細)

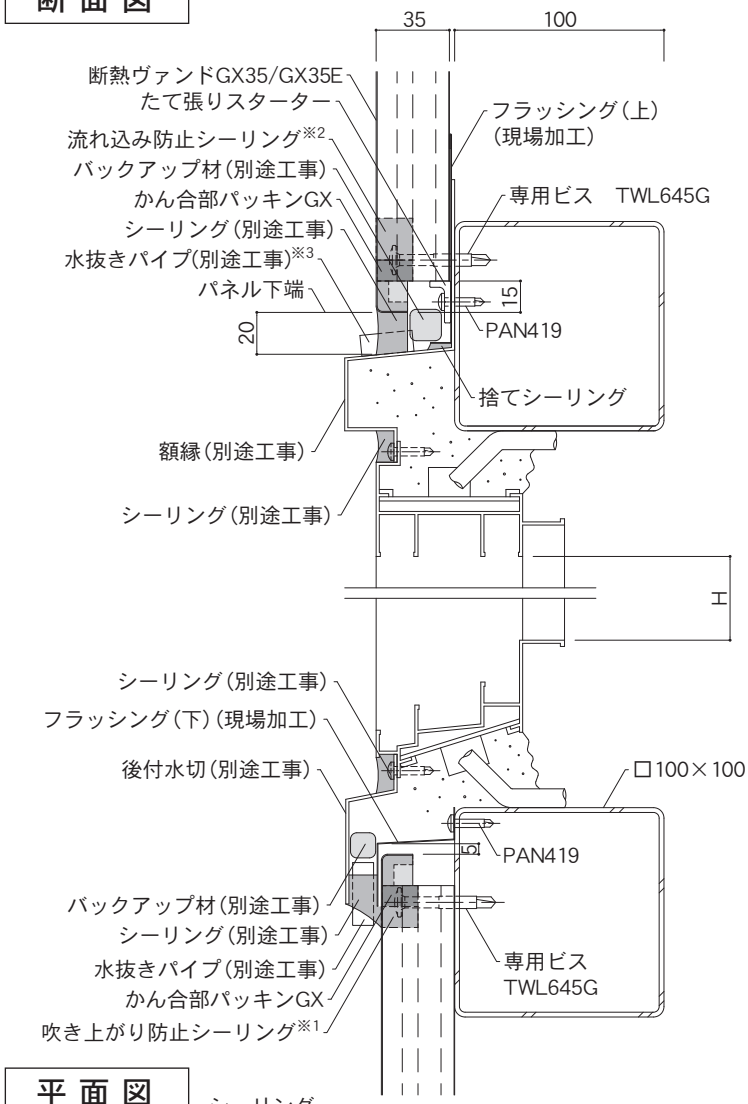
単位：mm



●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り･ALCサッシ部納まり

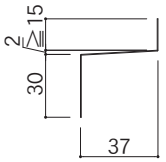
単位：㎜

断面図

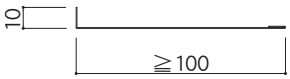


フラッシング（上）
GL鋼板現場加工 t ＝0.35以上

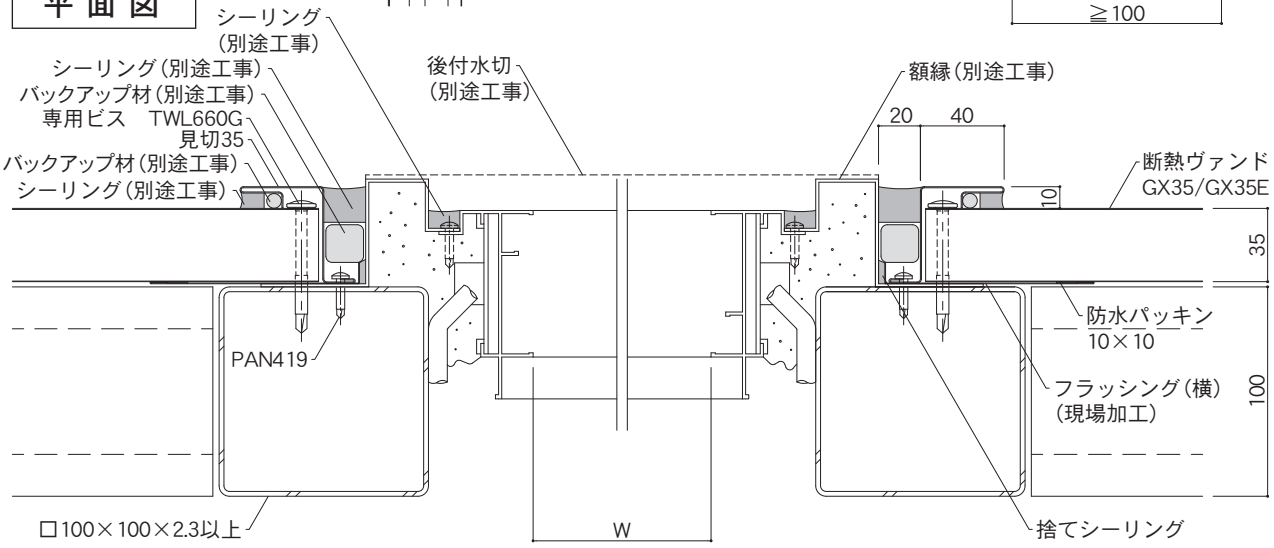
フラッシング（下）
GL鋼板現場加工 t ＝0.35以上



フラッシング（横）
GL鋼板現場加工 t ＝0.35以上



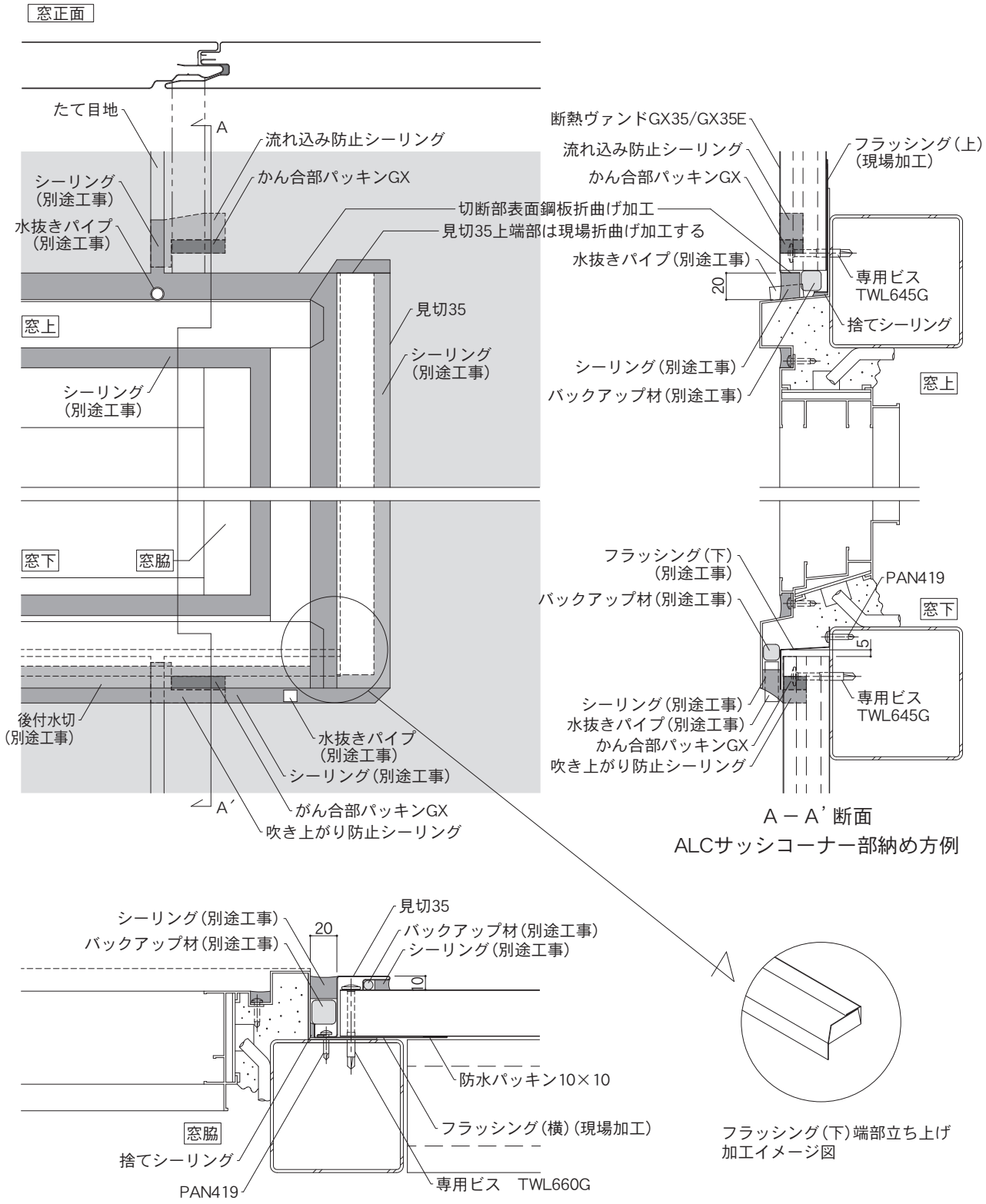
平面図



※１　パネル上部には必ず吹き上がり防止シーリングを施してください。
※２　パネル下部と水切やサッシ上部との取り合いをシール納めとする場合は、必ず流れ込防止シーリングを施してください。
※３　水抜きパイプは、働き幅600㎜の場合たて目地2,400㎜以下に1箇所。働き幅900㎜の場合たて目地3,600㎜以下に1箇所の間隔でたて目地下部に取り付けてください。

●断熱ヴァンドGX35/GX35E　たて張り・ALCサッシ部納まり(シーリング詳細)

単位：㎜



4－3　断熱ヴァンドGX35N／GX35EN（よこ張り）

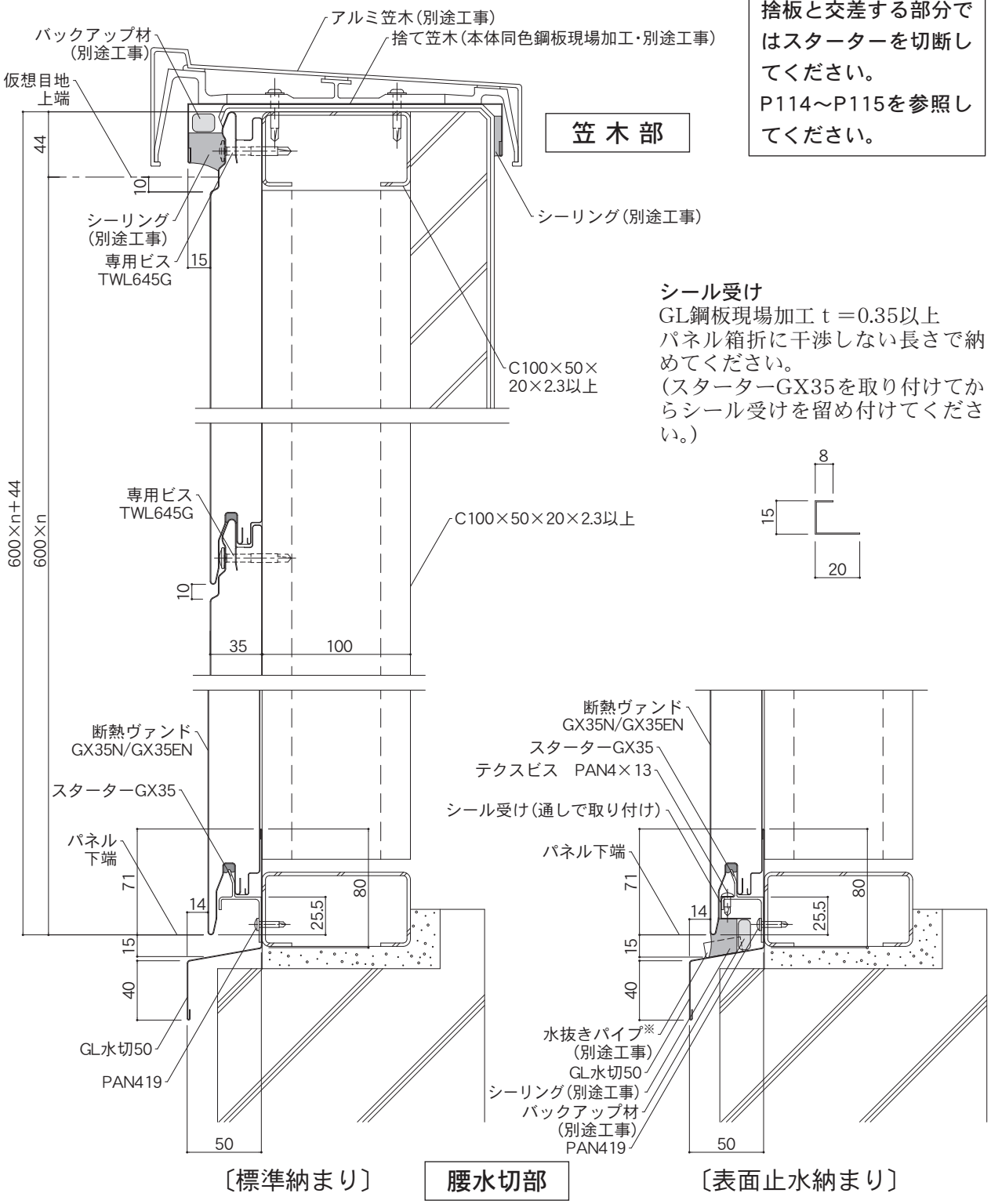
張り方向	納まり部位	頁
よこ張り	笠木、水切部納まり	83
	たて目地部納まり（フラットタイプ）	84
	たて目地部納まり（ふかしタイプ）	85
	たて目地部納まり（ふかしタイプ）※1	86
	たて目地部納まり（ふかしタイプ）※2	87
	出隅部納まり（出隅角）	88
	出隅部納まり（出隅カバー）	89
	入隅部納まり（シーリングタイプ）	90
	入隅部納まり（入隅カバー）	91
	ALCサッシ部納まり	92
	ALCサッシ部納まり（シーリング詳細）	93

※１　防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194に適合した納まり図です。
※２　防火構造認定PC030NE-0201に適合した納まり図です。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り･笠木､水切部納まり

単位：㎜

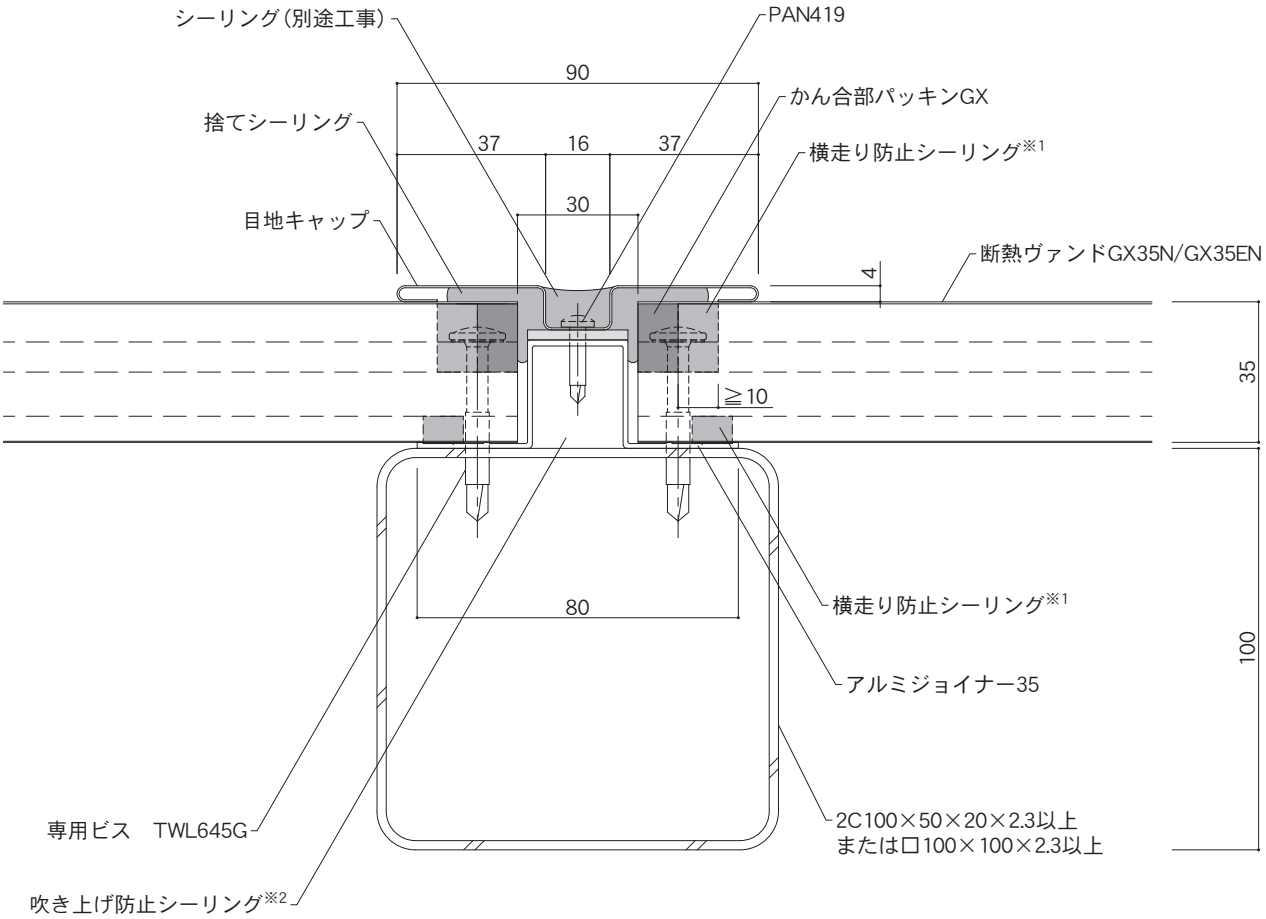
捨板と交差する部分ではスターターを切断してください。
P114～P115を参照してください。



n：パネル枚数
※　水抜きパイプは、たて目地位置に取り付けてください。
○土台水切部の納まりは建物の用途、立地条件、気象条件などを考慮して選定してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り･たて目地部納まり(フラットタイプ)

単位：㎜

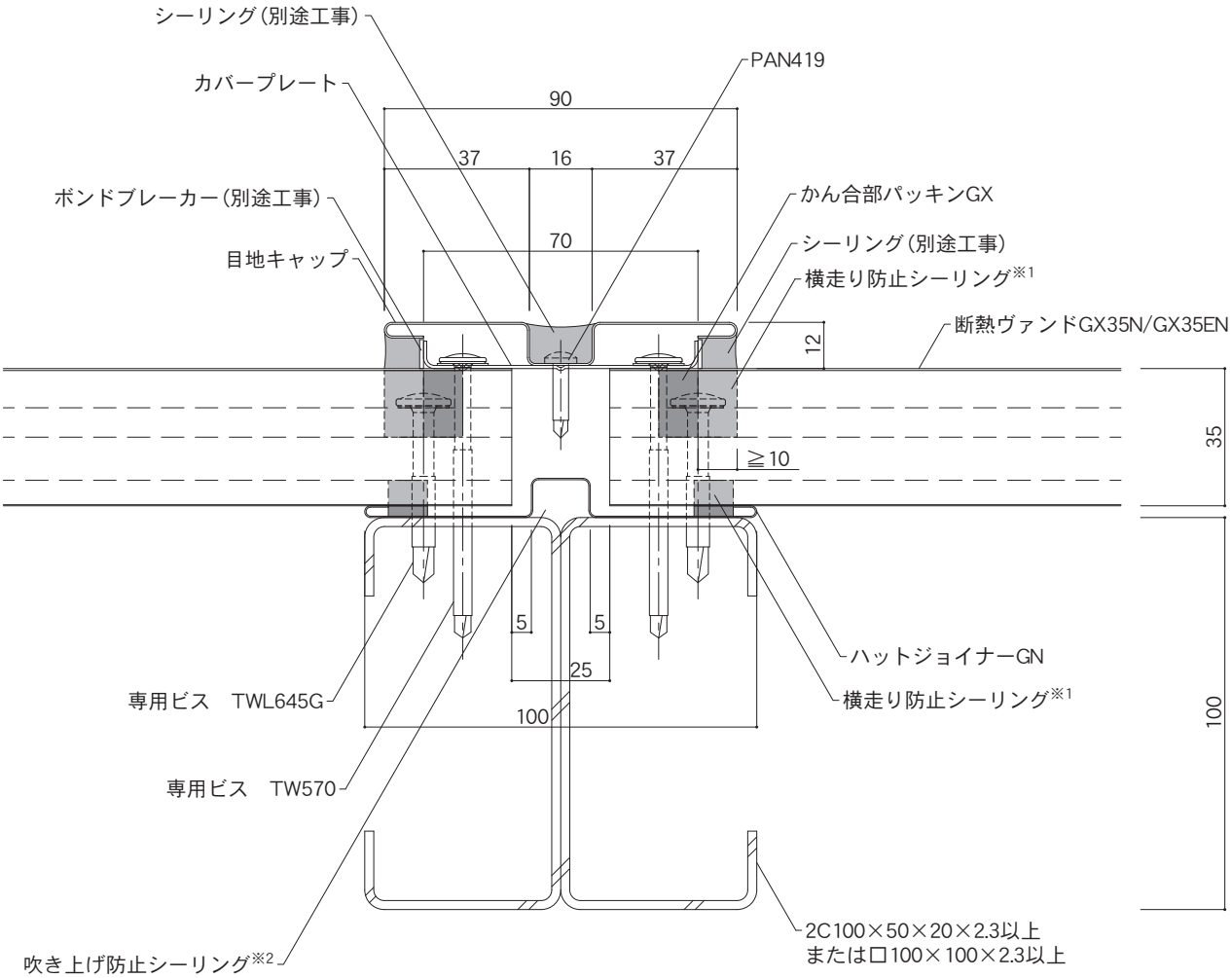


【注意 !! 】 よこ張り・たて目地部納まり（フラットタイプ）は、防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194及びPC030NE-0201に対応できません。

※1　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※2　水切（土台部）とアルミジョイナー35の取り合いに吹き上げ防止シーリングを施工してください。
　　詳しくはP111を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り･たて目地部納まり(ふかしタイプ)

単位：㎜



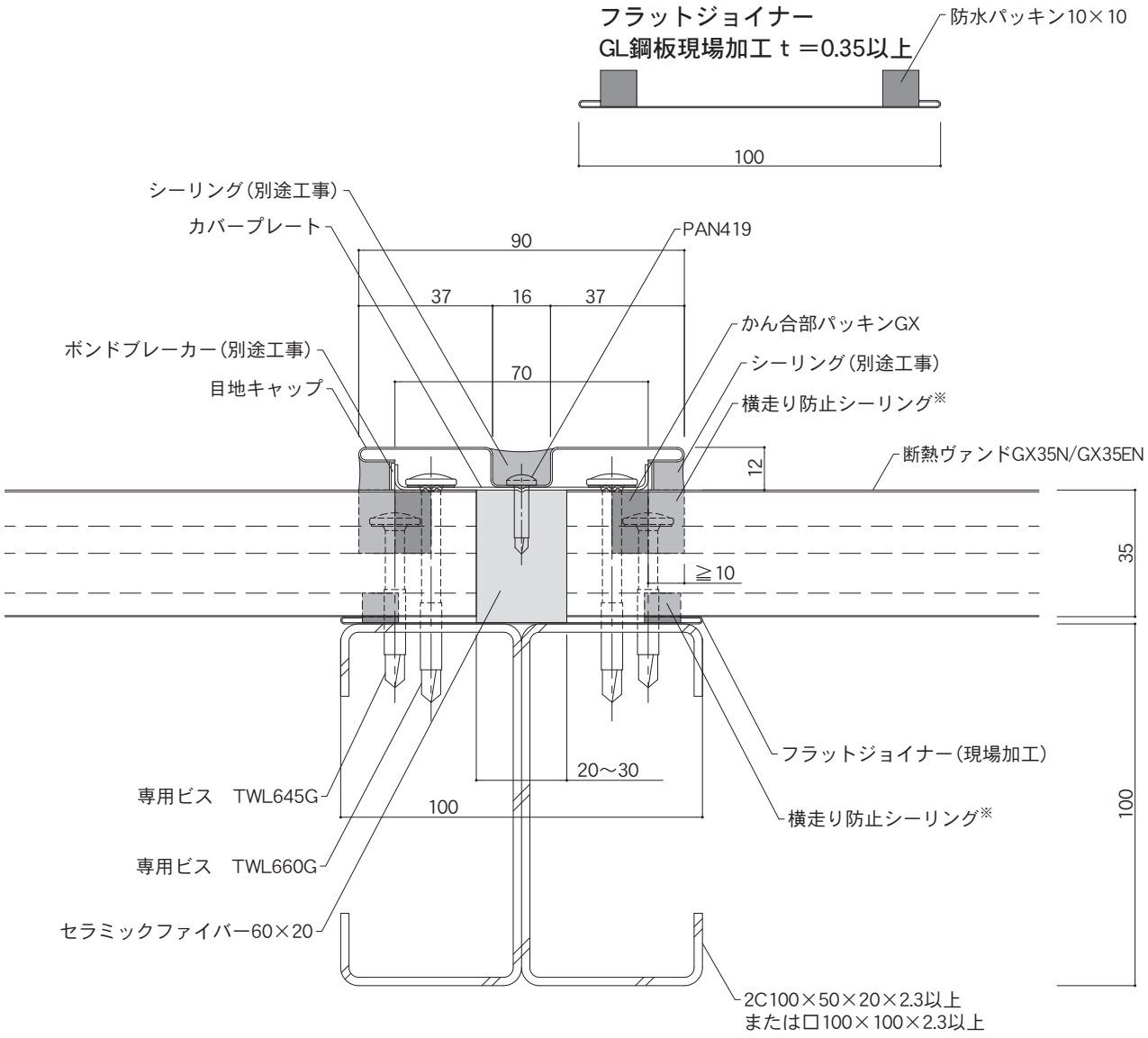
【注意 !! 】 上図のたて目地部の納まりでは、防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194及びPC030NE-0201に対応できません。適合させるにはP86～P87のよこ張り・たて目地部納まり（ふかしタイプ）を参照してください。

※1　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※2　水切（土台部）とハットジョイナーGNの取り合いに吹き上げ防止シーリングを施工してください。詳しくはP109を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN よこ張り･たて目地部納まり(ふかしタイプ)

単位：㎜

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194に適合させるには下図の納まりとしてください。



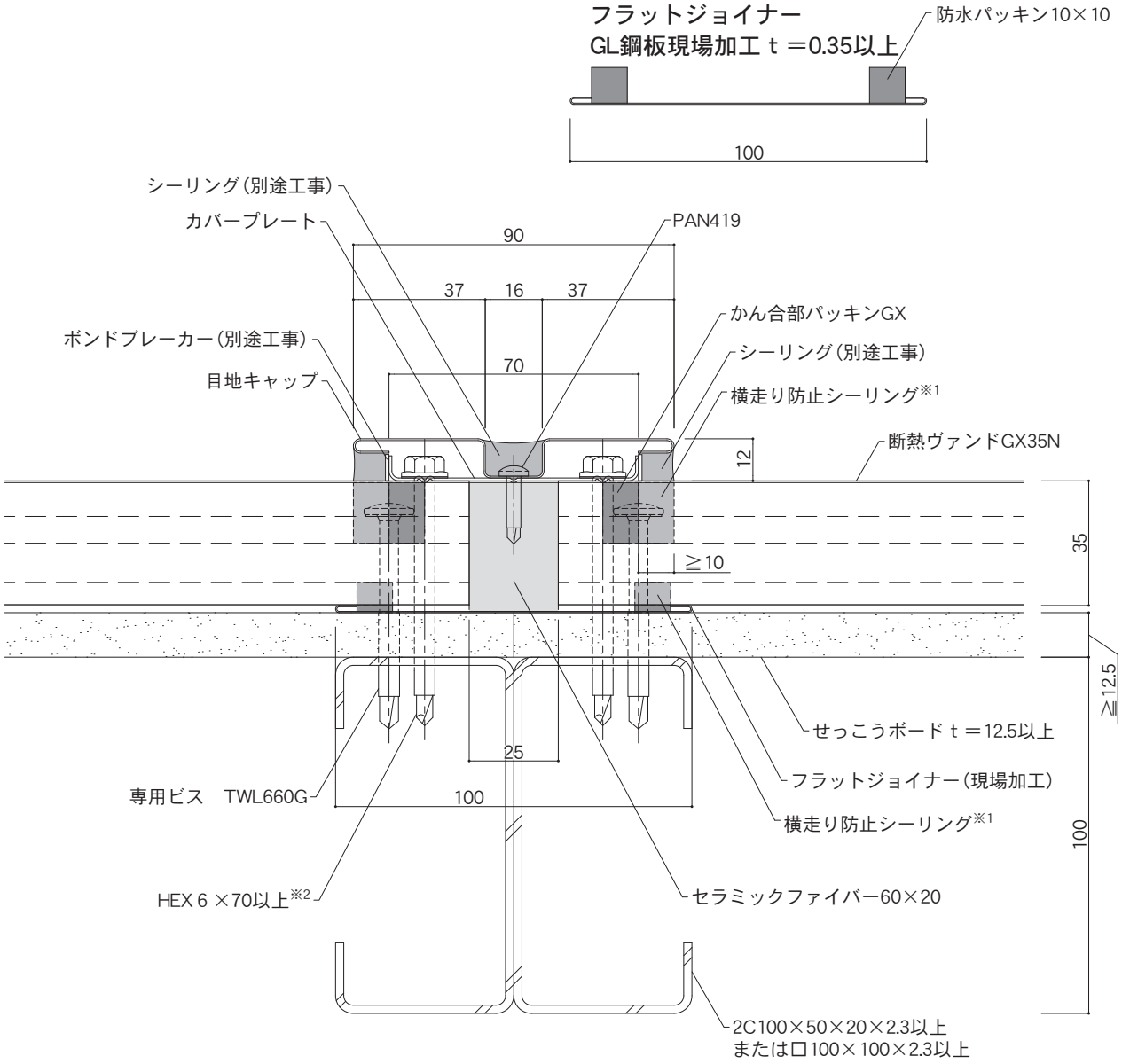
※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N　よこ張り･たて目地部納まり(ふかしタイプ)

単位：㎜

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0201は断熱ヴァンドGX35／GX35N限定です。
この認定に適合させるには下図の納まりとしてください。

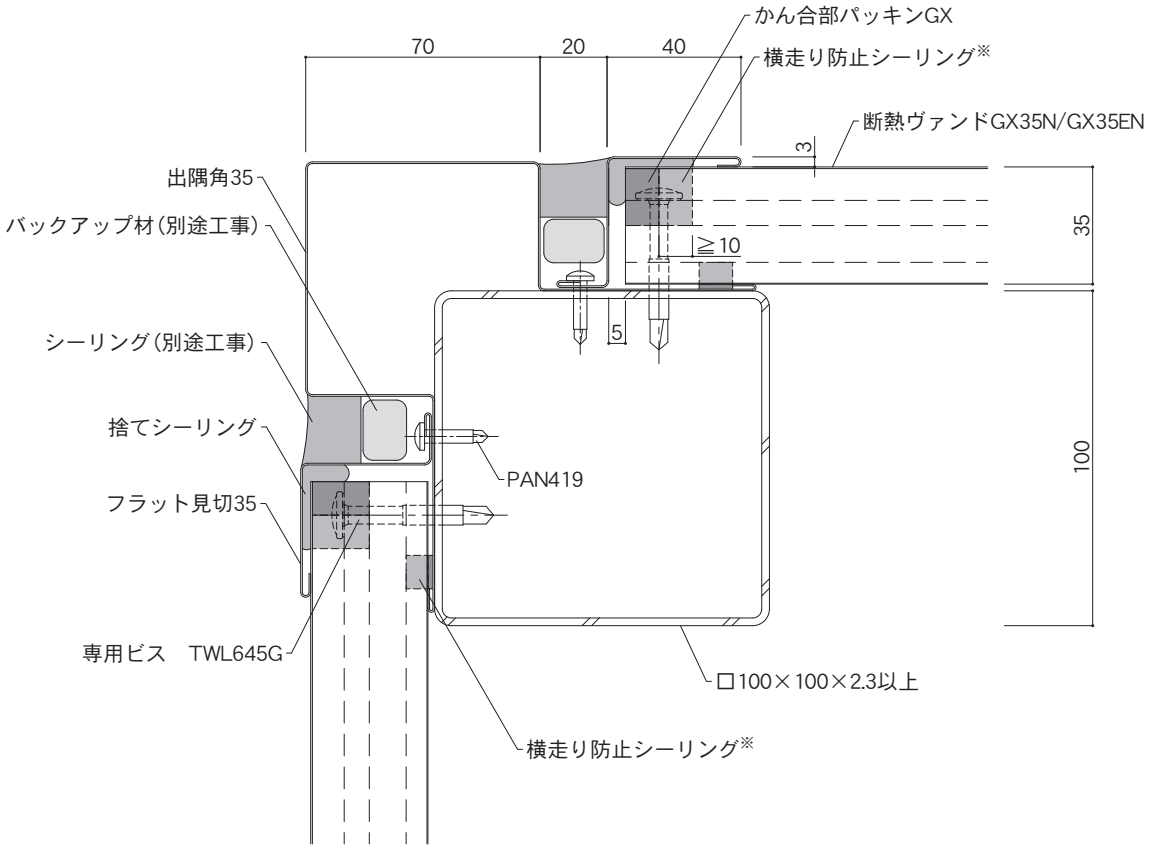
■せっこうボード下張り



※1　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。
※2　カバープレートの留め付けビスはHEX6×70以上（市販品）を使用してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り･出隅部納まり(出隅角)

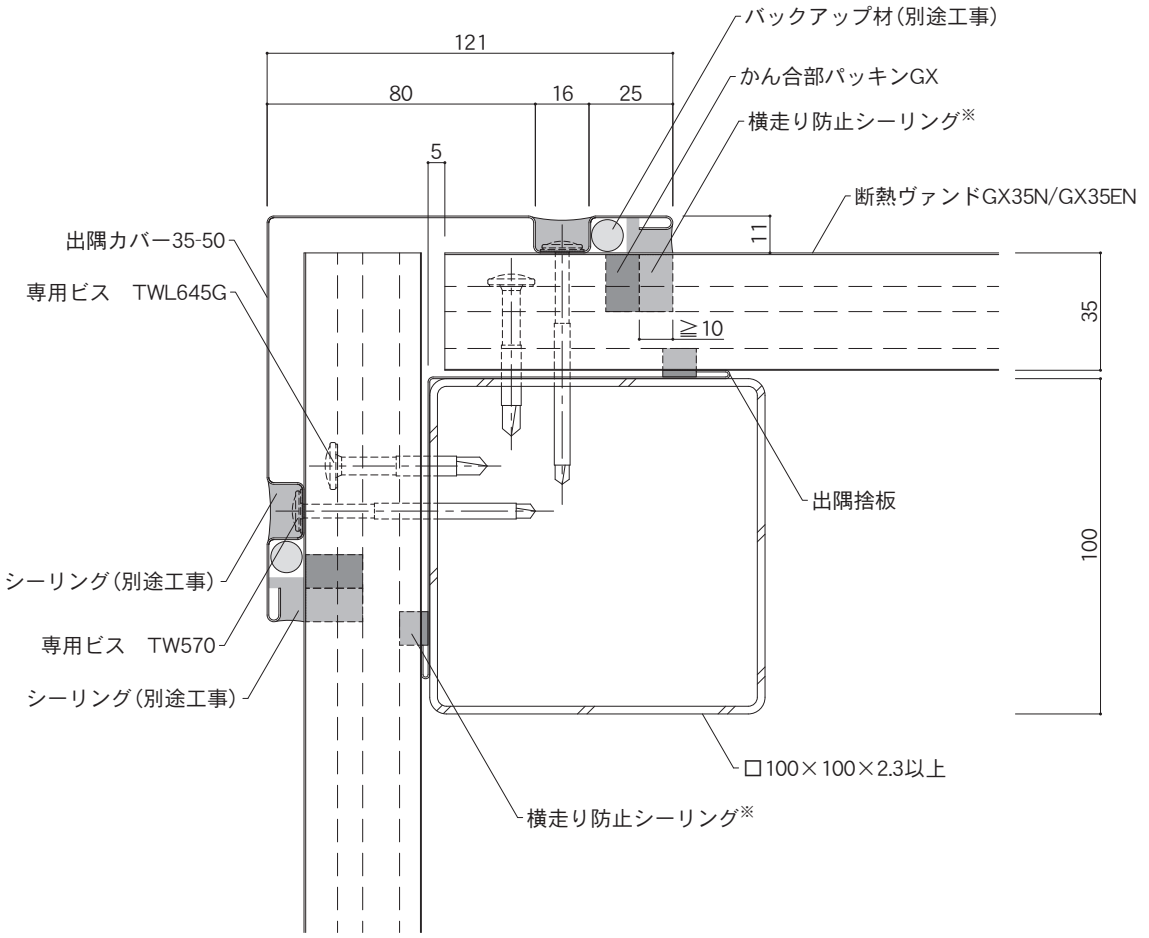
単位：㎜



※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り･出隅部納まり(出隅カバー)

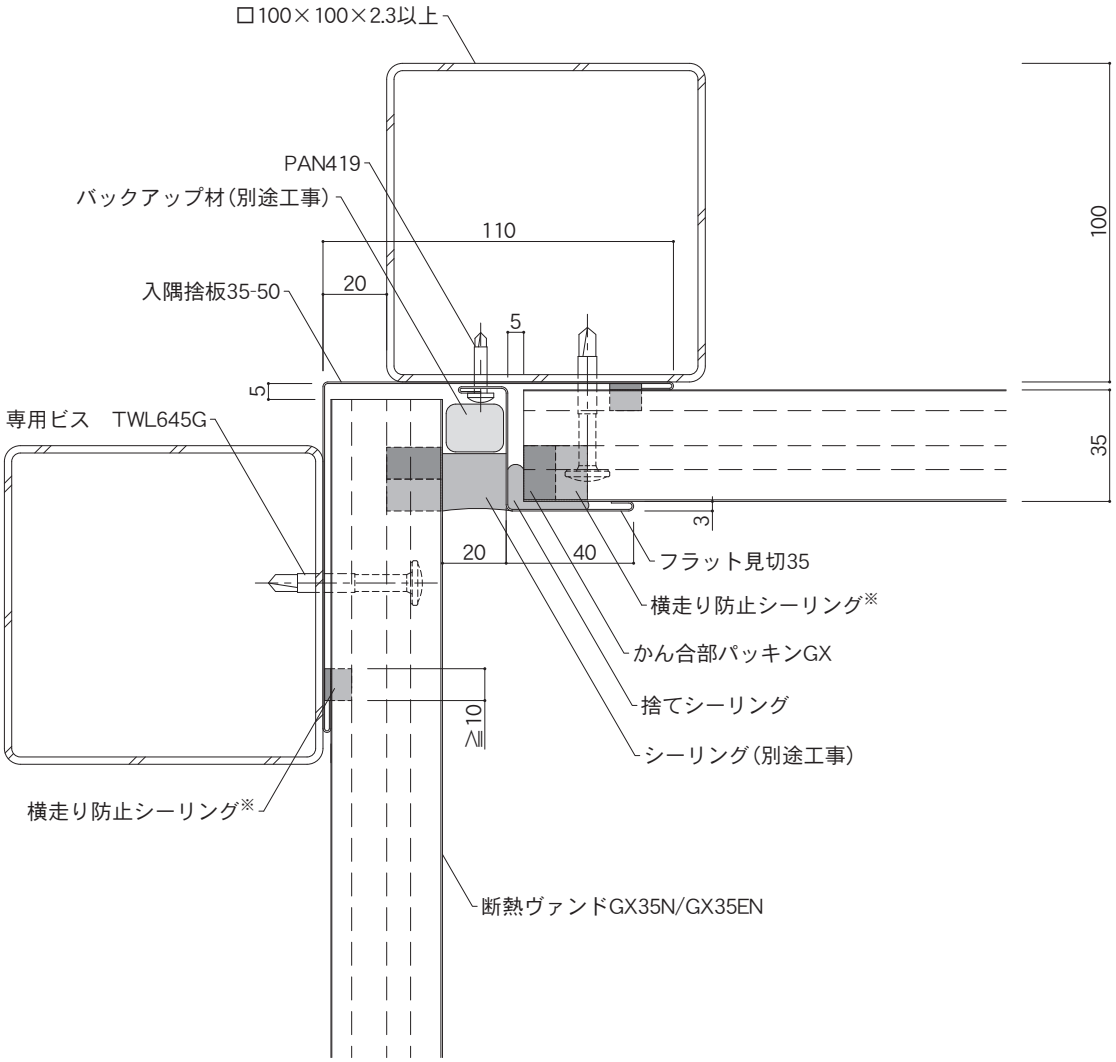
単位：㎜



※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り・入隅部納まり（シーリングタイプ）

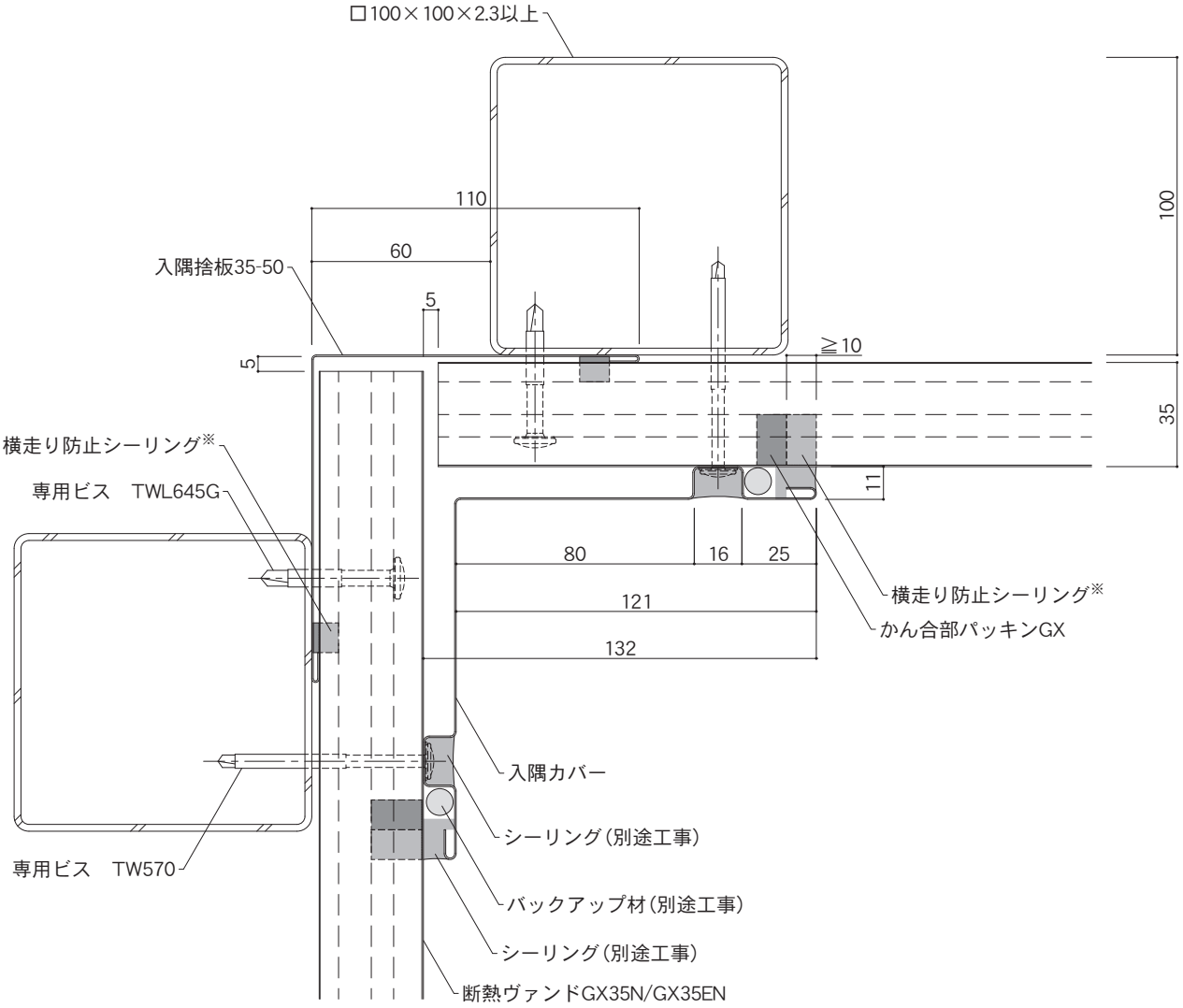
単位：㎜



※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り・入隅部納まり（入隅カバー）

単位：㎜

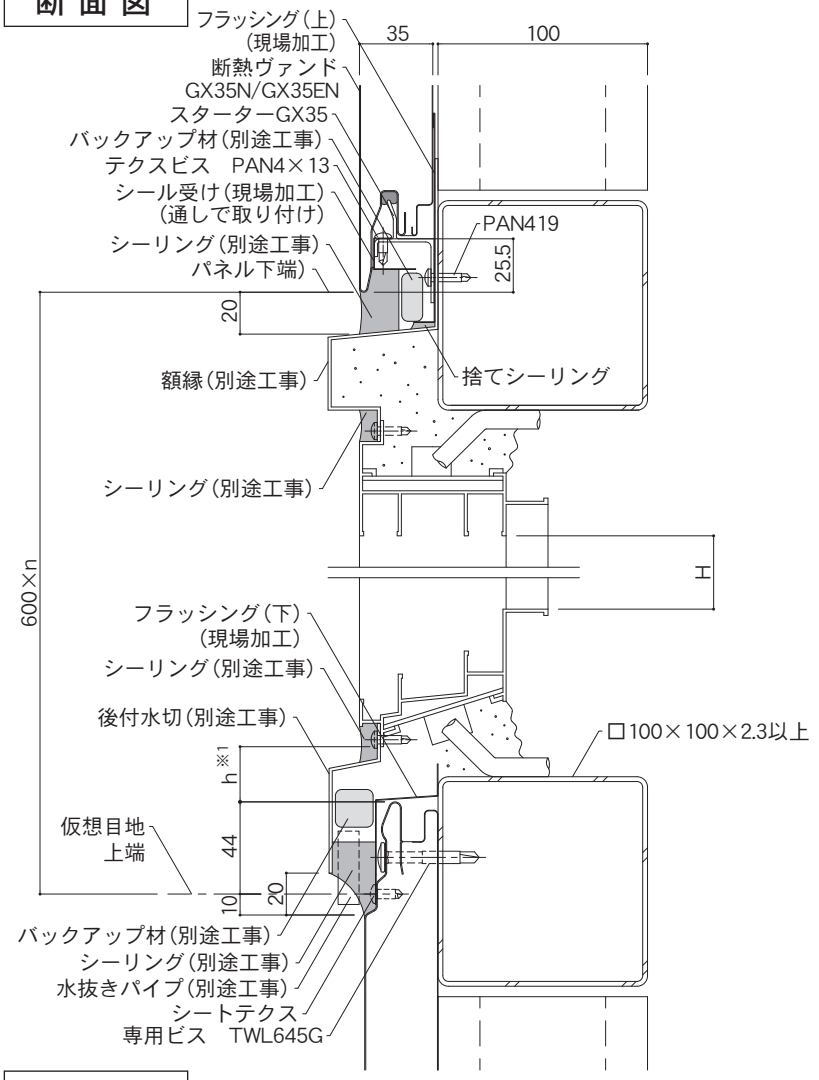


※　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

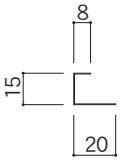
●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　よこ張り･ALCサッシ部納まり

単位：㎜

断面図

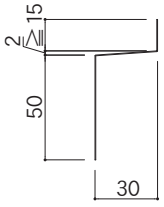


シール受け
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上
パネル箱折に干渉しない長さで納めてください。
（スタータGX35を取り付けてからシール受けを留め付けてください。）

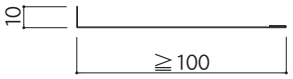


フラッシング（上）
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上

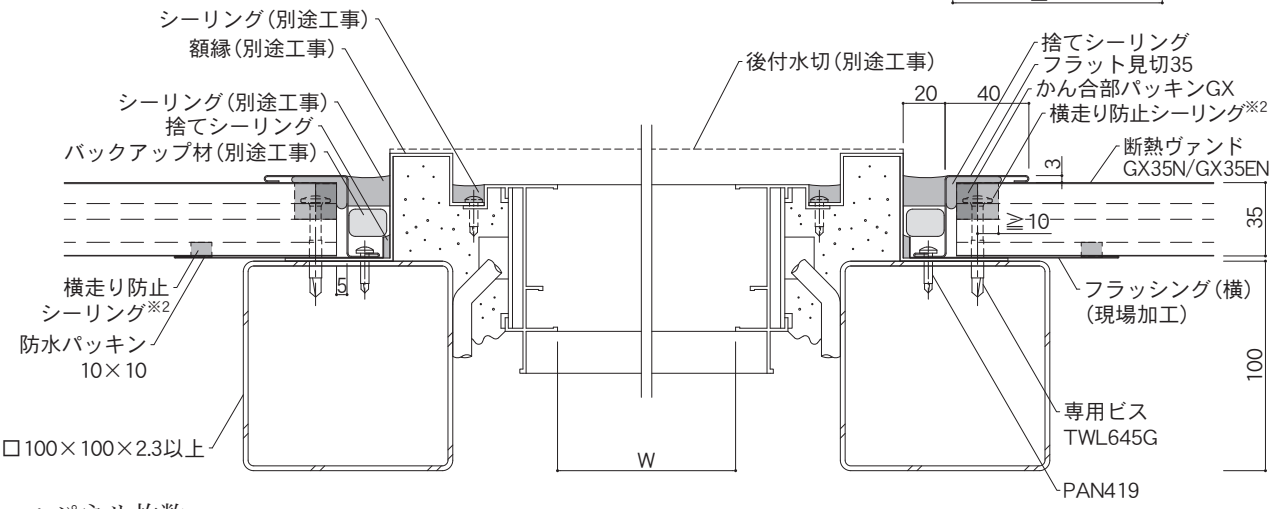
フラッシング（下）
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上



フラッシング（横）
GL鋼板現場加工ｔ＝0.35以上



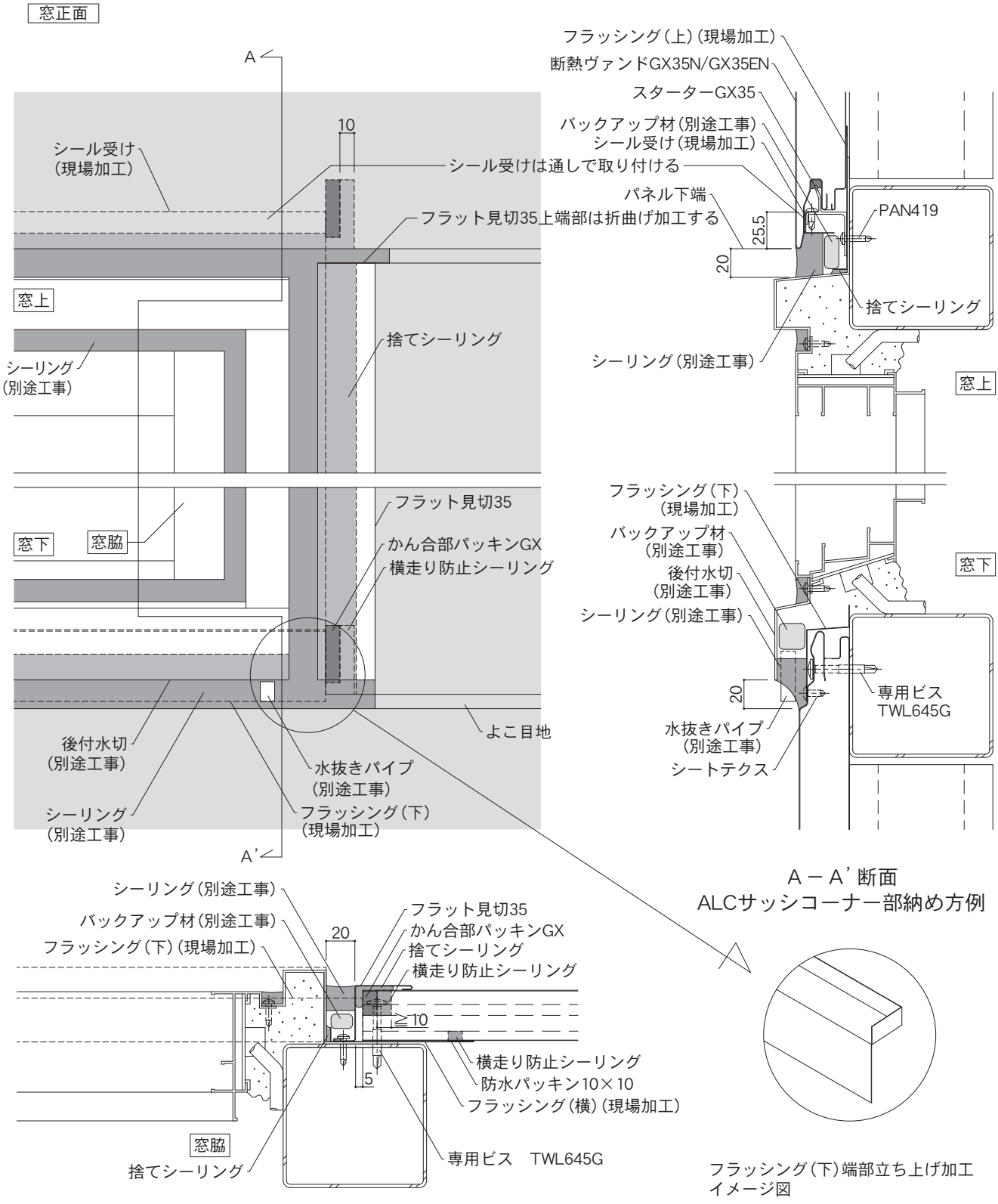
平面図



n：パネル枚数
※1　hはサッシ下～パネル上端クリアランス（h≧20）
※2　横走り防止シーリングの打ち方については、P118～P119を参照してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN よこ張り・ALCサッシ部納まり(シーリング詳細)

単位：㎜



A－A'断面
ALCサッシコーナー部納め方例

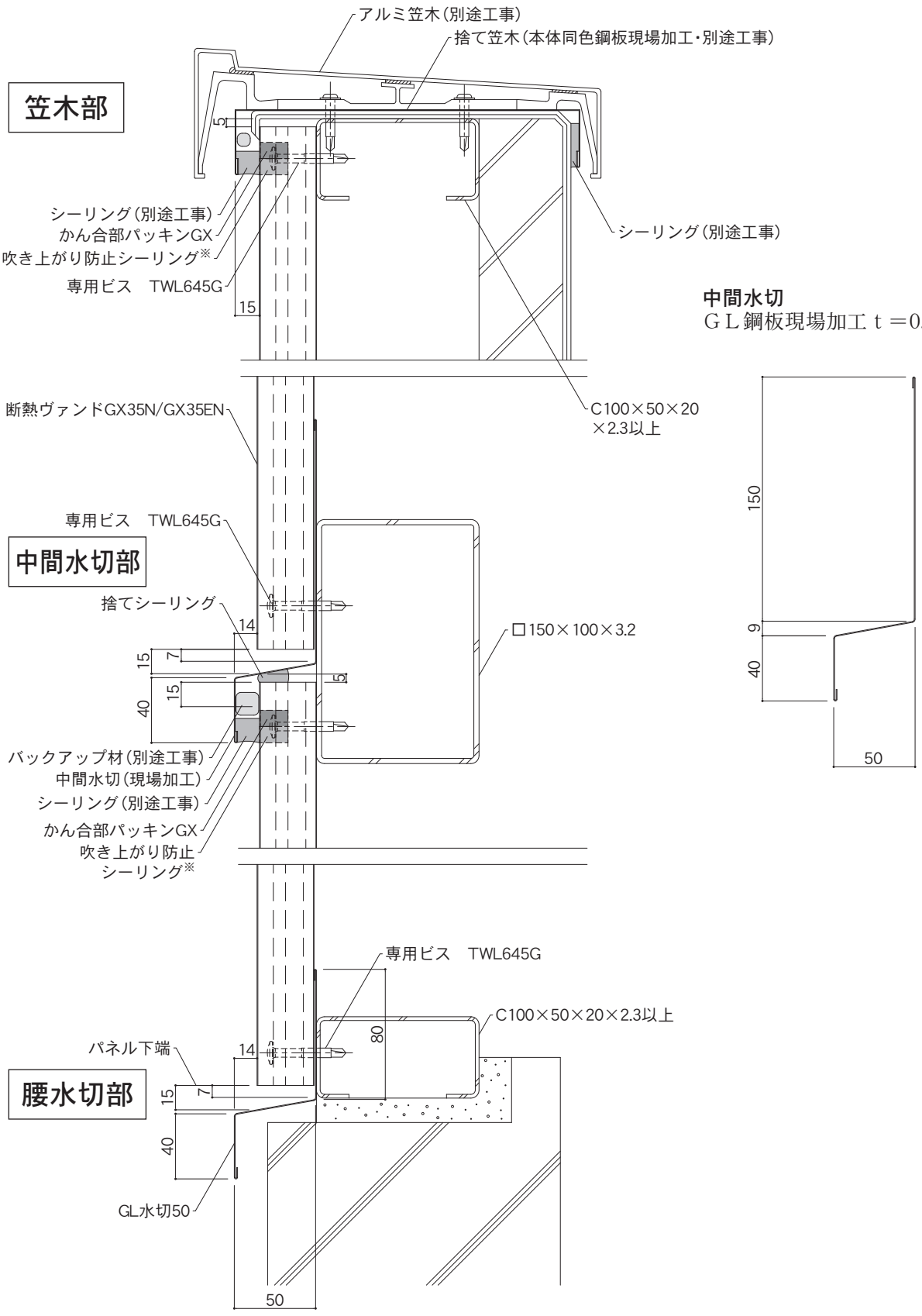
フラッシング(下)端部立ち上げ加工
イメージ図

4−4　断熱ヴァンドGX35N／GX35EN（たて張り）

張り方向	納まり部位	頁
たて張り	笠木、水切部納まり	95
	ALCサッシ部納まり	96
	ALCサッシ部納まり（シーリング詳細）	97

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN　たて張り･笠木､水切部納まり

単位：㎜



中間水切

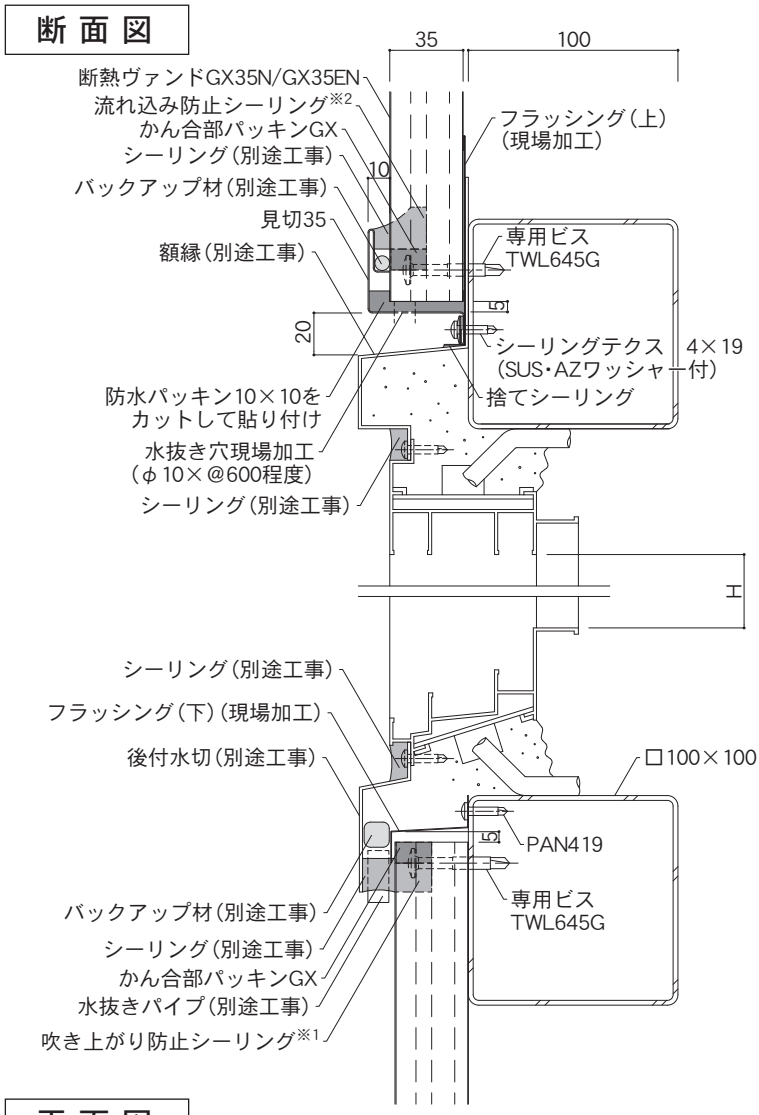
ＧＬ鋼板現場加工ｔ＝0.5以上

※　吹き上がり防止シーリングは、シーリング（別途工事）とつながる位置に打ってください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN たて張り･ALCサッシ部納まり

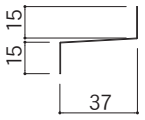
単位：㎜

断 面 図

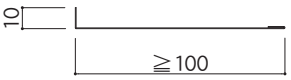


フラッシング（上）
GL鋼板現場加工 t ＝0.35以上

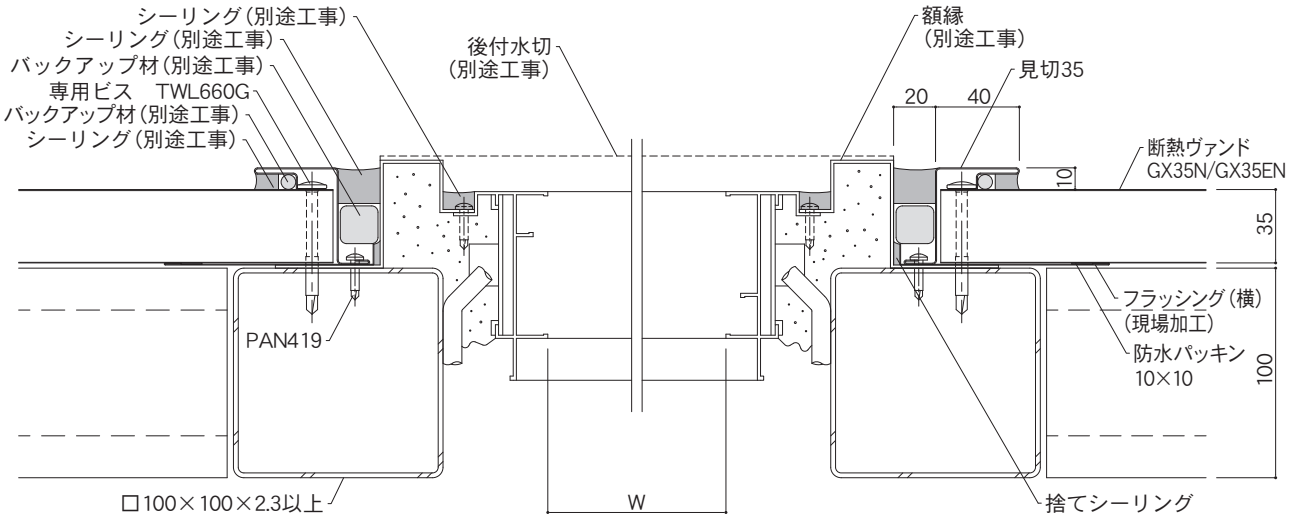
フラッシング（下）
GL鋼板現場加工 t ＝0.35以上



フラッシング（横）
GL鋼板現場加工 t ＝0.35以上



平 面 図

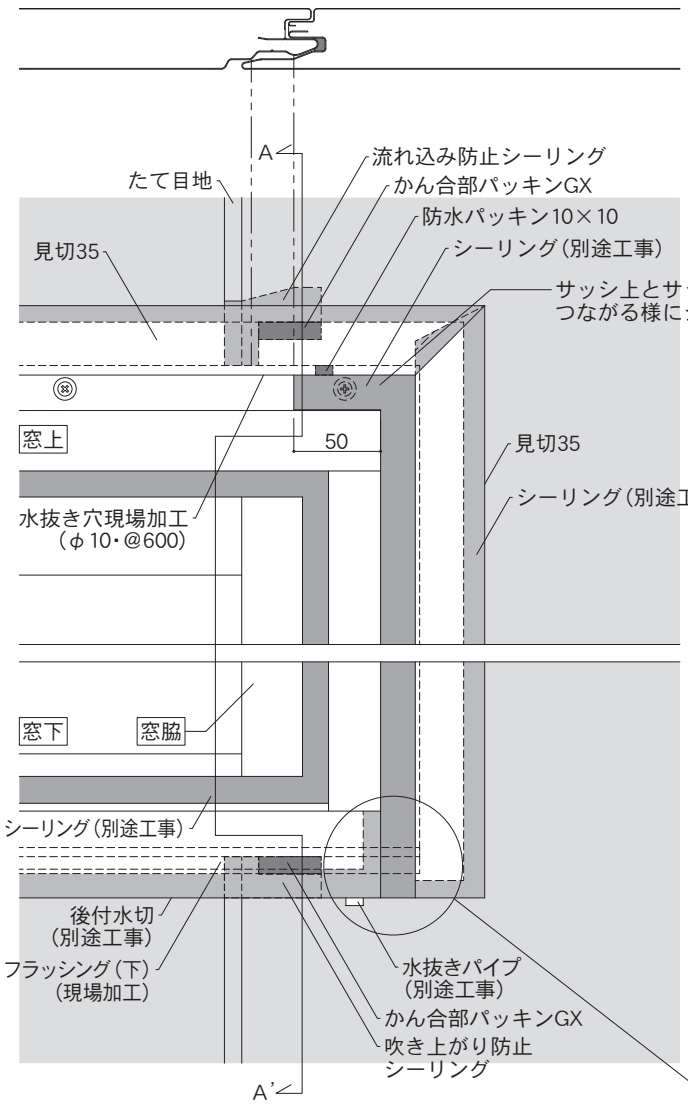


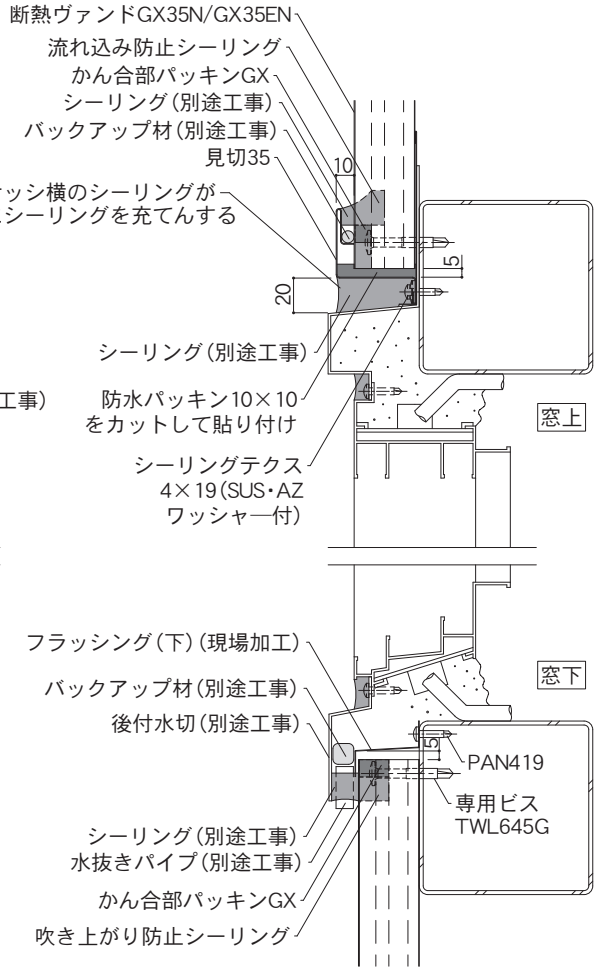
※１　パネル上部には必ず吹き上がり防止シーリングを施してください。
※２　パネル下部をフラット見切35で納める場合は、必ず流れ込防止シーリングを施してください。

●断熱ヴァンドGX35N/GX35EN たて張り・ALCサッシ部納まり(シーリング詳細)

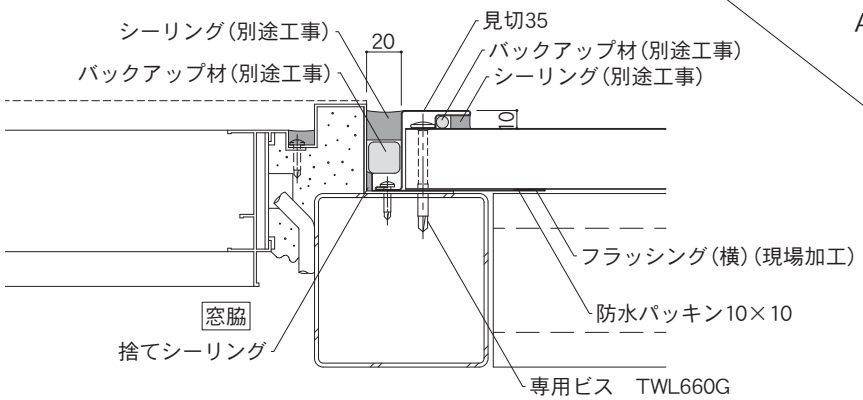
単位：㎜

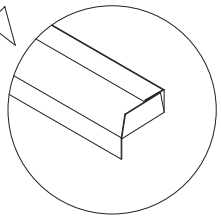
窓正面





A－A'断面
ALCサッシコーナー部納め方例





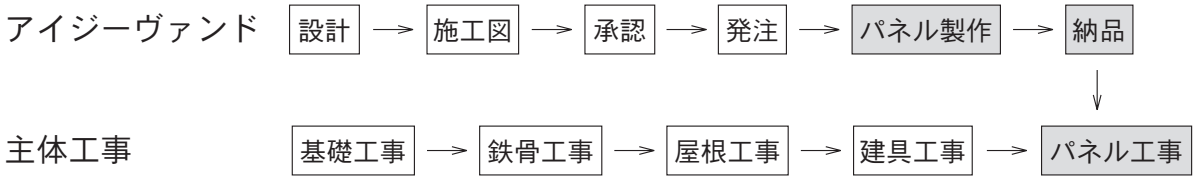
フラッシング(下)端部立ち上げ
加工イメージ図

MEMO

発注と荷受け
パネル本体施工の要領（よこ張りの場合）
パネル本体施工の要領（たて張りの場合）
パネル本体現場加工
シーリング
補修・メンテナンスについて

5 発注と荷受け

5－1　パネル工事までの流れ



鉄骨、屋根、建具の工程や納まりとのすりあわせが重要です。

5－2　施工図の作成

施工図はアイジーヴァンド取り扱い店が作成します。

施工図を作成するには、下記の関連図面が必要です。
・平面図　・立面図　・矩計図　・建具施工図　・鉄骨図　など
工事範囲や他部材との取り合いの工事区分など、あらかじめ確認してください。
必ず、元請けや設計事務所の承認を受けてください。
承認を受けたら、必要量を確定して、材料を発注してください。

5－3　発注

・納期は厳守願います。
・納期変更は原則としてお断り致します。
・十分な予備パネルを発注してください。
・追加発注に応じられない場合がございます。あらかじめご了承ください。
・面分け出荷をご希望される場合、発注時にお申し付けください。
・付属品など関連部材も合わせて発注してください。

5－4　納期

納期につきましては、弊社担当営業に都度ご確認ください。

5－4－1　短納期対応品

断熱ヴァンドGX35の働き幅600㎜の標準色（防汚仕様は除く）については、100m²からの受注が可能でかつ1,000m²未満の場合は短納期が可能です。詳しくは弊社担当営業にお問い合わせください。

5－5　パネル本体工事前の確認事項

5－5－1　下地材の確認

・パネル本体取り付けに必要な下地材が正しく配置されているか確認してください。
（テクスビスの効く下地材t≦3.2㎜）
・パネル本体を取り付ける胴縁の出入り（不陸）により、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。隣り合う胴縁の不陸は３㎜以内に抑えてください。また、胴縁同士のつなぎ目の不陸も同様です。
・パネル本体取り付け部分にボルトなどの突起物がないか確認してください。

5－5－2　足場の確認

・壁つなぎは、パネルたて目地芯に配置することをおすすめします。
・巻き上げウインチを設置する場合、設置場所を確認してください。
クレーンなどでつり込む場合、つり込みが可能かどうか確認してください。

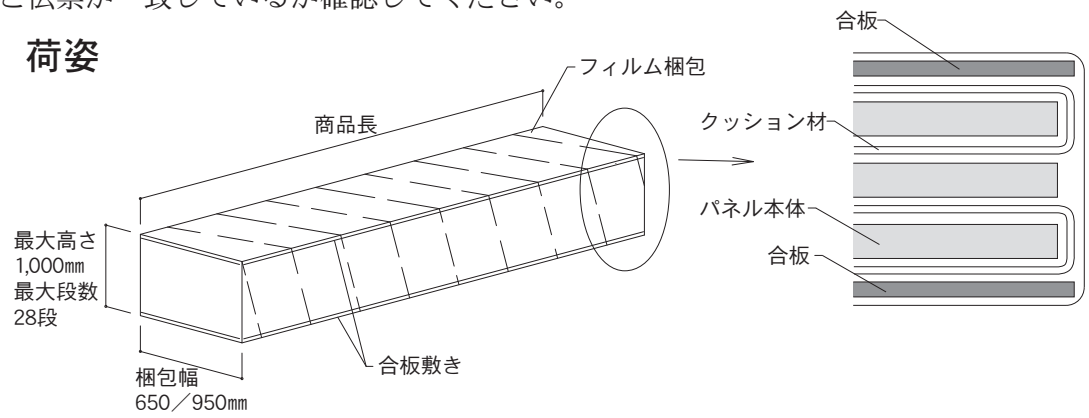
5－5－3　関連工事の確認

・サッシやシャッターの枠類は先付けです。
・布基礎などとの取り合いに問題がないか確認してください。

5−6　搬入

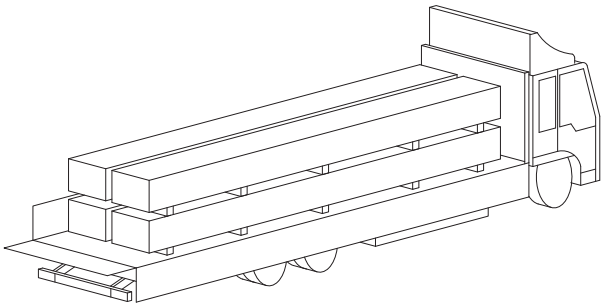
・アイジーヴァンドは『現場車上渡し』です。荷受け側でクレーンなど荷下ろし用機械を用意してください。
・仮置き場所はあらかじめ確保してください。
・納品内容と伝票が一致しているか確認してください。

5−6−1　荷姿



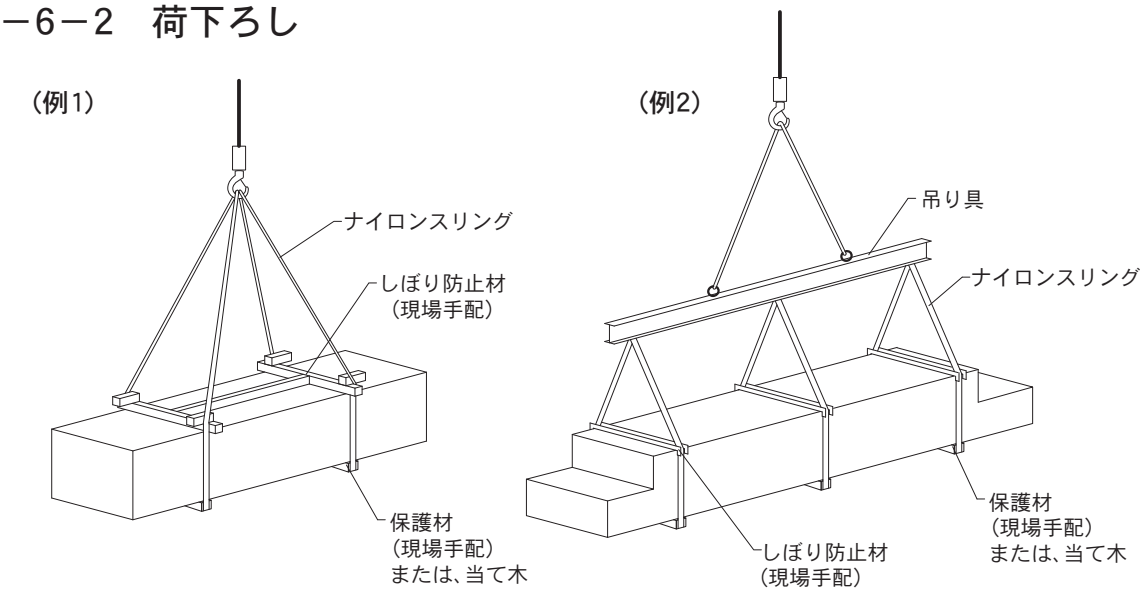
梱包荷姿は上記最大高さ1,000㎜または、最大重量1,500kgの制限の範囲で現場納入条件並びに受注明細により決定します。

■トラック積載



※900幅商品のトラック積載例です。

5−6−2　荷下ろし

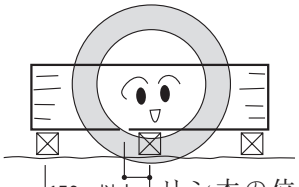


・安全基準などに準じてください。
・法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないでください。
・荷下ろしにはナイロンスリングを使用してください。
・しぼり防止材や保護材で商品の破損を防止してください。（例１）
・保護材はしぼり防止材同様に現場手配としていただくか、同送の当て木をご利用ください。
・長尺品は吊り具を用意し、３点吊りとしてください。（例２）
・吊り具類、しぼり防止材は現場手配となります。

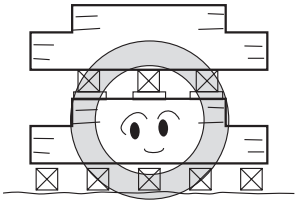
5−6−3　保管方法

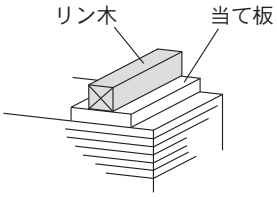
・リン木を敷いてください。
・重ねるときは２段までとしてください。
・不整な地面に置かないでください。

■良い例



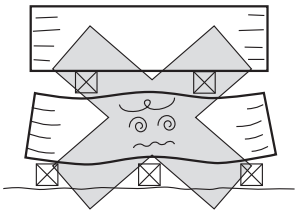
リン木の位置は下敷き合板のつなぎ目から150㎜以上はなす



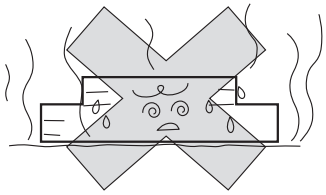


当て板には300㎜程度に切断した構造用合板などを使用してください。

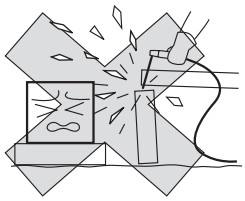
■悪い例



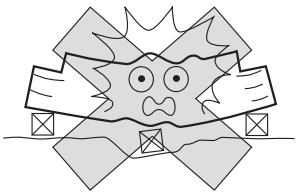
リン木の配置が悪い



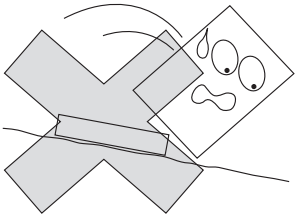
直置き
湿気を吸って商品が傷みます



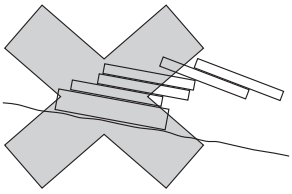
火気の近く
塗装が傷み火災の危険があります



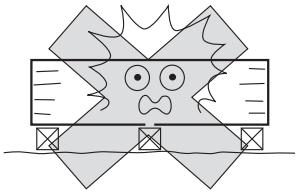
凹凸が大きい



傾斜している

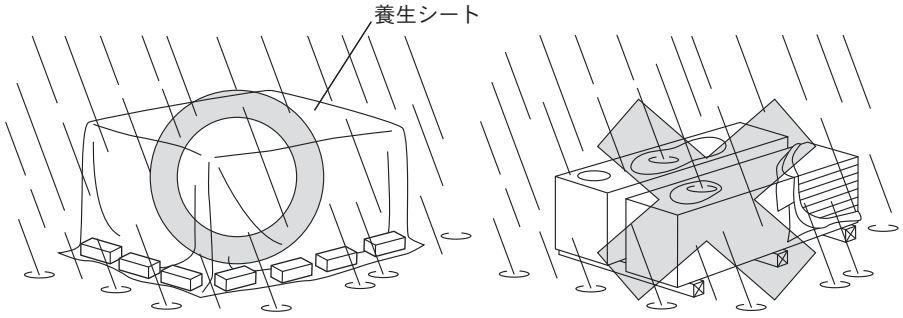


傾斜している



リン木の位置と下敷き合板のつなぎ位置が重なっている

・屋外保管のときは、養生シートなどで雨水が入らないようにしてください。
・梱包内に水が入ったらすみやかに除去してください。放置するとさびが発生しやすくなります。

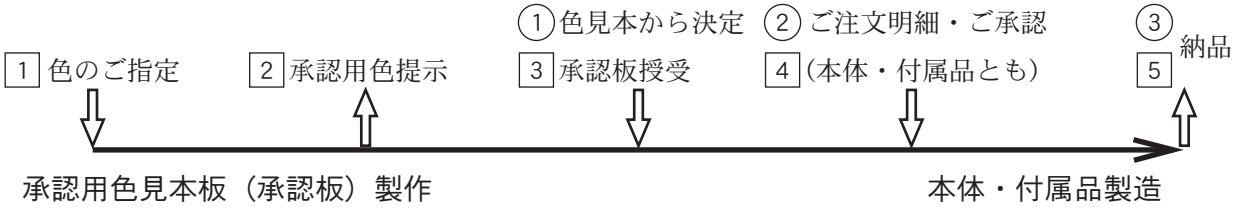


5－7　準標準色・特注色・防汚仕様（表面材のみ）

準標準色は標準色以外から選択いただけますよう設定したカラーラインナップです。
特注色は承認板の授受にてご承認いただいてからのご発注となります。
防汚仕様は断熱ヴァンドGX35/GX35Nの標準色にのみ設定したオプションです。準標準色、特注色に防汚仕様の設定はありません。
準標準色、特注色及び、防汚仕様は表面材のみの設定です。
断熱ヴァンドGX35E/GX35ENに防汚仕様の設定はありません。

■納品までの流れ

◯：準標準色・防汚仕様　□：特注色



・準標準色、特注色及び、防汚仕様ともに1色1品種につき数量1,000m^{2}以上からのご発注となります。
・特注色は、「日本塗料工業会」の色番号でのご指定をお願い致します。
・特注色は、メタリック色など対応できない色がありますので、あらかじめご了承ください。
・特注色のフッ素樹脂塗装色については、色が出にくい場合があります。
・特注色の色見本製作は、色のご指定後3週間程度です。
・特注色については、色決定に際し、承認板の授受をさせていただきます。
・追加注文に対応できないことがありますので、予備パネルを多めに注文してください。
・付属品もパネル本体と同時に注文してください。
・付属品には準標準色、特注色及び、防汚仕様に対応できない種類があります。注意してください。
・価格は弊社担当営業にご相談ください。
・納期につきましては、弊社担当営業に都度ご確認ください。

■その他部材

〔パネル本体同色コイル〕　厚さ：0.5㎜、6m／巻
板幅：パネル本体の働き幅が600㎜品の場合　747㎜
パネル本体の働き幅が900㎜品の場合　1047㎜

〇詳しくは弊社担当営業までお問い合わせください。

6 パネル本体施工の要領（よこ張りの場合）

6－1　施工の準備

6－1－1　施工手順（せっこうボード下張りの場合）

パネル本体施工の流れ

せっこうボードを下張りする場合

せっこうボードの墨出し
⇩
せっこうボード取り付け
⇩
せっこうボード目地部の処理
⇩
パネル、付属品の墨出し
⇩
水切取り付け
⇩
捨板類取り付け（出隅角取り付け…②）　…①
⇩
スターター取り付け
⇩
パネル本体取り付け
かん合部パッキンGX
横走り防止シーリング　…③
⇩
〔たて目地部の納めが「ふかしタイプ」の場合〕
カバープレートの取り付け　…④
⇩
〔たて目地部の納めが「ふかしタイプ」「フラットタイプ」の場合〕
目地キャップ取り付け　…⑤
⇩
出隅カバー、入隅カバー取り付け　…⑥
⇩
シーリング（別途工事）
⇩
クリーニング
⇩
引き渡し

〇商品タイプによって、必要部材が異なる場合があります。

部位	納め方	必要部材	手順
出隅部	出隅カバー	出隅捨板 出隅カバー （出隅カバージョイント）	① ⑥
	出隅角	出隅角 （出隅角ジョイント）	②
	本体出隅	出隅捨板 L型出隅コーナーパネル	① ③
入隅部	入隅カバー	入隅捨板 入隅カバー （入隅カバージョイント）	① ⑥
	シーリング納め※1	入隅捨板	①
たて目地部※2	シーリングタイプ※1	ハットジョイナー （ハットジョイナージョイント）	①
	フラットタイプ	アルミジョイナー 目地キャップ （目地キャップジョイント）	① ⑤
	ふかしタイプ	ハットジョイナー （ハットジョイナージョイント） カバープレート 目地キャップ （目地キャップジョイント）	① ④ ⑤

※1　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENはシーリング納めができません。
※2　防火構造認定によってはたて目地部の納め方が限定されます。詳しくはP12～P13の納まり対応表を参照してください。

●ビス対応表

用途／パネル本体名称	パネル本体取り付け	パネル本体脳天打ち／表面役物取り付け	せっこうボード下張り時パネル本体取り付け	せっこうボード下張り時＋表面役物取り付け（パネル本体脳天打ち）
断熱ヴァンドGX35／GX35N 断熱ヴァンドGX35E／GX35EN	TWL645G	TWL660G	TWL660G※3	TW570※4
		TW570		

〇専用ビス（TWL660G／TWL645G）はビットTWLを使用してください。
〇ビットTWLは専用ビス1箱に1個付属します。
〇TW570は十字ビット2番を使用してください。
※3　せっこうボードt＝12.5㎜を下張りした場合。
※4　防火構造認定によっては、たて目地部にTW570が使用できない場合があります。詳しくはP13を参照してください。

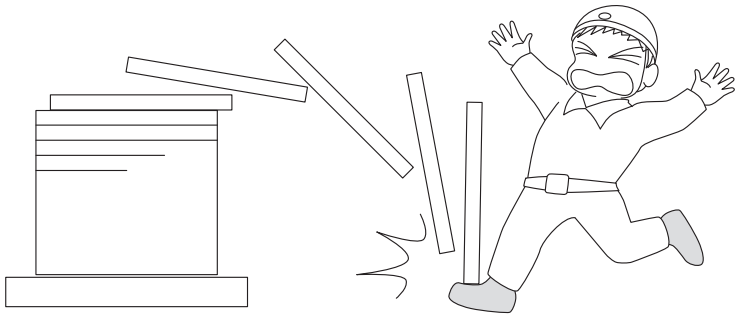
6－1－2　工具の準備

工程	必要工具類	調達資材
荷受け	荷下ろし用クレーン 吊り具、しぼり防止材 保護具	リン木、養生シート
荷揚げ パネル本体運搬	電動ウインチ ナイロンスリング ワイヤースリング	
墨出し	水準器、下げ振り 墨壺、スケール	
せっこうボード 取り付け	充電ドライバー タッカ、カッター	ドリリングタッピンねじ せっこうボード目地処理材 ロックウールフェルト ステープル
水切取り付け ハットジョイナー取り付け 捨板類取り付け	充電ドライバー 差し金、スケール	平頭ビス 防水テープ
スターター取り付け パネル本体取り付け 出入隅取り付け カバープレート取り付け 目地キャップ取り付け	充電ドライバー 差し金 スケール	各部材に適合するビス 十字ビット2番 （付属品取り付け用） 防水テープ
捨てシーリング	コーキングガン	シーリング材 （変成シリコーン系）
パネル本体現場加工	チップソー 保護眼鏡 金はさみ、つかみ ハケ、ブロワー	**ビット TWL は専用ビス（TWL645G／TWL660G）1箱に 1 本付属します。**
スチール部材現場加工	アングルカッター ディスクグラインダー 保護眼鏡 金はさみ、つかみ	
アルミ部材現場加工	アングルカッター （アルミ用刃） 保護眼鏡	

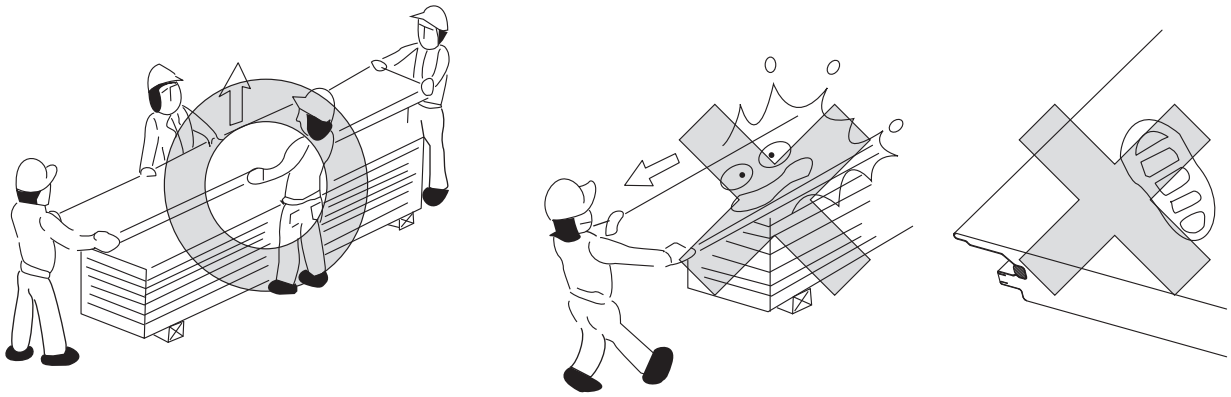
・調達資材は現場手配となります。
・電源をあらかじめ確保してください。
・ここに記載した以外の工具が必要になることもあります。
・各工具の取り扱いにつきましては、それぞれの取扱説明書に従ってください。

6－1－3　取り扱い注意事項

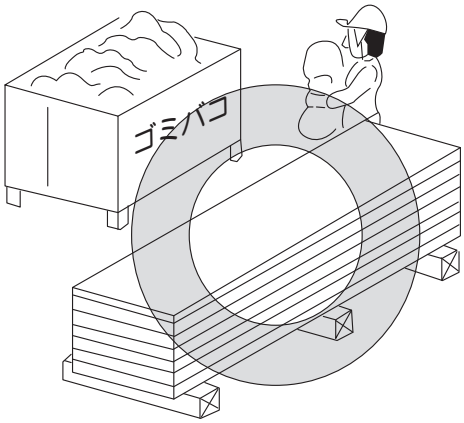
・荷くずれに十分に注意してください。

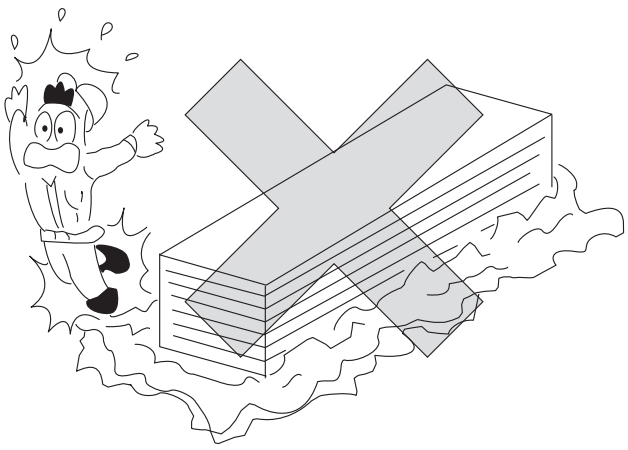


・パネル本体を引きずらないでください。傷が付きます。
・土足でパネル本体に乗らないでください。傷が付きます。
・静電気が帯電しているおそれがありますので、取り扱い時には十分に注意してください。



・梱包資材のフィルムなどは、開梱したら放置せず、すみやかに処分してください。





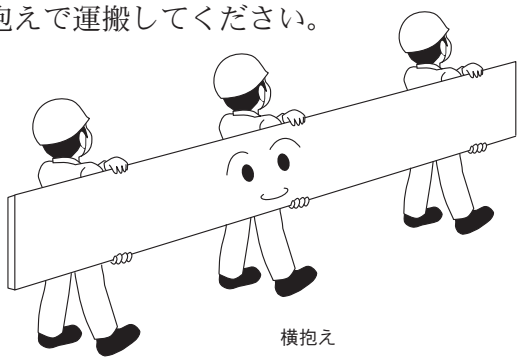
6－1－4　パネル本体の運搬

・運搬に必要な人数は下表を目安にしてください。

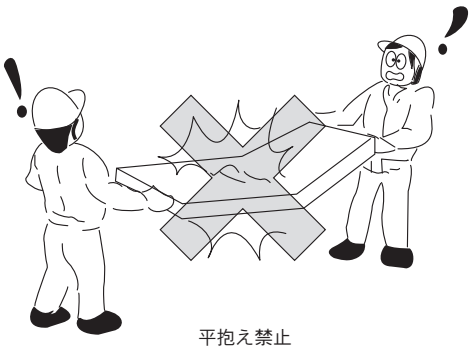
パネル本体長さ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9m
600幅	2人以上				3人以上		4人以上		5人以上
900幅	2人以上			3人以上		4人以上		5人以上	

・横抱えで運搬してください。

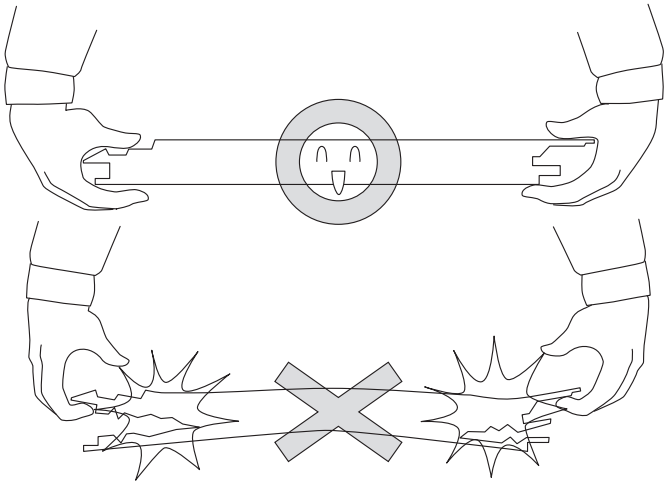


横抱え

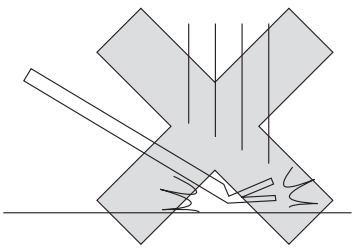


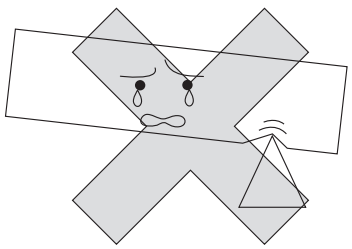
平抱え禁止

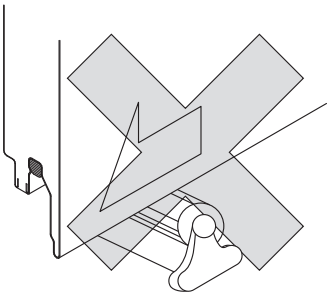
・パネル本体端部の薄肉部を持たないでください。



・パネル本体を置くときには衝撃を与えないでください。
・硬くて尖ったものや、硬い角のあるものに載せないでください。
・パネル本体の小運搬時には、コロやローラーなどを使用しないでください。パネル本体表面が変形するおそれがあります。

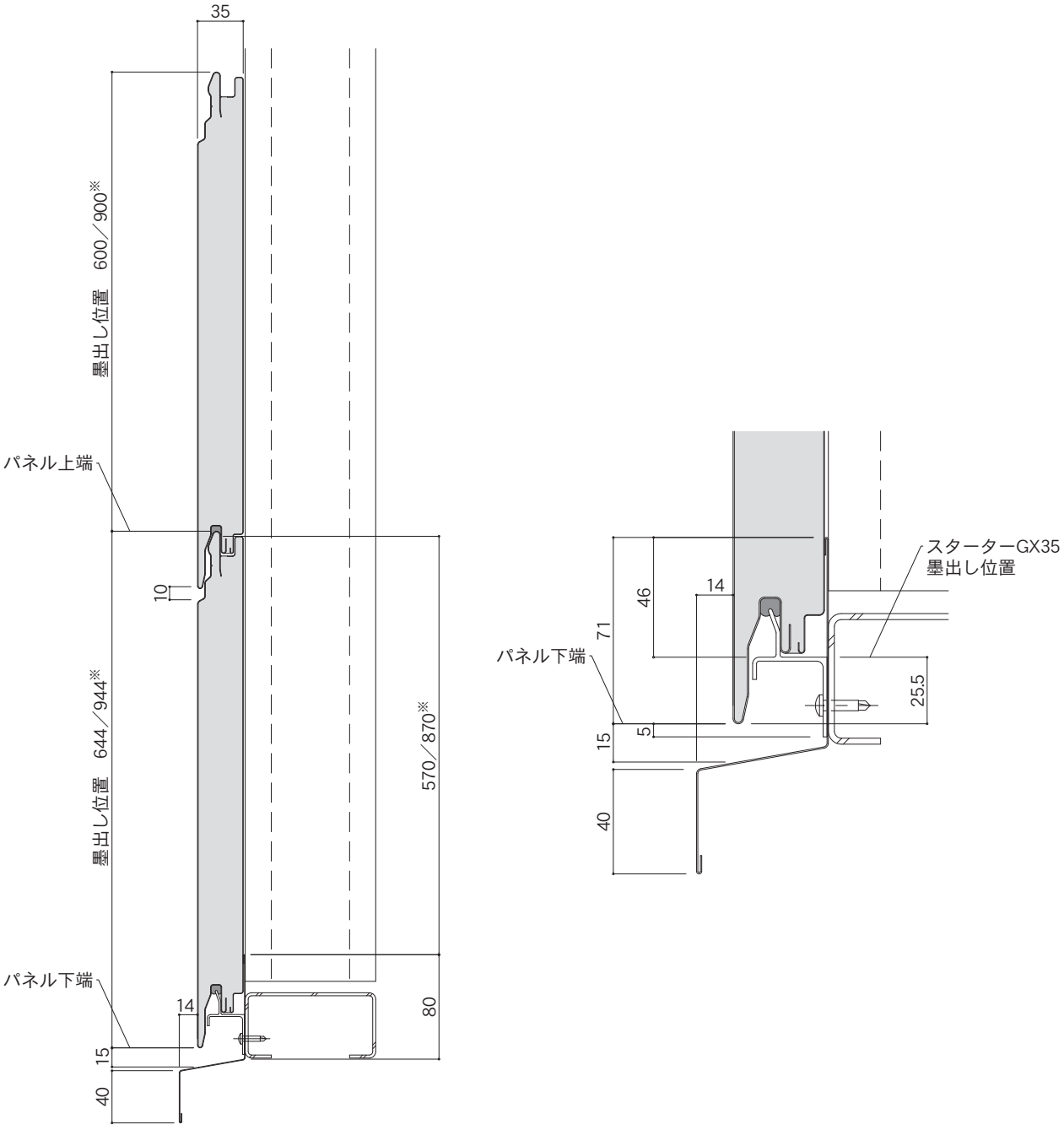






6−2　墨出し

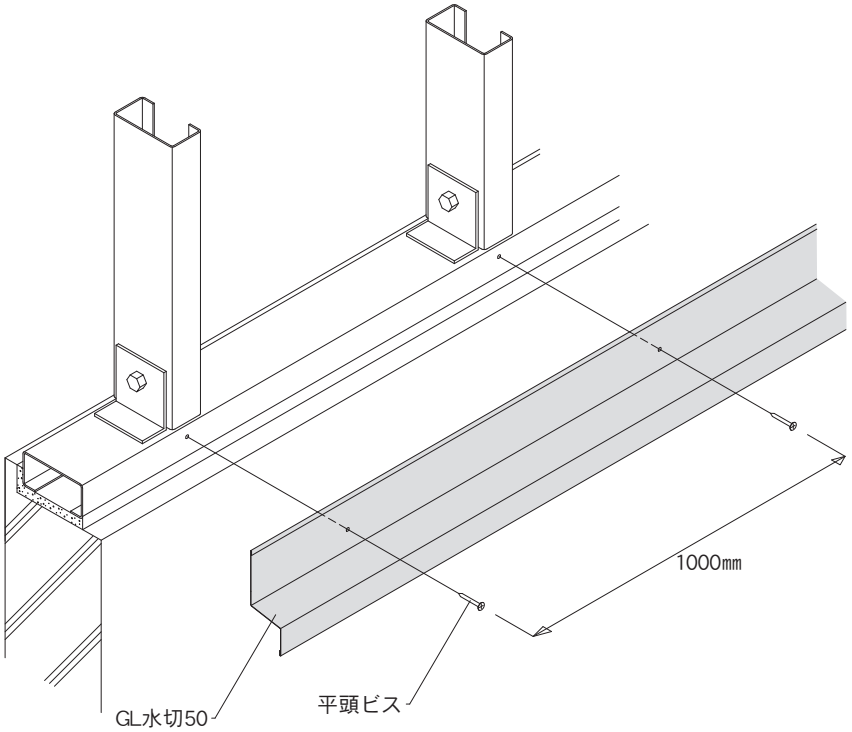
〔断熱ヴァンドGX35／GX35N〕
〔断熱ヴァンドGX35E／GX35EN〕

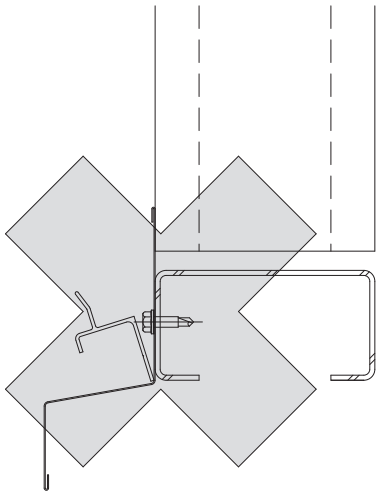


・水切、スターター、パネル取り付けのためのよこ墨が必要です。
・ハットジョイナーの位置を出すためのたて墨も必要です。
・パネル下端＝スターター下端＋5㎜となります。

※　働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

6－3　水切取り付け

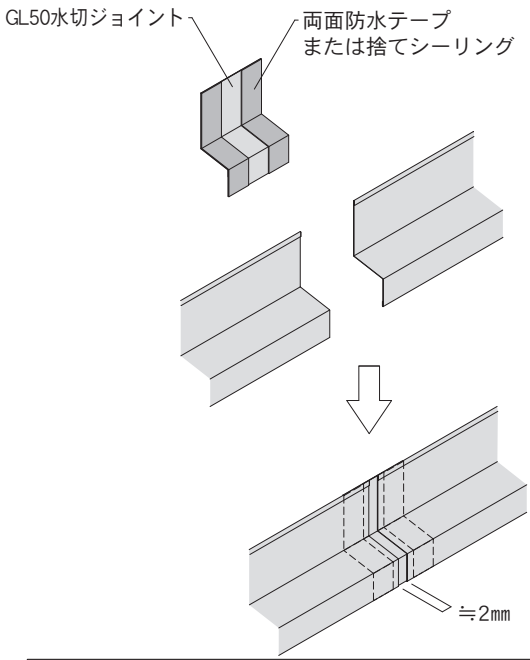




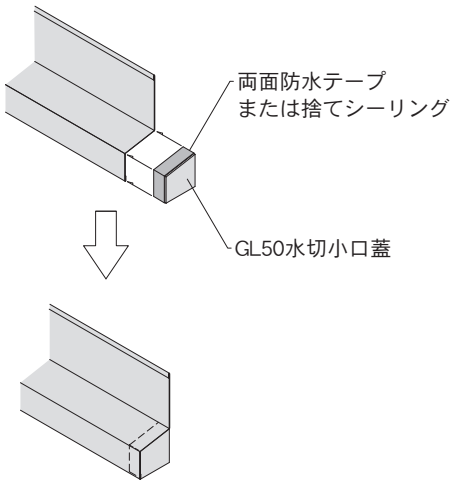
平頭以外のテクスビス不可。
スターターやパネルが
納まりません。

・墨に合わせて取り付けてください。
・平頭ビスで1,000㎜間隔で取り付けてください。

〔水切のジョイント方法〕



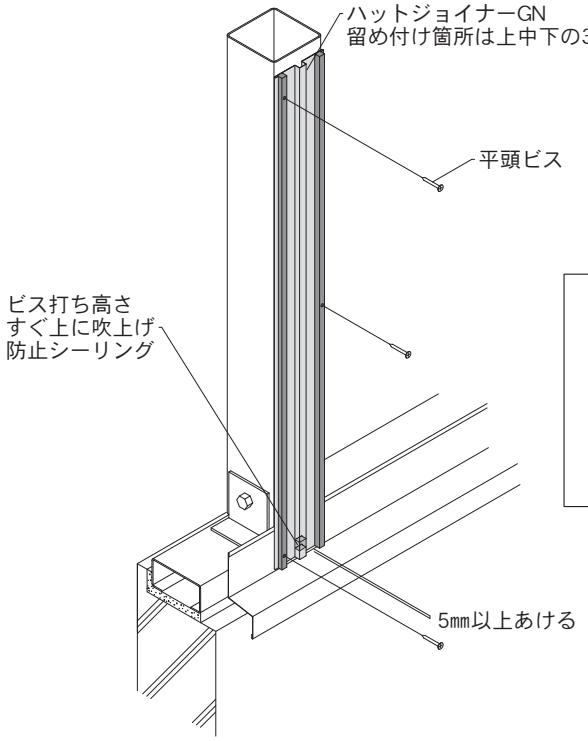
〔端部〕



・防水テープはt＝1.0㎜、W＝20㎜程度のものを用意してください。

6－4　捨板取り付け

6－4－1　たて目地：シーリングタイプ※・ふかしタイプの場合



・必要に応じて墨出しをしてください。
・水切から5㎜以上あけて取り付けてください。
・取り付けには平頭ビスを使用し、タッピングビスなどの頭の大きなものは使用しないでください。

※　断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENはシーリングタイプで納めることができません。

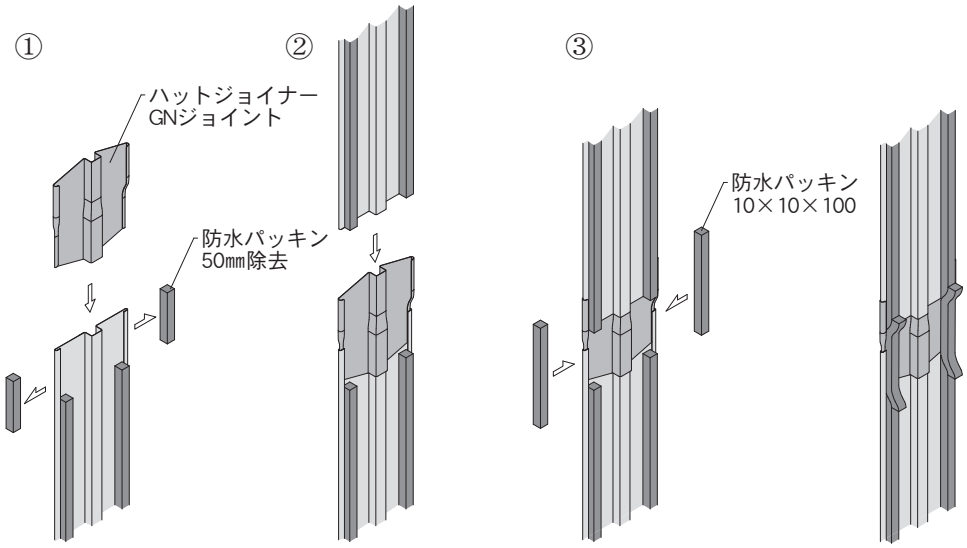
【注意 !! 】 付属品の「ハットジョイナーGN」、「ハットジョイナーGNジョイント」は防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194およびPC030NE-0201には使用できません。詳しくはP123～P124を参照してください。

〔ハットジョイナーGNのジョイント方法〕

・捨板類のたてつなぎは50㎜以上重ねてください。

【1】ハットジョイナーGNジョイントを使用する場合

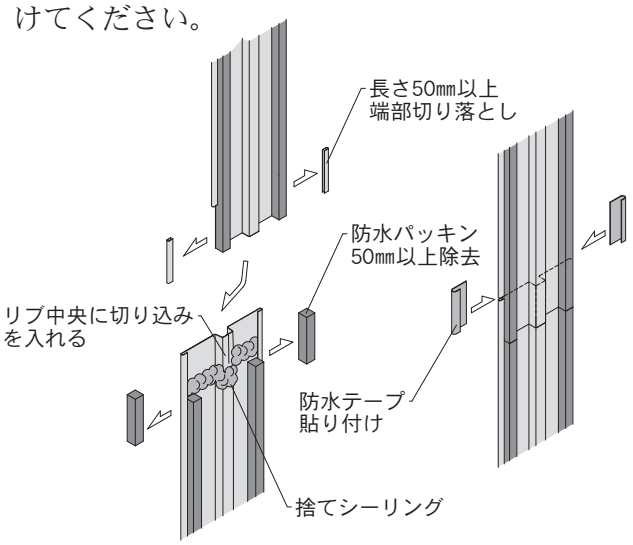
①下側ハットジョイナーGNの防水パッキンを50㎜以上除去する。
　下側ハットジョイナーGNの中央部リブ（凸部）をガイドにしてハットジョイナーGNジョイントを差し込む。
　ハットジョイナーGNジョイントの中央部リブ（凸部）の広い方が下になります。
②ハットジョイナーGNジョイントの中央部リブ（凸部）をガイドして上側ハットジョイナーを差し込む。
③防水パッキン10×10×100を上下のハットジョイナーGNに貼り付けてある防水パッキンに重なるように貼り付ける。



【2】ハットジョイナーGNを現場加工する場合

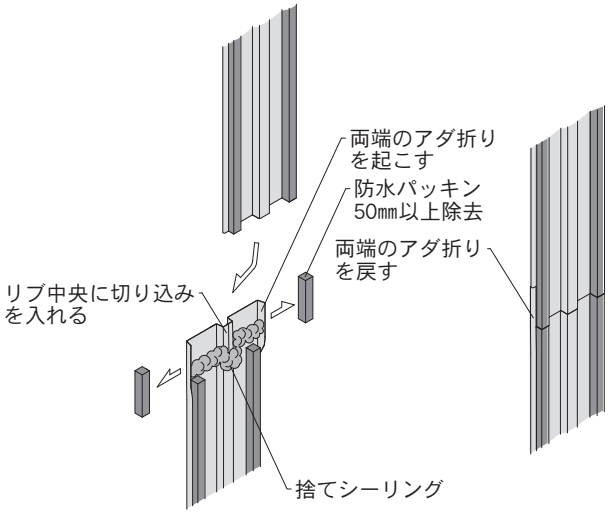
○その1

下のハットジョイナーの表側に50㎜以上重ねてジョイントしてください。
つなぎのアダ折り部に防水テープを貼り付けてください。



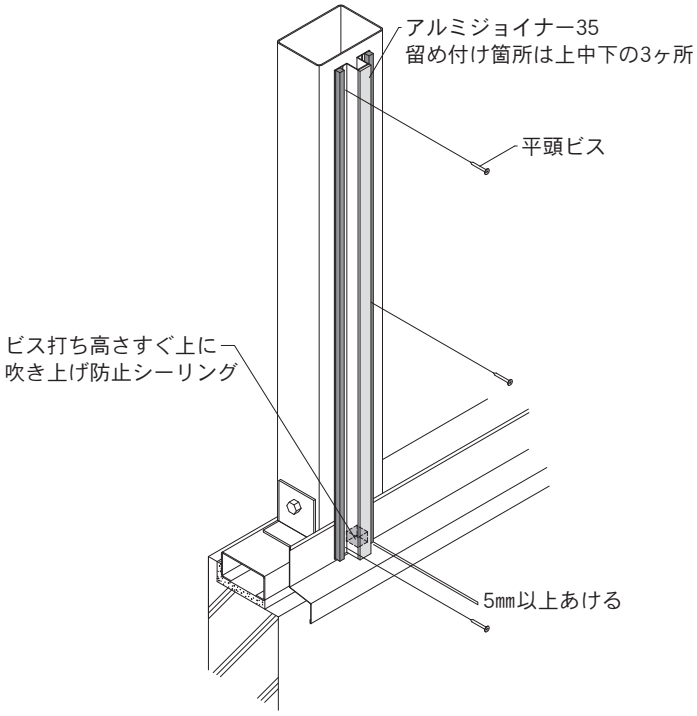
○その2

下のハットジョイナーの表側に50㎜以上重ねてジョイントしてください。



6−4−2　たて目地：フラットタイプ

〇図は断熱ヴァンドGX35　断熱ヴァンドGX35Eの場合



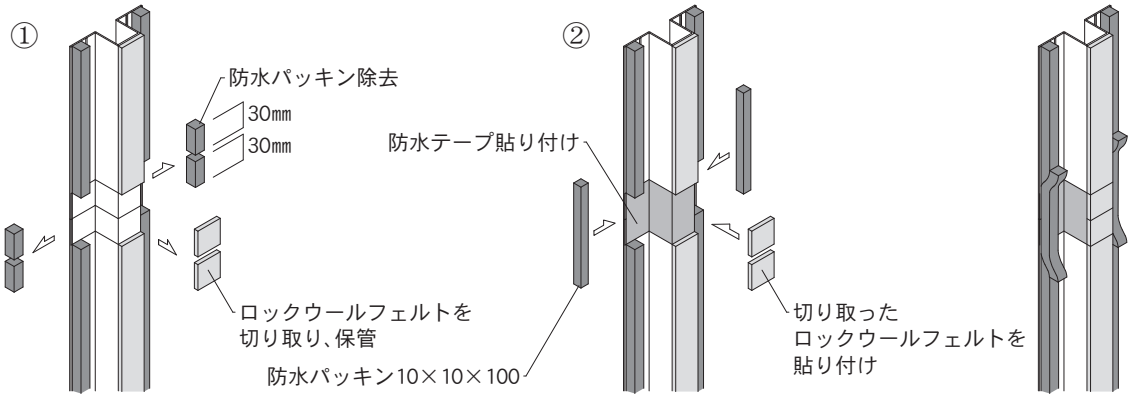
【注意 !! 】　たて目地部フラットタイプの納まりは防火構造認定PC030NE-0191〜PC030NE-0194およびPC030NE-0201には対応できません。

・必ず墨出しをしてください。
・たて目地部の下地材は2Cまたは角パイプが必要です。
・断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35Eのフラットタイプの場合は、幅の広い下地材（□125×125×2.3または□150×100×3.2）を使用してください。

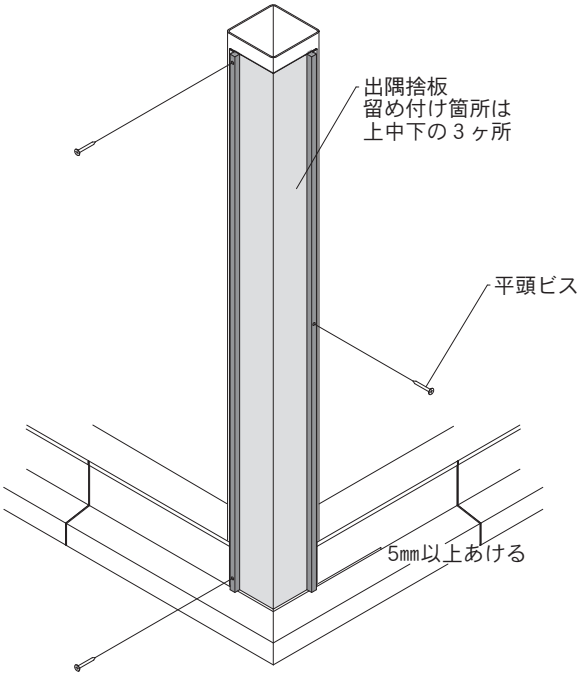
〔アルミジョイナー35のジョイント方法〕

①アルミジョイナー35のつなぎ部上下の防水パッキンを除去しロックウールフェルトを切り取り、保管します。

②つなぎ部に防水テープを貼り付け、防水パッキン10×10×100を上下のアルミジョイナー35に貼り付けてある防水パッキンに重なるように貼り付けます。切り取ったロックウールフェルトを両面テープで貼り付けてください。



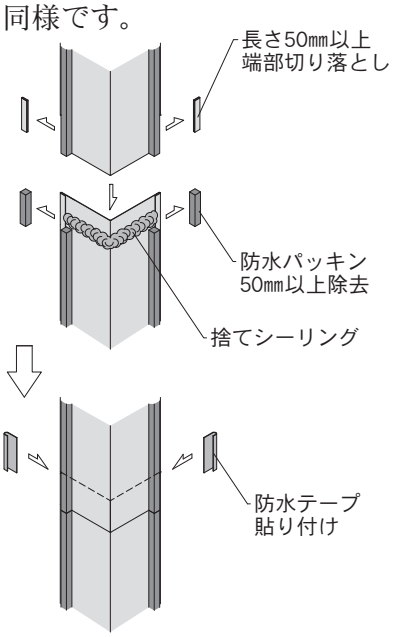
6－4－3　出隅部：出隅カバー、Ｌ型出隅※で納める場合



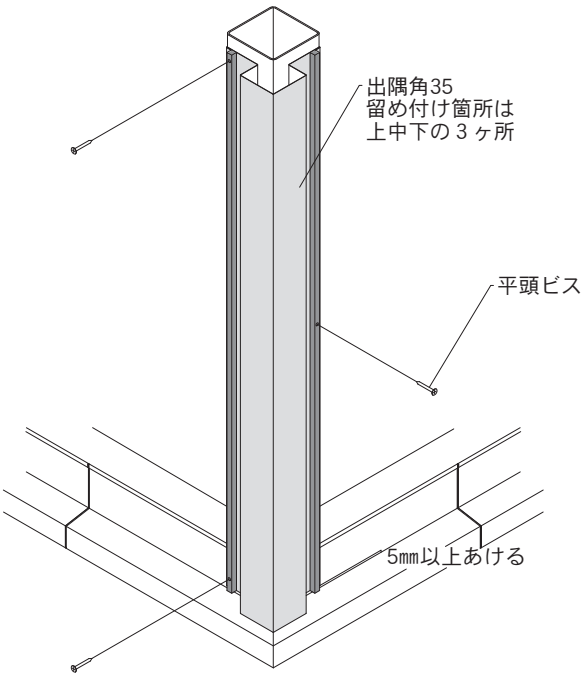
※　Ｌ型出隅は、断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35Eの
よこ張り専用です。

〔出隅捨板のジョイント方法〕

下の出隅捨板の表側に50㎜以上重ねてジョイントしてください。
つなぎのアダ折り部に防水テープを貼り付けてください。
入隅捨板も同様です。

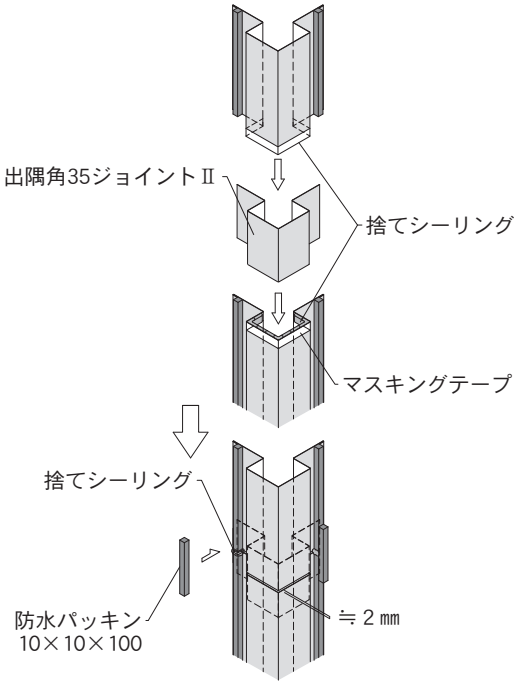


6－4－4　出隅部：出隅角35で納める場合

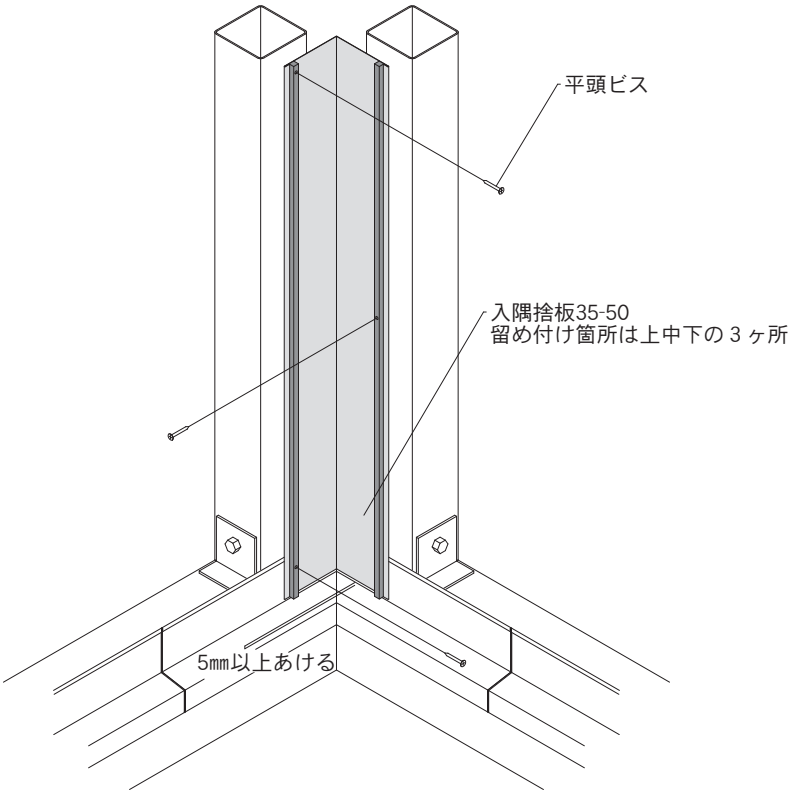


〔出隅角35のジョイント方法〕

出隅角35の端部にマスキングテープを貼り、捨てシーリングのはみ出しを防止します。
出隅角35ジョイントⅡでつなぎます。
上下の防水パッキンのすき間に捨てシーリングを充てんし、上から防水パッキン10×10×100を貼り付けてください。

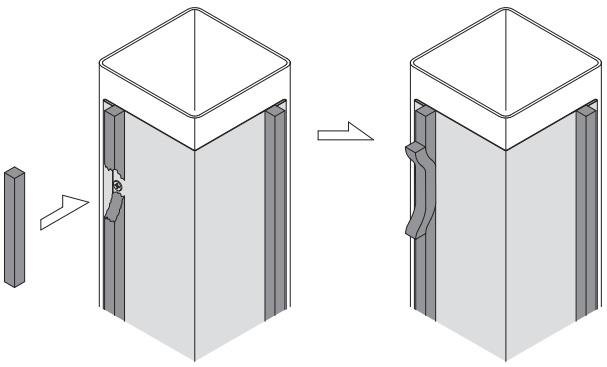


6−4−5　入隅部：入隅カバー、シーリングで納める場合

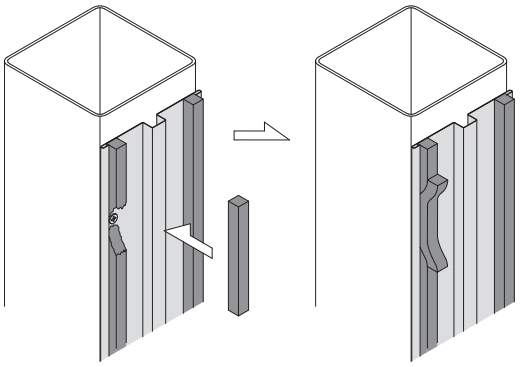


〔防水パッキンの補修方法〕

捨板類を取り付ける際、ビスに巻き込まれ防水パッキンがちぎれる場合があります。そのままパネル本体を施工しますと、漏水の危険性が高くなります。防水パッキンに欠損がある場合は、防水パッキン10×10×100で補修してください。防水パッキン10×10×100を捨板類に貼り付けてある防水パッキンに重なるように貼り付けます。



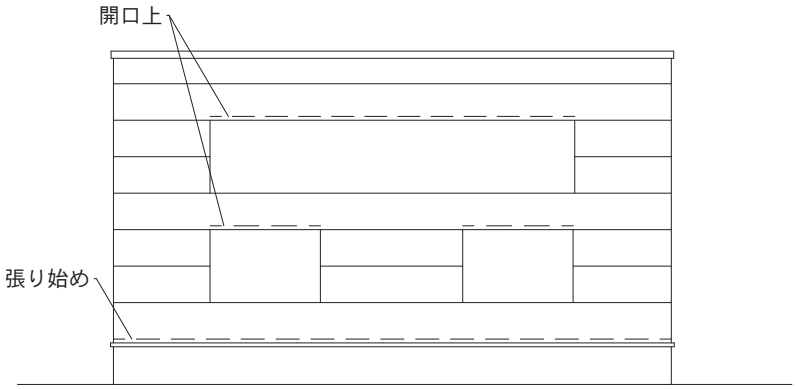
〔出隅捨板の場合〕



〔ハットジョイナーGNの場合〕

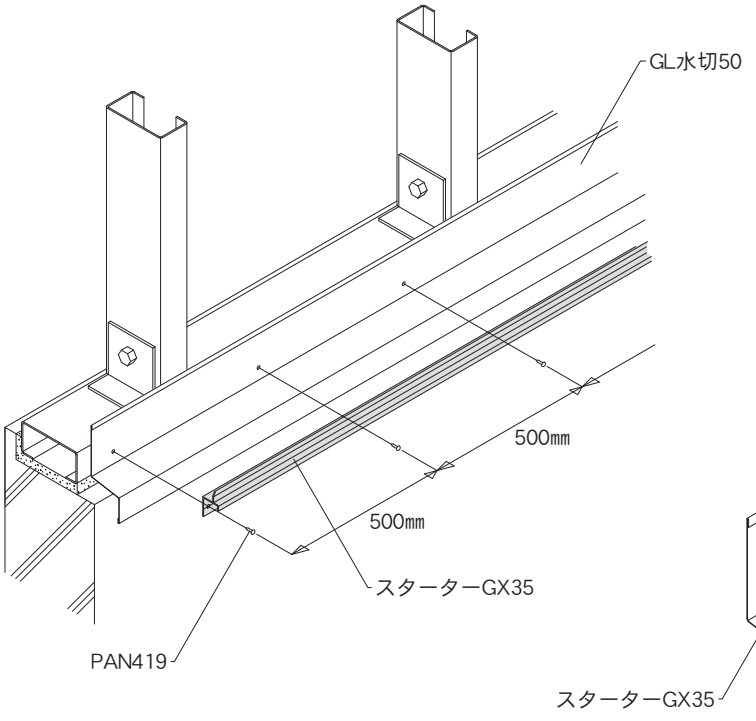
6－5　スターター取り付け

6ー5ー1　スターターの必要なところ

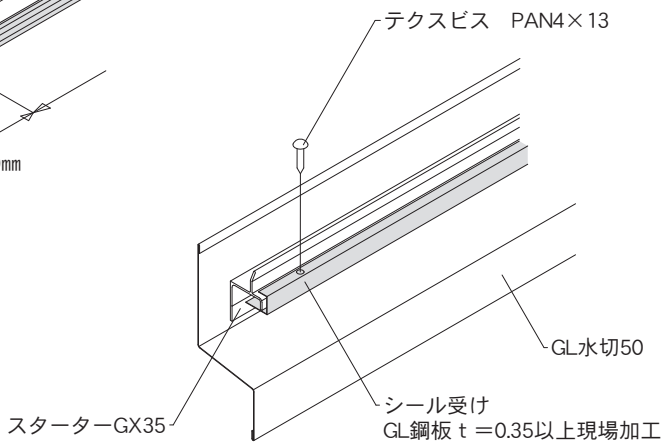


・スターターは張り始めに必要です。
・よこ張りのパネル割り付けによっては窓上などの開口上にも必要です。

6ー5ー2　スターター取り付け



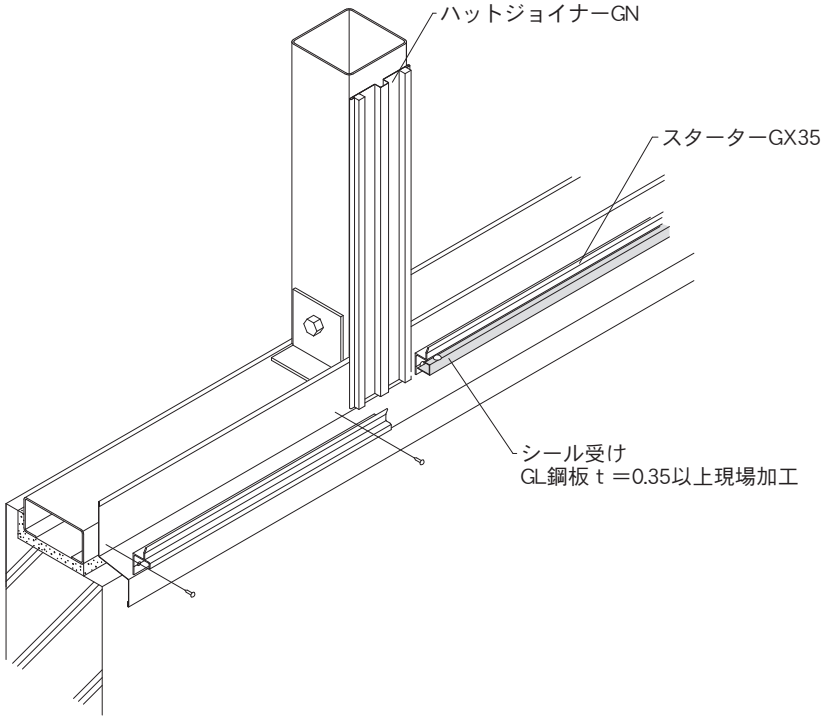
〔シール受けを取り付ける場合〕
スターターを取り付けてからシール受けを通しで留め付けます。テクスビス（PAN4×13）などで1,000㎜以下の間隔で留め付けてください。



・スターターは通しで取り付けます。但し、捨板と交差する部分ではスターターを切断します（P115参照）。
・留め付けはなべ頭テクス（PAN419）などを使用してください。500㎜以下の間隔で留め付けてください。

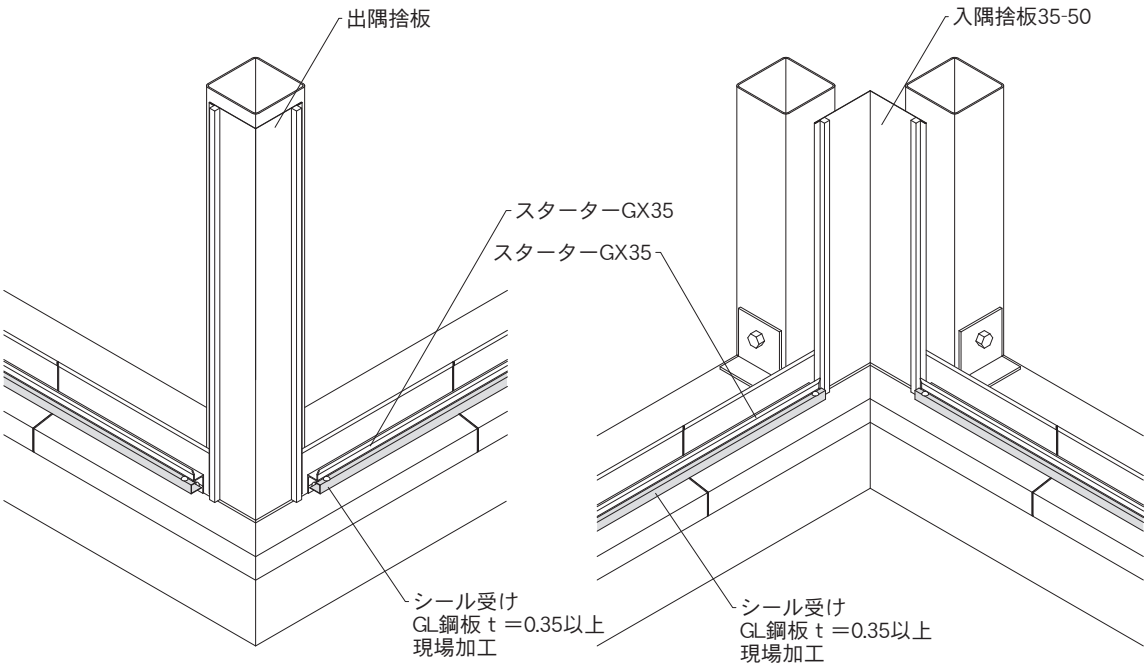
6−5−3　たて目地用捨板との取り合い

○図はハットジョイナーGNの場合



・捨板と交差する部分ではスターターを切断します。

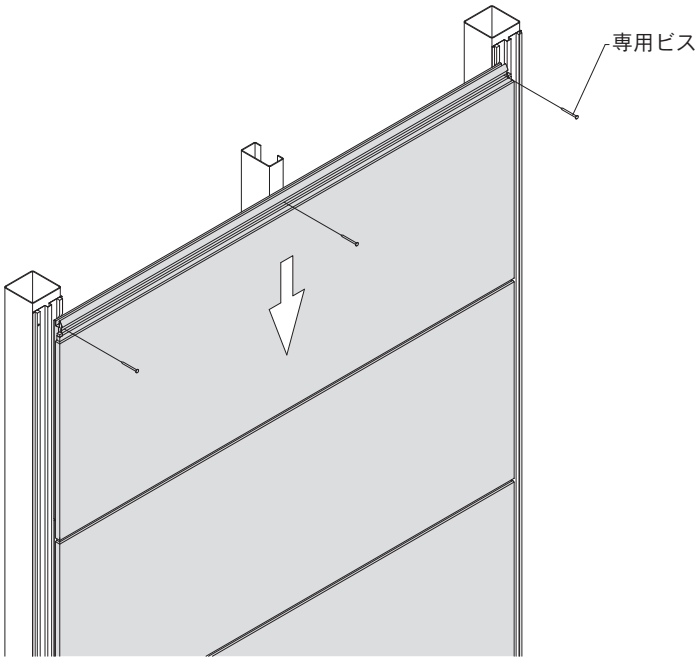
6−5−4　出隅、入隅捨板との取り合い



6－6　パネル本体取り付け

6－6－1　ビス打ち

〇図は断熱ヴァンドGX35　断熱ヴァンドGX35Eよこ張りの場合

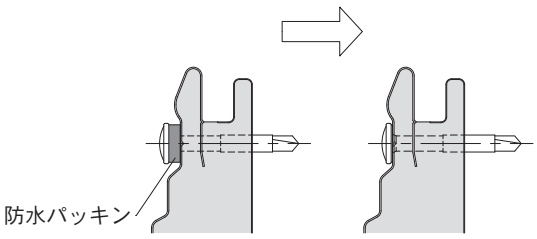


・足場などへの接触に注意してください。
・パネル本体の取り付けには、必ず**専用ビス**を使用してください。
・専用ビスはシンワッシャータイプです。
・**パネル本体留め付け用には、必ず各専用ビスに付属するビットTWLを使用してください。**
ビットTWLは、各専用ビス1箱に1個が付属します。
・製品端部に小口シールが貼ってある場合は施工前に剥がしてください。シールを残したままだとシーリングが接着しません。
・保護フィルムが貼り付けてある商品は長期間放置すると剥がれにくくなりますので、施工後1ヶ月以内に除去してください。

【注意 !! 】 ビスの締めすぎには十分に注意してください。
表面が変形するおそれがあります。

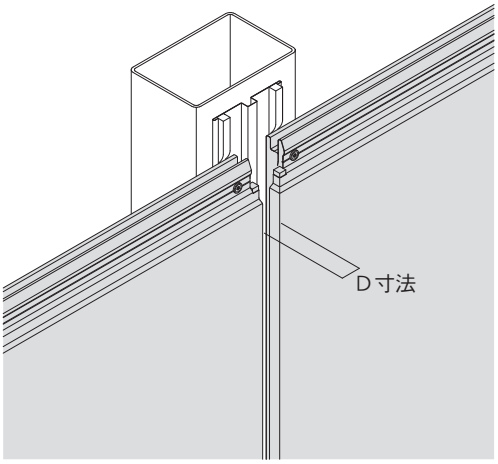
〔専用ビス締め付けの目安〕

専用ビスに付いている防水パッキンが
潰れたら締め付けをやめてください。



6－6－2　たて目地の幅

○図は断熱ヴァンドGX35　断熱ヴァンドGX35E
　シーリング納め目地幅25㎜の場合



・たて目地の幅は納まりタイプによって異なります。
D寸法
ふかしタイプ＝20㎜
フラットタイプ＝30㎜
シーリングタイプ＝20～30㎜
・シーリングタイプの目地幅は、パネル本体の長さによります。下記のシーリングタイプたて目地幅を参照してください。
・断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENはシーリングタイプで納める事が出来ません。
・働き幅、目地幅、墨出し線があっていることを確認してください。
・防水パッキンが効いていることを確認してください。
・たて目地の通りを確認してください。

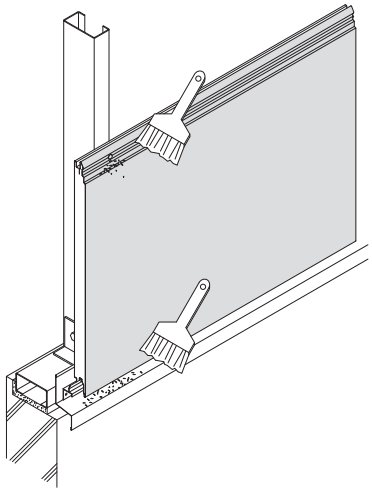
●シーリングタイプたて目地幅

本体長さが下記表の長さを超える場合は、シーリングタイプの納まりは採用できません。
ふかしタイプの納まりとしてください。

表面色	日塗工番号 明度区分	パネル本体長さ	目地幅
明色（シルバーS、ホワイト、アイボリー、シャンパンゴールド、グレー、アクアブルー、ペールピンク）	60以上90未満	6.6m以下	20㎜
		6.6mを超え8.3m以下	25㎜
		8.3mを超え10m以下	30㎜
暗色（ガングレーM、グランブルー）	40以上60未満	5.7m以下	20㎜
		5.7mを超え7.1m以下	25㎜
		7.1mを超え8.5m以下	30㎜

（注）特注色の場合は、日塗工番号明度区分に従い目地幅を設定してください。

6－6－3　切粉の除去



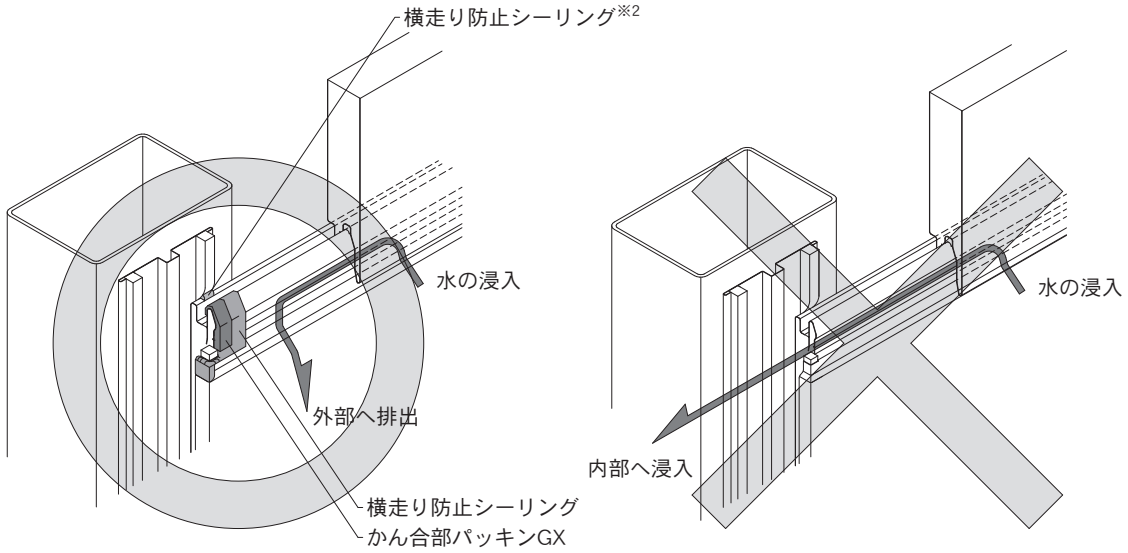
・テクスビスから切粉が発生します。切粉は、放置するとさびが発生しますのでハケなどでその都度除去してください。

6−6−4　横走り防止シーリング

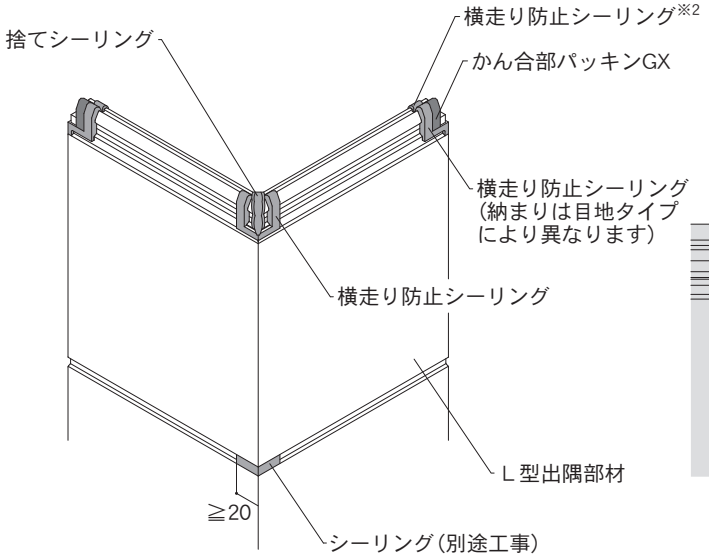
パネルかん合部の水の横走りによる漏水を防止するために横走り防止シーリングが必要です。
シーリングは、変成シリコーン系を使用してください。

【注意 !! 】　納まりによってシールする位置が異なります。
シール位置が正しくないと､効果が得られませんので、十分に注意してください。
各納まり参考図で位置を確認してください。

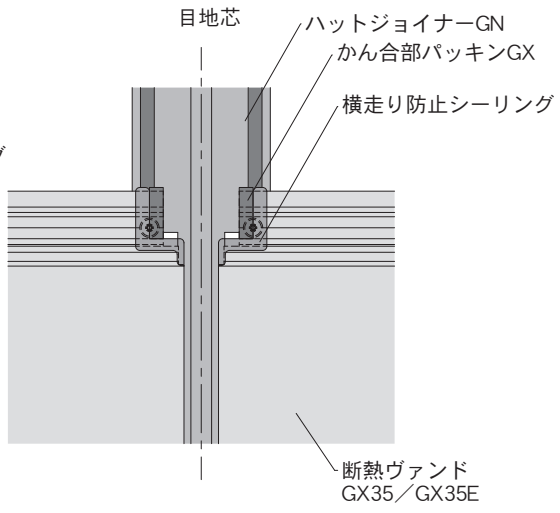
〔たて目地部:シーリングタイプの場合〕



〔出隅部:L型出隅の場合〕



〔たて目地部正面〕※1



※1　断熱ヴァンドGX35N／GX35ENは、たて目地をシーリングで納める事ができません。
※2　裏面側の横走り防止シーリングは、捨板類の防水パッキンに接する位置に施してください。

単位：㎜

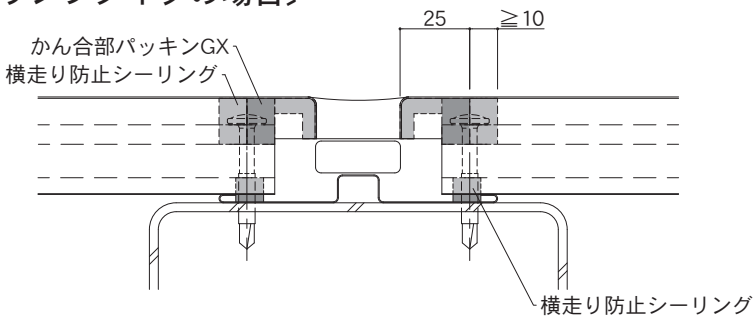
■横走り防止シーリングの位置

【注意 !! 】 横走り防止シーリングの位置は、納まりによって異なります。
シール位置が正しくないと効果が得られませんので十分に注意してください。
各納まり参考図で位置を確認してください。

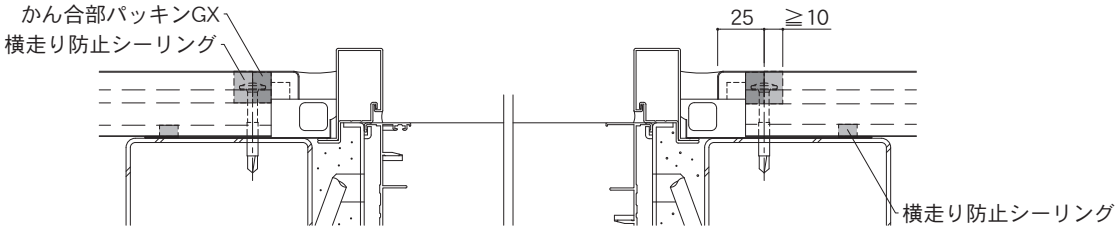
- **横走り防止シーリングのシール幅は10㎜以上としてください。**
- **シーリング（別途工事）とつながる位置に打ってください。**
- 表面側と裏面側捨板類の防水パッキンに接する部分に横走り防止シーリングを施工してください。
- 納まりタイプによって、シールする位置が異なります。

〔断熱ヴァンドGX35　断熱ヴァンドGX35Eの場合〕

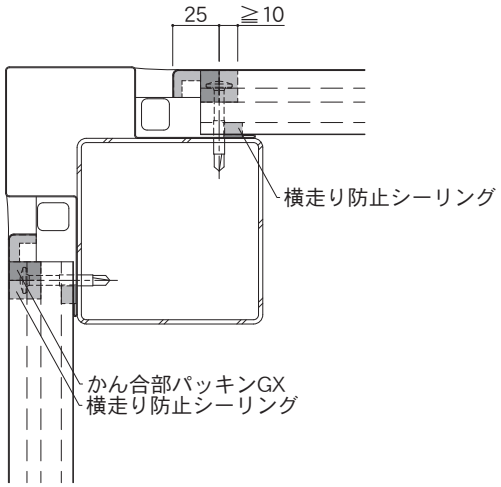
〔たて目地部:シーリングタイプの場合〕



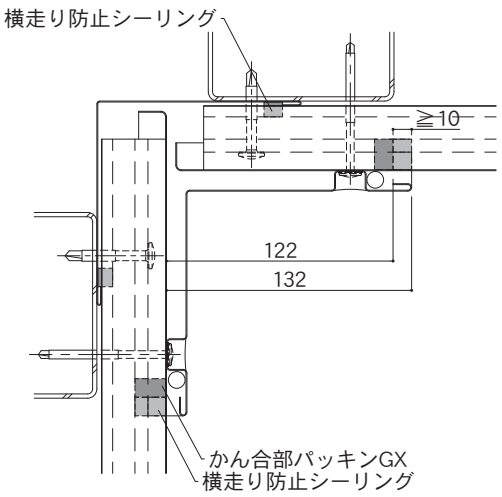
〔開口脇部:RCサッシの場合〕



〔出隅部:出隅角納めの場合〕



〔出隅部:入隅カバー納めの場合〕

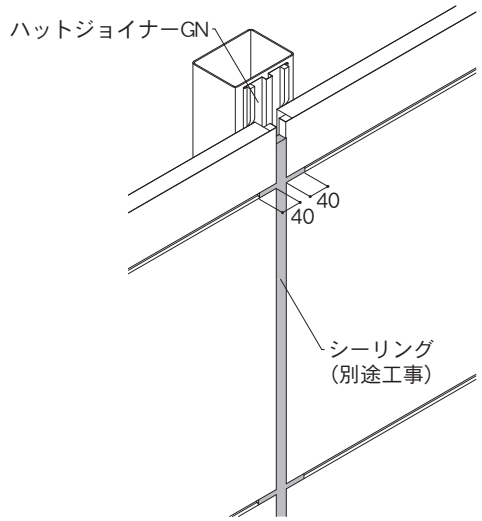


〇その他の納まりについては、各納まり参考図を参照してください。

6－7　たて目地材取り付け

【注意 !! 】 防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194およびPC030NE-0201ではたて目地部の構造が異なります。詳しくはP123～P124を参照してください。

6－7－1　シーリングタイプ（断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35E）

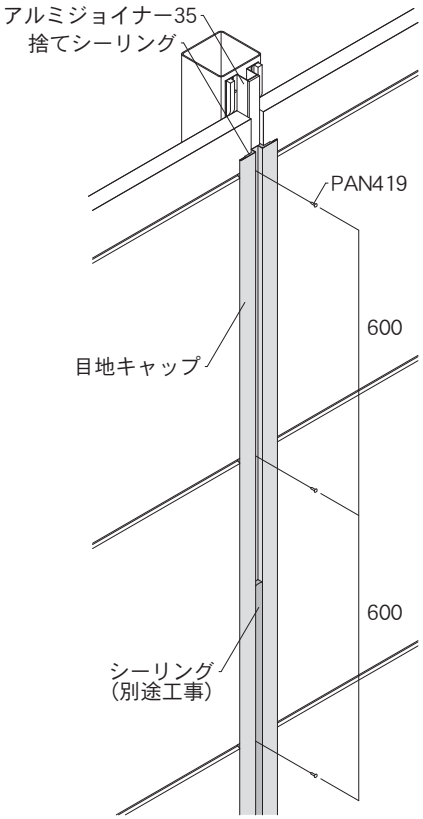


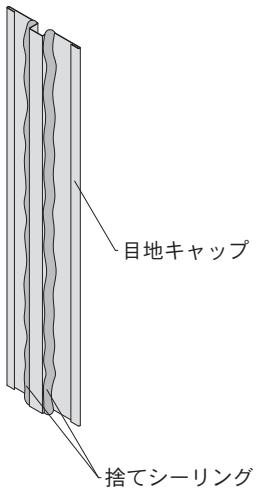
・たて目地に交差するよこ目地にも横走り防止シーリングとつながる位置までシーリングを施工してください。
・断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENはシーリング納めができません。

6－7－2　フラットタイプ

【注意 !! 】 たて目地部フラットタイプの納まりは、防火構造認定PC030NE-0191～PC030NE-0194およびPC030NE-0201には対応できません。

○図は断熱ヴァンドGX35N　断熱ヴァンドGX35ENの場合

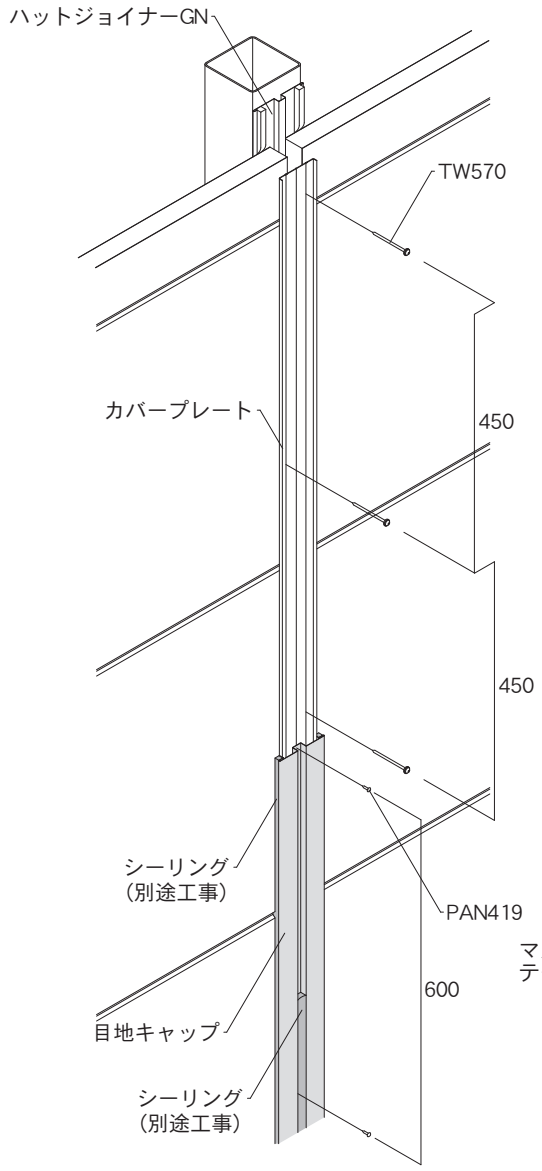




・目地キャップ裏に、横走り防止シーリングとつながる位置に捨てシーリングを施工してください。
・目地キャップは600㎜間隔で留め付けしてください。
・目地キャップのジョイントはP121を参照してください。

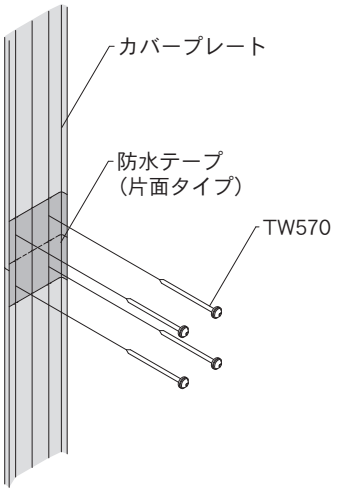
6−7−3　ふかしタイプ

〇図は断熱ヴァンドGX35N　断熱ヴァンドGX35ENの場合

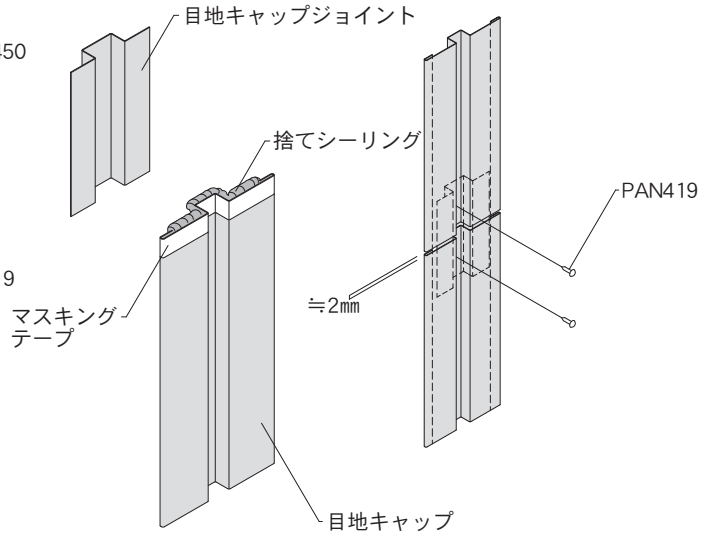


〔カバープレートのジョイント方法〕

ジョイント部に幅50㎜程度の防水テープを貼り付けてください。



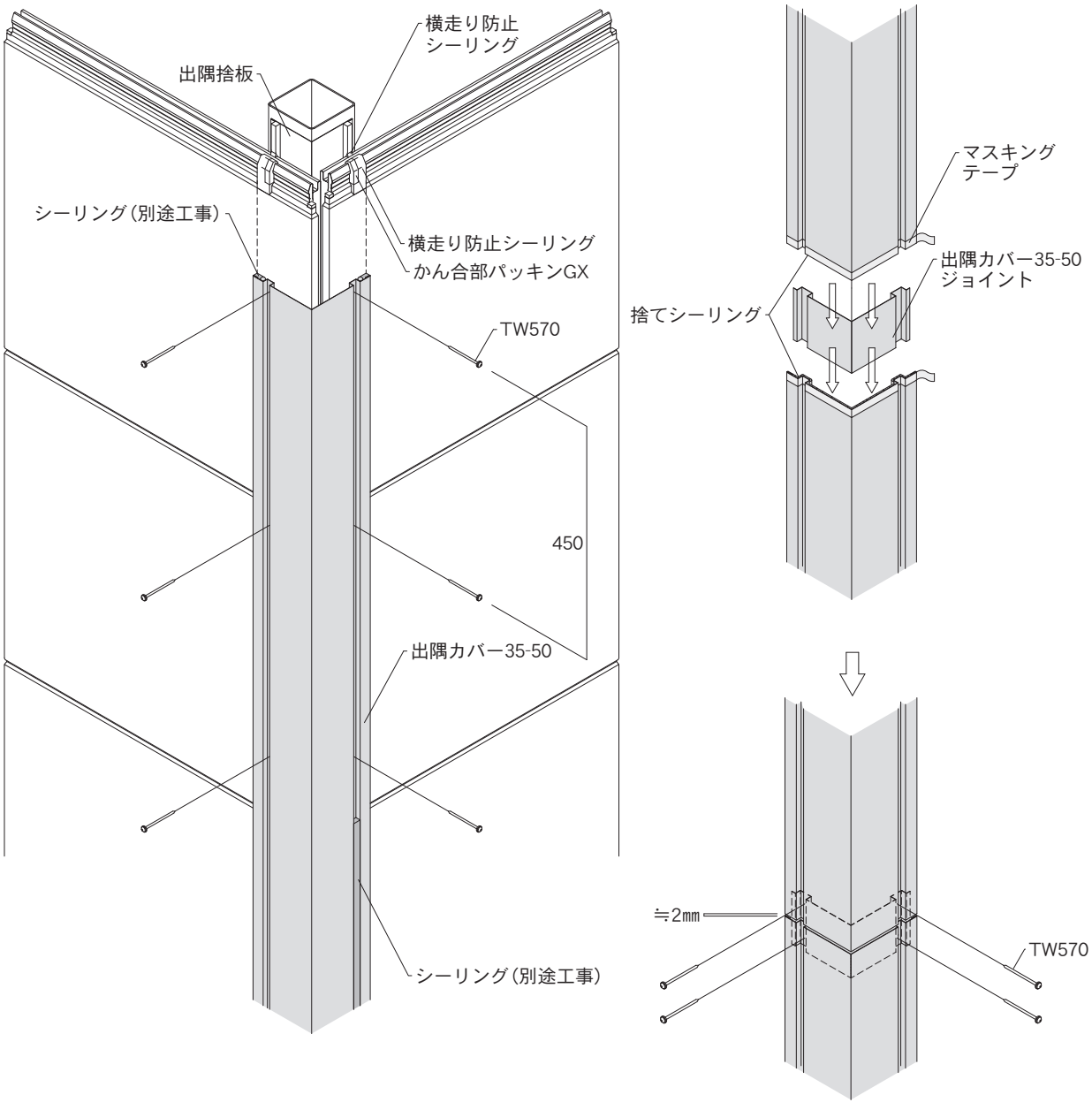
〔目地キャップのジョイント方法〕



・カバープレートの取り付け位置に墨出ししてください。
・カバープレートは450㎜間隔で、左右交互に留め付けてください。
・カバープレートのつなぎ部分では、左右にテクスビスを打ってください。
・目地キャップ取り付け位置に墨出ししてください。
・目地キャップは600㎜間隔で留め付けてください。
・目地キャップのつなぎ部分では上下にビスを打ってください。

6－8　出隅、入隅カバー取り付け

〔ジョイント方法〕



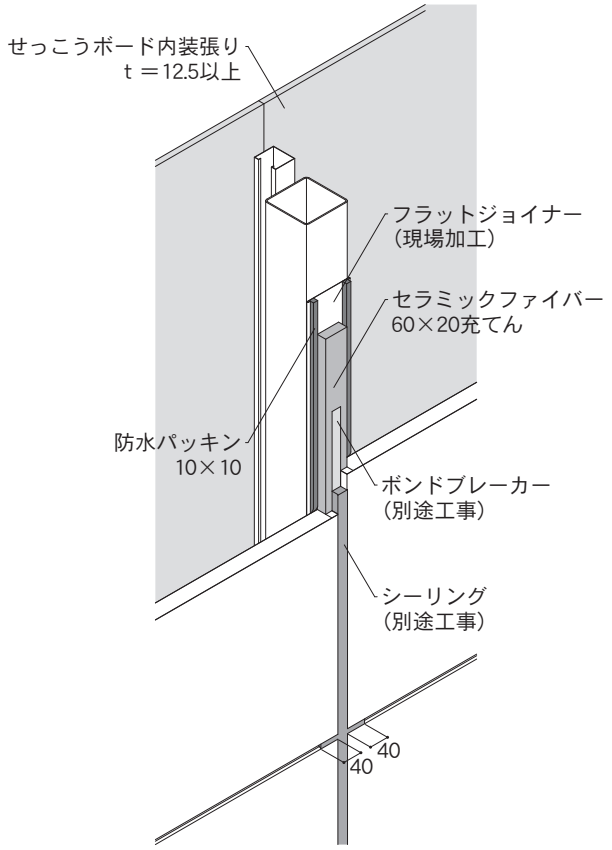
・出隅カバー取り付け位置に墨出ししてください。
・出隅カバーは450㎜間隔で留め付けてください。
・出隅カバーのつなぎ部分では上下にテクスビスを打ってください。
・入隅カバーの取り付けも同様に行ってください。

6－9　防火構造認定のたて目地について

6ー9ー1　せっこうボード内装張り防火構造認定

PC030NE-0191～PC030NE-0192は断熱ヴァンドGX35／GX35Nに対応
PC030NE-0193～PC030NE-0194は断熱ヴァンドGX35E／GX35ENに対応
〔たて目地部フラットジョイナー＋セラミックファイバー充てん仕様〕

○図は断熱ヴァンドGX35、断熱ヴァンドGX35E
シーリング納まり目地幅20㎜の場合



・たて目地に交差するよこ目地にも横走り防止シーリングとつながる位置までシーリング（別途工事）をしてください。
・断熱ヴァンドGX35N、断熱ヴァンドGX35ENはシーリング納めができません。

〔セラミックファイバー施工手順〕

①たて目地部にフラットジョイナー（現場加工）を取り付けます。
②たて目地の片面のパネルを張り上げます。
③張り上がったパネルの箱折部にセラミックファイバーを押し込むように充てんします。
④もう片面のパネルを張り上げます。

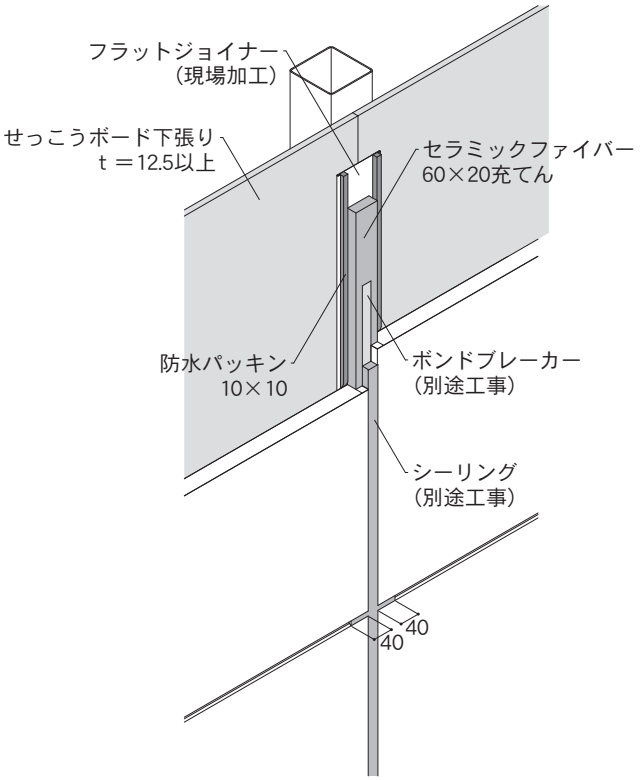
【注意 !! 】

・フラットジョイナー（板厚0.35㎜以上、幅90㎜以上）は現場加工になります。
・フラットジョイナーの両端に、防水パッキン10×10を貼り付けてください。
・たて目地部の胴縁にC100×50×20×2.3を並べる場合は、胴縁間の隙間は9㎜以下としてください。
・たて目地内部に隙間が無いようにセラミックファイバー60×20を充てんしてください。
・セラミックファイバーの切れ目に隙間が出ないようにつなげてください。
・パネルを施工する際にフラットジョイナーとパネルの間にセラミックファイバーを挟み込まないように注意してください。パネル段差の原因になります。
・たて目地部は防火構造認定に関わる部分です。十分に注意して施工してください。
・防火構造の詳細は、構造認定書をご確認ください。

6ー9ー2　せっこうボード下張り防火構造認定

PC030NE-0201は断熱ヴァンドGX35／GX35Nに対応
〔たて目地部フラットジョイナー＋セラミックファイバー充てん仕様〕

○図は断熱ヴァンドGX35　シーリング納まり
目地幅20㎜の場合



・たて目地に交差するよこ目地にも横走り防止シーリングとつながる位置までシーリング（別途工事）をしてください。
・断熱ヴァンドGX35Nはシーリング納めができません。

〔セラミックファイバー施工手順〕

①たて目地部にフラットジョイナー（現場加工）を取り付けます。
②たて目地の片面のパネルを張り上げます。
③張り上がったパネルの箱折部にセラミックファイバーを押し込むように充てんします。
④もう片面のパネルを張り上げます。

【注意 !! 】

・せっこうボードｔ＝12.5㎜以上を下張りしてからパネル本体を施工してください。
・せっこうボードのよこ目地には目地処理が必要です。
・フラットジョイナー（板厚0.35㎜以上、幅90㎜以上）は現場加工になります。
・フラットジョイナーの両端に、防水パッキン10×10を貼り付けてください。
・たて目地部の胴縁にC100×50×20×2.3を並べる場合は、胴縁間の隙間は9㎜以下としてください。
・たて目地内部に隙間が無いようにセラミックファイバー60×20を充てんしてください。
・セラミックファイバーの切れ目に隙間が出ないようにつなげてください。
・パネルを施工する際にフラットジョイナーとパネルの間にセラミックファイバーを挟み込まないように注意してください。パネル段差の原因になります。
・たて目地部は防火構造認定に関わる部分です。十分に注意して施工してください。
・防火構造の詳細は、構造認定書をご確認ください。

単位：㎜

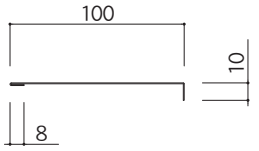
6－10　開口まわり(フラッシングの加工と取り付け手順)

6－10－1　断熱ヴァンドGX35／GX35E　RCサッシの場合（P68詳細）

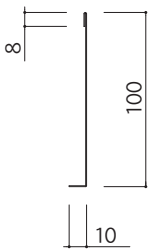
■施工の手順

①フラッシング(横)
⇩
②フラッシング(上)
⇩
③スターターGX35※
⇩
④シール受け※
⇩
サッシ下パネル取り付け
⇩
⑤フラッシング(下)両端部
⇩
サッシ横パネル取り付け
⇩
サッシ上パネル取り付け
⇩
⑤フラッシング(下)中央部
⇩
後付水切(別途工事)
⇩
シーリング(別途工事)
（水抜きパイプ設置）

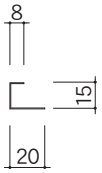
フラッシング(横)



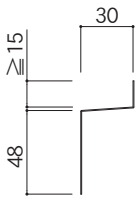
フラッシング(上)



シール受け

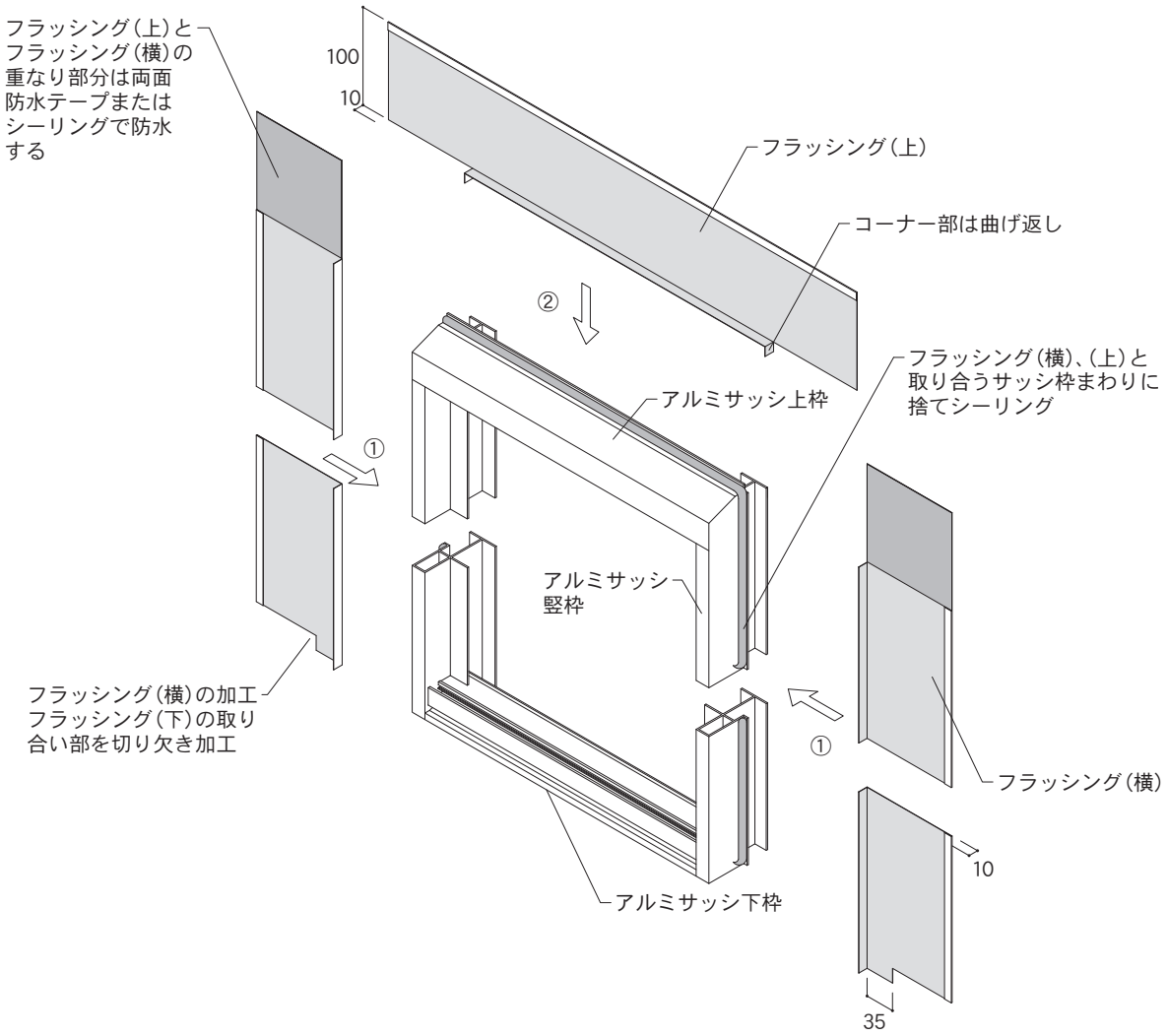


フラッシング(下)(3分割)



※　スターターGX35を取付けし、シール受けをビス留めしてからパネル本体を施工してください。
注）各フラッシングとシール受けはGL鋼板ｔ＝0.35以上で現場加工してください。

【1】フラッシング（横）、（上）の取り付け



施工手順

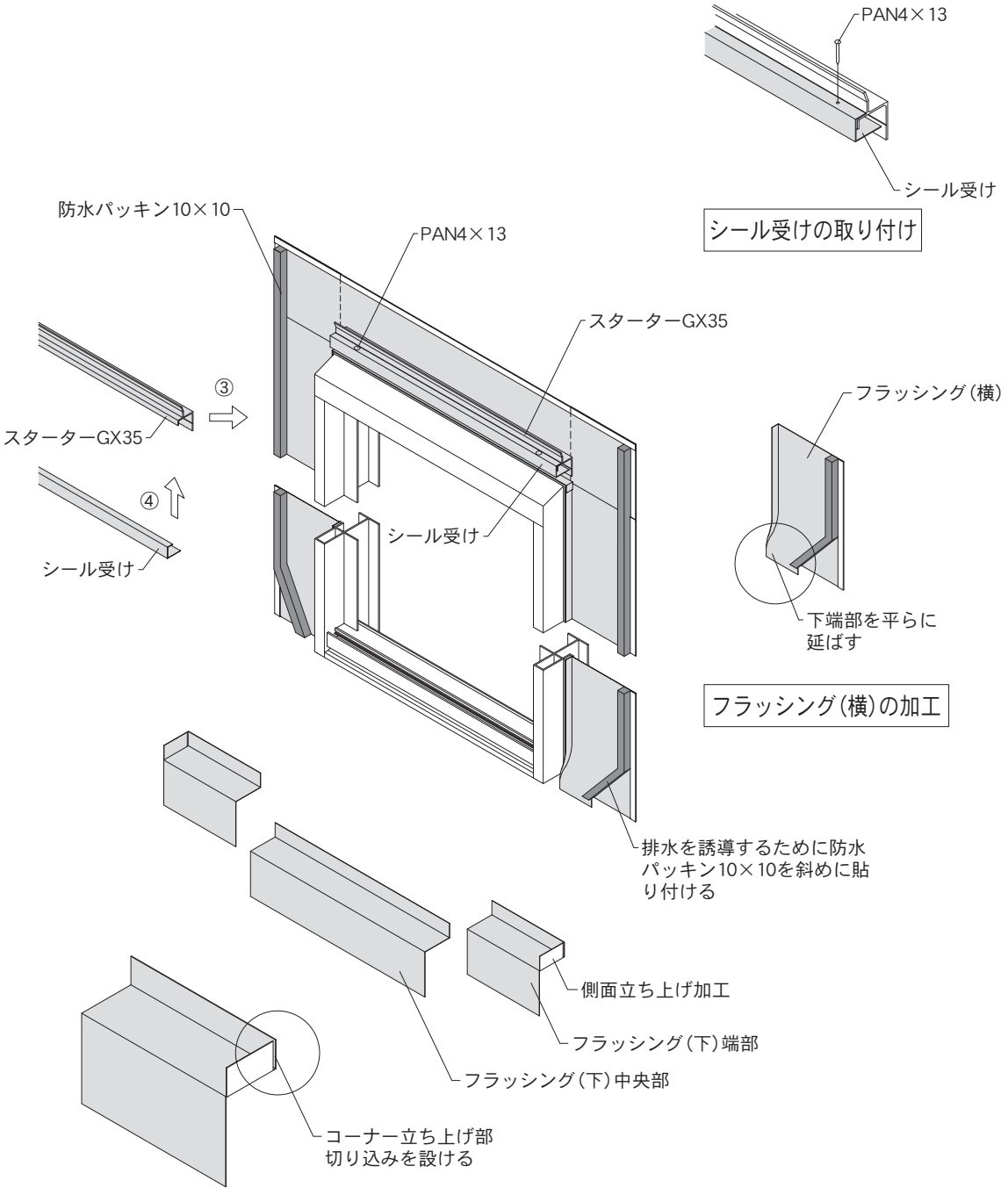
1）①フラッシング（横）、②フラッシング（上）と取り合うサッシ枠まわりに捨てシーリングを施す。

2）①フラッシング(横)を取り付けます。
上端部のフラッシング(上)の重なり部分を両面防水テープまたは、シーリングで防水。

3）②フラッシング(上)を取り付けます。

単位：㎜

【2】スターターとシール受けの取り付け



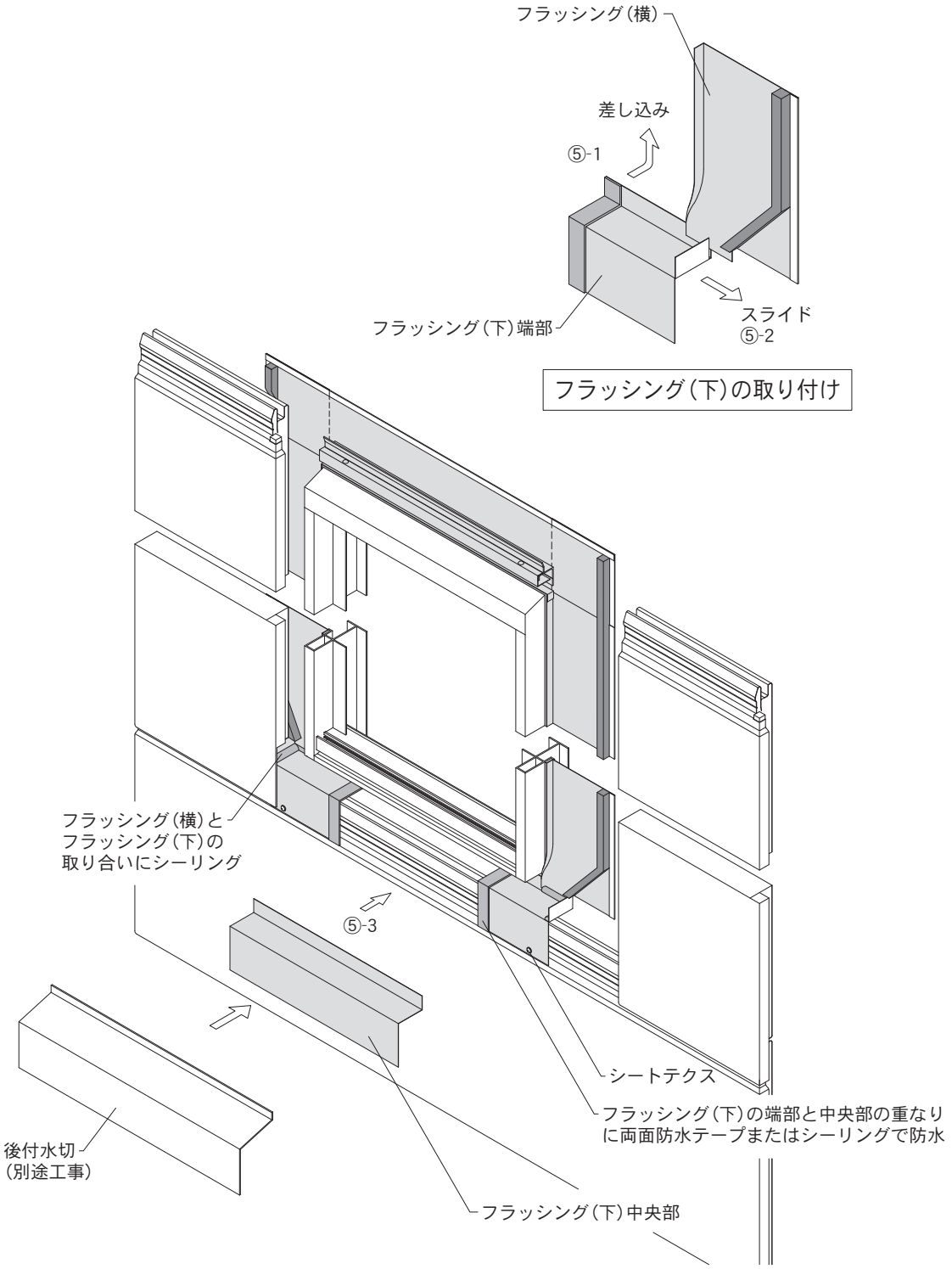
施工手順

4）フラッシング（横）、フラッシング（上）に防水パッキン10×10を貼り付けます。

5）③スターターGX35を取り付けた後、④シール受けを留め付けます。

6）サッシまわりにパネル本体を取り付けます。（サッシ横のパネルはメス部箱折部に切り欠き加工が必要です。P144参照）

【3】フラッシング（下）3分割の取り付け



施工手順

7）⑤-1フラッシング（下）をフラッシング（横）に差し込みます。⑤-2横にスライドさせパネルの樹脂面まで押し込みます。

8）⑤-3フラッシング（下）の中央部を取り付けます。（シートテクスでよこ目地部に留め付け）

9）後付水切（別途工事）。

10）シーリング、水抜きパイプ（別途工事）。

7 パネル本体施工の要領（たて張りの場合）

7－1　施工の準備

7－1－1　施工手順（せっこうボード下張りの場合）

パネル本体施工の流れ

せっこうボードを下張りする場合

⇩ せっこうボードの墨出し

⇩ せっこうボード取り付け

⇩ せっこうボード目地部の処理

⇩ パネル、付属品の墨出し

⇩ 水切取り付け

⇩ 捨板類取り付け …①

⇩ スターター取り付け

⇩ パネル本体取り付け
かん合部パッキンGX
吹き上がり防止シーリング
流れ込み防止シーリング

⇩ カバー類取り付け …②

⇩ シーリング（別途工事）

⇩ クリーニング

⇩ 引き渡し

〇商品タイプによって、必要部材が異なる場合があります。

部位	納め方	必要部材	手順
出隅部	出隅カバー	出隅捨板 出隅カバー （出隅カバージョイント）	① ②
入隅部	入隅カバー	入隅捨板 入隅カバー （入隅カバージョイント）	① ②

●ビス対応表

用途 ／ パネル本体名称	パネル本体取り付け	パネル本体脳天打ち	せっこうボード下張り時パネル本体取り付け	せっこうボード下張り時＋表面役物取り付け（パネル本体脳天打ち）
		表面役物取り付け		
断熱ヴァンドGX35／GX35N 断熱ヴァンドGX35E／GX35EN	TWL645G	TWL660G	TWL660G※	TW570
		TW570		

〇専用ビス（TWL660G／TWL645G）はビットTWLを使用してください。
〇ビットTWLは専用ビス1箱に1個付属します。
〇TW570は十字ビット2番を使用してください。
※　せっこうボードt＝12.5㎜を下張りした場合。

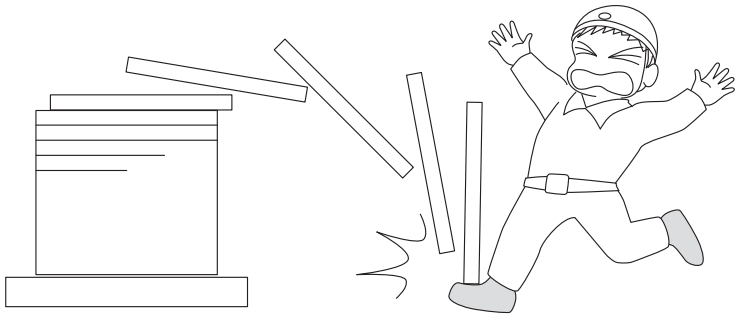
7－1－2　工具の準備

工程	必要工具類	調達資材
荷受け		リン木、合板 養生シート
荷揚げ パネル本体運搬	電動ウインチ ナイロンスリング ワイヤースリング	
墨出し	水準器、下げ振り 墨壺、スケール	
せっこうボード 取り付け	充電ドライバー	ドリリングタッピンねじ せっこうボード目地処理材 ロックウールフェルト ステープル
水切取り付け 捨板類取り付け	充電ドライバー 差し金、スケール	テクスビス、平頭ビス 防水テープ
スターター取り付け パネル本体取り付け 出・入隅カバー取り付け	充電ドライバー 差し金、スケール	各部材に適合するビス 十字ビット2番 （付属品取り付け用） 防水テープ
捨てシーリング	コーキングガン	シーリング材 （変成シリコーン系）
パネル本体現場加工	保護眼鏡 チップソー、ハンマー 金はさみ、つかみ ハケ、ブロワー	**ビット TWL は専用ビス （TWL645G／TWL660G） 1箱に 1 本付属します。**
スチール部材現場加工	アングルカッター 保護眼鏡 ディスクグラインダー 金はさみ、つかみ、ハンマー	
アルミ部材現場加工	アングルカッター （アルミ用刃） 保護眼鏡	

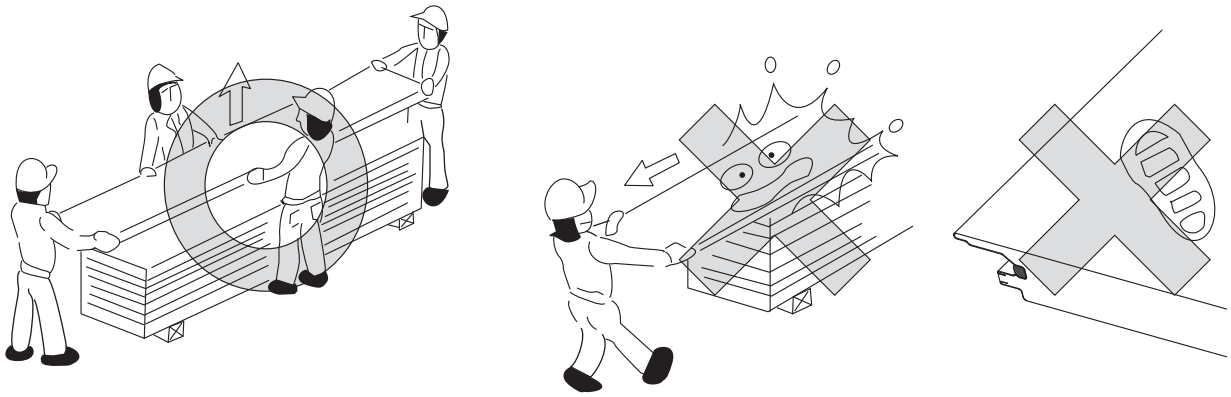
・調達資材は現場手配となります。
・電源をあらかじめ確保してください。
・ここに記載した以外の工具が必要になることもあります。
・各工具の取り扱いにつきましては、それぞれの取扱説明書に従ってください。

7－1－3　取り扱い注意事項

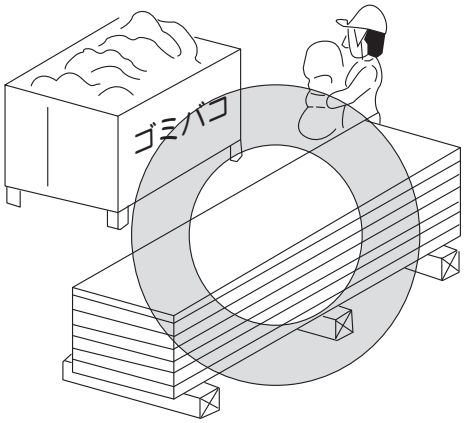
・荷くずれに十分に注意してください。

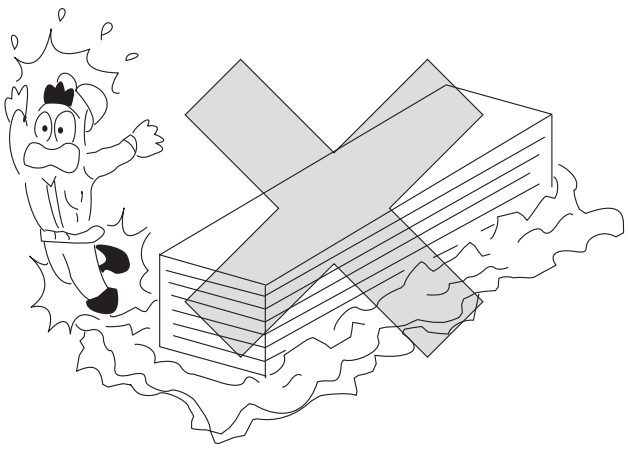


・パネル本体を引きずらないでください。傷が付きます。
・土足でパネル本体に乗らないでください。傷が付きます。
・静電気が帯電しているおそれがありますので、取り扱い時には十分に注意してください。



・梱包資材のフィルムなどは、開梱したら放置せず、すみやかに処分してください。





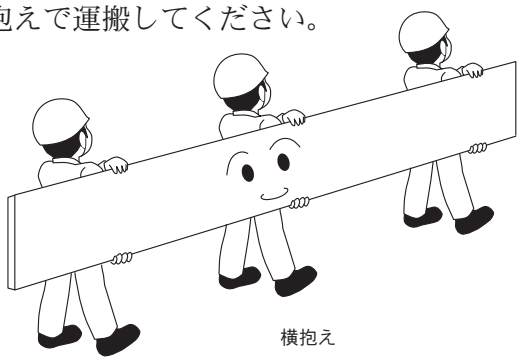
7－1－4　パネル本体の運搬

・運搬に必要な人数は下表を目安にしてください。

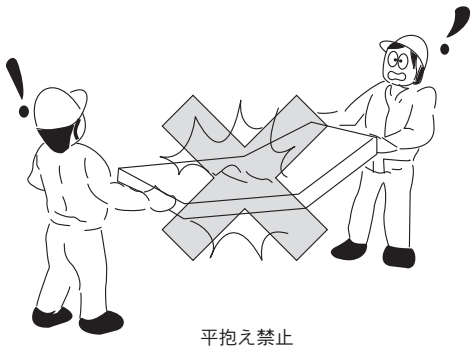
パネル本体長さ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9m
600幅	2人以上				3人以上		4人以上		5人以上
900幅	2人以上			3人以上		4人以上		5人以上	

・横抱えで運搬してください。

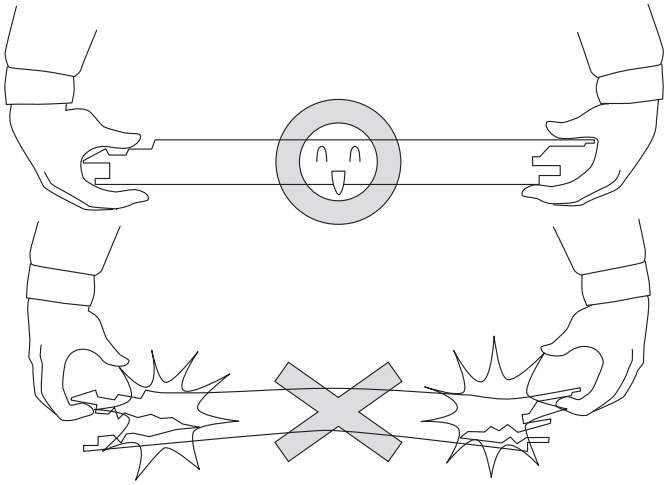


横抱え

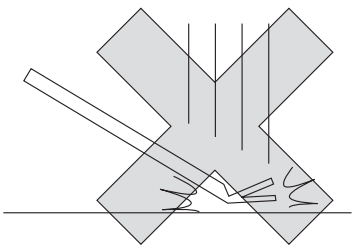


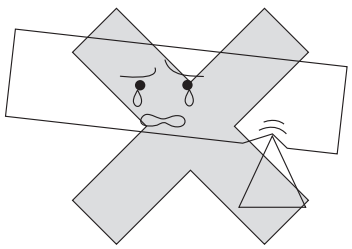
平抱え禁止

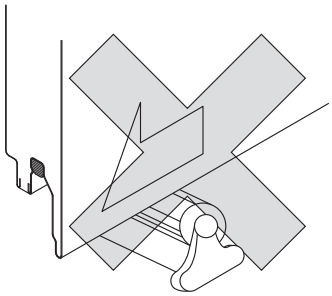
・パネル本体端部の薄肉部を持たないでください。



・パネル本体を置くときには衝撃を与えないでください。
・硬くて尖ったものや、硬い角のあるものに載せないでください。
・パネル本体の小運搬時には、コロやローラーなどを使用しないでください。パネル本体表面が変形するおそれがあります。



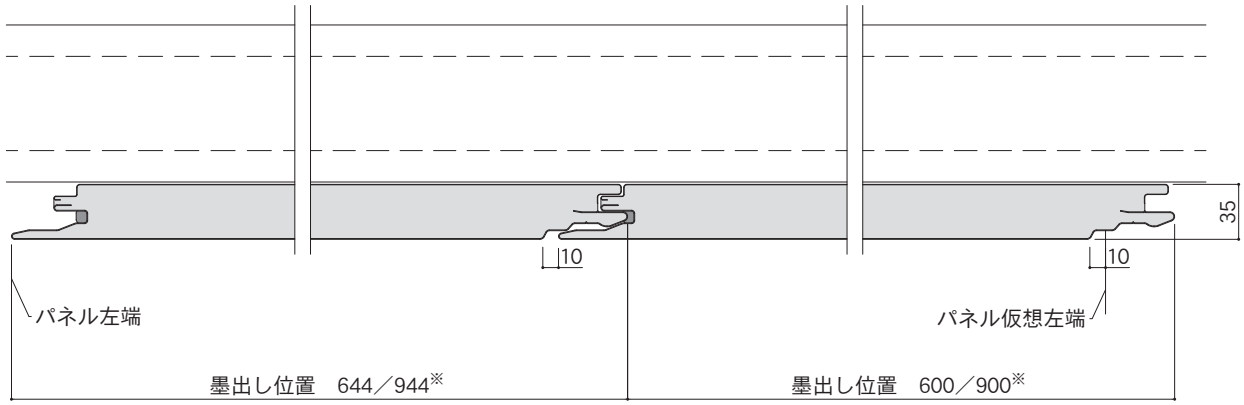




単位：㎜

7－2　墨出し

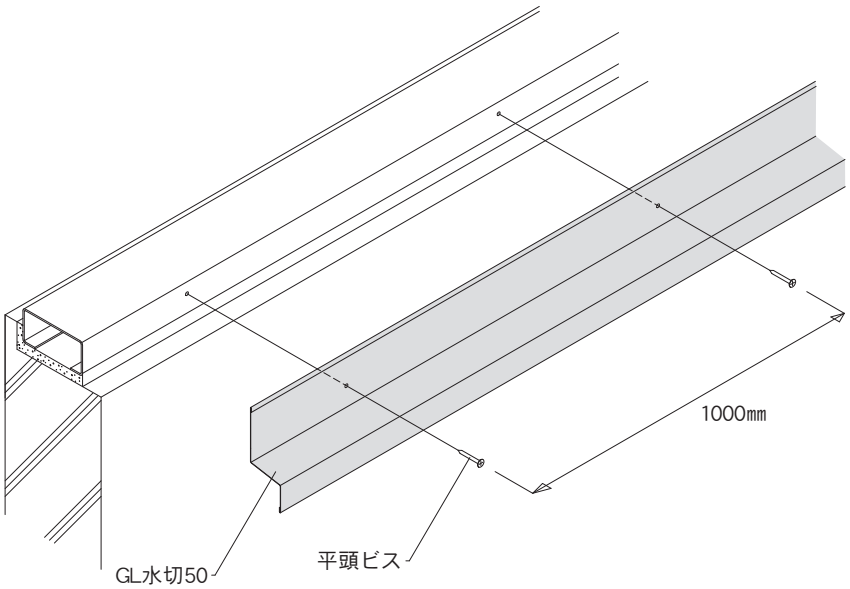
〔断熱ヴァンドGX35／GX35N〕
〔断熱ヴァンドGX35E／GX35EN〕

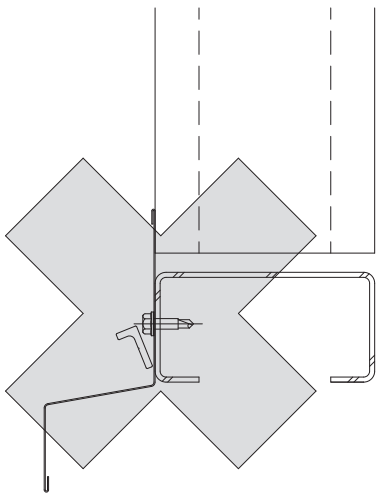


・パネル取り付けのためのたて墨が必要です。
・目地位置とパネル先端位置は異なります。
・施工する壁に向かって左側から張り進めてください。

※　働き幅900㎜の商品は、断熱ヴァンドGX35のみ設定しております。

7－3　水切取り付け

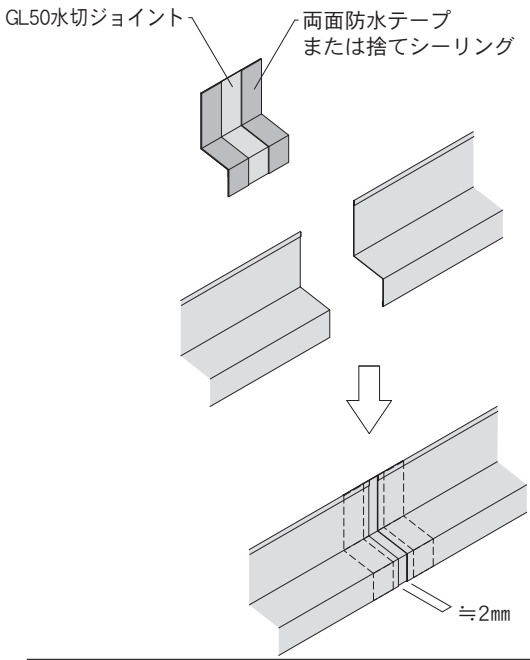




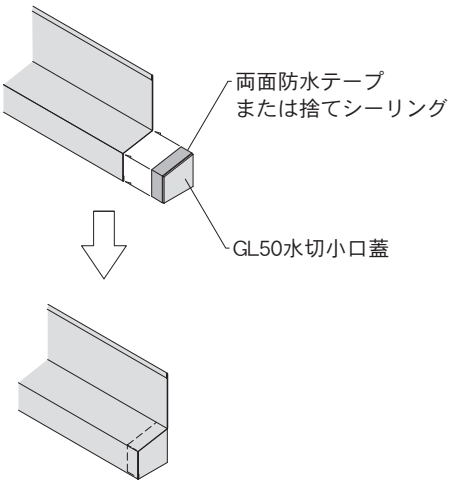
平頭以外のテクスビス不可。
スターターやパネルが
納まりません。

・墨に合わせて取り付けてください。
・平頭ビスで1,000㎜間隔で取り付けてください。

〔水切のジョイント方法〕



〔端部〕

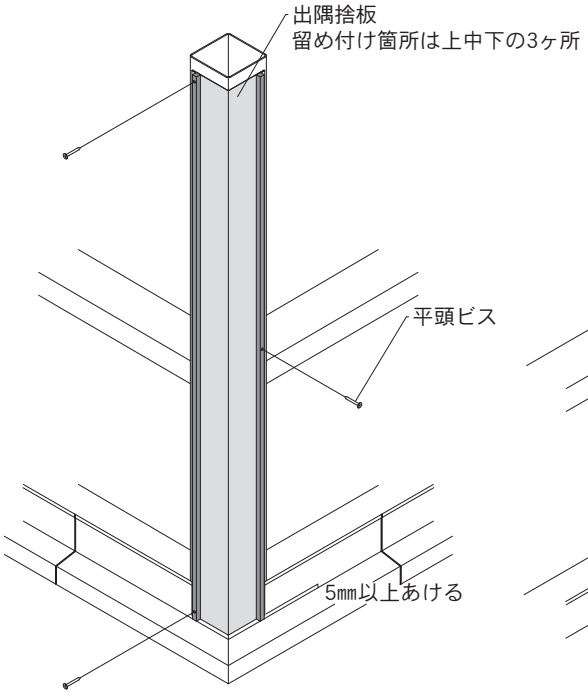


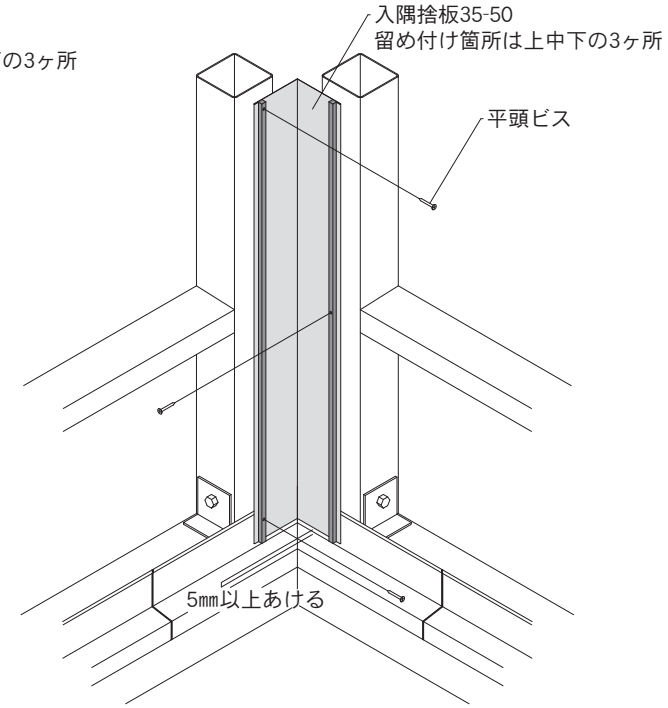
・防水テープはt＝1.0㎜、W＝20㎜程度のものを用意してください。

7－4　捨板取り付け

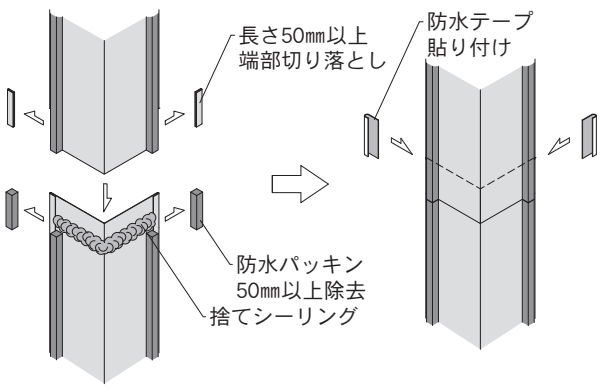
・必要に応じて墨出しをしてください。
・水切から5㎜以上あけて取り付けてください。
・取り付けには平頭ビスを使用し、タッピングビスなどの頭の大きなものは使用しないでください。
・ビス打ちにより防水パッキンが欠損した場合は、防水パッキン10×10で補修してください。

7－4－1　出隅部、入隅部

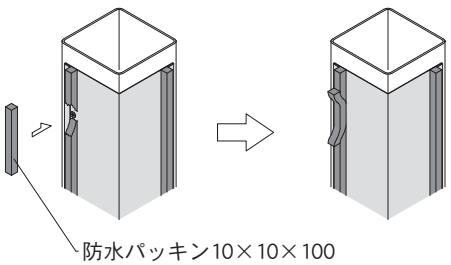




〔出隅捨板のジョイント方法〕
下の出隅捨板の表側に50㎜以上重ねてジョイントしてください。
つなぎのアダ折り部に防水テープを貼り付けてください。
入隅捨板も同様です。



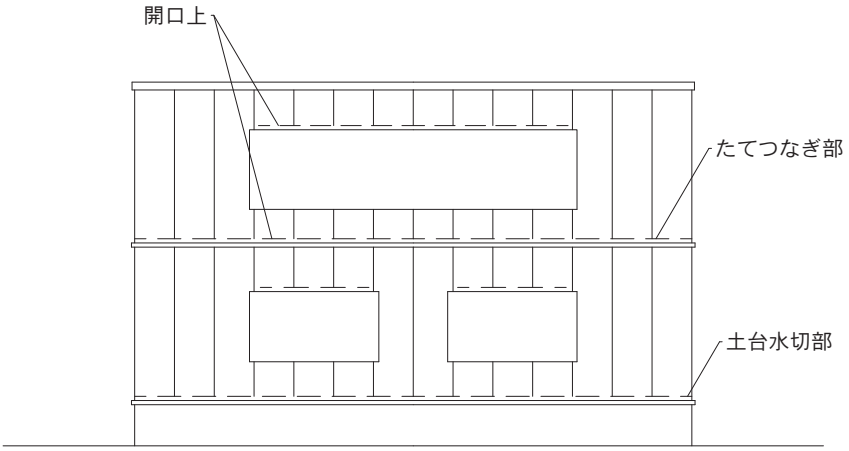
〔防水パッキンの補修方法〕
捨板類を取り付ける際、ビスに巻き込まれ防水パッキンがちぎれる場合があります。そのままパネル本体を施工しますと、漏水の危険性が高くなります。防水パッキンに欠損がある場合は、防水パッキン10×10×100で補修してください。
防水パッキン10×10×100を捨板類に貼り付けてある防水パッキンに重なるように貼り付けます。入隅捨板も同様です。



〔出隅捨板の場合〕

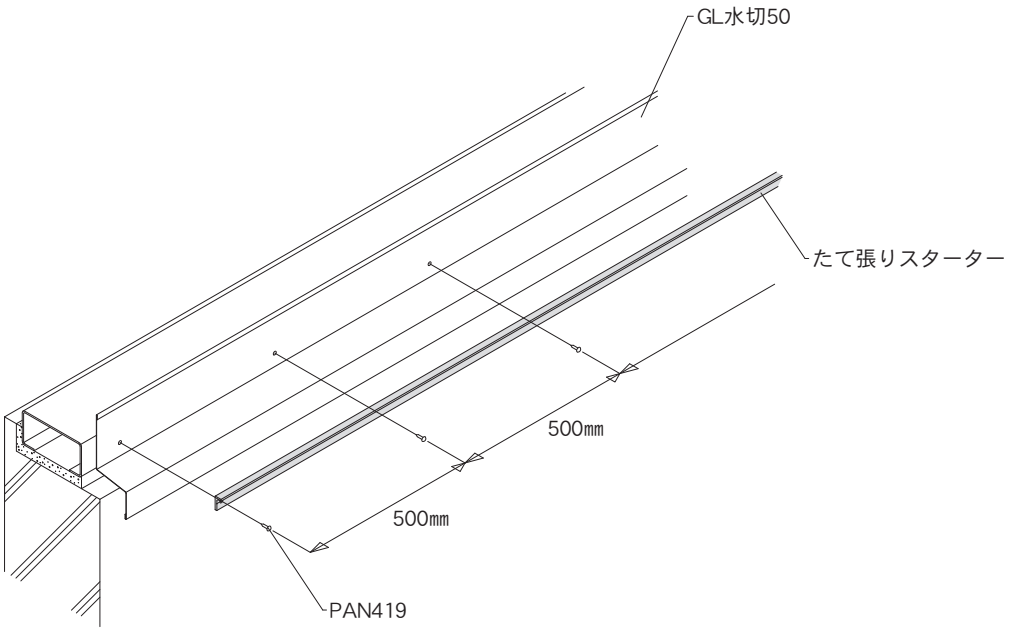
7－5　スターター取り付け

7ー5ー1　スターターの必要なところ



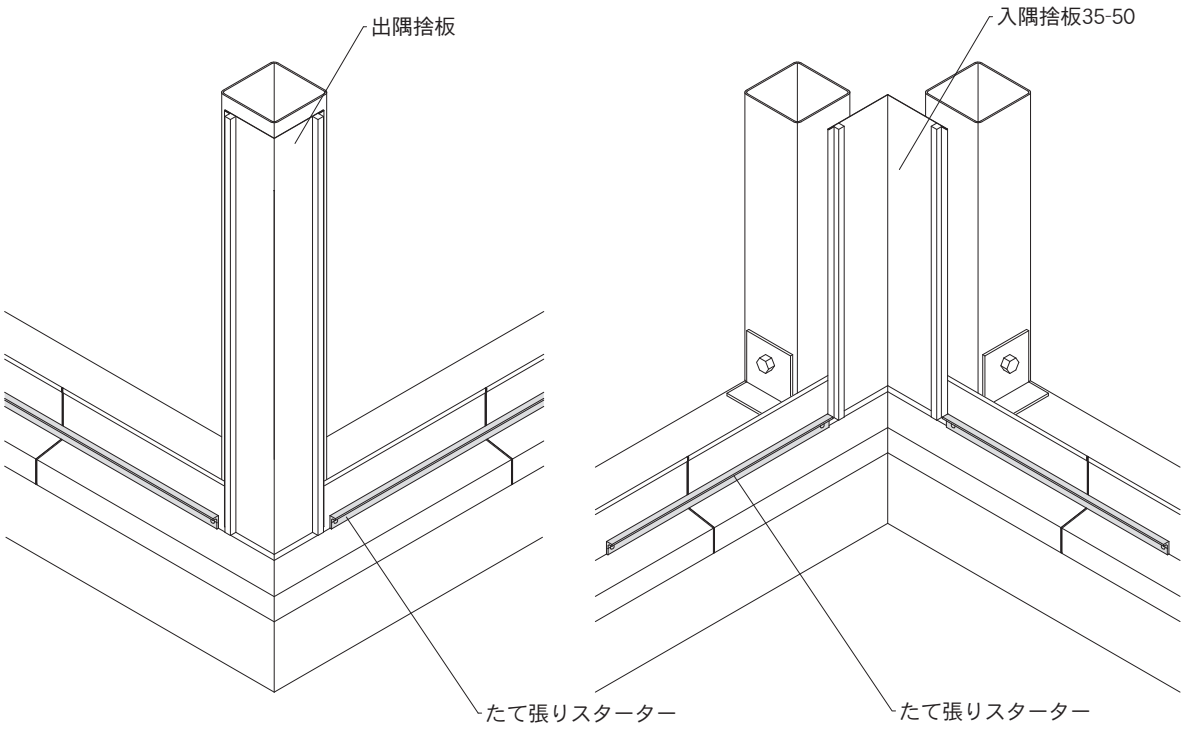
・たて張りスターターは土台水切部、たてつなぎ部、開口部にも必要です。

7ー5ー2　スターター取り付け



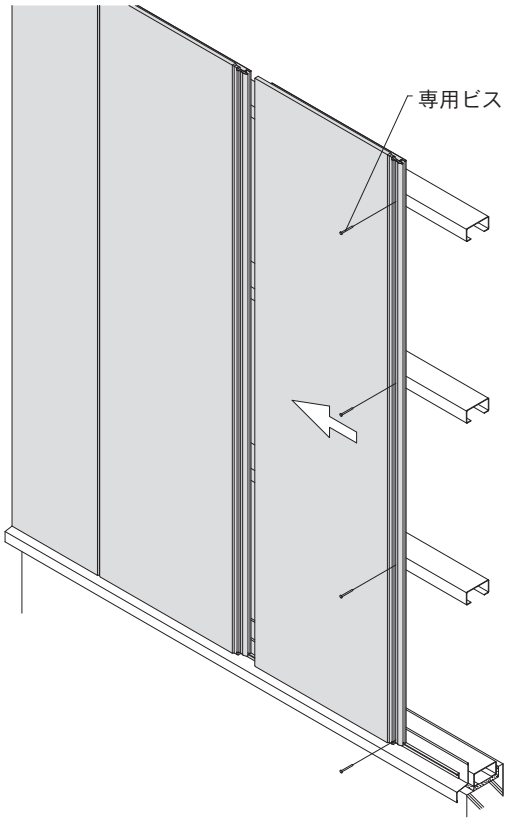
・スターターは通しで取り付けます。但し、捨板と交差する部分ではスターターを切断します（P137参照）。
・留め付けはなべ頭テクス（PAN419）などを使用してください。500㎜以下の間隔で留め付けてください。

7−5−3　出隅捨板、入隅捨板との取り合い



7−6　パネル本体取り付け

7−6−1　ビス打ち

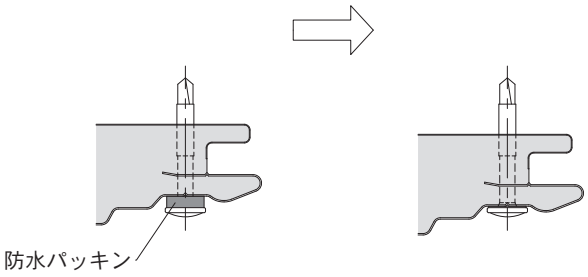


- 足場などへの接触に注意してください。
- パネル本体の取り付けには、必ず**専用ビス**を使用してください。
- 専用ビスはシンワッシャータイプです。
- **パネル本体留め付け用には、必ず各専用ビスに付属するビットTWLを使用してください。**
  ビットTWLは、各専用ビス1箱に1個が付属します。
- 製品端部に小口シールが貼ってある場合は施工前に剥がしてください。シールを残したままだとシーリングが接着しません。
- 保護フィルムが貼り付けてある商品は長期間放置すると剥がれにくくなりますので、施工後1ヶ月以内に除去してください。

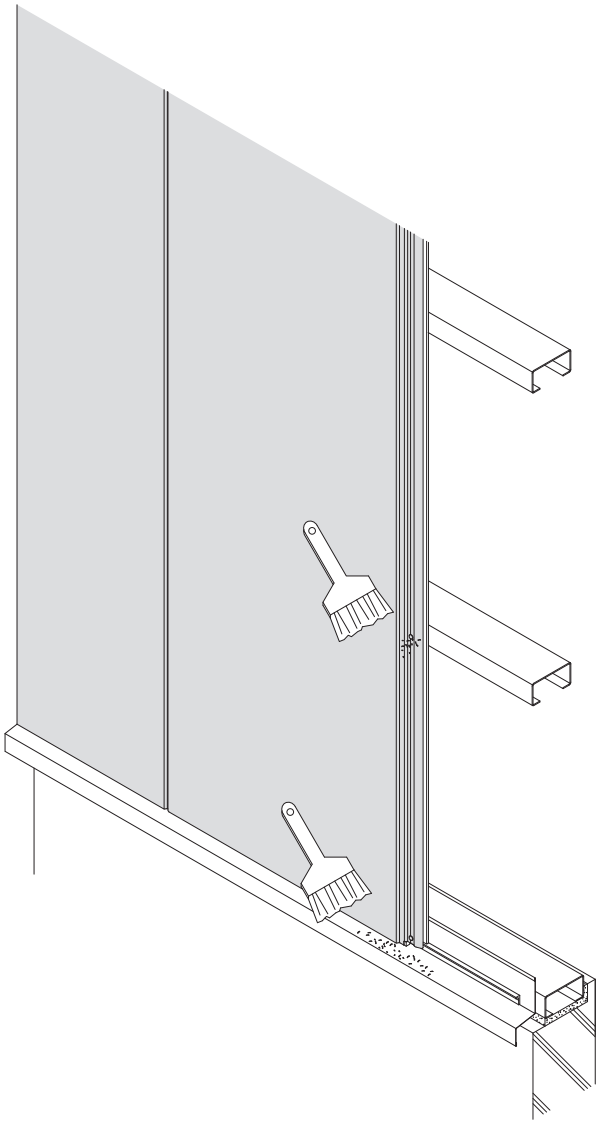
【注意 !! 】 ビスの締めすぎには十分に注意してください。
表面が変形するおそれがあります。

〔専用ビス締め付けの目安〕

専用ビスに付いている防水パッキンが
潰れたら締め付けをやめてください。



7－6－2　切粉の除去



・テクスビスから切粉が発生します。
切粉は、放置するとさびが発生しますのでハケなどでその都度除去してください。

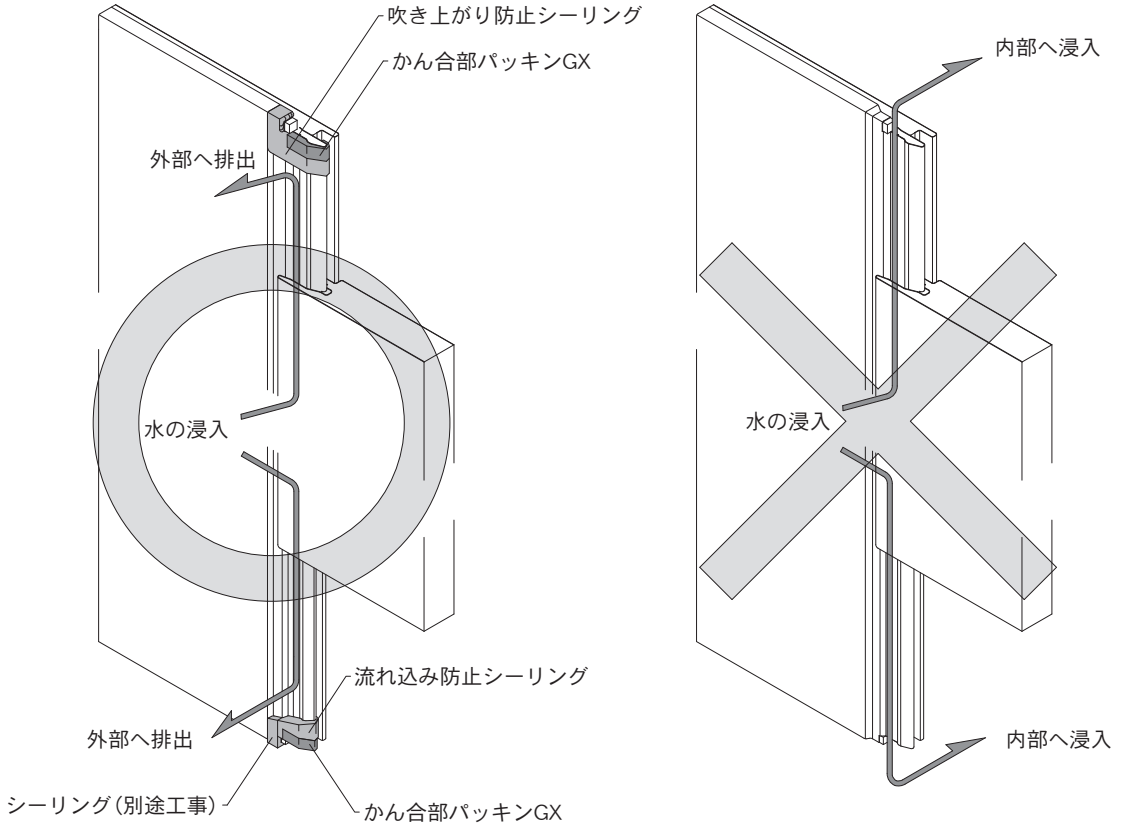
7−6−3　吹き上がり防止シーリングと流れ込み防止シーリング

パネルかん合部のパネル上端部に水の吹き上がりによる漏水を防止するために吹き上がり防止シーリングが必要です。また、パネル下端部には水の流れ込みを防ぐために流れ込み防止シーリングが必要です。
シーリングは、変成シリコーン系を使用してください。

【注意 !! 】　納まりによってシールする位置が異なります。
シール位置が正しくないと、効果が得られませんので、十分に注意してください。
各納まり参考図で位置を確認してください。

・それぞれのシール幅は10㎜以上としてください。
・シーリング（別途工事）とつながる位置に打ってください。
・カバー類の外側にはみ出さないよう注意してください。

〔パネル上端部〕



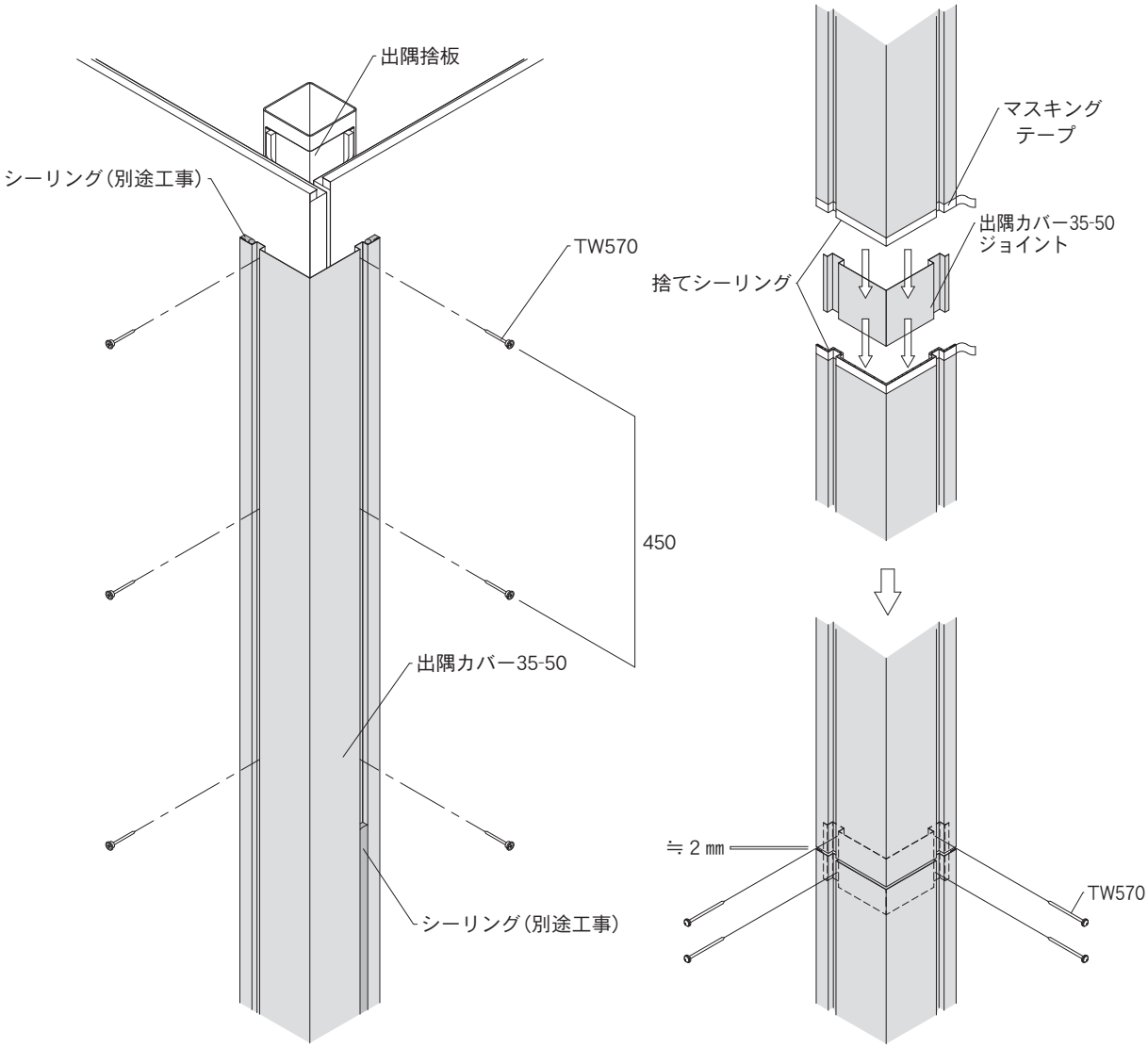
〔パネル下端部〕

■水抜きパイプの取り付け

・サッシ上部や水切部をシーリングで納める場合は水抜きパイプと合わせて施工してください。
・水抜きパイプは、働き幅600㎜の場合たて目地2,400㎜以下に 1 箇所。働き幅900㎜の場合たて目地3,600㎜以下に 1 箇所の間隔でたて目地下部に取り付けてください。
・たて目地方向に水が排出されるように傾斜をつけてシーリングを施してください。

7－7　出隅、入隅カバー取り付け

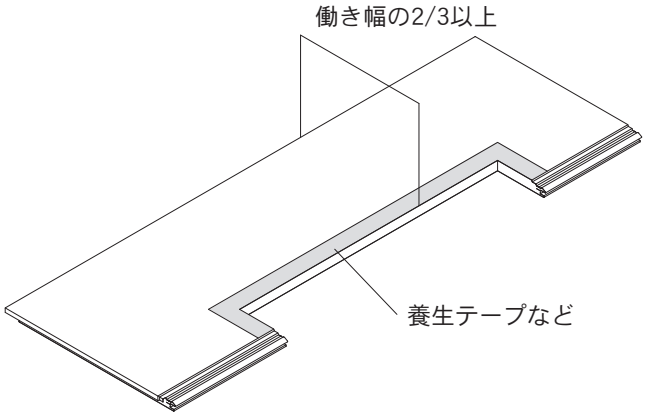
〔出隅カバージョイント方法〕



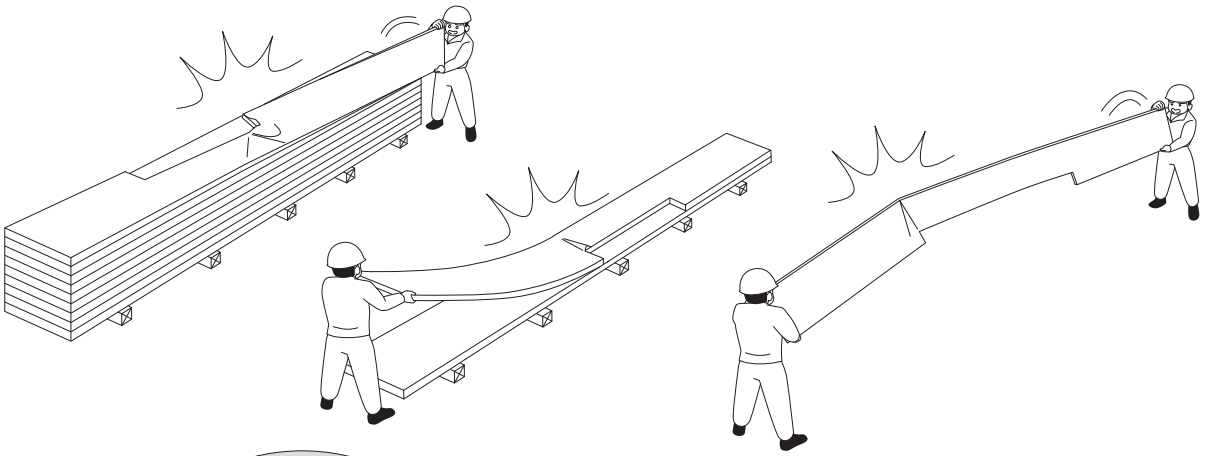
・出隅カバー取り付け位置に墨出ししてください。
・出隅カバーは450㎜間隔で留め付けてください。
・出隅カバーのつなぎ部分では上下にテクスビスを打ってください。
・入隅カバーの取り付けも同様に行ってください。

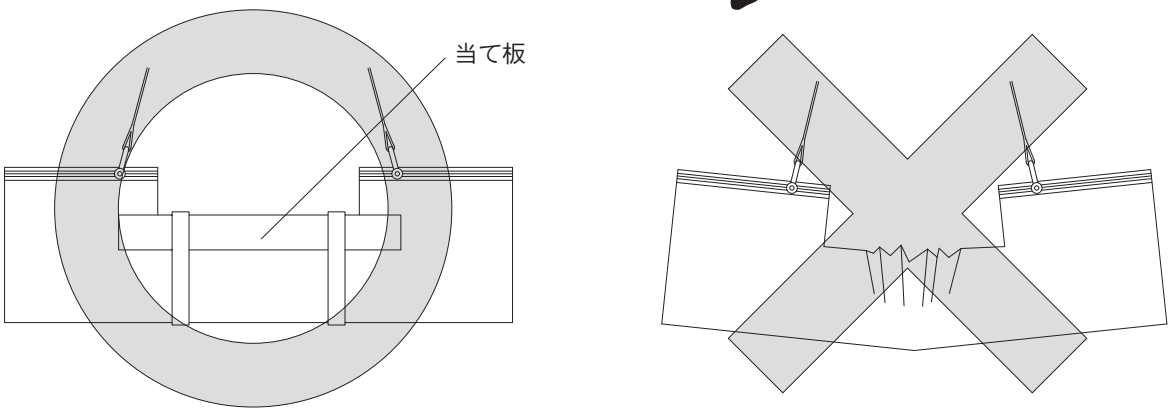
8 パネル本体現場加工

8－1　切断・切り欠き



・切断や切り欠き加工するところには、あらかじめ養生テープなどを貼って傷付きを防止してください。
・**欠き込んだ残りの幅が、働き幅の2/3以上となるようにしてください。**

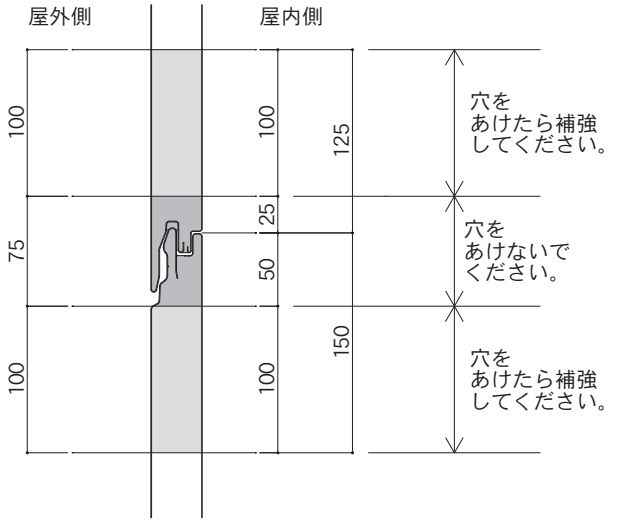




・欠き込んだパネル本体を吊り込むときは、破損防止のために、当て板を当てるなどして、補強してください。たて張り時も同様です。
・欠き込んだパネル本体は破損しやすくなります。取り扱いには十分に注意してください。

8－2　穴あけ加工

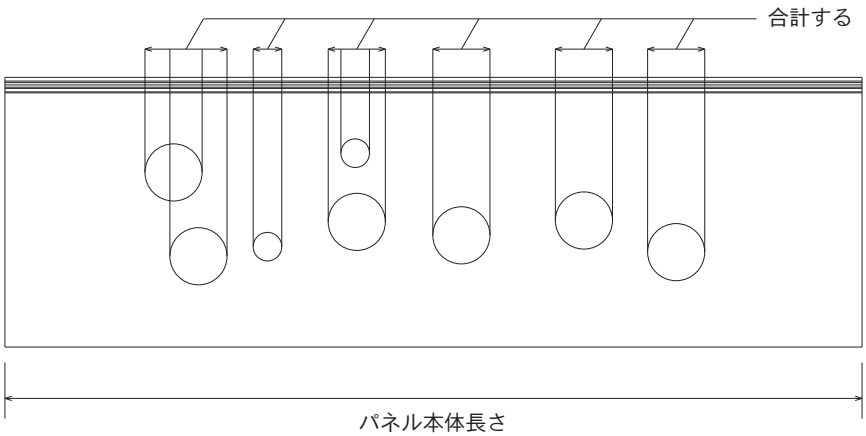
■かん合部への穴あけ



・かん合部は、気密性、防水性、耐火性を保つためパッキンなどが入っておりますので、屋内側よこ目地より上25㎜、下50㎜の範囲内（▭の部分）には穴をあけないでください。
・上記寸法より、よこ目地上側100㎜と下側100㎜の範囲内（▭の部分）にはなるべく穴をあけないでください。パネル本体の強度が低下し風荷重により変形した場合、目地が開く可能性が大きくなります。やむを得ず穴をあける場合は下地材を追加し、補強してください。

■穴の大きさ

〔水平方向〕



・1枚のパネル本体にあけた穴の大きさを水平方向で合計した値が、パネル本体長さの1／3以内になるようにしてください。（重なり部分は重複して加える必要はありません）
1／3を超える場合は、パネル本体が「く」の字に折れないように中間部に外側からパネル本体をテクスで脳天打ちする（下地が必要になります）などの補強をしてください。
・丸穴が連続しているような場合や、横長で長方形の穴の場合は、その全長が60㎝を超えないようにしてください。

〔垂直方向〕

・パネル本体１枚、下地材スパン１つにおいて、垂直断面の欠損は下記のようにしてください。

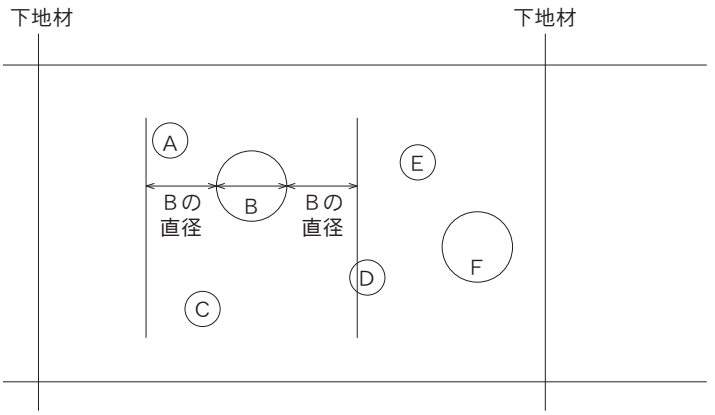
〇600幅のパネル本体の場合

高さ13m以上の壁面・・・・・・・20㎝まで
高さ13m未満の壁面・・・・・・・30㎝まで

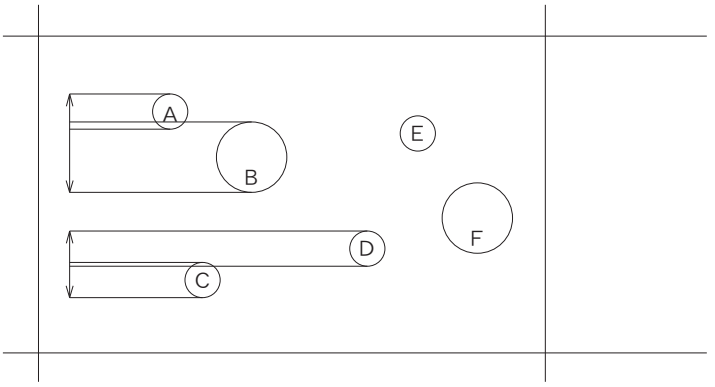
〇900幅のパネル本体の場合

高さ13m以上の壁面・・・・・・・30㎝まで
高さ6.5m以上13m未満の壁面・・・45㎝まで
高さ6.5m未満の壁面・・・・・・・60㎝まで

これ以上の穴をあける場合は、下地材を付加するなどの補強をしてください。



・垂直断面の欠損は、Bの縁より水平方向でBの直径以内の範囲にあいている穴（A、C、D）を対象として計算します。



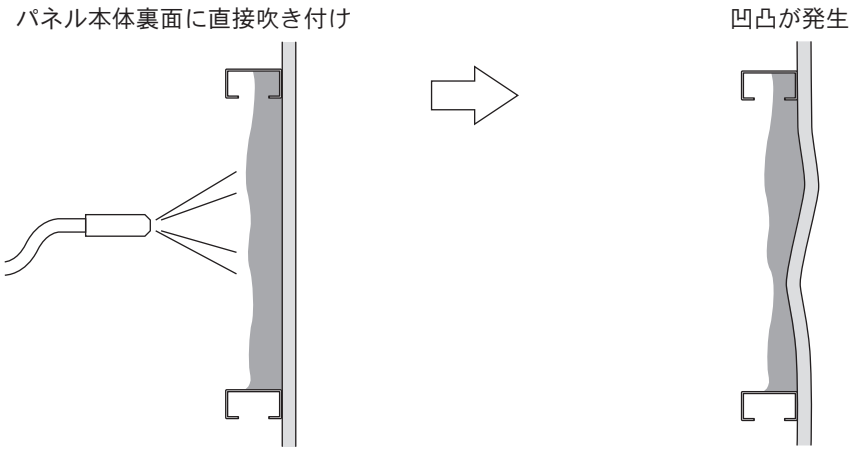
・対象範囲内の穴の大きさを垂直方向で合計してください。重なり部分は重複して加える必要はありません。
・同様にFなど他の穴についても計算し、欠損が最大になる値を採用してください。

【注意 !! 】 パネル本体を加工（切断・切り欠き・穴あけなど）する際、ジグソーなど振動の大きな工具は表面鋼板の剥離を招くおそれがありますので注意してください。チップソーやホールソーなどを使用してください。また加工後は切断粉を十分に除去してください。サンダーを使用の際は特に注意してください。

8－3　その他

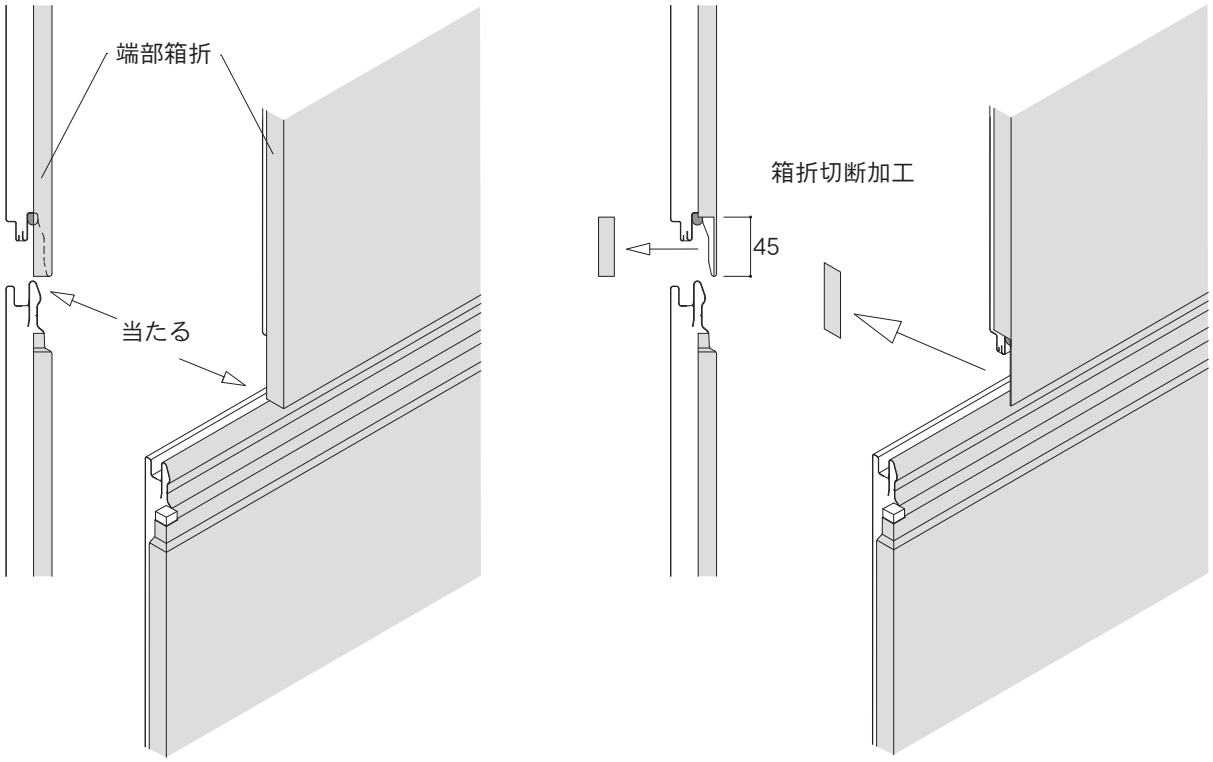
■現場発泡ウレタンについて

【注意 !! 】 パネル本体裏面に現場発泡ウレタンなどを直接吹き付けすると、吹き付けた現場発泡ウレタンなどの硬化収縮の影響でパネル本体表面に凹凸が発生する場合があります。１回あたり厚さ10㎜程度を吹き付け後硬化させ、徐々に厚くしていくなどの対策を採ってください。



■箱折部の現場加工について

・窓脇などで、次段のパネル本体が短い場合は、端部箱折が下段のパネル本体に当たりはめ込むことができなくなります。このような場合は端部箱折を切断してください。



9 シーリング

9－1　推奨シーリング

●推奨シーリング

メーカー	商品名	対応プライマー
サンスター技研株式会社	ペンギンシール2500	表－１参照
横浜ゴム株式会社	ハマタイトスーパーⅡ	NO.85

●表－１

使用部位	推奨プライマー
パネル間目地・サッシ取り合いなど	ＳＳ－１
セメント系材料との取り合いなど	ＵＭ－２

・２成分形変成シリコーン系が適しています。
・油分、水分の除去を行い、スコッチブライト処理などの下地処理をしてください。
・下地の清掃が不十分な場合、シーリングの接着不良の原因となります。シーリングメーカーの指導に従い、確実な清掃を行ってください。
・プライマーは必ず塗布してください。
・上記、推奨シーリング以外の場合、あらかじめ接着試験を行って、性能を確認してください。
・シーリングはシーリングメーカーの使用方法に従って施工してください。
・天候に注意してください。（水分、鋼板の温度）

■シーリング工事の注意点

施工中のパネルの熱伸縮で、シーリングにシワや剥離が発生する場合があります。
詳細はシーリングメーカーにお問い合わせください。

10 補修・メンテナンスについて

10－1　傷の補修

・範囲の狭い軽微なすり傷で、鋼板の変形がないものは純正のタッチアップペイントで補修してください。
・降雨及び降雪がある際は補修を避けてください。
・補修塗装を行う際は、水または中性洗剤（1～2％水溶液）で、表面の汚れや油分などを除去し、十分な水洗いを行い、乾いた布で水分をよく拭き取ってから行ってください。
・シーリングの除去・再施工は専門の業者に依頼してください。
・商品表面の傷の補修には、必ず純正のタッチアップペイントを用い、製品安全データシート（ＳＤＳ）に従って正しく使用してください。
・タッチアップペイントは、使用前によく撹拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく撹拌してください。
・事前に商品の端材などで試し塗りをして、色調の確認を行ってください。
・広範囲にわたったすり傷や、鋼板が変形してしまった損傷の場合は、パネル本体の交換を実施してください。やむを得ず広範囲にわたる補修塗装を行う際は、専門の塗装業者に依頼してください。
・タッチアップペイントは常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください
・現場塗装用の塗料は、現場で手配願います。

10－2　汚れの除去

・パネル本体表面に汚れが付着したときは、以下の手順でクリーニングしてください。

① 柔らかい布などでから拭きしてください。
　⇩（落ちないとき）
② 水または温水（ぬるま湯程度）で洗浄してください。
　⇩（落ちないとき）
③ 中性洗剤（１～２％水溶液）で洗浄してください。
　⇩（落ちないとき）
④ エタノールで洗浄してください。
　⇩（落ちないとき）
⑤ パネル本体の交換を実施してください。

10－3　外壁を美しく保つために

・大気中には、パネル表面基材の腐食の原因となる様々な要因が含まれています。酸性度の高い水分との接触や、付着水分の蒸発による酸性成分の濃縮など、腐食の原因物質と表面基材の接触により表面塗膜の耐久性の低下を招き、さびの発生に至る場合があります。このような現象の発生を防ぐために定期的なお手入れを実施してください。
・壁の汚れの状況に応じて、パネル表面を洗浄してください。特に、海岸地帯や工業地帯では洗浄回数を増やしてください。
・軒下など、雨水で塵汚れなどが洗われない部分は、塵などが原因で腐食が発生する場合がありますので、入念な洗浄をお勧めします。
・表面塗色については、適宜点検してください。変色が著しく、白亜化現象が現れた時には、再塗装を実施してください。

【注意 !! 】

・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面に傷が付き腐食を招くおそれがあります。
・クレンザーなど研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・退色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
・シンナーなどの有機溶剤は塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
・中性洗剤やエタノールを使用した後は、十分な水洗いを行い、薬剤を洗い流してください。
・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
・シーリングの除去・再施工は専門の施工業者に依頼してください。
・高圧洗浄機は、パネルの変形、漏水などの原因となりますので使用しないでください。
・表面鋼板をタッチアップペイントで補修する場合は目荒らしが必要です。補修するすり傷部分に、ナイロン不織布を使用して目荒らしをしてください。目荒らしを行わない場合、タッチアップペイントと表面鋼板の塗膜に密着性が得られませんので注意してください。

10－4　その他

・高所で作業する際は、転落事故などに対する安全対策を十分とってください。
・雨などで濡れた屋根の上には絶対に乗らないでください。
・点検・補修・洗浄などの際は、パネル本体表面に傷が付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをパネル本体表面に直接立て掛けると、傷や変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
・洗剤を使用しての洗浄や補修塗装の際は、周辺の生物に影響がないよう、十分に注意してください。特に、池の魚類には注意が必要です。
・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合部などからまれに音が発生する場合があります。

アイジー工業株式会社
http://www.igkogyo.co.jp/

本社
〒999-3716 山形県東根市蟹沢上縄目1816-12
TEL:0237(43)1810　FAX:0237(41)1810
東京営業所
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17-5 神田橋PR-EX8F
TEL:03(5283)7211　FAX:03(5283)7213
札幌営業所
〒003-0026 札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F
TEL:011(863)0303　FAX:011(860)2084
盛岡営業所
〒020-0022 盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F
TEL:019(605)8050　FAX:019(605)8051
仙台営業所
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-12 MB小田急ビル5F
TEL:022(292)5405　FAX:022(292)5406
関東営業所
〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-92-3 至誠堂ビル2F
TEL:048(658)1600　FAX:048(658)1602
新潟営業所
〒950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F
TEL:025(240)6718　FAX:025(240)6719
富山営業所
〒930-0004 富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F
TEL:076(443)8621　FAX:076(443)8622
名古屋営業所
〒452-0822 名古屋市西区中小田井5-404-1 愛法ビル2F
TEL:052(506)9898　FAX:052(506)9899
大阪営業所
〒562-0036 大阪府箕面市船場西2-2-1 ニューエリモビル6F
TEL:072(749)3188　FAX:072(749)3199
福岡営業所
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F
TEL:092(474)5564　FAX:092(474)5574

この施工説明書に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。

商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。

2015.5.2300